

令和4年度佐倉市歳入歳出決算に係る

主要施策の成果の説明書

(地方自治法第 233 条第 5 項の規定に基づく)

佐 倉 市

目 次

I	令和4年度決算の概要	16
1.	会計別決算総括表	16
2.	一般会計款別決算書	17
3.	地方債現在高調書	19
4.	定額運用基金運用状況調書	21
II	主要施策の成果	23
	(一般会計)	24
第1款	議会費	24
第2款	総務費	27
第3款	民生費	105
第4款	衛生費	176
第5款	農林水産業費	214
第6款	商工費	223
第7款	土木費	236
第8款	消防費	268
第9款	教育費	273
第10款	災害復旧費	348
	(特別会計)	349
	国民健康保険特別会計	349
	介護保険特別会計	356
	災害共済事業特別会計	371
	後期高齢者医療特別会計	372

令和4年度 主要施策の成果の説明書
Ⅱ 主要施策の成果 詳細目次

会計	款	項	目	事業名称	担当所属	頁
一般会計						
1 一般会計	1 議会費	1 議会費	1 議会費	4 議会会議運営事業	議会事務局	24
1 一般会計	1 議会費	1 議会費	1 議会費	5 議会広報事業	議会事務局	25
1 一般会計	1 議会費	1 議会費	1 議会費	6 市議会 I C T 化推進事業	議会事務局	26
1 一般会計	2 総務費	1 総務管理費	1 一般管理費	2 秘書一般事務費	秘書課	27
1 一般会計	2 総務費	1 総務管理費	2 人事管理費	1 人事管理事業	人事課	28
1 一般会計	2 総務費	1 総務管理費	2 人事管理費	2 障害者庁内就労推進事業	人事課	29
1 一般会計	2 総務費	1 総務管理費	2 人事管理費	3 職員厚生事業	人事課	30
1 一般会計	2 総務費	1 総務管理費	2 人事管理費	4 職員研修事業	人事課	31
1 一般会計	2 総務費	1 総務管理費	5 広報費	3 広報等発行事業	広報課	32
1 一般会計	2 総務費	1 総務管理費	5 広報費	4 映像等広報制作事業	広報課	33
1 一般会計	2 総務費	1 総務管理費	5 広報費	6 国際化施策事業	広報課	34
1 一般会計	2 総務費	1 総務管理費	5 広報費	7 平和施策事業	広報課	35
1 一般会計	2 総務費	1 総務管理費	5 広報費	8 インターネット等広報事業	広報課	37
1 一般会計	2 総務費	1 総務管理費	5 広報費	11 ウクライナ避難民支援事業	企画政策課	38
1 一般会計	2 総務費	1 総務管理費	8 財産管理費	2 庁舎維持管理事業	資産経営課	39
1 一般会計	2 総務費	1 総務管理費	8 財産管理費	3 財産管理事業	資産経営課	40
1 一般会計	2 総務費	1 総務管理費	8 財産管理費	8 公共施設包括管理事業	資産経営課	41
1 一般会計	2 総務費	1 総務管理費	8 財産管理費	9 本庁舎保全事業	資産経営課	42
1 一般会計	2 総務費	1 総務管理費	9 企画費	2 広域行政推進事業	企画政策課	43
1 一般会計	2 総務費	1 総務管理費	9 企画費	3 ふるさとまちづくり応援寄附推進事業	企画政策課	44
1 一般会計	2 総務費	1 総務管理費	9 企画費	4 シティプロモーション事業	佐倉の魅力推進課	45
1 一般会計	2 総務費	1 総務管理費	9 企画費	6 総合計画推進事業	企画政策課	46
1 一般会計	2 総務費	1 総務管理費	10 支所及び出張所費	1 出張所・派出所管理運営事業	市民課	47
1 一般会計	2 総務費	1 総務管理費	11 交通安全対策費	6 地域公共交通対策事業	都市計画課	48
1 一般会計	2 総務費	1 総務管理費	11 交通安全対策費	7 公共交通継続支援事業	都市計画課	49
1 一般会計	2 総務費	1 総務管理費	12 防災対策費	2 自主防災組織支援事業	危機管理課	50
1 一般会計	2 総務費	1 総務管理費	12 防災対策費	5 災害救援体制整備事業	危機管理課	51
1 一般会計	2 総務費	1 総務管理費	12 防災対策費	6 防災資器材等管理事業	危機管理課	52
1 一般会計	2 総務費	1 総務管理費	12 防災対策費	7 ミレニアムセンター佐倉管理運営事業	ミレニアムセンター佐倉	53

令和4年度 主要施策の成果の説明書
Ⅱ 主要施策の成果 詳細目次

会計		款	項		目		事業名称		担当所属	頁	
1	一般会計	2	総務費	1	総務管理費	12	防災対策費	8	防災施設整備事業	危機管理課	54
1	一般会計	2	総務費	1	総務管理費	12	防災対策費	10	防災対策計画事業	危機管理課	55
1	一般会計	2	総務費	1	総務管理費	13	市民相談及び処理費	1	市民相談事業	自治人権推進課	56
1	一般会計	2	総務費	1	総務管理費	13	市民相談及び処理費	2	市民相談等オンライン化事業	自治人権推進課	57
1	一般会計	2	総務費	1	総務管理費	14	地域振興費	2	自治会等活動推進事業	自治人権推進課	58
1	一般会計	2	総務費	1	総務管理費	14	地域振興費	3	コミュニティ環境整備事業	自治人権推進課	59
1	一般会計	2	総務費	1	総務管理費	14	地域振興費	4	地域まちづくり事業	自治人権推進課	60
1	一般会計	2	総務費	1	総務管理費	14	地域振興費	6	市民公益活動サポートセンター管理運営事業	市民公益活動サポートセンター	61
1	一般会計	2	総務費	1	総務管理費	14	地域振興費	10	結婚支援事業	自治人権推進課	62
1	一般会計	2	総務費	1	総務管理費	16	自動車管理費	1	庁用車管理事業	資産経営課	63
1	一般会計	2	総務費	1	総務管理費	16	自動車管理費	2	庁用車購入事業	資産経営課	64
1	一般会計	2	総務費	1	総務管理費	17	情報システム費	1	住民情報システム運営事業	情報システム課	65
1	一般会計	2	総務費	1	総務管理費	17	情報システム費	2	住民情報システム整備事業	情報システム課	66
1	一般会計	2	総務費	1	総務管理費	17	情報システム費	3	行政情報化推進事業	情報システム課	67
1	一般会計	2	総務費	1	総務管理費	17	情報システム費	4	電子自治体推進事業	情報システム課	68
1	一般会計	2	総務費	1	総務管理費	17	情報システム費	5	行政情報化推進事業（コロナ対策分）	情報システム課	69
1	一般会計	2	総務費	1	総務管理費	17	情報システム費	6	電子自治体推進事業（コロナ対策分）	情報システム課	70
1	一般会計	2	総務費	1	総務管理費	18	コミュニティセンター費	2	志津コミュニティセンター管理運営事業	志津コミュニティセンター	71
1	一般会計	2	総務費	1	総務管理費	18	コミュニティセンター費	3	西志津ふれあいセンター管理運営事業	自治人権推進課	72
1	一般会計	2	総務費	1	総務管理費	18	コミュニティセンター費	4	和田コミュニティセンター管理運営事業	和田ふるさと館	73
1	一般会計	2	総務費	1	総務管理費	18	コミュニティセンター費	5	佐倉コミュニティセンター管理運営事業	ミレニアムセンター佐倉	74
1	一般会計	2	総務費	1	総務管理費	18	コミュニティセンター費	6	千代田・染井野ふれあいセンター管理運営事業	千代田・染井野ふれあいセンター	76
1	一般会計	2	総務費	1	総務管理費	18	コミュニティセンター費	7	西志津ふれあいセンター施設整備事業	自治人権推進課	77
1	一般会計	2	総務費	1	総務管理費	18	コミュニティセンター費	9	和田コミュニティセンター施設整備事業	和田ふるさと館	78
1	一般会計	2	総務費	1	総務管理費	18	コミュニティセンター費	11	ミレニアムセンター佐倉施設整備事業	ミレニアムセンター佐倉	79
1	一般会計	2	総務費	1	総務管理費	18	コミュニティセンター費	12	千代田・染井野ふれあいセンターコロナ対策施設改修事業	千代田・染井野ふれあいセンター	80
1	一般会計	2	総務費	1	総務管理費	18	コミュニティセンター費	13	西志津ふれあいセンターコロナ対策施設改修事業	自治人権推進課	81
1	一般会計	2	総務費	1	総務管理費	18	コミュニティセンター費	14	志津コミュニティセンターコロナ対策施設改修事業	志津コミュニティセンター	82
1	一般会計	2	総務費	1	総務管理費	18	コミュニティセンター費	15	和田コミュニティセンターコロナ対策施設改修事業	和田ふるさと館	83
1	一般会計	2	総務費	1	総務管理費	20	男女平等参画推進費	2	男女平等参画推進センター事業	自治人権推進課	84

令和4年度 主要施策の成果の説明書
Ⅱ 主要施策の成果 詳細目次

会計		款	項		目	事業名称		担当所属	頁		
1	一般会計	2	総務費	1	総務管理費	20	男女平等参画推進費	3	男女平等参画推進センター事業（コロナ対策分）	自治人権推進課	85
1	一般会計	2	総務費	1	総務管理費	21	諸費	1	市税等還付事業	債権管理課	86
1	一般会計	2	総務費	1	総務管理費	21	諸費	3	地域防犯活動推進事業	危機管理課	87
1	一般会計	2	総務費	2	徴税费	2	賦課徴収費	1	市民税課税事業	市民税課	88
1	一般会計	2	総務費	2	徴税费	2	賦課徴収費	2	諸税課税事業	市民税課	89
1	一般会計	2	総務費	2	徴税费	2	賦課徴収費	3	課税資料電子化推進事業	市民税課	90
1	一般会計	2	総務費	2	徴税费	2	賦課徴収費	4	固定資産税等課税事業	資産税課	91
1	一般会計	2	総務費	2	徴税费	2	賦課徴収費	7	土地評価事業	資産税課	92
1	一般会計	2	総務費	2	徴税费	2	賦課徴収費	8	評価替え等事業	資産税課	93
1	一般会計	2	総務費	2	徴税费	2	賦課徴収費	11	徴収事業	債権管理課	94
1	一般会計	2	総務費	2	徴税费	2	賦課徴収費	12	収納事業	債権管理課	95
1	一般会計	2	総務費	2	徴税费	2	賦課徴収費	14	収納方法拡大事業	債権管理課	96
1	一般会計	2	総務費	2	徴税费	2	賦課徴収費	15	納税案内委託事業	債権管理課	97
1	一般会計	2	総務費	3	戸籍住民基本台帳費	1	戸籍住民基本台帳費	2	戸籍住民基本台帳管理事業	市民課	98
1	一般会計	2	総務費	3	戸籍住民基本台帳費	1	戸籍住民基本台帳費	3	窓口委託事業	市民課	99
1	一般会計	2	総務費	3	戸籍住民基本台帳費	1	戸籍住民基本台帳費	4	戸籍電算システム整備事業	市民課	100
1	一般会計	2	総務費	3	戸籍住民基本台帳費	1	戸籍住民基本台帳費	5	個人番号カード等交付事業	市民課	101
1	一般会計	2	総務費	3	戸籍住民基本台帳費	1	戸籍住民基本台帳費	6	証明書コンビニ交付事業	市民課	102
1	一般会計	2	総務費	4	選挙費	5	参議院議員選挙費	1	参議院議員選挙事業	選挙管理委員会事務局	103
1	一般会計	2	総務費	6	監査委員費	1	監査委員費	1	監査運営事業	監査委員事務局	104
1	一般会計	3	民生費	1	社会福祉費	1	社会福祉総務費	3	民生委員・児童委員活動支援事業	社会福祉課	105
1	一般会計	3	民生費	1	社会福祉費	1	社会福祉総務費	9	地域福祉推進団体助成事業	社会福祉課	106
1	一般会計	3	民生費	1	社会福祉費	1	社会福祉総務費	11	福祉施設等管理運営委託事業	社会福祉課	107
1	一般会計	3	民生費	1	社会福祉費	1	社会福祉総務費	14	国民健康保険特別会計等への繰出経費（臨時）	健康保険課	108
1	一般会計	3	民生費	1	社会福祉費	1	社会福祉総務費	16	後期高齢者人間ドック助成事業	健康保険課	109
1	一般会計	3	民生費	1	社会福祉費	1	社会福祉総務費	17	成年後見推進事業	高齢者福祉課	110
1	一般会計	3	民生費	1	社会福祉費	1	社会福祉総務費	18	生活困窮者自立支援事業	社会福祉課	111
1	一般会計	3	民生費	1	社会福祉費	1	社会福祉総務費	19	保健事業と介護予防の一体的実施事業	健康保険課	112
1	一般会計	3	民生費	1	社会福祉費	1	社会福祉総務費	20	住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業	社会福祉課	113
1	一般会計	3	民生費	1	社会福祉費	1	社会福祉総務費	21	新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給事業	社会福祉課	114

令和4年度 主要施策の成果の説明書
Ⅱ 主要施策の成果 詳細目次

会計		款	項	目	事業名称		担当所属	頁
1	一般会計	3 民生費	1 社会福祉費	1 社会福祉総務費	22	善意銀行応援事業	社会福祉課	115
1	一般会計	3 民生費	1 社会福祉費	1 社会福祉総務費	23	住民税均等割のみ課税世帯への応援金給付事業	社会福祉課	116
1	一般会計	3 民生費	1 社会福祉費	1 社会福祉総務費	24	電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支給給付金支給事業	社会福祉課	117
1	一般会計	3 民生費	1 社会福祉費	3 身体障害者福祉費	2	障害者グループホーム運営費等補助事業	障害福祉課	118
1	一般会計	3 民生費	1 社会福祉費	3 身体障害者福祉費	3	特別障害者手当等給付事業	障害福祉課	119
1	一般会計	3 民生費	1 社会福祉費	3 身体障害者福祉費	4	身体障害者給付費及び助成事業	障害福祉課	120
1	一般会計	3 民生費	1 社会福祉費	3 身体障害者福祉費	5	新型コロナウイルス感染症緊急支援事業（障害福祉サービス分）	障害福祉課	121
1	一般会計	3 民生費	1 社会福祉費	3 身体障害者福祉費	6	障害福祉施設等物価高騰対策支援金支給事業	障害福祉課	122
1	一般会計	3 民生費	1 社会福祉費	4 知的障害者福祉費	2	知的障害者給付費及び助成事業	障害福祉課	123
1	一般会計	3 民生費	1 社会福祉費	5 精神障害者福祉費	1	精神障害者福祉事業	障害福祉課	124
1	一般会計	3 民生費	1 社会福祉費	6 障害者自立支援福祉費	3	障害者介護給付事業	障害福祉課	125
1	一般会計	3 民生費	1 社会福祉費	6 障害者自立支援福祉費	4	障害者訓練等給付事業	障害福祉課	126
1	一般会計	3 民生費	1 社会福祉費	6 障害者自立支援福祉費	5	自立支援医療・補装具給付事業	障害福祉課	127
1	一般会計	3 民生費	1 社会福祉費	6 障害者自立支援福祉費	6	地域生活支援事業	障害福祉課	128
1	一般会計	3 民生費	1 社会福祉費	6 障害者自立支援福祉費	10	障害者社会参加支援事業	障害福祉課	129
1	一般会計	3 民生費	1 社会福祉費	6 障害者自立支援福祉費	13	難病者等見舞金支給事業	障害福祉課	130
1	一般会計	3 民生費	1 社会福祉費	9 後期高齢者医療費	1	後期高齢者医療費	健康保険課	131
1	一般会計	3 民生費	2 老人福祉費	1 老人福祉総務費	8	老人ホーム入所措置事業	高齢者福祉課	132
1	一般会計	3 民生費	2 老人福祉費	1 老人福祉総務費	9	はり・きゅう・マッサージ等施設利用助成事業	高齢者福祉課	133
1	一般会計	3 民生費	2 老人福祉費	1 老人福祉総務費	10	シルバー人材センター補助事業	高齢者福祉課	134
1	一般会計	3 民生費	2 老人福祉費	1 老人福祉総務費	12	施設整備推進事業	介護保険課	135
1	一般会計	3 民生費	2 老人福祉費	1 老人福祉総務費	14	介護人材確保対策事業	高齢者福祉課	136
1	一般会計	3 民生費	2 老人福祉費	1 老人福祉総務費	15	おいじちゃん・おばあちゃんありがとうの気持ちを伝えたい事業	高齢者福祉課	137
1	一般会計	3 民生費	2 老人福祉費	1 老人福祉総務費	16	レインボープラザ佐倉設備改修事業	高齢者福祉課	138
1	一般会計	3 民生費	2 老人福祉費	1 老人福祉総務費	17	新型コロナウイルス感染症緊急支援事業（介護サービス分）	介護保険課	139
1	一般会計	3 民生費	2 老人福祉費	1 老人福祉総務費	18	高齢者いきいき応援事業	高齢者福祉課	140
1	一般会計	3 民生費	2 老人福祉費	1 老人福祉総務費	19	介護施設等物価高騰対策支援金支給事業	介護保険課	141
1	一般会計	3 民生費	3 児童福祉費	1 児童福祉総務費	4	ファミリーサポートセンター事業	こども保育課	142
1	一般会計	3 民生費	3 児童福祉費	1 児童福祉総務費	5	病児・病後児保育事業	こども保育課	143
1	一般会計	3 民生費	3 児童福祉費	1 児童福祉総務費	6	子育て世代包括支援センター事業	母子保健課	144

令和4年度 主要施策の成果の説明書
Ⅱ 主要施策の成果 詳細目次

会計		款	項	目	事業名称	担当所属	頁
1	一般会計	3 民生費	3 児童福祉費	1 児童福祉総務費	10 WEラブ赤ちゃんプロジェクト事業	こども政策課	145
1	一般会計	3 民生費	3 児童福祉費	1 児童福祉総務費	12 子ども支援施策推進事業（コロナ対策分）	こども政策課	146
1	一般会計	3 民生費	3 児童福祉費	1 児童福祉総務費	13 子ども食堂支援事業	こども政策課	147
1	一般会計	3 民生費	3 児童福祉費	2 児童措置費	1 家庭児童相談事業	こども家庭課	148
1	一般会計	3 民生費	3 児童福祉費	2 児童措置費	2 児童手当支給事業	こども家庭課	149
1	一般会計	3 民生費	3 児童福祉費	2 児童措置費	3 児童扶養手当支給事業	こども家庭課	150
1	一般会計	3 民生費	3 児童福祉費	2 児童措置費	8 子育て世帯臨時特別給付金支給事業	こども家庭課	151
1	一般会計	3 民生費	3 児童福祉費	2 児童措置費	9 子育て世帯臨時特別給付金支給事業（市独自給付分）	こども家庭課	152
1	一般会計	3 民生費	3 児童福祉費	2 児童措置費	10 子育て世帯生活支援特別給付金支給事業	こども家庭課	153
1	一般会計	3 民生費	3 児童福祉費	2 児童措置費	11 子育て世帯生活支援特別給付金支給事業（市独自給付分）	こども家庭課	154
1	一般会計	3 民生費	3 児童福祉費	3 母子福祉費	1 ひとり親家庭等医療費等助成事業	こども家庭課	155
1	一般会計	3 民生費	3 児童福祉費	4 保育園費	3 保育園管理運営事業	こども保育課	156
1	一般会計	3 民生費	3 児童福祉費	4 保育園費	11 保育所入所委託等事業	こども政策課	157
1	一般会計	3 民生費	3 児童福祉費	4 保育園費	12 民間保育園等助成事業	こども政策課	158
1	一般会計	3 民生費	3 児童福祉費	4 保育園費	13 認可外保育施設利用者・運営助成事業	こども保育課	159
1	一般会計	3 民生費	3 児童福祉費	4 保育園費	14 保育園施設整備事業	こども保育課	160
1	一般会計	3 民生費	3 児童福祉費	4 保育園費	15 民間保育園等施設整備助成事業	こども政策課	161
1	一般会計	3 民生費	3 児童福祉費	4 保育園費	16 保育園廃棄物処理事業	こども保育課	162
1	一般会計	3 民生費	3 児童福祉費	4 保育園費	17 施設等利用費給付事業	こども政策課	163
1	一般会計	3 民生費	3 児童福祉費	4 保育園費	18 地域子育て支援助成事業	こども保育課	164
1	一般会計	3 民生費	3 児童福祉費	4 保育園費	20 保育園管理運営事業（コロナ対策分）	こども保育課	165
1	一般会計	3 民生費	3 児童福祉費	4 保育園費	21 認可外保育施設利用者・運営助成事業（コロナ対策分）	こども保育課	166
1	一般会計	3 民生費	3 児童福祉費	4 保育園費	22 民間保育園等助成事業（コロナ対策分）	こども政策課	167
1	一般会計	3 民生費	3 児童福祉費	4 保育園費	23 民間保育園等給食費補助事業	こども政策課	168
1	一般会計	3 民生費	3 児童福祉費	5 さくらんぼ園費	2 さくらんぼ園コロナ対策施設改修事業	障害福祉課	169
1	一般会計	3 民生費	3 児童福祉費	6 児童センター費	1 児童センター管理運営事業	こども保育課	170
1	一般会計	3 民生費	3 児童福祉費	6 児童センター費	2 学童保育所管理運営事業	こども保育課	171
1	一般会計	3 民生費	3 児童福祉費	6 児童センター費	3 学童保育所施設整備事業	こども保育課	172
1	一般会計	3 民生費	3 児童福祉費	6 児童センター費	5 学童保育所等施設整備事業（コロナ対策分）	こども保育課	173
1	一般会計	3 民生費	3 児童福祉費	7 青少年対策費	4 佐倉市ヤングプラザ管理運営事業	こども政策課	174

令和4年度 主要施策の成果の説明書
Ⅱ 主要施策の成果 詳細目次

会計		款		項		目		事業名称		担当所属		頁
1	一般会計	3	民生費	4	生活保護費	2	扶助費	1	生活保護費等給付事業	社会福祉課		175
1	一般会計	4	衛生費	1	保健衛生費	1	保健衛生総務費	6-7	子ども医療費助成事業	こども家庭課		176
1	一般会計	4	衛生費	1	保健衛生費	1	保健衛生総務費	9	地域医療対策事業	健康推進課		177
1	一般会計	4	衛生費	1	保健衛生費	1	保健衛生総務費	12	保健センター整備事業（コロナ対策分）	健康推進課		178
1	一般会計	4	衛生費	1	保健衛生費	2	保健衛生費	3	検診事業	健康推進課		179
1	一般会計	4	衛生費	1	保健衛生費	2	保健衛生費	5	妊婦及び乳児健康診査事業	母子保健課		181
1	一般会計	4	衛生費	1	保健衛生費	2	保健衛生費	6	幼児健診事業	母子保健課		182
1	一般会計	4	衛生費	1	保健衛生費	2	保健衛生費	9	産婦健康診査事業	母子保健課		183
1	一般会計	4	衛生費	1	保健衛生費	2	保健衛生費	10	産後ケア事業	母子保健課		184
1	一般会計	4	衛生費	1	保健衛生費	2	保健衛生費	11	新生児聴覚検査事業	母子保健課		185
1	一般会計	4	衛生費	1	保健衛生費	2	保健衛生費	12	多胎妊産婦支援事業	母子保健課		186
1	一般会計	4	衛生費	1	保健衛生費	2	保健衛生費	13	3歳児視力スクリーニング事業	母子保健課		187
1	一般会計	4	衛生費	1	保健衛生費	2	保健衛生費	14	前立腺がん検診事業	健康推進課		188
1	一般会計	4	衛生費	1	保健衛生費	2	保健衛生費	15	産後ケア事業者物価高騰対策支援金支給事業	母子保健課		189
1	一般会計	4	衛生費	1	保健衛生費	2	保健衛生費	16	出産・子育て応援事業	母子保健課		190
1	一般会計	4	衛生費	1	保健衛生費	3	予防費	1	感染症等予防事業（定期予防接種）	母子保健課		191
1	一般会計	4	衛生費	1	保健衛生費	3	予防費	2	感染症等予防事業（任意予防接種）	母子保健課		192
1	一般会計	4	衛生費	1	保健衛生費	3	予防費	3	健康危機対策事業	健康推進課		193
1	一般会計	4	衛生費	1	保健衛生費	3	予防費	4	新型コロナウイルスワクチン接種対策事業	健康推進課		194
1	一般会計	4	衛生費	1	保健衛生費	3	予防費	5	抗原検査キット等配布事業	健康推進課		195
1	一般会計	4	衛生費	1	保健衛生費	4	休日夜間急病診療所費	1	休日夜間等救急医療事業	健康推進課		196
1	一般会計	4	衛生費	1	保健衛生費	4	休日夜間急病診療所費	2	印旛郡市小児救急医療事業	健康推進課		197
1	一般会計	4	衛生費	1	保健衛生費	5	環境衛生費	2	畜犬管理事業	生活環境課		198
1	一般会計	4	衛生費	1	保健衛生費	5	環境衛生費	3	佐倉市・四街道市・酒々井町葬祭組合負担金	生活環境課		199
1	一般会計	4	衛生費	1	保健衛生費	5	環境衛生費	6	公衆トイレ洋式化事業（コロナ対策分）	生活環境課		200
1	一般会計	4	衛生費	1	保健衛生費	6	公害対策費	3	公害防止対策事業	生活環境課		201
1	一般会計	4	衛生費	1	保健衛生費	6	公害対策費	5	水質汚濁防止対策事業	生活環境課		202
1	一般会計	4	衛生費	1	保健衛生費	6	公害対策費	7	畔田谷津保全事業	生活環境課		203
1	一般会計	4	衛生費	1	保健衛生費	6	公害対策費	9	放射性物質対策事業	生活環境課		204
1	一般会計	4	衛生費	1	保健衛生費	6	公害対策費	10	住宅用省エネルギー設備等導入促進事業	生活環境課		205

令和4年度 主要施策の成果の説明書
Ⅱ 主要施策の成果 詳細目次

会計		款		項		目		事業名称		担当所属		頁
1	一般会計	4	衛生費	2	清掃費	2	じん芥処理費	2	一般廃棄物収集運搬事業	廃棄物対策課		206
1	一般会計	4	衛生費	2	清掃費	2	じん芥処理費	4	不法投棄対策事業	廃棄物対策課		207
1	一般会計	4	衛生費	2	清掃費	2	じん芥処理費	5	減量化推進事業	廃棄物対策課		208
1	一般会計	4	衛生費	2	清掃費	2	じん芥処理費	6	佐倉市、酒々井町清掃組合負担金	廃棄物対策課		209
1	一般会計	4	衛生費	2	清掃費	3	し尿処理費	1	合併浄化槽普及促進事業	生活環境課		210
1	一般会計	4	衛生費	2	清掃費	3	し尿処理費	2	印旛衛生施設管理組合負担金	廃棄物対策課		211
1	一般会計	4	衛生費	3	上水道費	1	上水道施設費	1	水源確保事業	企画政策課		212
1	一般会計	4	衛生費	3	上水道費	1	上水道施設費	2	水道事業会計への繰出経費（コロナ対策分）	企画政策課		213
1	一般会計	5	農林水産業費	1	農業費	1	農業委員会費	2	農業委員会運営事業	農業委員会事務局		214
1	一般会計	5	農林水産業費	1	農業費	3	農業振興費	2	佐倉草ぶえの丘管理運営事業	佐倉草ぶえの丘		215
1	一般会計	5	農林水産業費	1	農業費	3	農業振興費	6	佐倉草ぶえの丘整備事業	農政課		216
1	一般会計	5	農林水産業費	1	農業費	3	農業振興費	7	担い手強化事業	農政課		217
1	一般会計	5	農林水産業費	1	農業費	3	農業振興費	8	地域資源推進事業	農政課		218
1	一般会計	5	農林水産業費	1	農業費	3	農業振興費	9	生産性向上事業	農政課		219
1	一般会計	5	農林水産業費	1	農業費	3	農業振興費	12	肥料価格高騰緊急対策事業	農政課		220
1	一般会計	5	農林水産業費	1	農業費	5	農地費	4	多面的機能保全対策事業	農政課		221
1	一般会計	5	農林水産業費	1	農業費	5	農地費	6	農業生産基盤整備事業	農政課		222
1	一般会計	6	商工費	1	商工費	2	商工振興費	5	商業・工業団体育成事業	商工振興課		223
1	一般会計	6	商工費	1	商工費	2	商工振興費	6	企業誘致事業	商工振興課		224
1	一般会計	6	商工費	1	商工費	2	商工振興費	7	市内商工業啓発事業	商工振興課		225
1	一般会計	6	商工費	1	商工費	2	商工振興費	9	街中にぎわい推進事業	商工振興課		226
1	一般会計	6	商工費	1	商工費	2	商工振興費	10	佐倉市スマートオフィスプレイス管理運営事業	商工振興課		227
1	一般会計	6	商工費	1	商工費	2	商工振興費	11	中小企業事業再構築支援事業	商工振興課		228
1	一般会計	6	商工費	1	商工費	2	商工振興費	12	市内中小店舗キャッシュレス推進応援事業	商工振興課		229
1	一般会計	6	商工費	1	商工費	2	商工振興費	13	市内消費喚起事業	商工振興課		230
1	一般会計	6	商工費	1	商工費	3	観光費	2	観光施設維持管理事業	佐倉の魅力推進課		231
1	一般会計	6	商工費	1	商工費	3	観光費	3	観光イベント事業	佐倉の魅力推進課		232
1	一般会計	6	商工費	1	商工費	3	観光費	7	観光資源創出事業	佐倉の魅力推進課		233
1	一般会計	6	商工費	1	商工費	3	観光費	8	飯野台観光振興施設管理運営事業	佐倉の魅力推進課		234
1	一般会計	6	商工費	1	商工費	3	観光費	9	マイクロツーリズム推進事業	佐倉の魅力推進課		235

令和4年度 主要施策の成果の説明書
Ⅱ 主要施策の成果 詳細目次

会計		款	項	目	事業名称	担当所属	頁
1	一般会計	7 土木費	1 土木管理費	1 土木総務費	2 産業廃棄物最終処分場管理事業	土木管理課	236
1	一般会計	7 土木費	1 土木管理費	1 土木総務費	4 交通安全施設維持管理事業	道路維持課	237
1	一般会計	7 土木費	1 土木管理費	1 土木総務費	5 交通安全施設整備事業	道路維持課	238
1	一般会計	7 土木費	1 土木管理費	2 建築管理費	4 既存建築物耐震改修等支援事業	建築指導課	239
1	一般会計	7 土木費	2 道路橋梁費	1 道路橋梁総務費	3 道路用地管理事業	土木管理課	240
1	一般会計	7 土木費	2 道路橋梁費	1 道路橋梁総務費	4 道路境界確定事業	土木管理課	241
1	一般会計	7 土木費	2 道路橋梁費	2 道路維持費	1 道路維持管理事業	道路維持課	242
1	一般会計	7 土木費	2 道路橋梁費	2 道路維持費	2 道路改修事業	道路維持課	243
1	一般会計	7 土木費	2 道路橋梁費	3 道路新設改良費	2 幹線道路整備事業	道路建設課	244
1	一般会計	7 土木費	2 道路橋梁費	3 道路新設改良費	3 生活道路整備事業	道路維持課	245
1	一般会計	7 土木費	2 道路橋梁費	4 河川費	2 河川関連施設改修事業	治水課	246
1	一般会計	7 土木費	2 道路橋梁費	4 河川費	3 河川関連施設維持管理事業	治水課	247
1	一般会計	7 土木費	2 道路橋梁費	4 河川費	4 急傾斜地崩壊対策事業	治水課	248
1	一般会計	7 土木費	2 道路橋梁費	5 橋梁維持費	1 橋梁維持事業	道路建設課	249
1	一般会計	7 土木費	3 都市計画費	3 街路事業費	2 3・4・5井野・酒々井線外1路線道路改良事業	道路建設課	250
1	一般会計	7 土木費	3 都市計画費	4 下水道費	2 下水道事業会計への繰出経費（臨時）	土木管理課	251
1	一般会計	7 土木費	3 都市計画費	4 下水道費	3 下水道事業会計への繰出経費（コロナ対策分）	企画政策課	252
1	一般会計	7 土木費	3 都市計画費	5 都市排水費	1 都市排水施設改修事業	治水課	253
1	一般会計	7 土木費	3 都市計画費	5 都市排水費	2 都市排水施設維持管理事業	治水課	254
1	一般会計	7 土木費	3 都市計画費	6 公園費	1 公園施設維持管理事業	公園緑地課	255
1	一般会計	7 土木費	3 都市計画費	6 公園費	2 グリーンリサイクル事業	公園緑地課	256
1	一般会計	7 土木費	3 都市計画費	6 公園費	3 （仮称）佐倉西部自然公園整備事業	公園緑地課	257
1	一般会計	7 土木費	3 都市計画費	6 公園費	4 公園整備事業	公園緑地課	258
1	一般会計	7 土木費	3 都市計画費	6 公園費	5 佐倉城址公園整備事業	公園緑地課	259
1	一般会計	7 土木費	3 都市計画費	6 公園費	7 岩名運動公園拡張整備事業	公園緑地課	260
1	一般会計	7 土木費	3 都市計画費	6 公園費	8 公園感染防止対策事業	公園緑地課	261
1	一般会計	7 土木費	3 都市計画費	7 緑化事業費	1 緑と花づくり事業	公園緑地課	262
1	一般会計	7 土木費	3 都市計画費	7 緑化事業費	2 街路樹維持管理事業	道路維持課	263
1	一般会計	7 土木費	3 都市計画費	7 緑化事業費	3 緑地維持管理事業	公園緑地課	264
1	一般会計	7 土木費	3 都市計画費	7 緑化事業費	4 緑地整備事業	公園緑地課	265

令和4年度 主要施策の成果の説明書
Ⅱ 主要施策の成果 詳細目次

会計		款	項	目	事業名称	担当所属	頁
1	一般会計	7 土木費	3 都市計画費	7 緑化事業費	5 緑地樹木緊急点検事業	公園緑地課	266
1	一般会計	7 土木費	4 住宅費	1 住宅費	3 住生活基本計画推進事業	住宅課	267
1	一般会計	8 消防費	1 消防費	1 消防総務費	2 佐倉市八街市酒々井町消防組合負担金	危機管理課	268
1	一般会計	8 消防費	1 消防費	2 非常備消防費	1 消防団運営一般事務費	危機管理課	269
1	一般会計	8 消防費	1 消防費	2 非常備消防費	2 消防団活動支援事業	危機管理課	270
1	一般会計	8 消防費	1 消防費	2 非常備消防費	3 消防団施設等維持整備事業	危機管理課	271
1	一般会計	8 消防費	1 消防費	3 消防施設費	1 消防施設整備事業	危機管理課	272
1	一般会計	9 教育費	1 教育総務費	3 教育研究指導費	4 学校図書館活性化事業	教育センター	273
1	一般会計	9 教育費	1 教育総務費	3 教育研究指導費	5 開かれた学校づくり推進事業	学務課	274
1	一般会計	9 教育費	1 教育総務費	3 教育研究指導費	6 教科書指導書購入事業	学務課	275
1	一般会計	9 教育費	1 教育総務費	3 教育研究指導費	7 児童生徒教育相談事業	教育センター	276
1	一般会計	9 教育費	1 教育総務費	3 教育研究指導費	10 英語・外国語活動推進事業	指導課	277
1	一般会計	9 教育費	1 教育総務費	3 教育研究指導費	11 特別支援教育推進事業	教育センター	278
1	一般会計	9 教育費	1 教育総務費	3 教育研究指導費	14 少人数指導支援推進事業	学務課	279
1	一般会計	9 教育費	1 教育総務費	3 教育研究指導費	18 インクルーシブ教育システム推進事業	教育センター	280
1	一般会計	9 教育費	1 教育総務費	3 教育研究指導費	22 学校行事中止等に係る経費補助事業	学務課	281
1	一般会計	9 教育費	1 教育総務費	4 教育センター費	4 道徳教育推進事業	教育センター	282
1	一般会計	9 教育費	2 小学校費	1 学校管理費	1 小学校学校運営事業	教育総務課	283
1	一般会計	9 教育費	2 小学校費	1 学校管理費	2 小学校保健管理事業	指導課	284
1	一般会計	9 教育費	2 小学校費	1 学校管理費	3 小学校施設管理事業	教育総務課	285
1	一般会計	9 教育費	2 小学校費	2 教育振興費	2 小学校教育振興事業	学務課	286
1	一般会計	9 教育費	2 小学校費	2 教育振興費	3 小学校就学援助事業	学務課	287
1	一般会計	9 教育費	2 小学校費	2 教育振興費	4 小学校情報機器整備事業	学務課	288
1	一般会計	9 教育費	2 小学校費	2 教育振興費	5 小規模特認校学習支援事業	学務課	289
1	一般会計	9 教育費	2 小学校費	3 学校建設費	1 小学校施設改築・改造事業	教育総務課	290
1	一般会計	9 教育費	2 小学校費	3 学校建設費	2 小学校体育施設整備事業	教育総務課	291
1	一般会計	9 教育費	3 中学校費	1 学校管理費	1 中学校学校運営事業	教育総務課	292
1	一般会計	9 教育費	3 中学校費	1 学校管理費	2 中学校保健管理事業	指導課	293
1	一般会計	9 教育費	3 中学校費	1 学校管理費	3 中学校施設管理事業	教育総務課	294
1	一般会計	9 教育費	3 中学校費	2 教育振興費	2 中学校教育振興事業	学務課	295

令和4年度 主要施策の成果の説明書
Ⅱ 主要施策の成果 詳細目次

会計		款	項	目	事業名称		担当所属	頁
1	一般会計	9 教育費	3 中学校費	2 教育振興費	3	中学校就学援助事業	学務課	296
1	一般会計	9 教育費	3 中学校費	2 教育振興費	4	中学校情報機器整備事業	学務課	297
1	一般会計	9 教育費	3 中学校費	3 学校建設費	1	中学校施設改築・改造事業	教育総務課	298
1	一般会計	9 教育費	4 幼稚園費	1 幼稚園費	8	私立幼稚園助成事業	こども保育課	299
1	一般会計	9 教育費	4 幼稚園費	1 幼稚園費	9	幼稚園利用費等給付事業	こども政策課	300
1	一般会計	9 教育費	4 幼稚園費	1 幼稚園費	10	私立幼稚園助成事業（コロナ対策分）	こども保育課	301
1	一般会計	9 教育費	5 社会教育費	1 社会教育総務費	7	文化普及事業	文化課	302
1	一般会計	9 教育費	5 社会教育費	1 社会教育総務費	10	（仮称）佐倉図書館等新町活性化複合施設整備事業	社会教育課	303
1	一般会計	9 教育費	5 社会教育費	1 社会教育総務費	11	旧佐倉図書館跡地駐車場整備事業	社会教育課	304
1	一般会計	9 教育費	5 社会教育費	2 文化財保護費	4	市内遺跡所在確認調査事業	文化課	305
1	一般会計	9 教育費	5 社会教育費	2 文化財保護費	6	文化財施設管理運営事業	文化課	306
1	一般会計	9 教育費	5 社会教育費	2 文化財保護費	10	日本遺産活用推進事業	文化課	307
1	一般会計	9 教育費	5 社会教育費	2 文化財保護費	11	文化財保存整備事業	文化課	308
1	一般会計	9 教育費	5 社会教育費	3 公民館費	2-7	公民館管理運営事業	各公民館	309
1	一般会計	9 教育費	5 社会教育費	3 公民館費	8-13	公民館活動事業	各公民館	310
1	一般会計	9 教育費	5 社会教育費	3 公民館費	14	市民カレッジ活動事業	中央公民館	313
1	一般会計	9 教育費	5 社会教育費	3 公民館費	19	シニア世代デジタル講座事業	中央公民館	314
1	一般会計	9 教育費	5 社会教育費	3 公民館費	20	根郷公民館コロナ対策施設改修事業	根郷公民館	315
1	一般会計	9 教育費	5 社会教育費	4 図書館費	2	図書館一般事務費	佐倉図書館	316
1	一般会計	9 教育費	5 社会教育費	4 図書館費	3-5	図書館管理運営事業	各図書館	318
1	一般会計	9 教育費	5 社会教育費	4 図書館費	7	図書資料購入事業	佐倉図書館	319
1	一般会計	9 教育費	5 社会教育費	4 図書館費	11	佐倉南図書館改修事業	佐倉南図書館	321
1	一般会計	9 教育費	5 社会教育費	4 図書館費	12	夢咲くら館管理運営事業	佐倉図書館	322
1	一般会計	9 教育費	5 社会教育費	5 音楽ホール費	2	市民音楽ホール一般事務費	市民音楽ホール	323
1	一般会計	9 教育費	5 社会教育費	5 音楽ホール費	3	市民音楽ホール自主文化事業	市民音楽ホール	324
1	一般会計	9 教育費	5 社会教育費	5 音楽ホール費	4	学校巡回音楽会・教室事業	市民音楽ホール	327
1	一般会計	9 教育費	5 社会教育費	6 美術館費	2	美術館一般管理費	美術館	328
1	一般会計	9 教育費	5 社会教育費	6 美術館費	5	美術館収蔵作品展事業	美術館	329
1	一般会計	9 教育費	5 社会教育費	6 美術館費	6	美術館企画展事業	美術館	330
1	一般会計	9 教育費	5 社会教育費	6 美術館費	8	美術館施設改修事業	美術館	331

令和4年度 主要施策の成果の説明書
Ⅱ 主要施策の成果 詳細目次

会計		款	項	目	事業名称		担当所属	頁
1	一般会計	9 教育費	5 社会教育費	6 美術館費	9	美術館施設改修事業（コロナ対策分）	美術館	332
1	一般会計	9 教育費	6 保健体育費	1 保健体育総務費	3	学校通学路安全確保事業	学務課	333
1	一般会計	9 教育費	6 保健体育費	1 保健体育総務費	4	学校スポーツ開放推進事業	社会教育課	334
1	一般会計	9 教育費	6 保健体育費	1 保健体育総務費	13	感染症対策支援事業	指導課	335
1	一般会計	9 教育費	6 保健体育費	1 保健体育総務費	14	抗原検査キット等配布事業（幼稚園分）	指導課	336
1	一般会計	9 教育費	6 保健体育費	1 保健体育総務費	15	抗原検査キット等配布事業（小中学校分）	指導課	337
1	一般会計	9 教育費	6 保健体育費	2 体育施設費	1	スポーツ施設管理運営事業	生涯スポーツ課	338
1	一般会計	9 教育費	6 保健体育費	2 体育施設費	2	スポーツ施設整備事業	生涯スポーツ課	340
1	一般会計	9 教育費	6 保健体育費	2 体育施設費	3	スポーツ施設整備事業（コロナ対策分）	生涯スポーツ課	341
1	一般会計	9 教育費	6 保健体育費	3 学校給食費	2	学校給食管理運営事業	指導課	342
1	一般会計	9 教育費	6 保健体育費	3 学校給食費	3	小学校給食施設整備事業	指導課	343
1	一般会計	9 教育費	6 保健体育費	3 学校給食費	4	中学校給食施設整備事業	指導課	344
1	一般会計	9 教育費	6 保健体育費	3 学校給食費	5	学校給食物価高騰対策支援事業	指導課	345
1	一般会計	9 教育費	6 保健体育費	3 学校給食費	6	第3子以降学校給食費補助事業	指導課	346
1	一般会計	9 教育費	6 保健体育費	3 学校給食費	7	市立幼・小・中学校給食費補助事業	指導課	347
1	一般会計	10 災害復旧費	1 公共土木施設災害復旧費	1 道路橋梁災害復旧費	2	明神橋（6－108号線）災害復旧費	道路建設課	348
国民健康保険特別会計								
2	国民健康保険特別会計	1 総務費	2 徴税費	1 賦課徴収費	3	収納事務費（健康保険税分）	債権管理課	349
2	国民健康保険特別会計	1 総務費	2 徴税費	1 賦課徴収費	4	収納方法拡大事業（健康保険税分）	債権管理課	350
2	国民健康保険特別会計	2 保険給付費	1 療養諸費	1 一般被保険者療養給付費	1	一般被保険者療養給付費	健康保険課	351
2	国民健康保険特別会計	2 保険給付費	6 傷病手当諸費	1 傷病手当金	1	傷病手当金	健康保険課	352
2	国民健康保険特別会計	5 保健事業費	1 特定健康診査等事業費	1 特定健康診査等事業費	1	特定健診事業	健康保険課	353
2	国民健康保険特別会計	5 保健事業費	1 特定健康診査等事業費	1 特定健康診査等事業費	2	特定保健指導事業	健康保険課	354
2	国民健康保険特別会計	5 保健事業費	2 保健事業費	1 保健事業費	2	人間ドック助成事業	健康保険課	355
介護保険特別会計								
6	介護保険特別会計	1 総務費	3 介護認定費	1 介護認定費	1	介護認定審査会事業	介護保険課	356
6	介護保険特別会計	1 総務費	3 介護認定費	1 介護認定費	2	認定調査事業	介護保険課	357
6	介護保険特別会計	2 保険給付費	1 介護及び支援サービス等諸費	1 介護サービス等給付費	1	居宅介護サービス等給付費	介護保険課	358
6	介護保険特別会計	2 保険給付費	1 介護及び支援サービス等諸費	1 介護サービス等給付費	5	施設介護サービス給付費	介護保険課	359
6	介護保険特別会計	2 保険給付費	1 介護及び支援サービス等諸費	2 介護予防サービス等諸費	1	介護予防サービス給付費	介護保険課	360

令和4年度 主要施策の成果の説明書
Ⅱ 主要施策の成果 詳細目次

会計		款	項	目	事業名称		担当所属	頁
6	介護保険特別会計	2 保険給付費	5 市町村特別給付費	1 市町村特別給付費	1	紙おむつ等購入助成事業	高齢者福祉課	361
6	介護保険特別会計	3 地域支援事業費	2 介護予防・日常生活支援総合事業費	1 介護予防・生活支援サービス事業費	1	第一号訪問事業	高齢者福祉課	362
6	介護保険特別会計	3 地域支援事業費	2 介護予防・日常生活支援総合事業費	1 介護予防・生活支援サービス事業費	2	第一号通所事業	高齢者福祉課	363
6	介護保険特別会計	3 地域支援事業費	2 介護予防・日常生活支援総合事業費	2 第一号介護予防支援事業費	1	第一号介護予防支援事業	高齢者福祉課	364
6	介護保険特別会計	3 地域支援事業費	2 介護予防・日常生活支援総合事業費	5 一般介護予防事業費	1	介護予防普及啓発事業	高齢者福祉課	365
6	介護保険特別会計	3 地域支援事業費	2 介護予防・日常生活支援総合事業費	5 一般介護予防事業費	2	地域介護予防活動支援事業	高齢者福祉課	366
6	介護保険特別会計	3 地域支援事業費	3 包括支援事業・任意事業費	1 包括支援事業費	1	包括支援事業	高齢者福祉課	367
6	介護保険特別会計	3 地域支援事業費	3 包括支援事業・任意事業費	1 包括支援事業費	2	生活支援体制整備事業	高齢者福祉課	368
6	介護保険特別会計	3 地域支援事業費	3 包括支援事業・任意事業費	1 包括支援事業費	3	認知症施策推進事業	高齢者福祉課	369
6	介護保険特別会計	3 地域支援事業費	3 包括支援事業・任意事業費	2 任意事業費	4	その他支援事業	高齢者福祉課	370
災害共済事業特別会計								
7	災害共済事業特別会計	1 事業費	1 事業費	1 事業費	1	災害共済事業運営事業	危機管理課	371
後期高齢者医療特別会計								
8	後期高齢者医療特別会計	1 総務費	1 総務管理費	1 一般管理費	1	後期高齢者医療一般事務費	健康保険課	372
8	後期高齢者医療特別会計	1 総務費	2 徴収費	1 徴収費	1	保険料徴収事務費	健康保険課	373

I 令和4年度決算の概要

1. 会計別決算総括表

(単位:円)

会計区分		歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	対前年度増減率(%)	
					歳入	歳出
一般会計		59,728,971,271	56,876,152,433	2,852,818,838	1.1	2.0
特別会計	国民健康保険	17,611,487,008	17,601,194,331	10,292,677	△ 3.1	△ 3.1
	公共用地取得事業	857,020	857,020	0	△ 72.6	△ 72.6
	農業集落排水事業	18,192,300	18,192,300	0	12.6	12.6
	介護保険	14,011,346,548	13,760,649,433	250,697,115	4.9	4.6
	災害共済事業	5,277,771	1,121,163	4,156,608	6.7	41.1
	後期高齢者医療	2,980,237,609	2,975,318,390	4,919,219	7.6	7.7
合 計		94,356,369,527	91,233,485,070	3,122,884,457	1.0	1.5

2. 一般会計款別決算書

(1) 歳入

(単位:円)

区 分	4年度		3年度		対前年度増減額	対前年度増減率(%)
	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)		
1 市税	24,433,482,224	40.9	23,860,614,356	40.4	572,867,868	2.4
2 地方譲与税	434,222,001	0.7	464,581,001	0.8	△ 30,359,000	△ 6.5
3 利子割交付金	17,198,000	0.0	18,304,000	0.0	△ 1,106,000	△ 6.0
4 配当割交付金	173,251,000	0.3	188,659,000	0.3	△ 15,408,000	△ 8.2
5 株式等譲渡所得割交付金	137,874,000	0.2	237,642,000	0.4	△ 99,768,000	△ 42.0
6 法人事業税交付金	279,853,000	0.5	245,051,000	0.4	34,802,000	14.2
7 地方消費税交付金	3,959,066,000	6.6	3,844,243,000	6.5	114,823,000	3.0
8 ゴルフ場利用税交付金	36,832,253	0.1	36,848,482	0.1	△ 16,229	0.0
9 自動車取得税交付金	1,456,490	0.0	441	0.0	1,456,049	330,169.8
10 環境性能割交付金	65,778,000	0.1	59,089,383	0.1	6,688,617	11.3
11 地方特例交付金	167,129,000	0.3	305,221,000	0.5	△ 138,092,000	△ 45.2
12 地方交付税	3,757,872,000	6.3	3,422,791,000	5.8	335,081,000	9.8
13 交通安全対策特別交付金	17,180,000	0.0	18,726,000	0.0	△ 1,546,000	△ 8.3
14 分担金及び負担金	409,675,030	0.7	332,485,697	0.6	77,189,333	23.2
15 使用料及び手数料	510,072,240	0.9	480,053,275	0.8	30,018,965	6.3
16 国庫支出金	12,644,459,243	21.2	14,179,535,734	24.0	△ 1,535,076,491	△ 10.8
17 県支出金	4,052,253,048	6.8	3,936,458,392	6.7	115,794,656	2.9
18 財産収入	114,657,176	0.2	148,379,303	0.3	△ 33,722,127	△ 22.7
19 寄附金	55,377,631	0.1	37,209,960	0.1	18,167,671	48.8
20 繰入金	1,866,098,984	3.1	612,379,794	1.0	1,253,719,190	204.7
21 繰越金	3,307,122,970	5.5	2,754,054,307	4.7	553,068,663	20.1
22 諸収入	750,215,981	1.3	588,319,795	1.0	161,896,186	27.5
23 市債	2,537,845,000	4.2	3,308,500,000	5.6	△ 770,655,000	△ 23.3
合 計	59,728,971,271	100.0	59,079,146,920	100.0	649,824,351	1.1

(2) 歳 出

(単位:円)

区 分	4年度		3年度		対前年度増減額	対前年度増減率(%)
	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)		
1 議会費	404,860,571	0.7	385,691,371	0.7	19,169,200	5.0
2 総務費	8,399,597,645	14.8	7,933,220,898	14.2	466,376,747	5.9
3 民生費	23,818,855,135	41.9	25,177,505,414	45.1	△ 1,358,650,279	△ 5.4
4 衛生費	5,521,961,779	9.7	5,646,915,474	10.1	△ 124,953,695	△ 2.2
5 農林水産業費	661,158,718	1.2	695,109,806	1.2	△ 33,951,088	△ 4.9
6 商工費	801,976,532	1.4	950,510,957	1.7	△ 148,534,425	△ 15.6
7 土木費	3,592,751,550	6.3	2,939,448,243	5.3	653,303,307	22.2
8 消防費	2,837,321,849	5.0	2,803,751,269	5.0	33,570,580	1.2
9 教育費	7,506,511,781	13.2	6,353,744,213	11.4	1,152,767,568	18.1
10 災害復旧費	250,860,040	0.4	30,405,473	0.1	220,454,567	725.0
11 公債費	3,080,296,833	5.4	2,855,720,832	5.1	224,576,001	7.9
12 予備費	0	0.0	0	0.0	0	-
合 計	56,876,152,433	100.0	55,772,023,950	100.0	1,104,128,483	2.0

※構成比欄は、表示単位未満四捨五入の関係で積み上げと合計が一致しない場合があります。

3. 地方債現在高調書

(1) 目 的 別

(単位 千円)

区 分	前 年 度 末 現 在 高	本 年 度 発 行 額	本 年 度 償 還 額		本 年 度 末 現 在 高
			元 金	利 子	
1 . 普 通 会 計 債	31,614,572	2,537,845	2,992,977	87,320	31,159,440
(1) 公 共 事 業 等 債	1,183,411	130,700	72,670	4,209	1,241,441
(2) 防災・減災・国土強靱化 緊急対策事業債	268,900	290,500	0	505	559,400
(3) 公営住宅建設事業債	353,419	0	45,449	6,301	307,970
(4) 災 害 復 旧 事 業 債	141,053	96,700	626	121	237,127
(5) 緊急防災・減災 事業債	59,618	0	50,162	178	9,456
(6) 全 国 防 災 事 業 債	235,941	0	42,168	1,319	193,773
(7) 教育・福祉施設等 整備事業債	4,059,037	107,600	431,857	19,088	3,734,780
(8) 一 般 単 独 事 業 債	2,197,020	1,088,400	391,710	5,890	2,893,710
(9) 公 共 用 地 先 行 取得等事業債	0	0	0	0	0
(10) 厚生福祉施設 整備事業債	0	0	0	0	0
(11) 財 源 対 策 債	979,129	84,200	56,409	4,326	1,006,920
(12) 減 収 補 て ん 債	59,950	0	14,987	1	44,963
(13) 臨 時 財 政 特 例 債	0	0	0	0	0
(14) 減 税 補 て ん 債	305,954	0	110,593	521	195,361
(15) 臨 時 税 収 補 て ん 債	0	0	0	0	0
(16) 臨 時 財 政 対 策 債	21,213,910	729,845	1,736,760	37,775	20,206,995
(17) 県 貸 付 金	0	0	0	0	0
(18) そ の 他	557,230	9,900	39,586	7,086	527,544
2 . 公 営 企 業 債	6,328	0	3,097	239	3,231
(1) 農業集落排水事業債	6,328	0	3,097	239	3,231
合 計	31,620,900	2,537,845	2,996,074	87,559	31,162,671

(2) 借 入 先 別

(単位 千円)

借 入 先 別	前年度末現在高	本年度発行額	本年度償還元金	本年度末現在高
財 政 融 資 資 金	23,174,203	1,420,245	2,020,258	22,574,190
簡 保 資 金	460,194	0	138,278	321,916
郵 貯 資 金	233,557	0	61,924	171,633
地方公共団体金融機構	5,202,765	9,900	373,352	4,839,313
市 中 銀 行	2,152	0	1,074	1,078
そ の 他 の 金 融 機 関	1,793,130	1,059,900	286,324	2,566,706
保 険 会 社	0	0	0	0
共 済 等	754,899	47,800	114,864	687,835
県 貸 付 金	0	0	0	0
合 計	31,620,900	2,537,845	2,996,074	31,162,671

4. 定額運用基金運用状況調書

(1) 一般会計

○中小企業資金融資基金

(単位:円)

区分	前年度末 現在高	決 算 年 度 中 増 減 高					決算年度末 現在高
		基金の増 (積立金)	運用による増	運用による減	他会計からの 補填金	他会計への 編入金	
現 金	150,000,000						150,000,000
合 計	150,000,000						150,000,000

○文化財産等取得基金

(単位:円)

区分	前年度末 現在高	決 算 年 度 中 増 減 高					決算年度末 現在高
		基金の増 (積立金)	運用による増	運用による減	他会計からの 補填金	他会計への 編入金	
現 金	10,000,000		(16,833) 16,833			16,833	10,000,000
備 品	0						0
合 計	10,000,000		(16,833) 16,833			16,833	10,000,000

※ () は、運用による増に利息が含まれる場合の利息分

○音楽ホール事業基金

(単位:円)

区分	前年度末 現在高	決 算 年 度 中 増 減 高					決算年度末 現在高
		基金の増 (積立金)	運用による増	運用による減	他会計からの 補填金	他会計への 編入金	
現 金	30,000,000		3,697,710	2,591,740		1,105,970	30,000,000
前金収入	0						0
合 計	30,000,000		3,697,710	2,591,740		1,105,970	30,000,000

○国民健康保険高額療養費貸付基金

(単位:円)

区分	前年度末 現在高	決 算 年 度 中 増 減 高					決算年度末 現在高
		基金の増 (積立金)	運用による増	運用による減	他会計からの 補填金	他会計への 編入金	
現 金 (預 金)	5,000,000					5,000,000	0
貸 付	0						0
合 計	5,000,000					5,000,000	0

○美術館事業基金

(単位:円)

区分	前年度末 現在高	決 算 年 度 中 増 減 高					決算年度末 現在高
		基金の増 (積立金)	運用による増	運用による減	他会計からの 補填金	他会計への編 入金	
現 金	30,000,000					30,000,000	0
合 計	30,000,000					30,000,000	0

(2) 特別会計

○土地開発基金

(単位:円)

区分	前年度末 現在高	決 算 年 度 中 増 減 高					決算年度末 現在高
		基金の増 (積立金)	運用による増	運用による減	他会計からの 補填金	他会計への編 入金	
現 金	1,738,607,828		(857,020) 857,020			1,638,607,828	100,857,020
土 地	546,000,000						546,000,000
合 計	2,284,607,828		(857,020) 857,020			1,638,607,828	646,857,020

※ () は、運用による増に利息が含まれる場合の利息分

Ⅱ 主要施策の成果

1. 記載対象事業

次のいずれかに該当し、かつ市の主要な事業と認められる予算事業を記載対象としています。

- ① 歳出額が 1,000 万円を超える予算事業
- ② 令和 4 年度予算で示された主要事業
- ③ 新型コロナウイルス感染症関係事業
- ④ 上記以外の予算事業（例えば、第 5 次佐倉市総合計画前期基本計画・実施計画や、昨年度（令和 3 年度）の「主要施策の成果の説明書」に掲載された予算事業等）で、特に事業の効果が認められるなど、担当部署において主要事業として報告をしようとする予算事業

2. 記載内容

予算事業ごとに、「予算事業名」、「担当所属（担当所属名に変更等があった場合は括弧内に令和 4 年度の担当所属名を記載）」、「予算額・決算額」、「決算額の節別内訳」について説明しています。

また、成果の説明として、以下の項目を表示しています。

（1）実施計画の概要

「事業の内容」、「事業の目的」、「事業の効果」を説明しています。

（2）事業の概要、活動指標・成果指標

当該年度に実施した事業の概要及び成果を説明しています。

成果を明らかにするため、施策・事業の成果を表す事項については、なるべく数値を用いて説明しています。

なお、指標については、原則として表形式により記載することとし、実績の推移がわかるよう令和 2 年～令和 3 年度の数値も併せて表記するようにしています。

1 款 1 項 1 目

【会計】一般会計

1 款：議会費 1 項：議会費 1 目：議会費

事業	4	議会会議運営事業
担当所属	議会事務局	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
4,479,000	4,221,287	4,221,287	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

08	旅費	1,824,680	10	需用費	73,707
12	委託料	2,322,900			

【実施計画の概要】

事業の内容	・本会議及び委員会等（会議等）の円滑な議事進行に資する資料を調製するとともに、関係機関等との連絡調整を行います。 ・会議録を調製し、必要な配布、配架を行います。
事業の目的	・会議等における、議長あるいは委員長等の議事進行を支援し、会議等が円滑に実施されることを目的とします。 ・会議等の記録を保全することを目的とします。
事業の効果	・会議等が適正かつ効率よく開催されることにより、審議等の質が向上します。 ・会議等の記録が保存されます。

【事業の概要】

- ・本会議及び委員会の円滑な進行を確保するため、提出議案の整理や議長、委員長の議事進行の支援を行いました。また、各会議の議事録を調製し、議員図書室及び市政資料室への配架等、適切な管理を行いました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
本会議開催日数	25 日	27 日	24 日
委員会開催日数（延べ日数）	81 日	83 日	86 日
会議録の発行件数（うち委員会会議録発行件数）	81(77)件	79(75)件	82(78)件

1 款 1 項 1 目

第 5 章 市民とともに創る 多様性のある 持続可能なまち（市民参加・自治体運営）

【会計】一般会計

基本施策 98 その他事業

1 款：議会費 1 項：議会費 1 目：議会費 施策 98 その他事業（議会・選挙）

事業	5	議会広報事業
担当所属	議会事務局	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
9,535,000	9,077,305	9,077,305	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

10	需用費	1,578,346	11	役務費	1,612,034
12	委託料	5,292,925	13	使用料及び賃借料	594,000

【実施計画の概要】

事業の内容	・「議会だより」を年 4 回発行し、新聞折込等を通じて、配布、配架します。 ・定例会における本会議の模様を、CATV296 を通じて録画放送します。 ・本会議及び委員会の会議録を市議会ホームページに掲載します。 ・本会議（定例会及び臨時会）の模様（ライブ中継・録画中継）をインターネットを活用し中継します。
事業の目的	・議会の活動状況を広く市民に周知することを目的とします。
事業の効果	・議会活動に関する情報を通して、市民の市政に対する関心と理解が高まります。

【事業の概要】

- ・議会広報紙の発行や CATV296 による録画放送、インターネットによる生中継及び録画中継、ホームページによる市民への周知を行いました。なお、本年度より、市内郵便局 20 箇所に新たに議会広報紙を配架し、さらなる周知に努めました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
「議会だより」の年間発行部数（年 4 回発行）	193,900 部	200,000 部	206,800 部
会議録検索システムによる本会議録閲覧件数	18,885 件	18,884 件	14,134 件
インターネットライブ中継実施日数	25 日	27 日	24 日
インターネット中継利用件数（ライブ）	789 件	652 件	407 件
インターネット中継利用件数（録画）	3,364 件	2,916 件	3,902 件

1 款 1 項 1 目

第 5 章 市民とともに創る 多様性のある 持続可能なまち（市民参加・自治体運営）

【会計】一般会計

基本施策 98 その他事業

1 款：議会費 1 項：議会費 1 目：議会費 施策 98 その他事業（議会・選挙）

事業	6	市議会 ICT 化推進事業
担当所属	議会事務局	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	（財源内訳）				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
21,376,000	14,205,282	738,931	13,466,351	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

10	需用費	90,742	12	委託料	4,799,740
13	使用料及び賃借料	170,500	17	備品購入費	9,144,300

【実施計画の概要】

事業の内容	・タブレット端末及びクラウド型文書共有システムを活用した議会運営を行います。
事業の目的	・議会運営の効率化・円滑化を推進するとともに、コロナ禍など非常時における会議形態の一つとしてオンラインによる方法を確保します。
事業の効果	・タブレット端末及びクラウド型文書共有システムを活用することにより、文書管理の効率化、迅速な情報共有など議会運営の効率化が図られるとともに、資料の電子化によるペーパーレス化にもつながります。また、非常事態下においても会議等を実施するなど、議会機能を堅持します。

【事業の概要】（※新型コロナ対策）

- ・議場、委員会室等に Wi-Fi 環境を整備するとともに、タブレット端末及びクラウド型文書共有システムを導入しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
タブレット端末を活用した本会議開催日数	0 日	—	—
タブレット端末を活用した委員会開催日数（延べ日数）	0 日	—	—
クラウド型文書共有システムを活用して配付した議案等の件数	0 件	—	—

2 款 1 項 1 目

【会計】一般会計

2 款：総務費 1 項：総務管理費 1 目：一般管理費

事業	2	秘書一般事務費
担当所属	秘書課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
17,248,000	16,092,973	16,092,973	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

07	報償費	377,577	08	旅費	5,424
09	交際費	406,025	10	需用費	366,502
11	役務費	43,535	12	委託料	11,620,400
13	使用料及び賃借料	1,667,510	18	負担金補助及び交付金	1,606,000

【実施計画の概要】

事業の内容	・市長、副市長の秘書事務を行います。 ・市政の発展等に顕著な功労のあった者等の表彰を行うとともに、市政の発展や地域社会の発展に寄与している者等に感謝状等を贈呈します。
事業の目的	・市長、副市長が滞りなく公務に従事できるよう日程管理等を行うことにより、適正な市政運営に取り組めます。 ・市政の発展等に顕著な功労のあった者等を称え、感謝状等の贈呈や表彰をすることにより、さらなる市政発展につながります。
事業の効果	・市長、副市長の出張等に伴う諸事務（日程調整や交際費の支出等）の適正な処理により、市長、副市長がより効率的に滞りなく公務に従事できるようになります。 ・市政発展等に顕著な功労のあった方々の発掘に努め、その方の功績を称えることにより、さらなる市政発展につながります。

【事業の概要】

- ・市政の発展等に顕著な功労のあった者、11 名 2 団体の表彰を行いました。
- ・市民の模範として地域社会の発展に寄与している者、2 名 4 団体に感謝状を贈呈しました。
- ・市長、副市長の公務を円滑に実施するため、運行管理業務委託を実施しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
市長出張回数	379 回	222 回	154 回
佐倉市表彰受賞者数	13 人	21 人	15 人
感謝状贈呈者数	6 人	3 人	—

事業	1	人事管理事業
担当所属	人事課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
76,223,000	73,813,921	71,648,353	0	63,435	0	2,102,133

【決算額の節別内訳】（円）

01	報酬	51,780,900	03	職員手当等	7,654,594
04	共済費	7,777,058	08	旅費	2,247,357
10	需用費	380,029	12	委託料	1,090,507
18	負担金補助及び交付金	2,838,700	21	補償補てん及び賠償金	44,776

【実施計画の概要】

事業の内容	・職員の採用、昇任試験の実施、会計年度任用職員の採用など人事管理に関する事務全般を行います。
事業の目的	・適正な人事給与制度の構築を図るとともに、公正な職員採用事務や昇任試験等を実施し、組織の活性化や職員の能力開発、意欲の高揚を図ります。
事業の効果	・優秀な職員の採用、適正な職員配置により、職場の活性化等が図られ、ひいては市民サービスの向上につながります。

【事業の概要】

- ・職員の採用、昇任試験の実施、会計年度任用職員の採用など人事管理に関する事務全般を行いました。
- ・人事評価制度の運用を徹底し、職員の能力開発・職場の活性化を行いました。
- ・職員の定年が段階的に引き上げられることに伴う総労働力への影響を考慮し、定員適正化計画の見直しを行いました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
昇任試験の実施回数	2 回	2 回	2 回
主任主事相当職昇任試験の受験率	90.5%	91.1%	98.0%
主査相当職昇任試験の受験率	47.7%	47.8%	58.7%
正規職員人数（翌年度 4 月 1 日職員数・育休代替任期付職員を除く）	996 人	1,002 人	1,006 人

事業	2	障害者庁内就労推進事業
担当所属	人事課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
12,143,000	9,584,601	9,584,601	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

01	報酬	6,734,080	03	職員手当等	1,241,046
04	共済費	1,225,109	08	旅費	384,366

【実施計画の概要】

事業の内容	・ 任用環境が厳しい障害者に対し、就労機会の場として、市役所内にチャレンジドオフィスさくらを設置し、職業訓練を実施することで、一般企業で働く能力を養成します。 ・ 職業訓練を実施した障害者と、事業者との雇用締結を支援します。
事業の目的	・ 任用環境が厳しい状況下にある障害者について、市役所内で職業訓練を実施し、一般企業で働く能力を養成します。
事業の効果	・ 社会的マナーやルール等、一般企業で働く能力の習得を行います。 ・ 一般企業への就労を目標としています。

【事業の概要】

- ・ 障害者 4 人を任用しました。
- ・ 障害者の就労の支援を行う支援員 1 人を任用しました。
- ・ 企業説明会への参加や会社訪問等の就職活動を支援しました。
- ・ 就労支援の結果、1 人が一般企業へ就職しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
障害者の任用人数	4 人	5 人	5 人
障害者を支援する就労支援員の任用人数	1 人	1 人	1 人
訓練実施数	281 業務	218 業務	170 業務
庁内の受託業務数	284 業務	224 業務	170 業務
一般企業に就職できた人数	1 人	1 人	1 人

2 款 1 項 2 目

【会計】一般会計

2 款：総務費 1 項：総務管理費 2 目：人事管理費

事業	3	職員厚生事業
担当所属	人事課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
16,135,000	15,243,876	14,170,876	0	0	0	1,073,000

【決算額の節別内訳】（円）

01	報酬	1,440,000	07	報償費	120,000
08	旅費	64,454	10	需用費	1,029,371
11	役務費	60,395	12	委託料	9,888,195
18	負担金補助及び交付金	2,641,461			

【実施計画の概要】

事業の内容	・ 職員の福利厚生に関する事業全般を行います。 ・ 主な事業としては、職員の健康管理、被服の貸与、千葉県市町村職員共済組合等との連携に関する業務を行います。
事業の目的	・ 職場における職員の安全と健康を確保し、快適な職場環境の形成を行います。 ・ 千葉県市町村職員共済組合等を通じた福利厚生事業を実施することで、職員の元気回復、職務能率の向上を図ります。
事業の効果	・ 職員定期健康診断、安全衛生委員会活動、予防接種、健康相談事業等の実施により、健康保持・健康管理を行います。 ・ 福利厚生事業を実施することで、職員の職務能率の向上を行います。

【事業の概要】

- ・ 職員の健康診断を実施し、1,412 人が受診しました。
- ・ 職員のストレスチェックを実施し、1,334 人が受診しました。
- ・ 職員の新規採用や既貸与品の消耗等に伴い、作業服を購入し、貸与しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
職員の健康管理の各種事業数	4 事業	4 事業	4 事業
職員定期健康診断受診状況	99.4%	99.0%	99.8%
健康相談の実施	12 回	12 回	8 回

事業	4	職員研修事業
担当所属		人事課

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
6,624,000	6,108,414	6,055,517	0	0	0	52,897

【決算額の節別内訳】（円）

08	旅費	530,985	10	需用費	43,348
11	役務費	20,150	12	委託料	3,782,674
18	負担金補助及び交付金	1,731,257			

【実施計画の概要】

事業の内容	・新たな行政課題に的確に対応し、秩序ある市政の発展を計画的、継続的に推進できる職員の養成を目指し、「佐倉市人材育成の基本方針」に基づき、各種研修を充実させ実行します。研修は、職場外研修（研修担当課主催研修・派遣研修）、職場研修、自己啓発の 3 本を柱として実施していきます。
事業の目的	・職員の仕事に関する知識、技術、対人能力、課題発見・解決能力などの向上を目的とし、時代の変化に的確に対応できる人材の育成を図ります。
事業の効果	・満足度の高い、内容の充実した職員研修を実施することによって、職員の能力アップが図られ、問題解決能力や政策形成能力などの充実が期待できます。また、広い視野と豊かな見識を持ち、市民のニーズを的確に捉え、敏感に対応できる職員の育成により、柔軟で弾力的な組織づくりが可能となります。

【事業の概要】

- ・「佐倉市人材育成の基本方針」に基づき、各種研修を充実させ実行しました。
- ・職員が自身の階層、役職に応じて、主体的に研修内容を選択できる派遣研修を実施しました。
- ・人事評価制度をより適正に運用するため、人事評価研修を拡充（評価者訓練の導入）しました。
- ・適正な事務執行のため、所属長に対してリスクマネジメントを内容とした研修を実施しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
市主催による階層別研修の実施回数	10 回	10 回	10 回
職員研修の満足度	85.4%	87.2%	86%

事業	3	広報等発行事業
担当所属		広報課

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
31,870,000	27,697,573	26,795,045	0	0	0	902,528

【決算額の節別内訳】（円）

01	報酬	912,780	03	職員手当等	181,764
07	報償費	102,000	08	旅費	71,820
10	需用費	11,311,340	11	役務費	424,108
12	委託料	14,154,871	13	使用料及び賃借料	391,050
17	備品購入費	147,840			

【実施計画の概要】

事業の内容	・ 広報紙を媒体として、市民への市政に関する情報や市内行事などに関するの情報提供を行います。 ・ 広報紙は毎月 1 日、15 日の 2 回発行し、新聞折り込み、ポスティング、公共施設などへの設置により、広く市民に行きわたるようにします。
事業の目的	・ 市民に市政に関する必要な事項を周知し、市民の理解と協力を深めることを目的とします。
事業の効果	・ 積極的に市の情報を提供していくことにより、市民の市政への関心を高め、理解と協力を深めます。

【事業の概要】

- ・ 広報紙「こうほう佐倉」を毎月 1 日と 15 日の定期に発行しました。また、各号新聞折り込み、郵送、公共施設などへの設置により配布しました。

印刷部数：1,264,000 部

配布：新聞折り込み 1,044,600 部 公共施設等配布 219,400 部

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
広報紙発行回数	24 回	25 回	27 回
広報紙 1 回あたりの発行部数	52,667 部	55,480 部	55,670 部
広報紙 1 回あたりの新聞折り込み等部数	43,525 部	45,750 部	47,750 部
広報紙 1 回あたりの公共施設等配布部数	9,142 部	9,730 部	7,920 部
市広報紙を活用する人の割合	57.9%	49.5%	60.1%

2 款 1 項 5 目

第 5 章 市民とともに創る 多様性のある 持続可能なまち（市民参加・自治体運営）

【会計】一般会計

基本施策 3 情報発信・共有、広聴

2 款：総務費 1 項：総務管理費 5 目：広報費 施策 1 シティプロモーションの視点による情報発信・情報提供の充実を図ります

事業	4	映像等広報制作事業
担当所属	広報課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
35,841,000	35,675,555	35,675,555	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

01	報酬	1,006,880	03	職員手当等	212,784
07	報償費	11,776	08	旅費	38,156
10	需用費	151,928	12	委託料	34,184,720
17	備品購入費	37,411	18	負担金補助及び交付金	31,900

【実施計画の概要】

事業の内容	- ケーブルテレビを活用し、広報番組（特集企画、ニュース、コーナー等）を毎週 1 本（20 分番組）制作、毎日放送します。 - ビデオや写真データ及び制作した映像作品をアーカイブスとして保存、整理します。
事業の目的	- 広報番組を制作・放送、YouTube へ 2 次利用することにより、佐倉市のイメージ向上につながる情報、地域情報などを市内外に提供します。 - 記録データを資料として活用します。
事業の効果	- 広報紙では伝わりにくい情報も、映像の特性を生かすことで、よりわかりやすく、実感を持って市内外に PR することができます。 - 市のイメージ向上につながる情報を市内外に伝えることで、関係人口、交流人口、定住人口の増を図るとともに、市民の郷土愛を高め、シビックプライドの醸成を推進します。

【事業の概要】

- ケーブルテレビを活用し、広報番組（特集企画、トピック、市からのお知らせ等）を毎週 1 本（20 分番組）制作、平日 2 回、土日 3 回放送しました。
- ビデオや写真データ及び制作した映像作品の中で記録すべきものをアーカイブスとして保存、整理しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
番組放送回数	834 回	991 回	1,095 回
放送番組数	49 番組	49 番組	49 番組
広報番組をよく/時々/たまに見る市民の割合（合計）	45.1%	43.3%	47.0%

2 款 1 項 5 目

第 5 章 市民とともに創る 多様性のある 持続可能なまち（市民参加・自治体運営）

【会計】一般会計

基本施策 2 平和・国際化

2 款：総務費 1 項：総務管理費 5 目：広報費 施策 2 多文化が共生できる地域づくりを推進します

事業	6	国際化施策事業
担当所属	広報課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
2,723,000	2,593,000	2,251,000	0	0	0	342,000

【決算額の節別内訳】（円）

12	委託料	2,593,000			
----	-----	-----------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・在住の外国人住民のための生活相談、日本語講座を実施します。 ・国際理解促進のための機会を提供します。
事業の目的	・外国人住民の生活向上を図ります。 ・多文化共生の地域づくりを図ります。
事業の効果	・多文化に寛容な市民生活を営むことのできる共生社会の実現を目指します。

【事業の概要】

- ・外国人住民を支援する生活相談、日本語講座を実施しました。

生活相談件数：123 件

日本語講座：毎週水曜日、木曜日（午前・午後）、金曜日（夜間）、土曜日、日曜日

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
外国語対応の相談窓口開設数	88 日	88 日	88 日
国際理解講演会の開催回数	2 回	2 回	—
英語・中国語・スペイン語対応の生活相談の対応件数	123 件	57 件	75 件
国際理解講演会の参加者数	437 人	217 人	—
外国人のための日本語講座受講者数	2,222 人	1,421 人	822 人
災害時外国人サポーター養成講座参加者数	—	—	—

事業	7	平和施策事業
担当所属	広報課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
3,800,000	3,636,696	647,780	0	0	0	2,988,916

【決算額の節別内訳】（円）

07	報償費	15,000	08	旅費	319,600
10	需用費	41,184	11	役務費	9,530
13	使用料及び賃借料	97,466	18	負担金補助及び交付金	2,878,010
24	積立金	275,906			

【実施計画の概要】

事業の内容	・ 恒久平和に向けて啓発事業を実施します。 ・ 原爆の悲惨さや平和の大切さを学ぶため市内中学生による佐倉平和使節団を被爆地に派遣します。 ・ 毎年 7 校程度の小学校を会場に、児童を対象とした戦争体験者による平和講話や朗読ボランティアによる体験記朗読を行い、あわせて平和啓発映画の上映を行います。 ・ 毎年 8 月 15 日に戦没者への追悼と世界の恒久平和を願い、平和式典を実施します。 ・ 市民団体による平和活動を支援します。 ・ 恒久平和に向けて国内外の都市と連携を図ります。
事業の目的	・ 恒久平和実現の大切さを啓発します。 ・ 恒久平和実現を目指します。
事業の効果	・ 広く市民に原爆や戦争の悲惨さを理解してもらいます。 ・ 恒久平和実現の大切さを啓発する市民団体の活動を支援します。 ・ 恒久平和の重要性を理解してもらいます。

【事業の概要】

- ・ 佐倉市平和式典を 8 月 15 日に開催し、平和の鐘を鳴鐘しました。
- ・ 市民団体による平和啓発活動を支援しました。
- ・ 「小学校平和祈念講話と映画会」を小学校 3 校で実施しました。
- ・ 平和使節団（中学生 24 人）を被爆地・広島に派遣しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
パネル展実施回数	2 回	2 回	2 回
平和祈念講演と映画会実施校数	3 校	4 校	—
佐倉市平和式典の開催	1 回	1 回	1 回
平和首長会議国内加盟都市会議の開催	—	—	—
一般市民向け平和祈念講話と映画会の開催	—	1 回	—
一般市民向け平和祈念講話と映画会の参加者数	—	200 人	—
平和祈念講演と映画会参加児童数	249 人	268 人	—
佐倉市平和式典参加者数	30 人	9 人	9 人
佐倉平和使節団の報告会参加者数	4,192 人	—	—
市民団体による共催事業参加者	1,128 人	738 人	130 人
平和条例・平和都市宣言を知っている市民の割合	49.17%	43.4%	51.1%

2 款 1 項 5 目

第 5 章 市民とともに創る 多様性のある 持続可能なまち（市民参加・自治体運営）

【会計】一般会計

基本施策 3 情報発信・共有、広聴

2 款：総務費 1 項：総務管理費 5 目：広報費 施策 1 シティプロモーションの視点による情報発信・情報提供の充実を図ります

事業	8	インターネット等広報事業
担当所属	広報課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
6,959,000	6,958,600	5,704,226	0	0	0	1,254,374

【決算額の節別内訳】（円）

13	使用料及び賃借料	6,958,600			
----	----------	-----------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・佐倉市公式ウェブサイトを中心として、インターネット等の ICT を活用した情報提供および情報発信を行います。 ・誰もが必要な情報を得られるようアクセシビリティに配慮し、多言語（自動翻訳）に対応します。Google Analytics を使った分析を行います。 ・オンラインサービスやソーシャルメディア等との連携による多様な情報発信を行います。 ・新システムによるウェブサイト構成の変更により、目的のページに辿り着けないというユーザーからの声が若干あり、メニュー構成やページ表示等の見直しを随時行っていく必要があります。
事業の目的	・インターネット等の ICT の活用により、市政情報を迅速かつ的確に提供し、サービスの向上を図ります。 ・市内外に向けて佐倉の魅力を広くアピールし、関係人口、交流人口、定住人口の増加を図り、まちの活力を高めます。
事業の効果	・佐倉市公式ウェブサイトを中心として、オンラインサービスやソーシャルメディア等との連携により、市民が必要な情報を迅速に入手し、活用できるよう図ります。 ・市内外に向けて佐倉の魅力を広くアピールし、関係人口、交流人口、定住人口の増加を図り、まちの活力を高めます。

【事業の概要】

- ・佐倉市公式ウェブサイトを中心として、インターネット等の ICT を活用した情報提供および情報発信を行いました。
- ・アクセシビリティへの配慮、多言語（自動翻訳）対応、問い合わせフォームやページ評価機能による意見収集を行いました。
- ・オンラインサービスやソーシャルメディア等との連携による多様な情報発信を行いました。
- ・CMS の置き換えにより新ウェブサイトを構築・公開しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
ホームページ利用者数	8,657 千件	2,595 千件	2,586 千件
市ホームページを活用する人の割合	44.9%	39.0%	45.7%

事業	11	ウクライナ避難民支援事業
担当所属	企画政策課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	（財源内訳）				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
899,000	792,511	0	0	0	0	792,511

【決算額の節別内訳】（円）

17	備品購入費	65,230	25	寄附金	727,281
----	-------	--------	----	-----	---------

【実施計画の概要】

事業の内容	- ロシアによるウクライナ軍事侵攻からの避難民へ家財道具等を提供し、安心して生活できる環境を整えるほか、日本赤十字社を通じウクライナへの支援金として寄附を行います。 - 財源として、ふるさと納税により「ウクライナ緊急応援寄附金（返礼品なし）」を募集し、事業費に充当します。
事業の目的	ウクライナからの避難民を人道的見地から支援することで、市の平和に対する思いを表明するほか、ウクライナ支援を行いたい市民等からの寄附を支援につなげます。
事業の効果	市民に平和の大切さを啓発するとともに、外国人と共生できる地域づくりを推進することができます。

【事業の概要】

- ・（避難受入れ世帯の実績なし）
- ・通訳機の購入
- ・日本赤十字社のウクライナ人道危機救援金への寄附

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
受入れ世帯数	0 世帯	—	—

事業	2	庁舎維持管理事業
担当所属	資産経営課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
221,086,000	207,071,140	188,928,438	0	0	0	18,142,702

【決算額の節別内訳】（円）

07	報償費	76,000	10	需用費	50,615,342
11	役務費	19,314,030	12	委託料	122,313,727
13	使用料及び賃借料	2,109,362	14	工事請負費	2,768,370
15	原材料費	18,150	17	備品購入費	921,160
18	負担金補助及び交付金	3,000	24	積立金	8,931,999

【実施計画の概要】

事業の内容	・市民サービス及び庁舎保全のための維持管理に関する業務委託、修繕、工事を行います。 ・公共施設の廃棄物収集運搬委託を行います。 ・庁舎の光熱水費の支払いを行います。 ・庁舎に必要な庁用事務備品及び消耗品の購入を行います。
事業の目的	・庁舎の適正な維持管理を行います。
事業の効果	・庁舎を適正に管理することにより、適正な執務環境を実現します。

【事業の概要】 庁舎維持管理費用の内訳

- ・電気代 27,433,273 円 ・ガス代 13,643,057 円
- ・上下水道代 4,581,768 円 ・電話代 19,000,563 円
- ・修繕費用 3,065,219 円（修理件数 22 件（建物 17 件、空調 3 件、物品他 2 件））
 - *うち主なもの
 - ・佐倉市役所社会福祉センター屋内消火栓設備修繕
 - ・佐倉市役所内 鉄骨階段踊場床補修 ・佐倉市役所 1 号館屋内消火栓設備修繕
 - ・佐倉市役所議場ダクト系空調機修繕工事
- ・委託料 122,313,727 円（委託件数 91 件）
 - *うち主なもの
 - ・令和 4・5 年度佐倉市役所庁舎警備・受付案内・電話交換業務委託
 - ・令和 4 年度佐倉市役所庁舎清掃業務委託 ・令和 4 年度公共施設一般廃棄物収集運搬業務委託
- ・工事請負費用 2,768,370 円（工事件数 5 件（建物工事 4 件、その他工事 1 件））
 - *うち主なもの
 - ・佐倉市役所内 3 号館前改良工事
 - ・令和 4 年度市民の声空調機設置工事
 - ・佐倉市役所秘書課 非常通報装置機新設工事

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
来庁者数(1 号館 1 階で確認した人数)	207 千人	198 千人	201 千人
執務時間外届出受付数（うち深夜・早朝届出受付件数）	211 (17) 件	329 (16) 件	406 (71) 件

事業	3	財産管理事業
担当所属	資産経営課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
19,522,000	19,033,610	19,033,610	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

08	旅費	6,842	10	需用費	1,271,915
11	役務費	10,113,199	12	委託料	7,411,954
14	工事請負費	227,700	18	負担金補助及び交付金	2,000

【実施計画の概要】

事業の内容	・ 公有財産台帳の整備、県などへの調査報告書の提出、普通財産（土地・建物）の維持管理を行います。 ・ 市有財産の保険に関する事務を行います。 ・ 市有財産における事故・賠償の対応を行います。
事業の目的	・ 市が所有する公有財産（土地・建物）について、持続的に適正な維持管理を行います。
事業の効果	・ 市有財産の適正な管理により、事故を減らし、財産の保全を行うことができます。 ・ 市有財産に事故が発生した場合、損害額の回収、又は賠償の支払いを行うことができます。

【事業の概要】

- ・ 市有財産（土地・建物）の適正な維持管理を行いました。
- ・ 市有財産（建物）の現状を把握し、保険加入を行いました。
- ・ 市有財産及び市の事業における事故・賠償の対応を行いました。
- ・ 市の封筒、賞状の数量管理を行いました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
保険加入対象管理財産数（※1）	248 件	242 件	382 件
保険金請求件数（※2）	6 件	5 件	70 件
行政財産管理面積	3,567,258.30 m ²	3,562,449.48 m ²	3,563,617.04 m ²
普通財産管理面積	168,698.57 m ²	173,820.78 m ²	173,051.23 m ²

※1：令和 2 年度までは建物及び車両台数。令和 3 年度から車両分は庁用車管理事業へ予算付替。

※2：令和 2 年度までは建物及び車両に関する件数。令和 3 年度から車両分を庁用車管理事業へ予算付替。

事業	8	公共施設包括管理事業
担当所属	資産経営課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
129,773,000	128,246,855	128,246,855	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

12	委託料	128,246,855			
----	-----	-------------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・市管理施設等の維持管理・保守点検等について、一括した業務として委託し、併せて専門技術者による巡回点検等を行います。
事業の目的	・建物及び設備に関して専門的見識を持つ事業者が、公共施設の維持管理・保守点検の業務を一元的に行うことで、公共施設の維持管理業務の質の向上及び効率化を図ります。 ・公共施設の修繕及び改修等の計画に活用するため、統一的な視点から施設情報の収集、整理を行います。 ・事業者との連携により、施設管理担当職員の知見向上を目指します。
事業の効果	・各施設の保守点検等に係る業務を一括発注することで、各施設担当者における事務作業量の削減に寄与することができます。 ・一元的に業務を実施することで、施設ごとの管理水準を平準化し、効率化を図ることができます。 ・専門技術者の視点から不具合等の状況を把握し、安全性の確保など、適切かつ迅速な対応につなげることができます。

【事業の概要】

- ・公共施設包括管理業務委託契約に基づき、事業者による包括管理を実施しました。
- ・施設所管課の知見向上のため、事業者による研修会を実施しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
対象施設数	92 施設	92 施設	91 施設
巡回点検による不具合箇所の把握件数	464 件	331 件	962 件

事業	9	本庁舎保全事業
担当所属	資産経営課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	（財源内訳）				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
23,360,000	15,254,613	13,554,613	0	0	1,700,000	0

【決算額の節別内訳】（円）

12	委託料	13,137,300	17	備品購入費	277,893
18	負担金補助及び交付金	1,839,420			

【実施計画の概要】

事業の内容	・本庁舎機能維持に必要な設備改修等を行います。
事業の目的	・庁舎及び付帯設備の修繕・改修を計画的に行い、安全性・快適性を確保します。
事業の効果	・市民及び職員が、安全・快適に庁舎を使用できるようになります。

【事業の概要】

○委託費（3 件）

- ・低濃度 PCB 廃棄物（谷津橋補修工事委託）収集運搬・処分業務委託を実施しました。
- ・高濃度 PCB 廃棄物（特別管理産業廃棄物）収集運搬業務委託を実施しました。
- ・ポリ塩化ビフェニル廃棄物（特別管理産業廃棄物）処理業務委託を実施しました。

○備品購入費（消火器...1 号館全館）

- ・耐用年数（10 年）を経過する消火器 63 本の入替を行いました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
庁舎面積	13,951.27 m ²	13,951.27 m ²	13,951.27 m ²
敷地面積	37,687.52 m ²	37,687.52 m ²	37,687.52 m ²
庁舎・庁舎内設備保全事業実施件数	4 件	0 件	2 件
敷地内付帯設備保全事業実施件数	0 件	0 件	1 件

2 款 1 項 9 目

第 5 章 市民とともに創る 多様性のある 持続可能なまち（市民参加・自治体運営）

【会計】一般会計

基本施策 5 行財政運営

2 款：総務費 1 項：総務管理費 9 目：企画費 施策 2 健全で持続可能な行財政運営を推進します

事業	2	広域行政推進事業
担当所属	企画政策課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
34,256,000	34,256,000	34,256,000	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

18	負担金補助及び交付金	34,256,000			
----	------------	------------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・印旛郡市広域市町村圏事務組合等を通じて、近隣市町村と連携した広域行政を推進します。 ・市長会、首長会等を通じて、国・県に要望活動を実施します。
事業の目的	・広域的な行政課題に対応します。 ・事務の合理化を図ります。
事業の効果	・単一市町では対応困難な行政課題（第二次救急医療体制の整備など）に対応することができます。 ・市民に広域的な行政サービスを提供することができます。

【事業の概要】

- ・印旛郡市広域市町村圏事務組合に負担金を支出しました。
- ・千葉県市長会を通じた国、県等への要望書提出のほか、各種要望活動を行いました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
国・県等への意見、要望述べ回数	4 回	4 回	4 回
職員共同採用試験受験者延べ人数（佐倉市分）	346 人	302 人	238 人
職員共同研修受講者延べ人数（佐倉市分）	113 人	76 人	95 人
第二次救急医療機関運営事業受診者延べ人数(佐倉市分)	150 人	174 人	196 人
小児救急医療支援事業受診者延べ人数（佐倉市分）	42 人	35 人	22 人

事業	3	ふるさとまちづくり応援寄附推進事業
担当所属	企画政策課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
27,725,000	18,088,659	18,088,659	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

08	旅費	2,340	11	役務費	600
12	委託料	17,426,175	13	使用料及び賃借料	659,544

【実施計画の概要】

事業の内容	・ 佐倉をふるさととして応援しようとする個人又は団体から寄附金を受け入れ、これを財源として各種事業を実施します。 ・ 寄附者に対し、返礼品として、ふるさと佐倉の特産品を贈呈します。
事業の目的	・ 寄附をいただいた方の想いに応え、もって個性豊かで活力あるふるさと佐倉のまちづくりに資することを目的とします。 ・ 特産品の贈呈による寄附の増加、市の知名度の向上及び産業の活性化を図ります。
事業の効果	・ 寄附金額の増加による財源の充足、佐倉市特産の返礼品目の拡充・寄付件数の増加による産業の活性化及び市外在住者への特産品贈呈による本市の知名度向上が期待できます。

【事業の概要】

- ・ 新型コロナウイルス感染症対策寄附、ウクライナ緊急支援寄附、企業版ふるさと納税を実施しました。
- ・ 寄附を受け付けるポータルサイトの数を増やしました（1 サイト→3 サイト）。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
寄附の納入方法数	17	14	13
お礼の品提供事業者数	40 社	36 社	28 社
お礼の品認定商品数	127 商品	95 商品	72 商品
寄附件数	2,977 件	1,800 件	1,451 件
寄附金額	55,377,631 円	37,209,960 円	33,838,695 円

事業	4	シティプロモーション事業
担当所属	佐倉の魅力推進課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
2,182,000	2,025,774	2,025,774	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

07	報償費	317,000	08	旅費	5,010
10	需用費	39,764	11	役務費	190,000
12	委託料	1,474,000			

【実施計画の概要】

事業の内容	・ 交流促進・定住促進を目的とした魅力発掘・発信、PR 活動、事業実施、相談対応を行います。
事業の目的	・ 市の知名度や魅力を高め、転居先や来訪先としての選択肢となるようにします。 ・ 市の良さを再発見し、その魅力を多くの方に知ってもらうことにより、市民の満足度や納得度、定住意向を高めます。
事業の効果	・ 市の定住人口維持や関係人口・交流人口増加が図れます。 ・ 市民の満足度、納得度の向上を通して、市民の誇り・愛着心、定住意向の増加につながります。 ・ 地域の活性化が図れます。

【事業の概要】

- ・ フィルムコミッションを重点的に拡大し、ロケ地・ロケ弁・エキストラ募集を開始しました。
テレビ東京『アド街ック天国』、日本テレビ『初恋の悪魔』など、ロケ誘致実績が大きく進捗しました。
- ・ PRTIMES によるプレスリリースや魅力発信サイト『サクライク』、インスタグラム・フェイスブック等 SNS を使った情報発信を積極的に行いました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
魅力発信サイト記事掲載数	8 本	16 本	18 本
魅力発信サイト閲覧数	50,857 ビュー	63,765 ビュー	62,786 ビュー
ブランドメッセージ認知度	13.2%	6.7%	7.8%
ロケ誘致件数	93 件	38 件	17 件

2 款 1 項 9 目

第 5 章 市民とともに創る 多様性のある 持続可能なまち（市民参加・自治体運営）

【会計】一般会計

基本施策 5 行財政運営

2 款：総務費 1 項：総務管理費 9 目：企画費 施策 2 健全で持続可能な行財政運営を推進します

事業	6	総合計画推進事業
担当所属	企画政策課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
803,000	81,527	81,527	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

01	報酬	68,900	08	旅費	2,744
10	需用費	9,883			

【実施計画の概要】

事業の内容	- 第 5 次佐倉市総合計画前期基本計画の計画期間が令和 5 年度で終了することから、中期基本計画の策定を行います。 - 基本計画は基本構想に掲げた将来都市像を実現するための施策を明らかにする 4 年間の計画であり、次期計画期間の施策体系を整理します。
事業の目的	基本構想に掲げた将来都市像を実現するための中期基本計画を、総合計画審議会及び議会の議決を経て策定します。
事業の効果	計画的な市政運営を行うことができ、ひいては「笑顔輝き 佐倉 咲く みんなで創ろう健康・安心・未来都市」という将来都市像の実現に寄与します。

【事業の概要】

- 第 5 次佐倉市総合計画中期基本計画策定方針を策定し、計画策定に着手しました。
- 計画策定の基礎調査として、市民意見交換会や高校生ワークショップを計 3 回開催したほか、市民意識調査・統計情報の整理等を行いました。
- 総合計画策定本部会議を 1 回、総合計画審議会を 1 回開催しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
総合計画審議会の開催	1 回	—	—
計画への市民意見反映手法の実施回数	3 回	—	—

事業	1	出張所・派出所管理運営事業
担当所属	市民課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
13,587,000	13,248,506	13,248,506	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

08	旅費	19,151	10	需用費	927,488
11	役務費	2,403,145	12	委託料	7,004,938
13	使用料及び賃借料	2,750,784	17	備品購入費	143,000

【実施計画の概要】

事業の内容	・各出張所等との連絡調整（設置機械類の契約管理、予算執行、事務連絡）を行います。 ・出張所職員に対し、研修機会を提供します。
事業の目的	・出張所等の施設及び機器等を適切に管理し、市民が各地域で市民サービスを受けられるようにすることを目的とします。 ・的確な事務執行の向上を図ります。
事業の効果	・出張所等の施設及び機器等の機能を適切に維持し、安定した市民サービスを提供することにより、市民の利便性が向上します。

【事業の概要】

- ・各出張所等との連絡調整（設置機械類の契約管理、予算執行、事務連絡）を行いました。
- ・出張所の施設運営や設備などの修繕を行いました。
- ・証明書自動交付機を廃止しました。（令和 4 年 12 月末）

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
出張所・派出所等の管理数	9 箇所	9 箇所	9 箇所
開庁日数	344 日	344 日	344 日
出張所等の各種証明書発行枚数【住民票関係】 (一日あたり枚数)	33,402 枚 (97.1 枚)	38,046 枚 (110.6 枚)	38,433 枚 (111.7 枚)

2 款 1 項 11 目

第 2 章 人と自然が調和した安心して暮らせるまち（都市基盤・住環境）

【会計】一般会計

基本施策 1 都市計画・公共交通

2 款：総務費 1 項：総務管理費 11 目：交通安全対策費 施策 2 持続可能な公共交通網の形成を推進します

事業	6	地域公共交通対策事業
担当所属	都市計画課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	（財源内訳）				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
125,816,000	124,707,853	106,392,258	0	0	0	18,315,595

【決算額の節別内訳】（円）

07	報償費	34,322	10	需用費	133,584
12	委託料	109,963,920	13	使用料及び賃借料	264,000
14	工事請負費	1,293,160	18	負担金補助及び交付金	13,018,867

【実施計画の概要】

事業の内容	・主に既存の公共交通の利用が困難な交通空白地域における手段としてコミュニティバスを運行し、利用状況の検証、必要に応じて見直しを行います。 ・バス路線を運行している事業者に対して運行経費の補助を行うことで、公共交通網の維持の取組を行います。
事業の目的	・コミュニティバス等の運行により、交通空白地域を解消します。 ・公共交通網の重要な役割を担い、企業努力だけでは存続が困難な路線を運行しているバス事業者に補助を行うことで地域の公共交通網の維持を目指します。
事業の効果	・地域の移動手段が確保され、公共交通をより利用しやすい環境が整います。

【事業の概要】

- ・佐倉市コミュニティバス（5 ルート）の運行を継続しました。
- ・和田地区、弥富地区のバス路線 2 路線 4 区間への助成を行いました。
- ・京成佐倉駅からミレニアムセンター佐倉内エレベーターへの誘導サインを設置しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
コミュニティバス運行路線数	5 路線	5 路線	4 路線
コミュニティバス利用者数	120,860 人	101,066 人	73,521 人

2 款 1 項 11 目

第 2 章 人と自然が調和した安心して暮らせるまち（都市基盤・住環境）

【会計】一般会計

基本施策 1 都市計画・公共交通

2 款：総務費 1 項：総務管理費 11 目：交通安全対策費 施策 2 持続可能な公共交通網の形成を推進します

事業	7	公共交通継続支援事業
担当所属	都市計画課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
23,303,000	22,456,200	1,168,128	21,288,072	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

18	負担金補助及び交付金	22,456,200			
----	------------	------------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・ 交通事業者の事業継続を支援するため、支援金の給付のほか 利用者数の回復及び利用促進を図る取組みや、不足する乗務員の確保に向けた取組みを支援します。
事業の目的	・ 新型コロナウイルス感染症や原油価格高騰など、厳しい経営環境にある交通事業者の事業継続を支援し、地域の公共交通網の維持・継続を図ることを目的とします。
事業の効果	・ 厳しい状況にある交通事業者の経営を支え、事業継続に必要な取組みを促進することができます。

【事業の概要】（※新型コロナ対策分）

- ・ 公共交通網の維持・継続を図るため、公共交通事業者への事業継続支援金を給付しました。
- ・ 乗務員確保への支援として、大型二種・普通二種免許取得費用の事業者負担分を助成しました。
- ・ 公共交通の利用促進として、高齢者向け定額乗車パス等の割引販売への助成を行いました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
支援金の交付対象事業者数	22 者	24 者	8 者
二種免許取得費用助成件数	大型 3 件 普通 11 件	—	—
対象の定額乗車パス等の販売数	394 件	—	—

令和 3 年度までは地域公共対策事業で実施

2 款 1 項 12 目

第 2 章 人と自然が調和した安心して暮らせるまち（都市基盤・住環境）

【会計】一般会計

基本施策 6 消防・防災

2 款：総務費 1 項：総務管理費 12 目：防災対策費

施策 4 災害に備えた体制を整備します

事業	2	自主防災組織支援事業
担当所属	危機管理課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
1,590,000	370,083	370,083	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

18	負担金補助及び交付金	370,083			
----	------------	---------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・地域における自主防災組織の設立、活動に対し、助成金や資機材の貸与を通じて支援を行います。
事業の目的	・防災対策の基本は、自助、共助であり、災害発生時の初動期における活動が重要となります。そのため、各地域において、自主防災組織を設立し、充実した防災活動を行うことができるよう支援します。
事業の効果	・各地域での災害による被害の軽減を図ります。

【事業の概要】

- ・自主防災組織活動助成金（活動経費）を 4 団体に対し、73,023 円を交付しました。
- ・自主防災組織活動助成金（資機材経費）を 4 団体に対し、297,060 円を交付しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
自主防災組織の新規設立団体数	0 団体	1 団体	2 団体
自主防災組織の団体数（組織率）	118 団体(55%)	118 団体(55%)	117 団体(55%)

2 款 1 項 12 目

第 2 章 人と自然が調和した安心して暮らせるまち（都市基盤・住環境）

【会計】一般会計

基本施策 6 消防・防災

2 款：総務費 1 項：総務管理費 12 目：防災対策費

施策 4 災害に備えた体制を整備します

事業	5	災害救援体制整備事業
担当所属	危機管理課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
2,838,000	435,982	229,203	0	206,779	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

18	負担金補助及び交付金	435,982			
----	------------	---------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・ 災害の予防や復旧工事への利子補給を行います。 ・ 被災をした人への支援として見舞金を支給します。 ・ 災害時における現地対応等を行います。
事業の目的	・ 災害の予防及び被災者への支援・救済を行います。
事業の効果	・ 被災者への支援救済を行うことにより、安全安心なまちづくりを図ります。

【事業の概要】

- ・ 災害の予防や復旧工事への利子補給を行いました。
利子補給補助金 8 件
- ・ 被災をした人への支援として見舞金を支給しました。
災害見舞金 1 件

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
補助件数、見舞金支給件数	9 件	9 件	13 件
利子補給補助金件数	8 件	8 件	7 件
災害見舞金件数	1 件	1 件	6 件
被災者住宅再建支援金件数	0 件	0 件	0 件

2 款 1 項 12 目

第 2 章 人と自然が調和した安心して暮らせるまち（都市基盤・住環境）

【会計】一般会計

基本施策 6 消防・防災

2 款：総務費 1 項：総務管理費 12 目：防災対策費

施策 4 災害に備えた体制を整備します

事業	6	防災資器材等管理事業
担当所属	危機管理課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
16,847,000	14,975,610	14,975,610	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

10	需用費	5,805,086	12	委託料	2,904,000
15	原材料費	95,040	18	負担金補助及び交付金	6,171,484

【実施計画の概要】

事業の内容	・ 防災備蓄倉庫の資器材について、修繕・点検を行うとともに、賞味期限・使用期限のある備蓄品の入れ替えを行います。
事業の目的	・ 防災備蓄倉庫の資器材・設備を常に使用できる状態に保ち、災害に備えます。
事業の効果	・ 災害発生時に、備蓄している資器材・設備を使用し、早期の災害対応が可能となります。

【事業の概要】

- ・ 職員の非常登庁訓練にあわせて、防災備蓄倉庫 39 箇所の資機材の点検等を行いました。
- ・ 防災備蓄倉庫 8 箇所の賞味期限の切れる非常食の入替を行いました。
- ・ 防災備蓄倉庫 4 箇所の備蓄用毛布の洗浄及びリパックを行いました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
防災倉庫資器材維持管理数	40 箇所	40 箇所	40 箇所
防災備蓄倉庫維持管理率	100%	100%	100%

事業	7	ミレニアムセンター佐倉管理運営事業
担当所属	ミレニアムセンター佐倉	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
34,072,000	29,276,078	28,307,190	0	0	0	968,888

【決算額の節別内訳】（円）

07	報償費	30,000	10	需用費	21,834,792
11	役務費	1,351,857	12	委託料	5,639,920
13	使用料及び賃借料	131,309	17	備品購入費	288,200

【実施計画の概要】

事業の内容	- 複合施設であるミレニアムセンター佐倉（ホール・会議室・市民風呂等のコミュニティ施設、市民サービスセンター、消費生活センター等）の管理・運営を行います。 - 駅前という利便性を活かし、市民生活に密着した行政サービスの提供等ができる施設として効果的な管理運営を行います。
事業の目的	- 駅前の利便性を活かした行政サービスを提供します。 - 子供から高齢者まで幅広い世代に向けて、利用しやすい施設の維持管理を行います。
事業の効果	- 駅前という交通の利便性を活かし、コミュニティセンターは市民が気軽に利用できる地域づくりや交流の場として、また、市民サービスセンターは市民にとって身近な行政サービスの提供の場としての役割を果たします。 - 災害時における帰宅困難者の一時滞在施設としての施設開放など、市民の安全、安心に寄与します。

【事業の概要】

- 施設を安全で快適に利用していただけるように施設整備・機器の保守や修繕、清掃等を行いました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
ミレニアムセンター開所日数	356 日	356 日	356 日
佐倉コミュニティセンターの利用状況	49.2%	37.8%	37.0%
会議室等・市民風呂利用人数	40,737 人	25,879 人	15,446 人
戸籍・住民票等発行件数	3,816 件	3,777 件	3,473 件

2 款 1 項 12 目

第 2 章 人と自然が調和した安心して暮らせるまち（都市基盤・住環境）

【会計】一般会計

基本施策 6 消防・防災

2 款：総務費 1 項：総務管理費 12 目：防災対策費

施策 4 災害に備えた体制を整備します

事業	8	防災施設整備事業
担当所属	危機管理課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	（財源内訳）				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
23,092,000	22,496,210	17,496,210	0	5,000,000	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

12	委託料	4,520,560	17	備品購入費	17,975,650
----	-----	-----------	----	-------	------------

【実施計画の概要】

事業の内容	・災害時における情報伝達手段である防災行政無線システムの整備や、避難所の水の確保のための防災井戸など、防災に関する施設、設備の計画的な整備を行います。
事業の目的	・防災行政無線設備の維持管理を行うとともに、広域避難場所である学校施設への防災井戸施設の整備を行います。
事業の効果	・災害時に施設を使用し、早期に的確な災害対応を行うことができます。

【事業の概要】

- ・防災行政無線戸別受信機を整備しました。
- ・防災行政無線（移動系）111 局のバッテリー交換を行いました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
防災行政無線設置数（同報系）	155 基	155 基	155 基
防災行政無線設置数（移動系）	111 基	111 基	111 基

2 款 1 項 12 目

第 2 章 人と自然が調和した安心して暮らせるまち（都市基盤・住環境）

【会計】一般会計

基本施策 6 消防・防災

2 款：総務費 1 項：総務管理費 12 目：防災対策費

施策 4 災害に備えた体制を整備します

事業	10	防災対策計画事業
担当所属	危機管理課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
665,000	584,688	584,688	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

01	報酬	45,600	10	需用費	539,088
----	----	--------	----	-----	---------

【実施計画の概要】

事業の内容	・市の総合的な防災計画である「佐倉市地域防災計画」及び「佐倉市国民保護計画」を必要に応じて見直しを行います。 ・防災会議、国民保護協議会を必要に応じて開催します。
事業の目的	・国、千葉県の計画修正に伴い、市の計画の適宜見直しを行い総合的・計画的な防災対策を行います。
事業の効果	・市の防災体制の整備拡充を図ります。

【事業の概要】

- ・国の防災基本計画及び、千葉県地域防災計画の修正や防災関係法令の改正などを反映させるため、佐倉市防災会議（書面開催）を行い、佐倉市地域防災計画の修正を行いました。
- ・佐倉市地域防災計画の印刷製本（160 部）を行いました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
必要に応じた会議の開催	1 回	0 回	0 回
計画の修正、見直し	1 回	—	—

事業	1	市民相談事業
担当所属	自治人権推進課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
4,243,000	3,770,465	3,770,465	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

07	報償費	1,284,000	10	需用費	35,225
12	委託料	2,451,240			

【実施計画の概要】

事業の内容	・市民から寄せられる様々な相談に対して、弁護士及び市民相談員により、法律・人権・行政相談を実施し、問題解決の糸口を見出すためのアドバイスなどを行います。 ・より多くの市民の相談に対応できるようにするため、平日のみではなく、一部日曜日にも実施します。 ・司法書士会、行政書士会等による相談会の支援を実施します。
事業の目的	・市民が安心して、日常生活を営むことができるようにするため、多様な問題の解決につなげられる各種の相談窓口を整備します。
事業の効果	・日常生活を営む上で発生する様々なトラブルに対し、市民が適切な解決策を得られるよう努めることで、市民生活の安定に寄与します。

【事業の概要】

- ・事前予約による法律・人権・行政相談を月 3 回実施しました。

※令和 4 年 6 月から、ミレニアムセンター佐倉会場では相談員 4 人、志津コミュニティセンター会場では相談員 5 人とし、縮小体制を一部緩和しました。

- ・司法書士会、行政書士会等の各種相談を支援しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
開催場所	2 箇所	2 箇所	2 箇所
開催回数	36 回	36 回	27 回
「法律・人権・行政相談」件数	525 件	419 件	276 件

事業	2	市民相談等オンライン化事業
担当所属	自治人権推進課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
279,000	268,378	13,961	254,417	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

10	需用費	4,378	14	工事請負費	184,800
17	備品購入費	79,200			

【実施計画の概要】

事業の内容	・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、非接触での相談を可能とするため、オンライン環境を整備します。
事業の目的	・対面で行っている相談事業をオンライン化し、人と人との接触を最小限にすることで、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぎます。
事業の効果	・相談事業をオンライン化することで、利用者・相談員・職員の感染リスクを下げるができます。

【事業の概要】（※新型コロナ対策）

- ・相談会場に無線 LAN ケーブルを設置しました。
- ・オンライン相談実施に必要なウェブカメラとパーテーションを購入しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
オンライン化への対応件数	2 件	—	—

事業	2	自治会等活動推進事業
担当所属		自治人権推進課

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
34,932,000	32,533,681	32,533,681	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

07	報償費	42,722	10	需用費	961,930
12	委託料	12,385,000	17	備品購入費	828,300
18	負担金補助及び交付金	18,315,729			

【実施計画の概要】

事業の内容	- 自治会等に対し、運営相談、事務説明会、掲示板、回覧の配布等の支援を行います。 - 自治会等と行政と係わりの中で行う業務について、業務委託契約を締結します。 - 自治会等が実施する公益的な活動や、地域コミュニティの維持、形成に必要な事業に対し、資金面から支援します（自治会等自治振興交付金）。
事業の目的	行政文書の回覧、各種委員の推薦等、行政からの依頼事項が的確に実施されるとともに、市民協働に不可欠な住民自治活動の充実を目的とします。
事業の効果	- 業務委託契約の締結により、地縁組織と行政との関係団体相互の関係として行政との関係を明確にし、自治会等の自立性が推進されます。 - 交付金等の受給を契機に、地域での話し合いが生まれ、地縁組織自らの活動評価と住民自治活動の充実に向け、自主・自律的な活動の推進につながります。

【事業の概要】

- 地区代表者説明会：令和4年4月23日（土）10時～東部地区 14時～西部地区 於：中央公民館 …任意参加とし、不参加の代表者には、同説明会で配布した各種資料を送付しました。
- 6団体の自治会・町内会等連合協議会に助成を行いました。
- 254自治会等と、行政文書回覧等に係る業務委託契約を締結しました。
- 213自治会等に、自治会等自治振興交付金を交付しました。
- 自治会からの求めに応じ、掲示板の貸与や修理、回覧板の提供を行いました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和04年度	令和03年度	令和02年度
回覧文書数（定期回覧）	36件	33件	35件
業務委託契約団体数	254団体	253団体	253団体
自治振興交付金申請団体割合	84%	81%	87%

【会計】一般会計

基本施策 1 コミュニティ

2 款：総務費 1 項：総務管理費 14 目：地域振興費 施策 2 コミュニティの活動拠点の整備支援・利用促進を行います

事業	3	コミュニティ環境整備事業
担当所属	自治人権推進課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
14,620,000	14,130,000	11,630,000	0	0	0	2,500,000

【決算額の節別内訳】（円）

18	負担金補助及び交付金	14,130,000			
----	------------	------------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・地域コミュニティにおける住民自治活動の拠点施設として、自治会等が管理運営する集会所の新設、増設、改設、修繕、用地・建物賃借などに対して補助します。
事業の目的	・自治会等が行う地域活動（地域福祉、防犯・防災、青少年健全育成、健康づくり等）の拠点となる地区集会所の新築・建替え、修繕等に対して助成することにより、各地区における住民自治活動の促進を図ります。
事業の効果	・住民自治活動の拠点施設である集会所等の経費補助により、自治会活動の充実が図れる他、火災等の小規模災害時の避難所としての利用に供することも可能となります。

【事業の概要】

■集会所等の新築・修繕・外構工事、用地・建物賃借料への助成を行いました。

- ・新設工事 1 団体、修繕工事 6 団体、外構工事 1 団体
- ・用地賃借料 5 団体、建物賃借料 3 団体

■コミュニティ活動の実施に必要な物品等の購入・修繕に対しての補助 1 団体

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
支援団体数	17 件	12 件	14 件
補助対象集会所の建替え及び修繕の実施率	100%	100%	100%

事業	4	地域まちづくり事業
担当所属	自治人権推進課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
7,317,000	5,116,135	5,116,135	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

18	負担金補助及び交付金	5,116,135			
----	------------	-----------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・地域まちづくり事業実施団体（複数の自治会が連携して設立する団体）が行う、市の主要課題に合致し、地域の課題解決が図られる事業等に対し、交付金や市職員による助言等の支援を行うとともに、団体の設立等に助言等を行います。
事業の目的	・地域特有の課題解決や地域の活性化等を目的とします。
事業の効果	・自治会単位を超える範囲での地域課題の解決や、近隣の自治会間の連帯意識の醸成、情報共有による地域の活性化が期待できます。 ・地域団体の連携が自治会単位を超える地域コミュニティを範囲で展開され、最終的に全市的な市民協働の拡大が期待できます。

【事業の概要】

◆地域まちづくり協議会事業実施実績

- ①臼井ふるさとづくり協議会 : 8 事業
- ②白銀小学校区地域まちづくり協議会 : 4 事業
- ③ふるさと弥富を愛する会 : 5 事業
- ④根郷小学校区まちづくり協議会 : 9 事業
- ⑤上志津まちづくり協議会 : 4 事業
- ⑥青菅まちづくり協議会 : 6 事業
- ⑦井野小学校区まちづくり協議会 : 7 事業
- ⑧山王小学校区まちづくり協議会 : 4 事業
- ⑨小竹小学校区まちづくり協議会 : 9 事業
- ⑩千代田・染井野まちづくり協議会 : 7 事業

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
実施事業数	63 事業	55 事業	60 事業
地域まちづくり事業の認知度	50.4%	48.4%	59.0%
地域まちづくり事業実施団体の認証数	10 団体	10 団体	12 団体

事業	6	市民公益活動サポートセンター管理運営事業
担当所属	市民公益活動サポートセンター	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
6,017,000	5,619,392	4,801,536	0	0	0	817,856

【決算額の節別内訳】（円）

01	報酬	3,907,050	07	報償費	71,680
08	旅費	176,695	10	需用費	344,837
11	役務費	159,930	12	委託料	959,200

【実施計画の概要】

事業の内容	- 市民公益活動サポートセンターの管理運営及び各種事業を実施します。 - 市民公益活動サポートセンター運営協議会を開催し、センターのあり方や各種事業について意見を聴取します。
事業の目的	- 市民公益活動団体相互の交流拠点、情報収集提供拠点、会議や印刷作業などの活動拠点施設としてのセンターを適正に管理運営するとともに、市民公益活動団体の交流や推進体制充実のための各種事業を実施し、市民公益活動団体等の支援を推進します。 - 運営協議会の意見をセンターの管理・事業実施に生かします。
事業の効果	市民公益活動に関する拠点を設置し、各種事業を実施することで、市民公益活動の活性化を図ります。

【事業の概要】

- 市民公益活動団体等に活動拠点や印刷機能を提供するとともに、団体交流会や活動を紹介するポスター展、人材育成に係る講座等を実施し、団体活動を支援しました。
- 「市民公益活動情報サイト」をリニューアルし、スマートフォンでアクセスしやすいサイトとすることで、団体の情報発信機能を強化しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
運営協議会の開催回数	2 回	0 回	0 回
サポートセンター企画事業数	14 事業	7 事業	5 事業
サポートセンター利用者数	5,453 人	4,516 人	4,037 人
自治会やボランティア団体等が取り組むまちづくり活動に参加したことがある市民の割合	36.6%	33.2%	35.1%

2 款 1 項 14 目

第 2 章 人と自然が調和した安心して暮らせるまち（都市基盤・住環境）

【会計】一般会計

基本施策 8 市民相談・結婚支援

2 款：総務費 1 項：総務管理費 14 目：地域振興費 施策 3 結婚支援を推進します

事業	10	結婚支援事業
担当所属	自治人権推進課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
945,000	840,015	840,015	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

07	報償費	728,000	10	需用費	1,861
18	負担金補助及び交付金	110,154			

【実施計画の概要】

事業の内容	・結婚へ向けた活動、いわゆる「婚活」を行う世代に対する直接的な施策として、結婚への意欲がある若者の出会いの場づくりを支援します。
事業の目的	・独身男女の出会いの場を創設することにより、地域で生活する市民の後継者等に係る結婚意識を高め、もって佐倉市への定住化及び地域の活性化を図ります。
事業の効果	・結婚相談及び婚活イベントにより男女の出会いの場を提供し、成婚に結び付けることで、佐倉市への定住化及び地域の活性化を図ることができます。

【事業の概要】

- ・佐倉市婚活支援協議会（市役所・商工会議所・青年会議所・社会福祉協議会・J A・観光協会からの委員で構成）による婚活イベントを 3 回開催しました。
- ・結婚相談を毎月 3 回開催しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
婚活イベント開催数	3 回	0 回	0 回
結婚相談開催数	36 回	36 回	17 回
婚活イベント参加人数	103 人	0 人	0 人
結婚相談受付数	958 件	719 件	248 件

事業	1	庁用車管理事業
担当所属		資産経営課

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
24,342,000	24,093,274	23,921,374	0	0	0	171,900

【決算額の節別内訳】（円）

07	報償費	21,860	10	需用費	18,586,016
11	役務費	4,276,198	18	負担金補助及び交付金	153,000
26	公課費	1,056,200			

【実施計画の概要】

事業の内容	・ 庁用車の適正配置を行います。 ・ 庁用車の整備・車検を行います。 ・ 庁用車の燃料費の支払いを行います。 ・ 庁用車の稼働管理を行います。
事業の目的	・ 庁用車の適正管理に努める他、稼働状況を把握し、効率的に運用します。
事業の効果	・ 適切に管理することで、事故を減らし、職員及び市民の安全を守ることができます。 ・ 効率的に運用を図ることで、経費を削減することができます。

【事業の概要】

- ・ 庁用車の適正配置を行いました。
- ・ 庁用車の整備・車検を行いました。
- ・ 庁用車の燃料費の支払いを行いました。
- ・ 庁用車の稼働管理を行いました。
- ・ 庁用車の現状を把握し、保険加入・請求手続を行いました。
- ・ アルコール検知器を 232 台導入しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
庁用車管理保有台数	74 台	74 台	80 台
庁用車削減台数（前年度比）	0 台	6 台	2 台

2 款 1 項 16 目

第 5 章 市民とともに創る 多様性のある 持続可能なまち（市民参加・自治体運営）

【会計】一般会計

基本施策 6 資産管理

2 款：総務費 1 項：総務管理費 16 目：自動車管理費 施策 2 公有財産の効果的・効率的な活用を図ります

事業	2	庁用車購入事業
担当所属	資産経営課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
11,023,000	11,022,432	11,022,432	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

13	使用料及び賃借料	11,022,432			
----	----------	------------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・経年劣化に伴う庁用車の買替、リース車両の導入を行います。
事業の目的	・庁用車の適正管理を踏まえ、経年劣化に伴う庁用車の買替・リース車両の導入を行います。
事業の効果	・車両の計画的な買い替えによる環境配慮の実現と安全対策、リース車両の導入によるコストの削減を実現することができます。

【事業の概要】

- ・リース車両を 14 台導入しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
新規車両購入台数	0 台	0 台	0 台
リース車両新規導入台数	14 台	17 台	19 台
リース車両導入台数	62 台	62 台	59 台

事業	1	住民情報システム運営事業
担当所属	情報システム課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	（財源内訳）				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
192,494,000	191,949,350	191,949,350	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

12	委託料	184,450,174	13	使用料及び賃借料	3,382,176
18	負担金補助及び交付金	4,117,000			

【実施計画の概要】

事業の内容	・住民情報システムの適切な運用及び保守管理を行います。 ・住民基本台帳ネットワークシステムの適切な運用及び保守管理を行います。 ・住民情報システムの運用に必要なソフトウェア（町・字ファイル）の調達及びデータ入力作業等を行います。 ・自治体中間サーバー・プラットフォームの適切な運用及び保守管理を行います。
事業の目的	・統合パッケージシステムによる業務システムの運用を行い、業務の標準化、最適化を図ります。 ・ガバメントクラウドや自治体中間サーバー・プラットフォームを利用し、セキュリティが高く、安定した基盤による運用を行います。
事業の効果	・業務の標準化、最適化を行うことで、業務効率の向上及びトータルコストの削減を図ります。 ・セキュリティが高い安定した基盤を利用し、情報セキュリティに配慮された安全な運用を実現します。

【事業の概要】

- ・住民情報システムをガバメントクラウドに移行し、適切な運用・保守管理を行いました。
- ・住民基本台帳ネットワークシステムの適切な運用・保守管理を行いました。
- ・住民情報システムの運用に必要な町・字ファイルの調達や課税資料等のデータ入力作業を行いました。
- ・自治体中間サーバー・プラットフォームの適切な運用・保守管理を行いました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
住民情報システムの安定稼働日数	365 日	365 日	365 日
住民基本台帳ネットワークシステムの安定稼働日数	365 日	365 日	365 日
住民情報システムの稼働率	100%	100%	100%
住民基本台帳ネットワークシステムの稼働率	100%	100%	100%

事業	2	住民情報システム整備事業
担当所属	情報システム課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
54,199,000	48,513,575	39,676,575	8,837,000	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

12	委託料	48,513,575			
----	-----	------------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・住民情報システムの各種法令改正、機能追加などシステム改修を行います。 ・住民情報システムを行政手続オンライン化に対応させるシステム改修を行います。 ・令和 7 年度までに住民情報システムを国が定める標準仕様に適合させる必要があります。
事業の目的	・法改正を含めた外部変動要因に迅速かつ適切に対応し、システムの安定化を図ります。 ・システムを国が定める標準仕様に適合させることにより、業務改善を図ります。
事業の効果	・システムを安定稼働することにより、行政サービスを確実に遅滞なく提供します。 ・標準仕様に適合したシステムが稼働することにより、業務効率が向上します。

【事業の概要】

- ・法令改正等に対応するシステム改修を行いました。
- ・行政手続のオンライン化に対応するシステム改修を行いました。
- ・契約満了に伴う住民情報システムの更新作業を行いました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
稼働業務数	27 業務	27 業務	27 業務
各種法改正対応後の安定稼働数	27 業務	27 業務	27 業務

事業	3	行政情報化推進事業
担当所属	情報システム課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
378,023,000	374,635,492	367,759,432	0	0	0	6,876,060

【決算額の節別内訳】（円）

08	旅費	10,882	10	需用費	12,391,765
11	役務費	11,313,863	12	委託料	251,328
13	使用料及び賃借料	343,743,454	17	備品購入費	6,656,100
18	負担金補助及び交付金	268,100			

【実施計画の概要】

事業の内容	・サーバ・パソコンなどの情報機器や、ソフトウェアの一括調達及び一元管理化を進め、情報化に係る資産の効率運用を図ります。 ・仮想化サーバ環境の構築と活用を通じて、各種業務システムの運用経費の縮減と運用性の向上を図ります。
事業の目的	・行政の情報化を推進し、効率的な行政運営を図ります。
事業の効果	・行政運営における情報収集、情報伝達の迅速化を図り、情報の共有化を推進します。

【事業の概要】

- ・各種既存業務システムの運用支援及び新規導入や更新時におけるシステム調達において効率性を重視した助言・指導を行いました。
- ・物理サーバ 20 台、仮想サーバ 288 台、パソコン 1,890 台、及び庁舎 LAN の維持管理を行いました。
- ・デジタル複合機 121 台及びデジタル印刷機 72 台の維持管理を行いました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
各課支援回数	48 件	61 件	34 件
パソコンの適正管理台数	1,890 台	1,791 台	1,791 台
サーバの適正管理台数	288 台	286 台	282 台
セキュリティ研修等の実施回数	6 回	8 回	5 回
ヘルプデスク対応件数	1,466 件	1,330 件	1,466 件
庁内 ICT 基盤の安定稼働日数	360 日	365 日	365 日
セキュリティ研修等の延べ参加者数	3,396 人	4,558 人	2,371 人

事業	4	電子自治体推進事業
担当所属	情報システム課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
4,066,000	4,065,544	4,065,544	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

13	使用料及び賃借料	3,916,544	18	負担金補助及び交付金	149,000
----	----------	-----------	----	------------	---------

【実施計画の概要】

事業の内容	・ 情報通信技術の調査研究および活用を進め、電子自治体の構築に取り組みます。 ・ 自治体 D X 推進計画の重点取組事項に取り組み、庁内外の D X を推進します。 ・ 千葉県電子自治体共同運営協議会、千葉県 D X 推進協議会等の県内自治体で構成する協議会に参画し、共同で電子自治体の研究及び情報システムの共同運営を進めます。
事業の目的	・ 庁内外の D X を推進することで、「デジタルの活用により、一人ひとりのニーズに合ったサービスを選ぶことができ、多様な幸せが実現できる社会」を目指します。 ・ 情報通信技術を活用する環境を整備することにより、市民サービスが向上し、市民の生活をより良いものに変革するとともに、行政事務の効率化を図ります。
事業の効果	・ 市民が情報通信技術を利用して、行政情報を効率的に取得したり、来庁せずに、いつでもどこでも行政サービスを利用できるようにすることで、市民の生活がより便利になり、市民サービスが向上します。 ・ 副次的な効果として、行政事務が効率化し、余剰となったリソースを新たな市民サービスに投入することができます。

【事業の概要】

- ・ ちば電子申請システムを運営しました。
- ・ ちば施設予約システムを運営しました。
- ・ ぴったりサービスによる申請受付を開始しました。
- ・ オンラインによる転出・転入手続きを開始しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
施設予約可能施設数	117 施設（室）	76 施設（室）	76 施設（室）
電子申請届出数	26,685 件	25,956 件	8,734 件
施設予約処理件数	39,527 件	33,460 件	24,511 件

事業	5	行政情報化推進事業（コロナ対策分）
担当所属	情報システム課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
5,953,000	5,952,639	309,645	5,642,994	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

17	備品購入費	5,952,639			
----	-------	-----------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・ポストコロナに向けた働き方として、職員や外部の関係者が集合することなく効果的に会議を実施するための環境を庁内会議室 6 か所に整備します。 ・電子決裁及びペーパーレスを推進するため、主に決裁ライン上の職員のパソコンに外付けディスプレイを増設します。
事業の目的	・感染症対策及びポストコロナに向けた働き方として、人の接触の減少やペーパーレスを推進するため、Web 会議や電子決裁を行う環境を庁内に整備します。
事業の効果	・庁内全体の DX 推進と働き方改革を進めることが出来ます。 ・職員や事業者の移動にかかるコストを削減することが出来ます。 ・会議資料の印刷が不要となり、ペーパーレス促進が期待できます。 ・情報の視認性が向上し、事務処理誤りの防止につながります。

【事業の概要】（※新型コロナ対策）

- ・庁内の会議室 6 か所に Web 会議の環境を整備しました。
- ・決裁ライン上の職員用に電子決裁用ディスプレイを 210 台整備しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
電子決裁用ディスプレイの整備台数	210 台	—	—
電子決裁用ディスプレイの整備率	100%	—	—

事業	6	電子自治体推進事業（コロナ対策分）
担当所属	情報システム課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
12,320,000	12,100,000	629,418	11,470,582	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

12	委託料	12,100,000			
----	-----	------------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・ 公共施設 14 施設（公民館 6 館、コミュニティ施設 6 館、図書館 2 館）に市民が Wi-fi を利用できる環境を整備します。 ・ 設置場所は、会議室及び研修室などの貸し部屋を中心に、図書配架フロアなどのフリースペースを合わせて、全 71 箇所に設置します。
事業の目的	・ 新型コロナウイルス感染症対策として、オンライン等を活用した非接触型の社会教育活動、市民活動、学習等を推進するため、公民館、コミュニティ施設、図書館に市民が Wi-Fi を利用できる環境を整備します。 ・ ICT を前提とした活動が可能となる環境を整備することで、市全体の ICT リテラシーの向上や意識醸成を図ります。
事業の効果	・ 貸館業務や市主催イベントにおいて、これまで対面（集合）のみで実施されてきた会議等のイベントについて、オンラインを前提としたイベントが可能となり、3 密を防止することができます。 ・ 公共施設内に市民向け Wi-Fi を設置することで、市民の利便性も向上するとともに、DX 推進に対する市民の意識醸成につながります。

【事業の概要】（※新型コロナ対策）

- ・ 公共施設 14 施設（公民館 6 館、コミュニティ施設 6 館、図書館 2 館）に市民がフリーWi-Fi を利用できる環境を整備しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
市民向けフリーWi-Fi 導入施設数	14 施設	—	—
市民向けフリーWi-Fi 導入率	100%	—	—

【会計】一般会計

基本施策1 コミュニティ

2 款：総務費 1 項：総務管理費 18 目：コミュニティセンター費 施策2 コミュニティの活動拠点の整備支援・利用促進を行います

事業	2	志津コミュニティセンター管理運営事業
担当所属	志津コミュニティセンター	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
35,770,000	32,661,301	26,756,617	0	0	0	5,904,684

【決算額の節別内訳】（円）

01	報酬	2,718,540	08	旅費	74,528
10	需用費	15,883,353	11	役務費	334,640
12	委託料	12,482,318	13	使用料及び賃借料	401,002
15	原材料費	21,945	17	備品購入費	744,975

【実施計画の概要】

事業の内容	・志津コミュニティセンターの維持・管理・運営を行います。
事業の目的	・市民が様々な地域活動・文化活動を行うことのできる施設を運営することで、健康で文化的な近隣社会の形成に寄与します。
事業の効果	・市民の活動の場を提供することにより、健康で文化的な近隣社会の形成に寄与する地域活動・文化活動が活性化します。

【事業の概要】

- ・利用者が快適に利用できるよう、施設の維持・管理・運営を適正に行いました。

【活動指標・成果指標】

指 標 名		令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
施設開所日数		334 日	332 日	228 日
利用者人数		52,310 人	34,535 人	14,730 人
施設利用者内訳	ホー ル	283 件 18,670 人	153 件 9,191 人	—
	大会議室	374 件 8,529 人	285 件 6,893 人	201 件 4,032 人
	調理室	264 件 3,470 人	168 件 1,676 人	64 件 674 人
	第2会議室	400 件 3,971 人	339 件 2,426 人	171 件 1,262 人
	第3会議室	452 件 3,142 人	406 件 2,571 人	214 件 1,393 人
	視聴覚室	499 件 4,910 人	353 件 3,650 人	188 件 1,664 人
	和室 1	374 件 2,952 人	356 件 2,871 人	196 件 2,402 人
	和室 2	242 件 1,506 人	160 件 695 人	37 件 196 人
	茶室	179 件 1,485 人	168 件 1,246 人	77 件 710 人
多目的グラウンド		200 件 3,675 人	223 件 3,316 人	119 件 2,397 人

【会計】一般会計

基本施策 1 コミュニティ

2 款：総務費 1 項：総務管理費 18 目：コミュニティセンター費 施策 2 コミュニティの活動拠点の整備支援・利用促進を行います

事業	3	西志津ふれあいセンター管理運営事業
担当所属	自治人権推進課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
60,218,000	60,013,126	60,013,126	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

10	需用費	396,000	12	委託料	59,617,126
----	-----	---------	----	-----	------------

【実施計画の概要】

事業の内容	・西志津ふれあいセンターの維持管理・運営を行います。平成 23 年度から志津図書館、西志津市民サービスセンター、ルームさくら志津教室を含めた建物全体の維持管理に指定管理者制度を導入しています。
事業の目的	・市民が様々な地域・文化活動を行うことができる施設を管理・運営することで、健康で文化的な近隣社会の形成に寄与します。
事業の効果	・施設の維持管理・運営を指定管理者に委託することにより、施設の特性を最大限生かした、効率的かつ効果的なサービスの提供が期待できます。 ・複合施設として各施設と連携を円滑に進めることで、施設全体の利便性を高めることが期待できます。

【事業の概要】

- ・指定管理者業務委託料 59,617,126 円
- ・自動ドアユニット等交換 396,000 円

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
定期連絡の回数	12 回	12 回	12 回
施設開所日数	333 日	336 日	194 日
利用者満足度	100%	100%	100%
利用者人数	21,495 人	12,597 人	6,014 人
【施設利用者内訳 1】ホール	328 件 9,647 人	227 件 4,433 人	78 件 1,463 人
【施設利用者内訳 2】会議室	511 件 5,502 人	468 件 4,148 人	205 件 2,455 人
【施設利用者内訳 3】ギャラリー	372 件 6,346 人	351 件 4,016 人	112 件 2,096 人

【会計】一般会計

基本施策1 コミュニティ

2 款：総務費 1 項：総務管理費 18 目：コミュニティセンター費 施策2 コミュニティの活動拠点の整備支援・利用促進を行います

事業	4	和田コミュニティセンター管理運営事業
担当所属	和田ふるさと館	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
11,746,000	9,641,446	9,321,449	0	0	0	319,997

【決算額の節別内訳】（円）

10	需用費	6,570,364	11	役務費	198,520
12	委託料	2,597,563	13	使用料及び賃借料	149,060
17	備品購入費	125,939			

【実施計画の概要】

事業の内容	・利用者が和田ふるさと館の施設・設備を快適に使用できるよう、施設の維持管理・運営に努めます。
事業の目的	・個性あるふるさとづくりも含め、地域の活性化につながる活動の場の提供や、地域を越えて交流を図るためのコミュニティの場を提供します。
事業の効果	・市民文化の向上及び地域福祉の増進、さらには地域を越えた交流を図ることにより、市民の連携意識と市民活動の促進・向上を行うことができます。 ・雨水利用、太陽光発電設備により、省エネルギー・省資源、環境保全意識の啓発を行うことができます。

【事業の概要】

- ・機器保守点検、清掃、修繕等を実施するとともに感染症対策を徹底し、利用者が常に安全、快適に利用できるように施設の適正な維持管理を行いました。
- ・既存の障がい者駐車場を一般車両駐車場とはっきりと区別できるように分かりやすい表示にして、必要不可欠である人に利用できるよう整備を行いました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
開所日数	176 日	183 日	94 日
貸出率	13%	14.3%	11.9%
利用人数	4,226 人	3,798 人	2,312 人

事業	5	佐倉コミュニティセンター管理運営事業
担当所属	ミレニアムセンター佐倉	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
21,862,000	21,621,038	13,554,248	0	0	0	8,066,790

【決算額の節別内訳】（円）

08	旅費	524	10	需用費	1,936,905
12	委託料	19,168,215	13	使用料及び賃借料	338,624
17	備品購入費	176,770			

【実施計画の概要】

事業の内容	・佐倉コミュニティセンター（ホール、会議室1・2・3・4、音楽練習室、調理室、和室1・2、市民風呂）の維持・管理運営を行います。
事業の目的	・佐倉地区のコミュニティ施設として、地域活動の推進を図ります。 ・市民グループ等の活動場所として、市民活動の推進を図ります。 ・災害時には被災した市民のための施設として提供する市民風呂を維持管理し、市民サービスの向上を図ります。
事業の効果	・佐倉地区の地域活動の中心的な施設として整備することにより、地域活動やボランティア活動を活発化することができます。 ・佐倉市内の公衆浴場の一つである市民風呂は、駅前という立地条件から佐倉地区以外からも利用者がいます。 ・災害時には、帰宅困難者の一時滞在施設として開放したり、市民風呂を被災した市民に提供するなど、市民の安全・安心に寄与します。

【事業の概要】

- ・館内全体の安全を確保するため管理員による館内巡視、駐車場の誘導等を行いました。
- ・貸館施設の予約受付、使用料の徴収、利用者の要望に対応した設営を行いました。
- ・機械設備等保守点検を定期的に行い、利用者が快適に過ごせる施設管理を行いました。

【活動指標・成果指標】

指標名		令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
開所日数		333 日	333 日	333 日
施設利用率		49.2%	37.8%	37.0%
施設利用者数		40,737 人	25,879 人	15,446 人
施設利用件数		3,341 件	2,396 件	1,252 件
利用者数 及び 利用 件数 の内 訳	ホール	431 件 10,536 人	239 件 3,705 人	67 件 1,083 人
	音楽練習室	87 件 284 人	0 件 0 人	0 件 0 人
	第 1 会議室	562 件 2,395 人	413 件 1,686 人	252 件 1,497 人
	第 2 会議室	520 件 3,899 人	430 件 3,126 人	282 件 2,436 人
	第 3 会議室	573 件 3,800 人	492 件 2,905 人	258 件 1,937 人
	第 4 会議室	532 件 3,561 人	468 件 2,733 人	227 件 1,775 人
	調理室	246 件 1,942 人	156 件 1,024 人	76 件 574 人
	和室 1	336 件 1,355 人	169 件 571 人	66 件 287 人
	和室 2	54 件 136 人	29 件 56 人	24 件 135 人
	市民風呂	12,829 人	10,073 人	5,722 人

【会計】一般会計

基本施策1 コミュニティ

2 款：総務費 1 項：総務管理費 18 目：コミュニティセンター費 施策2 コミュニティの活動拠点の整備支援・利用促進を行います

事業	6	千代田・染井野ふれあいセンター管理運営事業
担当所属	千代田・染井野ふれあいセンター	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
8,555,000	6,040,570	4,973,037	0	0	0	1,067,533

【決算額の節別内訳】（円）

10	需用費	1,375,510	11	役務費	147,399
12	委託料	3,604,923	13	使用料及び賃借料	912,738

【実施計画の概要】

事業の内容	・千代田・染井野ふれあいセンターの維持・管理運営を行います。
事業の目的	・住民による自発的な活動を行うことのできる施設を設置することにより、市民活動や生涯学習の促進、及び市民サービスの向上を図り、健康で文化的な近隣社会の形成に寄与します。
事業の効果	・地域住民による文化、福祉、地域活動が活性化され、市民協働によるまちづくりの推進に寄与することができます。

【事業の概要】

- ・利用者が快適に使用できるよう、施設の維持管理・運営を適正に行いました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
施設開所日数	333 日	333 日	277 日
会議室全体の利用者数	10,756 人	7,297 人	3,556 人
第 1 会議室の利用者数	5,859 人	3,805 人	2,209 人
第 2 会議室の利用者数	2,065 人	1,400 人	661 人
第 3 会議室の利用者数	2,832 人	2,092 人	686 人

【会計】一般会計

基本施策1 コミュニティ

2 款：総務費 1 項：総務管理費 18 目：コミュニティセンター費 施策2 コミュニティの活動拠点の整備支援・利用促進を行います

事業	7	西志津ふれあいセンター施設整備事業
担当所属	自治人権推進課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	（財源内訳）				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
24,295,000	24,019,600	24,019,600	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

12	委託料	22,809,600	14	工事請負費	1,210,000
----	-----	------------	----	-------	-----------

【実施計画の概要】

事業の内容	・西志津ふれあいセンターの施設及び設備について、経年劣化により更新・修繕等が必要となる箇所を特定し、所要の整備を行います。
事業の目的	・西志津ふれあいセンターの施設及び設備について、所要の整備を行うことにより、施設利用者へ安心・安全・快適な質の高いサービスを保証します。
事業の効果	・通常の維持管理では対応できない、西志津ふれあいセンター施設の更新・修繕等を行い、快適な施設環境を維持することにより、利用者の安全面を確保し、安定的かつ継続的なサービスを提供します。

【事業の概要】

- ・ESCO 事業委託料 21,599,600 円
- ・外壁劣化赤外線調査業務委託 1,210,000 円
- ・電話設備更新工事 1,210,000 円

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
施設修繕等の実施	1 か所	0 か所	1 か所
利用者満足度	100%	95%	100%

2 款 1 項 18 目

第5章 市民とともに創る 多様性のある 持続可能なまち（市民参加・自治体運営）

【会計】一般会計

基本施策1 コミュニティ

2 款：総務費 1 項：総務管理費 18 目：コミュニティセンター費

施策2 コミュニティの活動拠点の整備支援・利用促進を行います

事業	9	和田コミュニティセンター施設整備事業
担当所属	和田ふるさと館	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
1,777,000	1,705,000	1,705,000	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

10	需用費	1,705,000			
----	-----	-----------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・設備の修繕等を実施します。
事業の目的	・施設の安全性等を適切に確保します。
事業の効果	・施設利用において、安心・安全なサービスを提供することが可能となります。 ・地域の活性化につながる活動及び交流の場等として活用していただくことができます。

【事業の概要】

- ・受変電設備（PAS）はメーカーからの要請に基づき、計画のとおり実施できました。
- ・浄化槽法第11条検査結果書に基づき、合併浄化槽放流槽蓋枠交換の修繕を適切に行いました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和04年度	令和03年度	令和02年度
修繕等の実施件数	2件	0件	0件
利用人数	4,226人	3,798人	2,312人

【会計】一般会計

基本施策1 コミュニティ

2 款：総務費 1 項：総務管理費 18 目：コミュニティセンター費 施策2 コミュニティの活動拠点の整備支援・利用促進を行います

事業	11	ミレニアムセンター佐倉施設整備事業
担当所属	ミレニアムセンター佐倉	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
14,447,000	14,144,020	14,144,020	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

10	需用費	2,451,020	12	委託料	11,693,000
----	-----	-----------	----	-----	------------

【実施計画の概要】

事業の内容	・ 駅前という利便性を活かし、市民生活に密着した行政サービスの提供等ができる施設づくりを基本として、ホールや会議室、市民風呂等のコミュニティ施設、消費生活センター、相談室、市民サービスセンター、パスポートセンター等の行政サービスの施設の修繕を行います。
事業の目的	・ 開館後約 20 年が経過したミレニアムセンター佐倉では、施設の経年劣化箇所があり、それらを修繕することで、引き続き市民や利用者に対する安全性や満足度の高いサービスの提供を図ります。
事業の効果	・ 引き続き利用者が安心して快適に施設を利用することができ、市民サービスの向上につながります。

【事業の概要】

ミレニアムセンター佐倉の修繕等施設整備を行いました。

- ・ 空調関係修繕工事
- ・ 免震装置定期点検委託
- ・ 京成佐倉駅北口連絡通路軌道上外壁等改修工事委託

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
施設修繕等の実施数	4 件	0 件	2 件

【会計】一般会計

基本施策 1 コミュニティ

2 款：総務費 1 項：総務管理費 18 目：コミュニティセンター費 施策 2 コミュニティの活動拠点の整備支援・利用促進を行います

事業	12	千代田・染井野ふれあいセンターコロナ対策施設改修事業
担当所属	千代田・染井野ふれあいセンター	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
616,000	579,700	30,155	549,545	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

14	工事請負費	579,700			
----	-------	---------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・ 網戸が設置されていない窓に、網戸を設置する改修工事を行います。
事業の目的	・ 換気を行いやすい環境を整備し、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止します。
事業の効果	・ 室内の換気の際に蜂や蚊など害虫の侵入を防ぎ、換気がしやすくなります。

【事業の概要】（※新型コロナ対策）

- ・ 施設内 16 箇所に網戸を設置しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
網戸の設置箇所	16 箇所	—	—

事業	13	西志津ふれあいセンターコロナ対策施設改修事業
担当所属	自治人権推進課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
5,709,000	3,623,400	251,049	3,372,351	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

14	工事請負費	3,623,400			
----	-------	-----------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・和便器は蓋ができないため、排せつ物を流す際にウイルスが飛散する可能性があることから、蓋を出来る洋便器に改修します。 ・部屋の換気を行いやすくするため、網戸が設置できない窓を改修することにより、網戸を設置します。
事業の目的	・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、ウイルスの飛散を防ぐため蓋を閉めることが出来る洋便器に改修します。 ・網戸の設置が出来ない窓を改修し、換気を行いやすい環境をつくり、感染予防を推進します。
事業の効果	・ウイルスの飛散を防ぎ新型コロナウイルス感染症の感染リスクを下げます。 ・室内の換気を定期的に行うことにより、感染リスクを下げます。

【事業の概要】（※新型コロナ対策）

- ・洋便器改修工事 1,287,000 円
- ・窓改修工事 2,336,400 円

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
感染防止対策工事件数	2 件	—	—

2 款 1 項 18 目

第5章 市民とともに創る 多様性のある 持続可能なまち（市民参加・自治体運営）

【会計】一般会計

基本施策1 コミュニティ

2 款：総務費 1 項：総務管理費 18 目：コミュニティセンター費 施策2 コミュニティの活動拠点の整備支援・利用促進を行います

事業	14	志津コミュニティセンターコロナ対策施設改修事業
担当所属	志津コミュニティセンター	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
2,376,000	2,376,000	123,595	2,252,405	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

14	工事請負費	2,376,000			
----	-------	-----------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・施設の利用制限や消毒の実施などと合わせて、総合的に新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じます。
事業の目的	・施設内における新型コロナウイルス感染拡大を防止します。
事業の効果	・新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じることで、利用者の感染リスクを低減することができます。

【事業の概要】（※新型コロナ対策）

- ・トイレ洋式化改修工事（10 基）及び手洗い自動水栓化工事（10 台）を行いました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
新型コロナウイルス感染拡大 防止対策トイレ工事箇所数	2 箇所	—	—

【会計】一般会計

基本施策1 コミュニティ

2 款：総務費 1 項：総務管理費 18 目：コミュニティセンター費

施策2 コミュニティの活動拠点の整備支援・利用促進を行います

事業	15	和田コミュニティセンターコロナ対策施設改修事業
担当所属	和田ふるさと館	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
2,180,000	2,125,200	110,549	2,014,651	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

14	工事請負費	2,125,200			
----	-------	-----------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、ウイルスが飛散することを防ぐため、蓋ができる洋便器に改修します。 ・多目的トイレの自動ドアを非接触型のセンサーに変更します。
事業の目的	・和便器は蓋を閉めることができないため、排泄物を流した際にウイルスが飛散する可能性があります。そのため、蓋ができる洋便器に改修します。 ・多目的トイレの自動ドアの開閉スイッチを押しボタン式から非接触型のセンサーに変更することにより、感染の予防をします。
事業の効果	・施設利用者に対し、安心して施設を利用してもらうように新型コロナウイルス感染（飛沫）防止の徹底を図ります。

【事業の概要】（※新型コロナ対策）

- ・令和4年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し修繕を行いました。
- ・既設の和便器から洋便器へ改修工事（2基）及び多目的トイレの自動ドア（1箇所）を非接触型のセンサーに変更することで、利用者に安心して施設を利用してもらうように新型コロナウイルス感染（飛沫）防止の徹底を図りました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和04年度	令和03年度	令和02年度
修繕等の実施件数	2件	—	—
利用人数	4,226人	—	—

事業	2	男女平等参画推進センター事業
担当所属	自治人権推進課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
20,762,000	20,742,472	20,742,472	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

10	需用費	80,872	12	委託料	14,940,000
13	使用料及び賃借料	5,583,600	18	負担金補助及び交付金	138,000

【実施計画の概要】

事業の内容	・指定管理者により、男女平等参画に関する情報の収集・提供、学習の場及び機会の提供、個人・団体相互の交流の促進、相談に関する業務、男女平等参画推進センターの施設管理を行います。
事業の目的	・男女が社会の対等な構成員として、あらゆる分野における活動に共に参画する社会を形成するため、その活動拠点として、男女平等参画推進センターの充実を図ります。
事業の効果	・男女平等参画推進センターの充実により、情報の提供や学習、交流、団体育成の場が確保され、男女平等参画社会形成の推進が図られます。

【事業の概要】

- ・指定管理者により、男女平等参画推進センターの施設管理を行うとともに、学習会（動画配信・対面）や講演会、「女性のための相談」、情報誌の発行、図書の貸出などの事業を実施しました。

（指定期間：令和2年4月1日～令和7年3月31日）

【活動指標・成果指標】

指標名	令和04年度	令和03年度	令和02年度
学習会の開催回数	5回	4回	2回
講演会の開催回数	1回	1回	0回
開所日数	346日	345日	294日
合計来館者数	16,762人	15,232人	10,799人
所蔵本貸出冊数	552冊	576冊	534冊
推進センターの認知度	82.4%	82.7%	90.2%

事業	3	男女平等参画推進センター事業（コロナ対策分）
担当所属	自治人権推進課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	（財源内訳）				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
567,000	566,940	14,770	552,170	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

12	委託料	566,940			
----	-----	---------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・男女平等参画推進センターにおいて、弁護士による「女性のための法律相談」を実施します。また、生理用品を必要とする女性に対して、相談に関するチラシと生理用品を配布し、相談の活用を促します。
事業の目的	・様々な不安や困難を抱える女性に対する法的側面からの支援として、「女性のための法律相談」を実施します。また、男女平等参画推進センター設置当初から実施している「女性のための相談」と連携し、相談機能の強化を図ります。
事業の効果	・「女性のための相談」と連携を図ることにより、きめの細かい寄り添った支援が可能になるとともに、男女平等参画推進センターの相談機能の強化が図られます。また、相談事業の一環として、必要としている女性に生理用品を提供することにより、「生理の貧困」対策の一助となります。

【事業の概要】（※新型コロナ対策）

- ・男女平等参画推進センターにおいて、女性弁護士による「女性のための法律相談」を実施しました。
- ・相談事業の一環として、必要としている女性に生理用品を提供し、相談の活用を促しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
「女性のための法律相談」実施回数	6 回	—	—
「女性のための法律相談」相談者数	12 人	—	—

2 款 1 項 21 目

第 5 章 市民とともに創る 多様性のある 持続可能なまち（市民参加・自治体運営）

【会計】一般会計

基本施策 5 行財政運営

2 款：総務費 1 項：総務管理費 21 目：諸費 施策 3 税の公平、公正、効率的賦課と収入率向上を目指します

事業	1	市税等還付事業
担当所属	債権管理課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
84,600,000	65,905,281	46,510,733	0	19,394,548	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

22	償還金利子及び割引料	65,905,281			
----	------------	------------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・過年度に納付された市税について、確定申告等により減額となった市県民税や法人税の予定納税額の精査及び課税錯誤等により過誤納が発生した場合は、対象者の方に還付します。
事業の目的	・税の過誤納が判明した場合、迅速な事務処理により還付を行い、適正な収納管理を行います。
事業の効果	・適正かつ速やかな還付事務を行うことにより、市民の税に関する信頼性を高めます。

【事業の概要】

- ・対象者に対して適切な還付事務（通知・支払い）を行いました。

【活動指標・成果指標】

指標名		令和 04 年度		令和 03 年度		令和 02 年度	
市税等還付金		件数	還付金額	件数	還付金額	件数	還付金額
還付金合計		1,676 件	65,963,769 円	1,895 件	84,487,357 円	1,777 件	93,826,723 円
内 訳	市県民税	876 件	32,205,880 円	862 件	25,518,985 円	804 件	25,698,636 円
	法人市民税	247 件	15,190,400 円	296 件	27,132,100 円	322 件	44,851,050 円
	固定資産税	80 件	2,537,562 円	195 件	18,886,887 円	124 件	13,722,371 円
	都市計画税						
	軽自動車税	19 件	113,600 円	29 件	171,600 円	16 件	124,100 円
配当割等		454 件	15,916,327 円	513 件	12,777,785 円	511 件	9,430,566 円

2 款 1 項 21 目

第 2 章 人と自然が調和した安心して暮らせるまち（都市基盤・住環境）

【会計】一般会計

基本施策 7 防犯・交通安全

2 款：総務費 1 項：総務管理費 21 目：諸費

施策 1 犯罪の抑止を図ります

事業	3	地域防犯活動推進事業
担当所属	危機管理課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
45,312,000	41,428,289	4,869,994	0	801,695	0	35,756,600

【決算額の節別内訳】（円）

08	旅費	2,052	10	需用費	659,637
12	委託料	1,185,800	14	工事請負費	35,263,800
18	負担金補助及び交付金	4,317,000			

【実施計画の概要】

事業の内容	・ 自主防犯活動団体への防犯資器材（腕章、ベスト、拍子木等）の貸出しなどと併せ、地域における防犯活動のリーダーとして防犯指導員の委嘱を行います。 ・ 防犯に関する市民の意識を高めるため、防犯キャンペーンを行います。 ・ 佐倉警察署管内防犯組合連合会への負担金を支出します。 ・ 防犯カメラの管理、運用を行います。 ・ 市事業等からの暴力団排除の取組を推進します。 ・ 自治会などへ防犯カメラ等設置費の補助を行います。
事業の目的	・ 自主防犯活動の支援や、市民の防犯に対する意識の啓発を行うことにより、犯罪発生 の抑止を図り、市民協働による安全・安心なまちづくりを進めます。
事業の効果	・ 自主防犯活動の充実、市民の防犯意識の高揚が図られることにより、犯罪発生 の抑止が期待されます。

【事業の概要】

- ・ 自主防犯活動団体への防犯資器材貸出し
- ・ 大規模店舗等での防犯キャンペーン実施
- ・ 佐倉警察署管内防犯組合連合会への負担金支出
- ・ 防犯カメラの管理、運用
- ・ 自治会等へ防犯カメラ等設置工事費補助
- ・ 市事業等からの暴力団排除の取組を推進
- ・ 臼井交番移転に伴う臼井駅南口ロータリー改修工事

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
防犯キャンペーン実施回数	3 回	3 回	2 回
防犯カメラ設置補助総台数	59 台	52 台	41 台
防犯資器材新規利用団体数	4 団体	11 団体	11 団体

事業	1	市民税課税事業
担当所属		市民税課

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
7,672,000	7,380,493	7,380,493	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

10	需用費	7,370,615	17	備品購入費	9,878
----	-----	-----------	----	-------	-------

【実施計画の概要】

事業の内容	・個人及び法人の市民税の課税業務を実施します。
事業の目的	・市税のうち約 50%を占める市民税の課税を適正かつ迅速に実施することにより、市の財政基盤の安定化を図ります。
事業の効果	・適正な課税を実施し、安定した財源を確保することで、市全体として健全な財政運営が可能となります。 ・適正な課税の実施により市税制への信頼を高め、収入率の向上に寄与します。

【事業の概要】

- ・個人、法人市民税課税業務を適正に実施しました。
- ・確定申告会場を中央公民館に設置し、e-Tax による申告相談対応、申告受付を行いました。
- ・市民税申告を受け付けました。（約 8 千件）
- ・約 25 万件の個人市民税の申告資料確認作業を行いました。
- ・約 5 千件の法人市民税の申告資料確認作業を行いました。
- ・納税通知書を発送しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
個人市民税賦課資料件数	245,132 件	246,067 件	245,565 件
法人市民税申告書件数	4,683 件	4,550 件	4,430 件
個人市民税現年課税分調定額	10,992,382,685 円	10,871,748,935 円	11,235,855,317 円
法人市民税現年課税分調定額	1,116,352,800 円	999,675,200 円	1,148,384,100 円
個人市民税納税義務者数	89,054 人	89,304 人	89,918 人
法人市民税納税義務者数	3,659 社	3,573 社	3,471 社

事業	2	諸税課税事業
担当所属		市民税課

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
3,810,000	3,744,907	3,744,907	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

10	需用費	2,211,729	11	役務費	312,431
18	負担金補助及び交付金	1,220,747			

【実施計画の概要】

事業の内容	・軽自動車税及び市たばこ税の課税業務を実施します。
事業の目的	・軽自動車税及び市たばこ税の課税を適正かつ迅速に実施することにより、市の財政基盤の安定化を図ります。
事業の効果	・適正な課税を実施し、安定した財源を確保することで、市全体として健全な財政運営が可能となります。 ・適正な課税の実施により市税制への信頼を高め、収入率の向上に寄与します。

【事業の概要】

- ・軽自動車所有権異動届の受付を行いました。
- ・軽自動車検査協会・運輸支局との連絡調整を行いました。
- ・納税通知書の発送を行いました。
- ・減免申請書の発送及び減免手続きを行いました。
- ・納税通知書未到達分の処理を行いました。
- ・市たばこ税の申告を受け付けました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
課税対象件数（軽自動車税）	42,185 件	41,576 件	41,189 件
課税対象件数（市たばこ税）	144,352 千本	143,287 千本	144,616 千本
軽自動車税減免申請書発送件数	485 件	481 件	485 件
軽自動車税調定額	325,346,100 円	303,535,600 円	292,242,700 円
市たばこ税納税額	945,791,749 円	904,045,367 円	849,696,096 円

事業	3	課税資料電子化推進事業
担当所属	市民税課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	（財源内訳）				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
7,826,000	7,798,262	7,798,262	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

12	委託料	1,465,200	18	負担金補助及び交付金	6,333,062
----	-----	-----------	----	------------	-----------

【実施計画の概要】

事業の内容	・ 地方税共同機構が運営する地方税ポータルシステム（eLTAX）を通じて、個人住民税、法人市民税及び固定資産税の償却資産に係る課税資料、また、個人市民税（特別徴収分）等の納税データを電子データにより送受信するために、必要なシステムの運営管理を民間 ASP 事業者へ委託します。 ・ eLTAX の運営主体である地方共同法人地方税共同機構に負担金を支払います。
事業の目的	・ 課税資料を電子化することにより、課税事務の適正化、効率化を図ります。 ・ 電子申告を導入することで、課税資料提出に係る事業所等の事務軽減を図ります。 ・ 個人住民税（特別徴収分）等の納税を電子化することにより、収納事務の効率化を図ります。
事業の効果	・ 個人住民税の課税資料となる公的年金等の支払報告書、確定申告書及び給与支払報告書等を eLTAX を通じて送受信することにより、賦課業務を適切かつ効率的に実施します。 ・ 法人市民税及び固定資産税の償却資産について、電子申告及び電子申請を可能とすることで賦課業務を効率化します。 ・ システムを利用した個人住民税（特別徴収分）等の納税により、収納事務を効率化し、市及び事業所等の事務を軽減します。

【事業の概要】

- ・ 公的年金等に係る支払報告書、確定申告書及び給与支払報告書等の課税資料を eLTAX を通じて電子データによる授受を行うために必要なシステムの運用管理について、業務委託を行うことで適切に実施しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
確定申告書 受信件数	35,196 件	34,154 件	34,096 件
公的年金支払報告書 受信件数	89,561 件	89,542 件	89,437 件
給与支払報告書 受信件数	73,728 件	72,918 件	66,978 件
個人市民税納税義務者数	89,054 人	89,304 人	89,918 人

事業	4	固定資産税等課税事業
担当所属		資産税課

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
5,291,000	4,944,041	4,944,041	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

10	需用費	4,076,141	13	使用料及び賃借料	867,900
----	-----	-----------	----	----------	---------

【実施計画の概要】

事業の内容	・ 固定資産税及び都市計画税の賦課業務を実施します。
事業の目的	・ 適正な賦課業務を実施することにより、税収を確保することができ安定的な行政を運営することが可能となります。
事業の効果	・ 適正な賦課を実施し安定した財源を確保することで、市全体として健全な財政運営が可能となります。 ・ 適正な賦課実施により市税への信頼を高め、収入率の向上に寄与します。

【事業の概要】

- ・ 固定資産税、都市計画税の賦課業務を適正に実施しました。
- ・ 土地、家屋等の価格等を固定資産台帳に登録しました。
- ・ 法定相続人の調査を行い、納税義務者の特定を行いました。
- ・ 納税義務者の居住地確認を強化し、納税通知書の発送を行いました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
固定資産税納税義務者数	72,265 人	72,153 人	72,146 人
固定資産税・都市計画税調定額	11,035,071,394 円	10,699,859,465 円	10,987,762,178 円
調定額【固定資産税】	9,409,143,794 円	9,107,556,465 円	9,359,035,578 円
調定額【都市計画税】	1,625,927,600 円	1,592,303,000 円	1,628,726,600 円

事業	7	土地評価事業
担当所属		資産税課

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
12,162,000	12,161,600	12,161,600	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

12	委託料	12,161,600			
----	-----	------------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・ 地方税法第 403 条により、固定資産評価基準に基づく固定資産（土地）の価格を決定する評価業務を実施します。 ・ 評価替え基準年度（3 年に 1 度）に向け、用途地区、標準宅地、路線価等の見直しや算出を行います。 ・ 固定資産税評価基準に基づいて固定資産（土地）の年度ごとの課税データ等を作成します。
事業の目的	・ 固定資産税の対象となる土地について、評価の適正化と均衡化を図ります。
事業の効果	・ 適正な賦課を実施し安定した財源を確保することで、市全体として健全な財政運営が可能となります。 ・ 適正な賦課実施により市税への信頼を高め、収入率の向上に寄与します。

【事業の概要】

- ・ 翌年度の固定資産税賦課に係る土地評価見直しを行いました。
- ・ 令和 6 年度評価替えに向け、路線の見直し、仮路線価算定、標準宅地等の見直し、土砂災害警戒区域等抽出及び面積算出、地番図の高精度化等を行いました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
評価件数	174,569 筆	174,222 筆	174,015 筆
評価決定価格	675,794,239 千円	676,421,885 千円	673,560,905 千円

事業	8	評価替え等事業
担当所属	資産税課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	（財源内訳）				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
19,578,000	19,577,855	19,577,855	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

12	委託料	19,577,855			
----	-----	------------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・ 地方税法第 403 条により、固定資産評価基準に基づく固定資産（土地）の価格を決定する評価業務を実施します。 ・ 評価替え基準年度（3 年に 1 度）に向け、土地の価格を算出するための不動産鑑定評価業務を行います。 ・ 地価動向を調査する時点修正業務に係る不動産鑑定評価業務を行います。
事業の目的	・ 固定資産税の対象となる土地について、評価の適正化と均衡化を図ります。
事業の効果	・ 適正な賦課を実施し安定した財源を確保することで、市全体として健全な財政運営が可能となります。 ・ 適正な賦課実施により市税への信頼を高め、収入率の向上に寄与します。

【事業の概要】

- ・ 標準宅地等の標準価格を求めるための不動産鑑定士による鑑定評価を実施しました。
- ・ 時点修正業務委託（100 地点）を実施しました。
- ・ 市内の価格バランスを検討する固定資産鑑定評価員（鑑定士）会議を 3 回実施しました。近隣市町村及び成田税務署との価格バランスを調整する会議は、コロナ感染症の影響で会議が開催されなかったため、電話等により調整を図りました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
近隣市町村との価格バランス 検討会議出席回数	—	—	—
市内の価格バランス検討会議	3 回	—	2 回
不動産鑑定評価地点数	648 地点	—	—
不動産鑑定（時点修正）地点数	100 地点	100 地点	100 地点
評価決定価格	675,794,239 千円	676,421,885 千円	673,560,905 千円

事業	11	徴収事業
担当所属		債権管理課

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
3,858,000	2,838,194	2,838,194	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

08	旅費	33,774	10	需用費	1,408,597
11	役務費	405,823	12	委託料	660,000
13	使用料及び賃借料	330,000			

【実施計画の概要】

事業の内容	・滞納者に督促状、催告書を送付し自主的納税を促します。 ・納税相談等を実施します。 ・預貯金や不動産等財産の差押えなど滞納整理を実施します。 ・国民健康保険税の滞納整理と併せて実施します。
事業の目的	・財源の確保を図るため、市民税等の収入率の向上を図ります。 ・税負担の公平を図ります。
事業の効果	・市民税等の収入率を向上させ、歳入の安定確保につなげます。 ・税の公平性を確保することで、市民へ税制度に関する理解を促進することができます。

【事業の概要】

- ・滞納者に督促状、催告書を送付し自主的納税を促しました。
- ・納税相談等を実施しました。
- ・預貯金や不動産等財産の差押えなど、滞納整理を実施しました。
- ・市民税等及び国保税の滞納整理を併せて実施しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
滞納者への督促状の発付	40,184 件	39,379 件	42,146 件
財産差押件数	403 件	379 件	273 件
年間滞納繰越収入額	275,506,418 円	312,202,374 円	313,669,879 円
市税収入率(現年課税分＋滞納繰越分)	95.83%	95.36%	94.93%
市税収入率(現年課税分)	98.88%	98.96%	98.77%
市税収入率(滞納繰越分)	25.85%	25.46%	23.69%

事業	12	収納事業
担当所属	債権管理課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
3,358,000	3,104,600	3,104,600	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

10	需用費	938,205	11	役務費	1,239,809
12	委託料	926,586			

【実施計画の概要】

事業の内容	- 各金融機関で納付された税金の収納データを確認し、適正な収納管理を行います。 - 市民税等の円滑な収納のため、口座振替依頼書を納税通知書に同封するなど口座振替納付を勧奨します。 - 口座振込申込みを受付け、振替手続きを行います。
事業の目的	- 口座振替納付を勧奨することで、市民税等の円滑な収納を図ります。 - 市民税等の収入率向上を図ります。
事業の効果	市民税等の収入率を向上させ、歳入の安定確保につなげます。

【事業の概要】

- 各金融機関等で納付された市税の納付データを確認し、適正な収納管理を実施しました。
- 市税の口座納付について、転入者に対する利用案内の配布や、納税通知書への口座振替依頼書の同封、窓口での個別案内により勧奨を実施しました。
- 特定の納税者に対し、口座振替依頼書を直接郵送することによる勧奨を実施しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
口座振替依頼書送付枚数 (納税通知書同封分)	90,514 枚	90,051 枚	89,507 枚
口座振替利用件数	39,258 件	39,556 件	39,514 件
口座振替金額	5,757,064,765 円	5,451,704,897 円	5,401,327,454 円
口座振替の加入率	25.8%	26.0%	26.0%
市税収入率（現年課税分）	98.88%	98.96%	98.77%

2 款 2 項 2 目

第 5 章 市民とともに創る 多様性のある 持続可能なまち（市民参加・自治体運営）

【会計】一般会計

基本施策 5 行財政運営

2 款：総務費 2 項：徴税費 2 目：賦課徴収費 施策 3 税の公平、公正、効率的賦課と収入率向上を目指します

事業	14	収納方法拡大事業
担当所属	債権管理課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
18,819,000	18,314,522	18,314,522	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

12	委託料	18,314,522			
----	-----	------------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・ コンビニ収納及びスマートフォン決済による市税収納システムの運用を行います。 ・ 金融機関等の窓口収納データを適正に管理するため、OCR（納付書データ機械読取）業務を委託します。
事業の目的	・ 納税手段の拡大により納税者の利便性を向上させます。 ・ 市税収納データの適正な管理を行います。
事業の効果	・ 納税し易い環境を整えることで市税の納期ごとの安定した収入を確保し安定した財政運営を確保することができます。 ・ 金融機関等の窓口収納データの正確かつ迅速な処理が実現され、過誤納金処理など収納後の処理を合理的に進めることができます。

【事業の概要】

- ・ 金融機関等からの市税収納データ処理を適正に行いました。
- ・ 市税のコンビニ収納・スマートフォン決済に関する事務処理、データ処理を適正に行いました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
コンビニ収納取扱件数	138,348 件	137,180 件	144,137 件
OCR データ読取処理件数	211,431 件	226,195 件	235,282 件
コンビニ利用率	34.5%	33.7%	35.3%

事業	15	納税案内委託事業
担当所属	債権管理課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
8,346,000	8,345,700	8,345,700	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

12	委託料	8,345,700			
----	-----	-----------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・ 債権管理課内に納税案内センターを設置し、以下の業務を委託します。 ー市歳入の中心となる市税等（現年分）に関し督促状を発送するも納付に至らない方 に対して、電話等により自主的納付の呼び掛けを行います。
事業の目的	・ 納税者一人ひとりが納税の重要性を認識した上で、自らの滞納状況を早期に把握し、 速やかな自主納付を促します。
事業の効果	・ 早期に、かつ繰り返し納税催告を行うことにより、新規滞納者発生と繰越滞納額の累 積を防止します。 ・ 職員は、徴税吏員しかできない納税折衝、滞納事案の精査、処分判断に専念すること で、これまで手付かず、又は対応が遅れている滞納事案に早期着手できる体制を構築 します。

【事業の概要】

- ・ 令和 4 年 4 月に延長契約（契約期間：4～6 月）を、令和 4 年 6 月に 1 年間の業務委託契約（契約期間：
令和 4 年 7 月～令和 5 年 6 月）をそれぞれ締結し、「佐倉市納税案内センター」を運営しました。
- ・ 架電催告を 10 回（定例 8 回、臨時 2 回）、文書催告を 4 回実施しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
納税案内件数（架電及び文書）	11,715 件	7,053 件	—

2 款：総務費 3 項：戸籍住民基本台帳費 1 目：戸籍住民基本台帳費 施策 4 行政手続の簡素化と利便性の向上を図ります

事業	2	戸籍住民基本台帳管理事業
担当所属	市民課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
3,326,000	2,852,677	0	1,504,000	128,478	0	1,220,199

【決算額の節別内訳】（円）

08	旅費	2,020	10	需用費	2,191,309
11	役務費	5,000	13	使用料及び賃借料	634,348
18	負担金補助及び交付金	20,000			

【実施計画の概要】

事業の内容	・戸籍法、住民基本台帳法、印鑑条例に関する届出・申請などに適切に対処します。 ・総合窓口として、機能を推進することで、ワンストップサービスの充実を図ります。
事業の目的	・戸籍業務、住民基本台帳事務等の充実を図り、より一層の市民サービスを提供することを目的とします。 ・総合窓口としての機能を推進することにより、ワンストップサービスの充実を図ります。
事業の効果	・戸籍業務、住民基本台帳事務等の充実により、一層の市民サービスの提供が図られます。 ・総合窓口としての機能の推進により、ワンストップサービスの充実が図られます。

【事業の概要】

- ・戸籍法、住民基本台帳法、印鑑条例に関する届出・申請などに適切に対処しました。
- ・総合窓口として、児童手当等の申請受付業務に対処しました。
- ・証明書自動交付機を廃止しました。（令和 4 年 12 月末）

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
自動交付機の利用率	22.8%	32.2%	33.8%
各種証明書発行枚数【住民票関係】 (一日あたり枚数)	31,970 枚 (119.7 枚)	33,737 枚 (126.8 枚)	35,851 枚 (133.8 枚)

事業	3	窓口委託事業
担当所属	市民課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
36,564,000	36,564,000	36,564,000	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

12	委託料	36,564,000			
----	-----	------------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・ 窓口での各種証明書の申請受付、住民記録端末の入力、証明書作成、郵送による証明書の申請交付といった市民課及び志津出張所の窓口等業務の一部を民間委託します。
事業の目的	・ 窓口等業務を委託することにより、市民課業務及び志津出張所業務の円滑かつ安定的な処理を図り、公共サービスの質の向上を目的とします。
事業の効果	・ 窓口サービス等の安定的な供給を行うことができ、かつコストの削減が見込まれます。

【事業の概要】

- ・ 窓口における各種証明書の申請受付、住民記録端末の入力、証明書作成、郵送による証明書の申請対応などの市民課及び志津出張所の窓口業務の一部を委託しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
証明書等発行に係る業務委託取扱件数比率	67.3%	65.9%	68.0%
業務委託した日数	267 日	266 日	268 日

事業	4	戸籍電算システム整備事業
担当所属	市民課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
20,240,000	15,228,640	14,304,640	924,000	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

10	需用費	546,480	11	役務費	1,887,600
12	委託料	924,000	13	使用料及び賃借料	11,870,560

【実施計画の概要】

事業の内容	・ 戸籍に関する届出受理から戸籍の記載、保存及び謄抄本の証明発行に至る一連の戸籍事務及び住民基本台帳との附票による連携や関連機関への報告作成等を行います。 ・ 戸籍法等の改正に伴い、システム改修等が必要となります。
事業の目的	・ 戸籍電算システムによる安定した戸籍管理と厳密な個人情報の管理とともに、事務処理の迅速性・正確性及び関連事務との整合性を確保し、窓口におけるサービスの向上と事務の効率化を図ります。
事業の効果	・ システム導入により、戸籍諸証明の発行時間が短縮され、住民サービスの向上につながります。また、誤記や重複記載の解消及び事務処理時間の短縮など、行政コストの削減に寄与します。

【事業の概要】

- ・ 戸籍関連事務の効率的かつ適正な管理・処理に努めました。
- ・ 戸籍法の一部改正に伴う戸籍電算システムの改修を行いました。
- ・ 戸籍電算システムの更改を実施しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
戸籍システムを利用して処理する届出件数	6,715 件	6,661 件	6,692 件
戸籍システムによる戸籍情報保有件数	57,322 件	57,153 件	57,001 件

事業	5	個人番号カード等交付事業
担当所属	市民課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
96,641,000	66,797,212	0	66,797,212	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

01	報酬	21,123,000	03	職員手当等	3,470,636
04	共済費	2,028,083	08	旅費	1,055,684
10	需用費	696,171	12	委託料	37,333,208
13	使用料及び賃借料	1,053,360	17	備品購入費	37,070

【実施計画の概要】

事業の内容	・地方公共団体情報システム機構から送付される個人番号カードを、申請者に対し速やかに交付を行います。 ・個人番号カードについて、その記載事項等の変更時における変更後記載事項等を個人番号カードの追記欄等に記載するための機器の整備を行います。
事業の目的	・公平・公正な社会基盤を構築し、行政手続きの簡素化と利便性の向上を図ります。
事業の効果	・個人番号カード等交付事業を実施することで、公平・公正な社会基盤を構築し、行政手続きの簡素化と利便性の向上を図ることが見込まれます。

【事業の概要】

- ・希望する市民への個人番号カード交付について、個人情報保護に配慮し円滑に進めました。
- ・マイナポイント第2弾に伴い、個人番号カードの申請者が著しく増加しましたが、会計年度任用職員の増員、庁内の他部署の応援等により、円滑に交付を進めました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
個人番号カードの交付枚数	46,270 枚	26,797 枚	18,306 枚
人口に対する個人番号カード交付率	65.97%	38.75%	22.95%

事業	6	証明書コンビニ交付事業
担当所属	市民課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
15,093,000	14,602,762	8,059,612	0	0	0	6,543,150

【決算額の節別内訳】（円）

08	旅費	1,786	11	役務費	2,929,449
12	委託料	2,950,530	13	使用料及び賃借料	3,933,960
18	負担金補助及び交付金	4,787,037			

【実施計画の概要】

事業の内容	・ 証明書コンビニ交付サービスを実施するため、機器の賃貸借（保守委託込み）、システム保守委託及び市町村運営負担金の支出を行います。
事業の目的	・ 証明書コンビニ交付を実施することにより、住民の利便性を向上させることを目的とします。
事業の効果	・ 住民の利便性が向上するほか、窓口や郵送での住民票等の証明書発行件数が減少することにより、コストの削減が見込まれます。

【事業の概要】

- ・ 機器の賃貸借（保守委託込み）を行いました。
- ・ システムの保守委託を行いました。
- ・ 市町村運営負担金を支出しました。
- ・ コンビニ交付システムの更改を実施しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
証明書コンビニ交付サービスの普及啓発	2 回	2 回	2 回
住民票等証明書のコンビニ交付利用率	18.47%	9.57%	4.20%
コンビニ交付による証明書発行（印鑑登録証明書）	6,889 枚	3,553 枚	1,440 枚
コンビニ交付による証明書発行（住民票・附票）	9,492 枚	5,003 枚	2,380 枚
コンビニ交付による証明書発行（戸籍）	2,294 枚	1,098 枚	523 枚

【会計】一般会計

基本施策 98 その他事業

2 款：総務費 4 項：選挙費 5 目：参議院議員選挙費 施策 98 その他事業（議会・選挙）

事業	1	参議院議員選挙事業
担当所属	選挙管理委員会事務局	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
66,273,000	66,242,393	4,823,120	0	61,419,273	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

01	報酬	6,728,380	03	職員手当等	23,394,743
07	報償費	89,200	08	旅費	160,282
10	需用費	4,205,240	11	役務費	7,921,331
12	委託料	15,430,944	13	使用料及び賃借料	2,529,883
17	備品購入費	5,782,390			

【実施計画の概要】

事業の内容	・選挙人名簿を適正に作成し、調製された選挙人名簿に基づき入場整理券の送付を行います。 ・選挙執行に向けた準備を行います。（各種報告事務、管理者・立会人及び事務従事者等の人員の確保、投票所及び開票所の設営、ポスター掲示場の設置管理等） ・適正な投票事務を行います。（期日前投票及び不在者投票を含む） ・適正かつ迅速な開票事務を行います。 ・選挙終了後の各種事務を行います。（各種報告事務、投・開票所の撤収、ポスター掲示場の撤去等）
事業の目的	・適正な選挙の管理及び執行。
事業の効果	・選挙の手続きを適正に執行することにより、参議院議員の選出を公正に行うことができます。

【事業の概要】

参議院議員通常選挙に関する事業

- ・選挙人名簿を適正に作成し、調製された選挙人名簿に基づき入場整理券の送付を行いました。
- ・投票事務（期日前投票及び不在者投票を含む）を適正に行いました。
- ・市内 5 箇所定期日前投票を行いました。
- ・適正かつ迅速に開票事務を行い、選挙終了後の各種事務を行いました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和元年度	平成 28 年度
投票率	53.56%	47.78%	55.62%
当日投票所の数	37 箇所	38 箇所	38 箇所

2 款 6 項 1 目

【会計】一般会計

2 款：総務費 6 項：監査委員費 1 目：監査委員費

事業	1	監査運営事業
担当所属	監査委員事務局	

【予算額・決算額】(円)

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
3,685,000	3,510,353	3,510,353	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】(円)

01	報酬	2,988,000	08	旅費	20,194
10	需用費	402,584	11	役務費	2,475
18	負担金補助及び交付金	97,100			

【実施計画の概要】

事業の内容	・ 地方自治法、地方公営企業法及び地方公共団体の財政の健全化に関する法律等に基づき、公正で合理的かつ能率的な行政運営が確保されているか、照合、実査、立会、確認、質問、分析、比較などの方法により監査、審査、検査を実施します。
事業の目的	・ 市の財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理又は市の事務（地方自治法施行令第 140 条の 5 に定める事務を除く。）が、公正で合理的かつ能率的に執行されているか検証します。
事業の効果	・ 監査等の結果を議会及び市長等に提出し、公表するなどにより、民主的かつ効率的な行政の執行確保に資し、もって住民の福祉の増進と地方自治の本旨の実現に寄与するものです。

【事業の概要】

- ・ 定期監査及び行政監査⇒監査期間：8 月 22 日～令和 5 年 2 月 17 日
- ・ 財政援助団体等監査⇒監査期間：7 月 14 日～11 月 11 日
- ・ 一般会計及び特別会計決算審査⇒審査期間：6 月 30 日～8 月 18 日
- ・ 基金の運用状況審査⇒審査期間：6 月 30 日～8 月 18 日
- ・ 公営企業会計決算審査⇒審査期間：6 月 3 日～8 月 18 日
- ・ 健全化判断比率及び資金不足比率審査⇒審査期間：7 月 25 日～8 月 18 日
- ・ 例月現金出納検査⇒毎月

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
監査等執行件数	7 件	8 件	7 件
監査等の結果報告書の作成及び公表等の件数	7 件	8 件	7 件

事業	3	民生委員・児童委員活動支援事業
担当所属	社会福祉課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	（財源内訳）				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
11,914,000	11,754,450	10,564,200	0	1,190,250	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

07	報償費	10,564,200	18	負担金補助及び交付金	1,190,250
----	-----	------------	----	------------	-----------

【実施計画の概要】

事業の内容	- 厚生労働大臣、県知事の委嘱を受け担当区域で活動する民生委員・児童委員及び主任児童委員とその活動の支援、援助を行います。 - 佐倉市民生委員・児童委員協議会に対し交付金を交付し、市内 8 地区民生委員・児童委員協議会で行政事務連絡等の定例会を毎月 1 回、さらに民生委員としての資質向上のための研修等を実施します。
事業の目的	- 地域での福祉奉仕者として要援護対象世帯へ援助をさしのべる民生委員・児童委員活動を支援することで、地域福祉の充実向上を図ります。 - 市と民生委員・児童委員が、福祉関係業務等に関して十分な連携を図りながら、円滑かつ適正な各種福祉施策を推進します。
事業の効果	- 地域福祉の担い手として、地域福祉活動・福祉団体活動の中心的な役割を果たしている民生委員・児童委員とその活動の支援は、地域福祉の充実につながります。 - 地域奉仕の精神で住民の立場に寄り添った相談や支援は、地域福祉の増進につながります。

【事業の概要】

- 地域福祉を担っている民生委員・児童委員、主任児童委員へ報償費、佐倉市民生委員児童委員協議会へ交付金を支出し、その活動を支援するとともに、行政事務連絡等の各地区定例会を開催しました。
- 佐倉市民生委員・児童委員協議会に広報研修、児童、高齢者の専門部会を設けましたが、新型コロナウイルス感染症のため一部の会議について実施できませんでした。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
地区定例会、研修会等の実施回数	105 回	74 回	67 回
民生委員・児童委員の定数の充足	195 人/217 人	205 人/217 人	209 人/217 人

事業	9	地域福祉推進団体助成事業
担当所属	社会福祉課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	（財源内訳）				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
42,784,000	42,783,500	42,475,834	0	0	0	307,666

【決算額の節別内訳】（円）

18	負担金補助及び交付金	42,783,500			
----	------------	------------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・市内全域で市民を対象とした地域福祉事業を実施している社会福祉法人佐倉市社会福祉協議会（以下、佐倉市社会福祉協議会）に対して、市民生活に密着した地域福祉を推進する事業に係る経費や、事業実施に必要な職員人件費の一部を補助し、その活動を支援します。
事業の目的	・佐倉市社会福祉協議会による善意銀行、ボランティアセンターの運営など地域福祉を推進する事業が継続的かつ円滑に実施されることで、市民参加による地域福祉の充実及び向上を目的とします。
事業の効果	・佐倉市社会福祉協議会の市民生活に密着した社会福祉事業や、市民参加を促進する地域福祉事業が実施されることで、地域福祉の充実、向上が図られ、併せて地域住民相互の支え合いによる地域福祉の推進体制づくりを進めることにも寄与します。

【事業の概要】

- ・各種事業を展開して佐倉市の地域福祉を推進している佐倉市社会福祉協議会に補助金を支出し、その活動を支援しました。

（「社会福祉協議会事業推進費補助金」補助対象事業）

○地域福祉推進事業（地域福祉活動計画、地区社会福祉協議会活動支援、福祉団体及び施設協議会活動支援等）、○ボランティア推進事業（ボランティア活動支援・普及推進、災害ボランティアセンター一体整備、福祉教育活動の推進、ボランティア活動助成、おもちゃ図書館の運営等）、○生活支援・権利擁護推進事業（善意銀行、法人後見事業、福祉総合相談事業）、○法人運営事業（組織運営、企画、広報、研修、会員募集、社会福祉法人連携強化等）

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
善意銀行事業による貸付件数	106 件	104 件	160 件
福祉総合相談所相談件数	509 件	347 件	266 件
地域福祉活動を行うボランティア団体数	100 団体	99 団体	99 団体

事業	11	福祉施設等管理運営委託事業
担当所属	社会福祉課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
84,607,000	84,588,342	84,588,342	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

10	需用費	622,083	12	委託料	82,596,259
18	負担金補助及び交付金	1,370,000			

【実施計画の概要】

事業の内容	・佐倉市西部地域福祉センター（令和元～5 年度）、佐倉市南部地域福祉センター（令和 3～7 年度）の管理運営について指定管理者を指定して行います。 ・指定管理者は地域住民に対して、会議室、研修室、浴室等の施設を提供するとともに、施設の利用促進を図ります。 ・修繕が必要な箇所については、適宜対応します。
事業の目的	・市民の地域福祉活動の拠点として施設を提供し、地域住民による地域福祉活動を促進することにより、地域福祉の充実、向上が期待できます。 ・趣味・娯楽・学習等の機会、また交流の場を提供しながら高齢者等の生きがいを創出します。
事業の効果	・ボランティア団体等へ活動の場を提供することで、市民の地域福祉活動への参加を促進し、地域福祉活動の充実、向上を図ります。 ・高齢者の交流機会の場等を提供することで、生きがいづくりや仲間づくりの機会の創出が見込めます。

【事業の概要】

- ・佐倉市西部地域福祉センター（指定管理期間令和元～5 年度）、佐倉市南部地域福祉センター（指定管理期間令和 3～7 年度）について指定管理者を指定し、管理・運営いたしました。
- ・指定管理者は、会議室、研修室、浴室等の施設の提供を行い、利用促進を図りました。
- ・修繕が必要な箇所については適宜対応のうえ、地域福祉を推進する事業を実施しました。
- ・佐倉市西部地域福祉センター指定管理者へ光熱費の高騰に伴い支援金を支給しました。（令和 4 年度）

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
修繕箇所数（2 センターの合計）	2 箇所	2 箇所	5 箇所
西部地域福祉センター利用人数(合計)	55,991 人	34,995 人	26,228 人
南部地域福祉センター利用人数(合計)	32,356 人	21,148 人	15,037 人

3 款 1 項 1 目

【会計】一般会計

3 款：民生費 1 項：社会福祉費 1 目：社会福祉総務費

事業	14	国民健康保険特別会計等への繰出経費（臨時）
担当所属	健康保険課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	（財源内訳）				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
517,941,000	425,881,826	425,881,826	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

27	繰出金	425,881,826			
----	-----	-------------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・国民健康保険事業の安定的な財政運営を行うため、一般会計から繰出しを行います。 ・一般会計で負担することとされている法的負担経費である職員給与費等繰出金の臨時事業分とともに、法的負担経費に該当しない一般会計繰出金(財源補てん分)を国民健康保険事業特別会計に繰り出します。
事業の目的	・国民健康保険事業の財政運営を安定させます。
事業の効果	・国民健康保険事業の財政運営の安定につながります。

【事業の概要】

- ・職員給与等繰入金（臨時分） 6,095,826 円
- ・その他一般会計繰入金 419,786,000 円

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
国民健康保険特別会計等への繰出経費（臨時）	425,881,826 円	309,450,894 円	76,395,092 円

事業	16	後期高齢者人間ドック助成事業
担当所属	健康保険課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
8,140,000	7,478,000	1,600,624	0	0	0	5,877,376

【決算額の節別内訳】（円）

18	負担金補助及び交付金	7,478,000			
----	------------	-----------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・後期高齢者医療被保険者が、助成対象検査項目を満たす人間ドック（短期人間ドック・脳ドック）を受検した場合に、当該検査に係る費用の一部を助成します。
事業の目的	・後期高齢者医療被保険者の健康管理及び健康増進の一助とするとともに、医療費適正化の推進に資することを目的とします。
事業の効果	・人間ドック助成事業を契機として受検者が増加することにより、疾病の予防や早期発見・早期治療等につなげることができ、医療費削減効果も期待できます。

【事業の概要】

- ・助成利用者数及び助成額：749 人 7,478,000 円
（※うち脳ドック分 157 人 1,569,000 円）

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
後期高齢者人間ドック助成利用者数（総数）	749 人	644 人	465 人
後期高齢者人間ドック助成利用者数（短期人間ドック分）	592 人	501 人	371 人
後期高齢者人間ドック助成利用者数（脳ドック分）	157 人	143 人	94 人
人間ドック助成利用率（利用者数／後期被保険者数平均値）	2.5%	2.3%	1.7%

事業	17	成年後見推進事業
担当所属	高齢者福祉課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
9,717,000	9,685,881	6,774,881	910,000	2,001,000	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

07	報償費	30,900	12	委託料	9,654,981
----	-----	--------	----	-----	-----------

【実施計画の概要】

事業の内容	- 家庭裁判所が成年後見人等を選任して、判断能力が十分ではない高齢者等を保護し支援する成年後見制度の周知を図るため、専用ホームページの作成や講演会及び個別相談会を実施し、併せて申立手続きの支援、利用者及び後見人の支援及び市民後見人の育成なども実施する成年後見支援センター事業を行います。 - 佐倉市成年後見制度利用促進基本計画に基づき、利用促進の主軸となる中核機関を成年後見支援センターに位置付け、制度の利用促進に向けた取組を進めます。
事業の目的	財産（預貯金、不動産等）の管理や社会生活上の契約（介護保険サービス等）などについて、認知症や知的障害、精神障害などによって判断能力が不十分な状況の方を早期に発見し、必要な支援につなぐとともに、権利を守る成年後見制度の利用を促進します。
事業の効果	判断能力が十分でない高齢者や障害者等が、地域で安心して暮らし続ける事ができます。

【事業の概要】

- ・佐倉市社会福祉協議会へ成年後見支援センター業務を委託して実施しました。
 - ・中核機関を成年後見支援センターに設置しました。
 - ・地域連携ネットワークづくり研修会を実施しました。
 - ・受任調整会議を実施しました。
 - ・成年後見制度に関する講演会を実施しました。
 - ・弁護士等専門家による相談会を実施しました。
 - ・司法書士による定期相談を実施しました。
 - ・市民後見人養成研修を実施しました。（2 か年度の 1 年目）
 - ・市民後見人養成講座修了者のスキルアップ研修を実施しました。
 - ・成年後見制度利用の促進に関する検討会を開催しました。
- 実施回数 1 回 参加人数 48 名
 実施回数 4 回
 実施回数 1 回 参加人数 37 名
 実施回数 2 回 参加人数 9 名
 実施回数 9 回 参加人数 48 名
 実施回数 5 回 参加人数 25 名
 実施回数 3 回 参加人数 16 名
 開催回数 1 回

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
講演会・相談会等実施回数	4 回	4 回	3 回
成年後見制度相談会参加者数	94 人	43 人	43 人
市民後見人候補者名簿登録数	8 人	8 人	8 人

事業	18	生活困窮者自立支援事業
担当所属		社会福祉課

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
48,883,000	39,077,291	9,837,410	29,239,881	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

12	委託料	35,319,091	19	扶助費	3,758,200
----	-----	------------	----	-----	-----------

【実施計画の概要】

事業の内容	- 生活困窮者に対する自立促進のための相談支援（ひきこもり状態の方及びひきこもりの家族等に対する訪問相談支援を含む）、就労支援等の事業などを中心に「断らない相談支援」を実施します。 - 自立相談支援事業、住居確保給付金の支給【必須事業】 - 就労準備支援事業、家計改善支援事業、学習・生活支援事業【任意事業】
事業の目的	- 生活困窮者の尊厳を保持し、就労の状況、心身の状況、地域社会からの孤立といった生活困窮者個人の状況に応じた、包括的・早期的な支援を行い、併せて地域における関係機関、民間団体との緊密な連携等支援体制の整備により、生活困窮者が困窮状態から脱却することを支援します。 - ひきこもり状態の方やひきこもりの家族等に対する訪問相談支援を実施することにより、外出支援や就労等に対する意欲喚起を行い、就労自立を支援します。
事業の効果	- 生活保護に至る前段階で、生活困窮者をサポートし、自立した生活に向けた相談支援、就労支援等を通じて自立に関する意欲を喚起させることで自立につながります。 - 生活保護から脱却する段階の方を必要に応じて支援することで自立につながります。 - ひきこもり状態の方及びその家族も含めた支援により就労自立の定着につながります。

【事業の概要】

- 生活困窮者自立支援法に基づき、社会福祉法人に業務委託して実施しました。就労支援については、ハローワーク等関係機関との情報交換を積極的に進め、支援につなげる連携強化に取り組みました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
相談件数（新規受付）	532 件	604 件	1,025 件
支援プラン決定件数	168 件	149 件	154 件
住居確保給付金新規支給決定件数	10 件	20 件	119 件

事業	19	保健事業と介護予防の一体的実施事業
担当所属	健康保険課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
7,743,000	5,159,680	0	0	0	0	5,159,680

【決算額の節別内訳】（円）

01	報酬	3,508,400	03	職員手当等	504,504
04	共済費	546,240	08	旅費	174,060
10	需用費	159,149	11	役務費	37,524
17	備品購入費	229,803			

【実施計画の概要】

事業の内容	・保健事業と介護予防の一体的事業を実施するため、事業全体のコーディネートや分析・企画調整を行う医療専門職及び高齢者への個別的支援や通いの場への関与等を行う保健師等を配置し、日常生活 5 圏域において、①健康状態不明者の状況把握、②健康課題がある人へのアウトリーチ支援、③元気高齢者に対するフレイル予防等についての必要な知識の提供等を行います。
事業の目的	・本事業の導入により、健診データ等の活用や介護保険の地域支援事業との連携等、保健事業と介護予防事業の一体的な実施が可能となり、健康に対する無関心層も含めた健康づくりの推進等を目指します。
事業の効果	・保健事業と介護予防事業を一体的に行うことで、高齢者の心身の多様な課題に対応できるようきめ細かな支援を実施し、健康寿命の延伸を図ります。

【事業の概要】

- ・個別支援（ハイリスクアプローチ）及び通いの場等への積極的な関与等（ポピュレーションアプローチ）により事業を実施していきます。

個別支援：181 人 通いの場等への積極的な関与等：4 箇所

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
個別支援（ハイリスクアプローチ）実施件数	181 人	140 人	—
通いの場等への積極的な関与等 （ポピュレーションアプローチ）実施箇所	4 箇所	4 箇所	—

3 款 1 項 1 目

【会計】一般会計

3 款：民生費 1 項：社会福祉費 1 目：社会福祉総務費

事業	20	住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業
担当所属	社会福祉課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
425,869,000	345,890,894	0	345,890,894	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

10	需用費	1,371,206	11	役務費	1,254,448
12	委託料	15,118,027	13	使用料及び賃借料	147,213
18	負担金補助及び交付金	328,000,000			

【実施計画の概要】

事業の内容	・令和3年度住民税非課税世帯及び新型コロナウイルス感染症の影響により令和3年中に減収した家計急変世帯の世帯主、また、それらに該当していなかった令和4年度住民税非課税世帯及び新型コロナウイルス感染症の影響により令和4年1月以降に減収した世帯の世帯主に対し、1世帯当たり10万円の臨時特別給付金を支給しました。
事業の目的	・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に配慮しつつ、簡素な仕組みで迅速かつ的確に家計への支援を行います。
事業の効果	・新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で様々な困難に直面した方について、速やかな負担の軽減につながります。

【事業の概要】（※新型コロナ対策）

- ・令和4年度においては、令和3年度及び令和4年度非課税世帯3,211世帯、家計急変世帯69世帯、計3,280世帯に対し、1世帯当たり10万円、計328,000,000円を支給しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和04年度	令和03年度	令和02年度
臨時特別給付金支給件数	3,280件	13,291件	—

3 款 1 項 1 目

第1章 ともに支え合い誰もがいきいきと暮らせるまち（福祉・健康・子育て）

【会計】一般会計

基本施策1 地域福祉

3 款：民生費 1 項：社会福祉費 1 目：社会福祉総務費 施策2 生活困窮者の相談・支援を行います

事業	21	新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給事業
担当所属	社会福祉課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
49,460,000	14,199,090	90	14,199,000	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

01	報酬	219,780	03	職員手当等	597,419
08	旅費	23,120	11	役務費	58,771
19	扶助費	13,300,000			

【実施計画の概要】

事業の内容	・ 新型コロナウイルス感染症の長期化に伴い、自立支援につなげるため「新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金」を支給します。
事業の目的	・ 生活困窮者の尊厳を保持しつつ、生活に困窮された方に途切れない支援を届けます。 ・ 生活保護制度の利用に至る前段階のセーフティネットとして自立を支援します。
事業の効果	・ 生活保護制度の利用に至る前段階での、生活の建て直しにつながります。 ・ 生活保護費受給開始までの生活維持の一助となります。

【事業の概要】（※新型コロナ対策）

- ・ 支給案内世帯 46 世帯
- ・ 支給申請者 63 名
- ・ 支給決定者 56 名

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
自立支援金を案内した世帯数	46 件	633 件	—
自立支援金を受給した世帯数	56 件	103 件	—

3 款 1 項 1 目

第1章 ともに支え合い誰もがいきいきと暮らせるまち（福祉・健康・子育て）

【会計】一般会計

基本施策1 地域福祉

3 款：民生費 1 項：社会福祉費 1 目：社会福祉総務費 施策2 生活困窮者の相談・支援を行います

事業	22	善意銀行応援事業
担当所属	社会福祉課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
1,374,000	1,273,231	66,231	1,207,000	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

10	需用費	939,447	17	備品購入費	333,784
----	-----	---------	----	-------	---------

【実施計画の概要】

事業の内容	・社会福祉法人佐倉市社会福祉協議会の独自事業で現に生活にお困りの方へ食料支援などを行う「善意銀行事業」にレトルト食品等を提供することで、セーフティネットの拡充を図ります。
事業の目的	・「善意銀行」が寄附を前提に運営される事業につき、時期により不足しがちな物資の確保や食品の賞味期限管理に問題があるとのことから、食品管理棚等を佐倉市が調達し、社会福祉協議会に提供しました。
事業の効果	・善意銀行事業の実施主体である社会福祉法人佐倉市社会福祉協議会により、安定して食品の提供が行われることにつながります。

【事業の概要】（※新型コロナ対策）

- ・571 件の払出を行いました。
- ・食品管理棚を整備しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
善意銀行物品口座の払出件数	571 件	—	—

事業	23	住民税均等割のみ課税世帯への応援金給付事業
担当所属	社会福祉課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	（財源内訳）				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
244,584,000	241,282,196	91,952,190	149,330,006	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

01	報酬	1,279,080	03	職員手当等	188,074
04	共済費	62,778	08	旅費	65,300
10	需用費	984,450	11	役務費	550,374
12	委託料	9,393,010	13	使用料及び賃借料	559,130
18	負担金補助及び交付金	228,200,000			

【実施計画の概要】

事業の内容	・「住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金」の支給対象となっていない世帯のうち、令和4年度住民税均等割のみ課税世帯に対し、交付金を活用する市の独自給付事業として、1世帯当たり10万円の応援金を支給しました。
事業の目的	・非課税世帯と同様に、コロナ禍において物価高騰等に伴う生活困窮に直面する住民税均等割のみ課税世帯に対し、市独自の応援金による支援を行うことで、生活上の負担を軽減します。
事業の効果	・コロナ禍において物価高騰等に伴う生活困窮に直面する住民税均等割のみ課税世帯について、速やかな負担の軽減につながります。

【事業の概要】（※新型コロナ対策）

- ・令和4年度中に、住民税均等割のみ課税世帯2,282世帯に対し、1世帯当たり10万円、計228,200,000円を支給しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和04年度	令和03年度	令和02年度
応援金支給件数	2,282件	—	—

3 款 1 項 1 目

第 1 章 ともに支え合い誰もがいきいきと暮らせるまち（福祉・健康・子育て）

【会計】一般会計

基本施策 1 地域福祉

3 款：民生費 1 項：社会福祉費 1 目：社会福祉総務費 施策 2 生活困窮者の相談・支援を行います

事業	24	電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金支給事業
担当所属	社会福祉課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
898,286,000	782,810,822	0	782,810,822	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

01	報酬	1,083,060	03	職員手当等	1,460,668
04	共済費	72,283	08	旅費	63,620
10	需用費	3,924,647	11	役務費	5,347,834
12	委託料	25,577,288	13	使用料及び賃借料	631,422
18	負担金補助及び交付金	744,650,000			

【実施計画の概要】

事業の内容	・令和 4 年度住民税非課税世帯及び令和 4 年 1 月以降の予期せぬ事情による家計急変世帯に対し、1 世帯当たり 5 万円の給付金を支給しました。
事業の目的	・エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた住民税非課税世帯等に対し、給付金による支援を行うことで、生活上の負担を軽減します。
事業の効果	・エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた住民税非課税世帯等について、速やかな負担の軽減につながります。

【事業の概要】（※新型コロナ対策）

- ・令和 4 年度中に、住民税非課税世帯 14,821 世帯及び家計急変世帯 72 世帯に対し、1 世帯当たり 5 万円、計 744,650,000 円を支給しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金支給件数	14,893 件	—	—

3 款 1 項 3 目

【会計】一般会計

3 款：民生費 1 項：社会福祉費 3 目：身体障害者福祉費

事業	2	障害者グループホーム運営費等補助事業
担当所属		障害福祉課

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
49,446,000	48,027,224	24,228,512	0	23,798,712	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

18	負担金補助及び交付金	24,543,724	19	扶助費	23,483,500
----	------------	------------	----	-----	------------

【実施計画の概要】

事業の内容	・ 障害者グループホームの運営費及びグループホーム等入居者の家賃の補助を実施します。
事業の目的	・ グループホーム等の円滑な運営及び障害者の地域移行を促進します。
事業の効果	・ グループホーム等の受入可能者数を拡大し、障害者の日常生活の充実が期待できます。

【事業の概要】

- ・ 障害者グループホーム運営費補助金は、グループホームの運営費、人件費等に係る補助を行うことにより、グループホームの安定的な運営に資するものであり、42 事業所に補助金の支給を行いました。
- ・ グループホーム等入居者の家賃補助は、障害者の経済的負担を軽減し、地域移行への促進を図るために月額 20,000 円を限度として家賃の 2 分の 1 を補助するもので、181 人に支給しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
運営費補助事業所数	42 事業所	44 事業所	40 事業所
家賃補助障害者人数	181 人	147 人	122 人

3 款 1 項 3 目

【会計】一般会計

3 款：民生費 1 項：社会福祉費 3 目：身体障害者福祉費

事業	3	特別障害者手当等給付事業
担当所属	障害福祉課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
99,638,000	98,955,750	28,227,320	64,344,730	6,383,700	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

19	扶助費	98,955,750			
----	-----	------------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・特別障害者手当やねたきり身体障害者等福祉手当等を支給します。
事業の目的	・特別障害者手当やねたきり身体障害者等福祉手当等を支給し、障害者の福祉の増進を図ります。
事業の効果	・重度障害者に手当を支給することで、「障害のある人もない人も一人ひとりが自分らしく支え合い暮らせるまち」の実現に寄与します。

【事業の概要】

- ・特別障害者手当は、著しく重度の障害状態にあり、常時特別の介護状態にある者で、認定基準を満たす場合に手当を支給し、重度障害者の福祉の増進を図りました。
- ・障害児福祉手当は、著しく重度の障害状態にあり、認定基準を満たす場合に手当を支給し、重度障害者の福祉の増進を図りました。
- ・ねたきり身体障害者福祉手当は、在宅者で著しく重度の障害状態にあり、認定基準を満たす場合に手当を支給し、重度障害者の福祉の増進を図りました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
特別障害者手当受給者数	216 人	242 人	247 人
ねたきり身体障害者等福祉手当受給者数	128 人	122 人	129 人
障害児福祉手当受給者数	67 人	61 人	65 人

3 款 1 項 3 目

【会計】一般会計

3 款：民生費 1 項：社会福祉費 3 目：身体障害者福祉費

事業	4	身体障害者給付費及び助成事業
担当所属		障害福祉課

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
282,935,000	281,631,340	123,447,435	0	122,881,000	0	35,302,905

【決算額の節別内訳】（円）

10	需用費	46,970	11	役務費	3,991,142
19	扶助費	277,593,228			

【実施計画の概要】

事業の内容	・重度心身障害者本人・家族からの申請を受け、条件に該当する方に医療費助成を行います。
事業の目的	・重度障害によって生じる負担を軽減するために医療費の助成を行います。
事業の効果	・障害児・者及びその家族の経済的・心理的負担の軽減が期待できます。

【事業の概要】

- ・ 65 歳までに身体障害者手帳 1・2 級又は療育手帳①・①1・①2・A1・A2 又は精神保健福祉手帳 1 級に該当する手帳を交付された方（1,933 人）に対し、健康保険適用医療費の自己負担額（277,593,228 円）を助成しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
重度心身障害者医療費助成件数	54,336 件	55,569 件	53,766 件

事業	5	新型コロナウイルス感染症緊急支援事業（障害福祉サービス分）
担当所属	障害福祉課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
10,897,000	5,338,154	277,680	5,060,474	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

11	役務費	7,154	18	負担金補助及び交付金	5,331,000
----	-----	-------	----	------------	-----------

【実施計画の概要】

事業の内容	・ 障害福祉サービス事業所等が、事業所の判断により職員に任意でPCR検査または抗原検査を受けさせた場合、その検査費用について補助を行います。 ・ 新型コロナウイルス感染症に利用者が感染した事業所等に対し、支援金を支給します。
事業の目的	・ 障害福祉事業所等内での感染拡大防止及び障害福祉従事者等の確保を図ります。
事業の効果	・ 事業の実施により、障害福祉従事者に十分な検査を受けさせることができます。 ・ 感染下においても安全な職場環境を維持し、従事者を確保することで、事業所等の安定的な運営に寄与することができます。

【事業の概要】（※新型コロナ対策）

- ・ PCR等検査費用補助については、6 法人 19 事業所（延べ 2,252 回）に対し、4,081 千円を支給しました。
- ・ 感染症発生施設については、6 法人 6 事業所に 1,250 千円の支援金を支給しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
市内事業所への案内回数	2 回	2 回	0 回
感染者が発生した施設等における制度利用率	50.0%	55.5%	—

3 款 1 項 3 目

第1章 ともに支え合い誰もがいきいきと暮らせるまち（福祉・健康・子育て）

【会計】一般会計

基本施策 4 障害者福祉

3 款：民生費 1 項：社会福祉費 3 目：身体障害者福祉費

施策 2 障害福祉サービスを充実します

事業	6	障害福祉施設等物価高騰対策支援金支給事業
担当所属	障害福祉課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
22,000,000	16,624,000	884,997	15,739,003	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

18	負担金補助及び交付金	16,624,000			
----	------------	------------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・市内の入所系施設・通所系施設に対し、利用定員に応じた支援金を支給します。 入所系施設 22 千円×利用定員（グループホーム…16 千円×利用定員） 通所系施設 44 千円×利用定員×1/3
事業の目的	・物価高騰の影響を受けながらもサービスの提供に努力している障害福祉施設に対し、国の重点交付金を活用し支援金を支給することにより、施設の安定運営と障害福祉サービスの安定確保を図ります。
事業の効果	・施設の安定運営と障害福祉サービスの安定確保により、住み慣れた場所での生活を維持することができます。

【事業の概要】（※新型コロナ対策）

・支援金を支給した市内対象施設

入所系施設については 19 施設に対し、7,236 千円を支給しました。

通所系施設については 42 施設に対し、9,388 千円を支給しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
市内障害福祉施設への案内回数	1 回	—	—
支援を受ける市内障害福祉施設の数	61 施設	—	—

3 款 1 項 4 目

【会計】一般会計

3 款：民生費 1 項：社会福祉費 4 目：知的障害者福祉費

事業	2	知的障害者給付費及び助成事業
担当所属	障害福祉課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
21,087,000	20,906,609	20,906,609	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

11	役務費	2,409	18	負担金補助及び交付金	322,200
19	扶助費	20,582,000			

【実施計画の概要】

事業の内容	・ 重度・中度の障害を有する児童を持つ保護者に対し、心身障害児福祉年金を支給します。 ・ 心身障害者の保護者が死亡又は重度障害となったときに備える共済制度であり、心身障害者扶養年金の加入や支給事務を行います。
事業の目的	・ 精神又は身体に障害を有する児童の保護者に対し、心身障害児福祉年金を支給し、これらの児童の福祉の増進を図ります。 ・ 保護者の死亡又は重度障害になったときに、残された心身障害者に心身障害者扶養年金を支給することによって生活の安定を図ります。
事業の効果	・ 心身障害児福祉年金の支給により、精神又は身体に障害を有する児童の福祉の増進が図られます。 ・ 心身障害者扶養年金の支給により、保護者の死亡等による心身障害者の生活の安定や心身障害者の将来に対する保護者の不安の軽減が図られます。

【事業の概要】

- ・ 心身障害児を扶養する保護者に対し心身障害児福祉年金を支給しました。
- ・ 心身障害者扶養年金の加入者に対し掛金の収納及び受給者に対し年金の支給事務を行いました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
心身障害児福祉年金支給者数	273 人	250 人	257 人
心身障害者扶養年金掛金納付者数	19 人	18 人	18 人
心身障害者扶養年金受給者数	38 人	40 人	40 人

3 款 1 項 5 目

【会計】一般会計

3 款：民生費 1 項：社会福祉費 5 目：精神障害者福祉費

事業	1	精神障害者福祉事業
担当所属	障害福祉課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
11,775,000	11,159,262	11,159,262	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

10	需用費	44,632	19	扶助費	11,114,630
----	-----	--------	----	-----	------------

【実施計画の概要】

事業の内容	・精神障害者の経済的負担の軽減等を図るため、精神障害者入院医療費及び精神障害者保健福祉手帳診断書文書料の一部を助成します。
事業の目的	・精神障害者の社会復帰や自立、社会経済活動への参加の促進を図ります。
事業の効果	・精神障害者の社会復帰や自立、社会経済活動への参加の促進により、精神障害者及びその家族の福祉の増進に寄与します。

【事業の概要】

- ・精神障害者に対し、精神障害者入院医療費の一部（補助率 1/2）、精神障害者保健福祉手帳診断書文書料の一部（定額・上限 5 千円）を助成しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
精神障害者保健福祉手帳診断書文書料に係る助成件数	829 件	852 件	725 件
精神障害者入院医療費助成延べ件数	95 件	113 件	160 件

3 款 1 項 6 目

【会計】一般会計

3 款：民生費 1 項：社会福祉費 6 目：障害者自立支援福祉費

事業	3	障害者介護給付事業
担当所属	障害福祉課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
2,312,917,000	2,297,288,379	655,600,356	1,090,700,859	550,748,364	0	238,800

【決算額の節別内訳】（円）

19	扶助費	2,297,288,379			
----	-----	---------------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・ 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障害者総合支援法）に規定するホームヘルプサービスなど介護給付に関する支援を行います。
事業の目的	・ 障害福祉サービス（介護給付）利用により自立生活を支援します。
事業の効果	・ 障害福祉サービス（介護給付）の提供により障害児・者の自立した生活が期待できます。

【事業の概要】

- ・ 介護サービスを必要とする障害者に対し支援を行いました。
訪問系サービス：家庭生活や外出時にヘルパーなどを使用するサービス
日中活動系サービス：日中の作業や介護などを利用するサービス
居住系サービス：入所施設を利用するサービス
- ・ 障害児通所給付サービスを必要とする障害児に対し支援を行いました。
障害児通所給付サービス：児童発達支援や放課後等デイサービスなど

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
支給決定者数	1,108 人	1,077 人	1,084 人
訪問系サービス利用者数	339 人	305 人	301 人
日中活動系サービス利用者数	411 人	415 人	416 人
居住系サービス利用者数	126 人	127 人	127 人

3 款 1 項 6 目

【会計】一般会計

3 款：民生費 1 項：社会福祉費 6 目：障害者自立支援福祉費

事業	4	障害者訓練等給付事業
担当所属		障害福祉課

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
1,253,158,000	1,250,897,519	323,848,594	618,306,573	308,742,352	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

19	扶助費	1,250,897,519			
----	-----	---------------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・ 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障害者総合支援法）に規定する就労への移行支援など訓練等給付に関する支援を行います。
事業の目的	・ 障害福祉サービス（訓練等給付）の利用により自立生活を支援します。
事業の効果	・ 障害福祉サービス（訓練等給付）の提供により障害児・者の自立した生活が期待できます。

【事業の概要】

- ・ 訓練等のサービスを必要とする障害者に対して支援を行いました。
- ・ 日中活動系サービスは、障害福祉サービス事業所への通所や居宅への訪問により行われる訓練により求職活動の支援や生産活動の提供を行うサービスで、居住系サービスは、グループホーム等を利用するサービスのことです。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
支給決定者数	849 人	758 人	693 人
日中活動系サービス利用者数	642 人	563 人	524 人
居住系サービス利用者数	236 人	198 人	176 人

3 款 1 項 6 目

【会計】一般会計

3 款：民生費 1 項：社会福祉費 6 目：障害者自立支援福祉費

事業	5	自立支援医療・補装具給付事業
担当所属	障害福祉課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
201,732,000	189,302,459	47,544,444	94,510,769	47,247,246	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

19	扶助費	189,302,459			
----	-----	-------------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・身体障害児・者に対し、障害の除去・軽減する手術等の医療費の軽減、身体機能の補完等に係る補装具費の支給を行います。
事業の目的	・身体障害児の健全な育成、身体障害者の自立と社会経済活動への参加の促進等を図ります。
事業の効果	・身体障害児の健全な育成、身体障害者の自立と社会経済活動への参加の促進等により、身体障害児・者及びその家族の福祉の増進に寄与します。

【事業の概要】

- ・自立支援医療（更生医療）は、身体障害者手帳の交付を受けた 18 歳以上の方の人工透析等に要する医療費の軽減を行うもので、678 件の給付を実施しました。
- ・自立支援医療（育成医療）は、身体に障害を有する 18 歳未満の方の脊柱側弯手術等に要する医療費の軽減を行うもので、8 件の給付を実施しました。
- ・補装具費は、身体障害者手帳の交付を受けた者に対し、身体機能を補完・代替する義肢・補聴器等の補装具の支援を行うもので、193 件の給付を実施しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
自立支援医療（更生医療）給付件数	678 件	618 件	395 件
補装具給付件数	193 件	215 件	184 件

3 款 1 項 6 目

第1章 ともに支え合い誰もがいきいきと暮らせるまち（福祉・健康・子育て）

【会計】一般会計

基本施策 4 障害者福祉

3 款：民生費 1 項：社会福祉費 6 目：障害者自立支援福祉費 施策 2 障害福祉サービスを充実します

事業	6	地域生活支援事業
担当所属	障害福祉課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	（財源内訳）				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
139,111,000	133,839,200	88,243,932	30,344,347	15,196,321	0	54,600

【決算額の節別内訳】（円）

01	報酬	2,082,300	03	職員手当等	215,424
04	共済費	272,851	07	報償費	77,000
08	旅費	429,302	10	需用費	76,670
11	役務費	6,050	12	委託料	38,849,409
18	負担金補助及び交付金	448,078	19	扶助費	91,382,116

【実施計画の概要】

事業の内容	・ 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障害者総合支援法）に基づき、手話通訳者の設置及び派遣、相談支援事業、移動支援事業、日常生活用具給付事業及び地域活動支援事業等を実施します。
事業の目的	・ 本事業の利用により、障害児・者の自立した日常生活又は社会生活の充実を図り、障害児・者の福祉の増進を図ります。
事業の効果	・ 障害児・者の自立した日常生活等の充実により、福祉の増進に寄与します。

【事業の概要】

- ・ 手話通訳者を 2 名設置し、手話通訳者や要約筆記者の派遣事業を実施し意思疎通支援を行いました。
- ・ 相談支援事業を 4 事業所に委託しました。
- ・ ストーマ装具等の日常生活用具費として、44,136,108 円の給付を行いました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
相談支援事業所数	4 事業所	4 事業所	4 事業所
地域活動支援事業利用人数	900 人	975 人	933 人

事業	10	障害者社会参加支援事業
担当所属		障害福祉課

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
15,423,000	14,129,660	14,129,660	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

10	需用費	342,980	19	扶助費	13,786,680
----	-----	---------	----	-----	------------

【実施計画の概要】

事業の内容	・重度心身障害者等の移動支援のため、タクシー料金の一部を助成します。
事業の目的	・重度心身障害者等の移動の支援を行うことにより、社会参加を促すとともに、負担の軽減を図ります。
事業の効果	・重度心身障害者等の移動を支援することで、社会参加の促進と負担の軽減が図られます。

【事業の概要】

- ・重度心身障害者等の移動支援のため、タクシー料金の一部を助成し、社会参加の促進と負担の軽減を図りました。
- ・タクシー利用料金は 1,642 人に 13,114,820 円を助成しました。
- ・寝台車利用料金は 54 人に 671,860 円を助成しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
事業者数	112 事業者	108 事業所	105 事業者
利用者数	1,676 人	1,858 人	1,864 人

3 款 1 項 6 目

第1章 ともに支え合い誰もがいきいきと暮らせるまち（福祉・健康・子育て）

【会計】一般会計

基本施策 4 障害者福祉

3 款：民生費 1 項：社会福祉費 6 目：障害者自立支援福祉費 施策 2 障害福祉サービスを充実します

事業	13	難病者等見舞金支給事業
担当所属	障害福祉課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
25,000,000	24,285,000	24,285,000	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

19	扶助費	24,285,000			
----	-----	------------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・国が難病と指定した疾病の患者であることを県が証明している者へ、見舞金として月額 2,000 円または 3,000 円を支給します。
事業の目的	・難病療養者及びその保護者の生活の安定と福祉の増進を図ります。
事業の効果	・難病療養者及びその保護者の生活の安定と福祉の増進に寄与します。

【事業の概要】

- ・千葉県より特定医療費（指定難病）受給者証、小児慢性特定疾病医療受給者証、特定疾患医療受給者票を交付されている方からの申請により、見舞金を支給しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
難病者等見舞金支給者数	841 件	862 件	846 件
難病者等見舞金振込件数	2,513 件	2,518 件	2,535 件

3 款 1 項 9 目

【会計】一般会計

3 款：民生費 1 項：社会福祉費 9 目：後期高齢者医療費

事業	1	後期高齢者医療費
担当所属	健康保険課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
2,231,357,000	2,222,033,798	1,944,161,556	0	277,872,242	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

18	負担金補助及び交付金	1,840,970,491	27	繰出金	381,063,307
----	------------	---------------	----	-----	-------------

【実施計画の概要】

事業の内容	・後期高齢者医療制度の医療費法定負担金（医療費の 1/12）及び千葉県後期高齢者医療広域連合共通経費負担金を広域連合に納付します。 ・千葉県後期高齢者医療保険基盤安定制度負担金（県 3/4、市 1/4）及び市の事務費を特別会計に繰り出します。
事業の目的	・法に基づく医療費等を負担することで、安定した後期高齢者医療制度の運営を図ります。
事業の効果	・後期高齢者の方々が安心して医療を受けることができます。

【事業の概要】

- ・後期高齢者医療制度の運営に係る医療給付費負担金等を千葉県後期高齢者医療広域連合に納付するとともに、法的負担経費である基盤安定制度負担金等を特別会計へ繰り出しました。

○納付分 医療給付費負担金(1/12) 1,782,909,000 円

共通経費負担金 58,061,491 円

○繰出分 基盤安定制度負担金 370,496,323 円

繰出金 10,566,984 円

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
被保険者数（年度末）	30,198 人	28,358 人	27,107 人

3 款 2 項 1 目

【会計】一般会計

3 款：民生費 2 項：老人福祉費 1 目：老人福祉総務費

事業	8	老人ホーム入所措置事業
担当所属	高齢者福祉課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
25,445,000	23,930,480	18,613,654	0	0	0	5,316,826

【決算額の節別内訳】（円）

12	委託料	23,930,480			
----	-----	------------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・老人福祉法に基づき、環境上の理由及び経済的理由により居宅において養護を受けることが困難な高齢者に対し養護老人ホームへの入所措置を行います。 ・やむを得ない事由により、介護保険法による対応が著しく困難と認められる要介護者に対し特別養護老人ホームへの入所措置を行います。
事業の目的	・居宅において養護や介護を受けることが困難な高齢者に対し、心身の健康の保持及び生活の安定を図ります。
事業の効果	・環境上の理由及び経済的理由により居宅において養護を受けられない高齢者が、養護老人ホームにて安心した生活を送ることができます。 ・やむを得ない事由により、介護保険法による対応が困難と認められる要介護者が特別養護老人ホームにて安心した生活を送ることができます。

【事業の概要】

- ・老人福祉法に基づき、環境上の理由及び経済的理由により居宅において養護を受けることが困難な高齢者 10 名（継続）を養護老人ホームへ入所措置を行いました。
- ・やむを得ない事由により介護保険法による対応が著しく困難と認められる者のうち、要介護者 2 名（継続）及び 4 名（新規）に対し特別養護老人ホームへの入所措置を、また、要介護者 1 名（新規）に対し老人短期入所施設への入所措置を行いました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
延措置者数	17 人	16 人	19 人
入所率（入所者数/対象者数）	100%	100%	100%

事業	9	はり・きゅう・マッサージ等施設利用助成事業
担当所属	高齢者福祉課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
11,532,000	10,618,949	7,491,301	0	0	0	3,127,648

【決算額の節別内訳】（円）

10	需用費	157,349	19	扶助費	10,461,600
----	-----	---------	----	-----	------------

【実施計画の概要】

事業の内容	・市内在住の 60 歳以上の方及び身体障害者手帳又は療育手帳を所持する 18 歳以上の方に、申請に基づき、1 回の施術につき 600 円を助成する「佐倉市はり、きゅう、マッサージ等施設利用助成券」を、4 月～9 月申請の方には 12 枚、10 月～翌年 3 月申請の方には 6 枚発券します（使用期限は当該年度末日）。 ・当該助成券をあらかじめ市に登録した施術者で利用した場合は、当該施術者から当該助成券相当分の金額が市に請求され、市が請求額を施術者に対して支払います。
事業の目的	・はり、きゅう、マッサージ又は指圧の施設を利用する方に対し、施術に要した費用の一部を助成することにより、市民の健康の保持増進を図ることを目的とします。
事業の効果	・市民の健康の保持及び増進を促進します。

【事業の概要】

- ・市民の健康の保持増進を図ることを目的とし、市内在住の 60 歳以上の方及び 18 歳以上で身体障害者手帳・療育手帳をお持ちの方を対象に、はり、きゅう、マッサージの施術に要する費用の助成を行いました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
申請件数	3,103 件	3,125 件	3,200 件
発行枚数	34,428 枚	34,704 枚	35,418 枚
施設利用助成券の利用率	50.6%	51.2%	48.8%

事業	10	シルバー人材センター補助事業
担当所属	高齢者福祉課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	（財源内訳）				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
10,000,000	10,000,000	10,000,000	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

18	負担金補助及び交付金	10,000,000			
----	------------	------------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・公益社団法人佐倉市シルバー人材センターを支援することにより、高齢者の能力を生かした就業機会を提供し、就業の拡大と雇用の安定を図ります。
事業の目的	・定年退職後等の高齢者に対して、地域に密着した仕事を提供し、もって高齢者の生きがいの充実や高齢者の社会参加の促進を図ることを目的とします。
事業の効果	・佐倉市シルバー人材センターの経営基盤の強化を図ることで、就業機会の確保と会員数の増加に結び付けます。また、高齢者の社会参加の機会の創出、生きがいつくり、健康づくりに寄与します。

【事業の概要】

- ・公益社団法人佐倉市シルバー人材センターへの補助金交付や、広報への協力等により、働く意欲のある高齢者に対して専門技術を活かした仕事や、管理業務、軽作業などの就業機会が確保できるよう推進しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
会員数	1,025 人	1,009 人	1,081 人
年間就業率	81.8%	82.2%	84.3%
就業延人数	105,056 人	103,679 人	99,666 人

事業	12	施設整備推進事業
担当所属		介護保険課

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
5,716,000	5,708,000	38,000	0	5,670,000	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

07	報償費	38,000	18	負担金補助及び交付金	5,670,000
----	-----	--------	----	------------	-----------

【実施計画の概要】

事業の内容	・国・県の補助金を活用し、佐倉市高齢者福祉・介護計画に基づき、介護施設等の整備を推進します。 ・令和 2 年度策定の第 8 期佐倉市高齢者福祉・介護計画（計画期間令和 3～5 年度）に基づき、国・県の補助金を活用し、介護施設等の整備を推進します。なお、特別養護老人ホーム等の介護保険施設の整備運営事業者については、公募手続きにより実施するものとし、応募法人について、佐倉市高齢者福祉・介護計画推進懇話会の事業者選考検討会による意見等を踏まえたうえで、市が決定するものとします。
事業の目的	・高齢者人口の増加及び核家族化の進行等に伴い、要支援・要介護認定者の更なる増加が見込まれることから、在宅介護及び施設介護ニーズに対応する新たな介護施設等の整備推進を図るものです。
事業の効果	・補助金制度を有効に活用することにより、事業者負担を軽減することで、介護施設等の整備を円滑に実施することができます。

【事業の概要】

- ・地域密着型サービス事業所の施設公募を実施し、事業者選考検討会にて審査を行い、懇話会にて看護小規模多機能型居宅介護と定期巡回・随時対応型訪問介護看護の 2 事業所につき設置運営法人を決定しました。
- ・千葉県介護施設整備事業交付金を活用した法人に補助金を交付しました。
(見守りシステムの導入 1 件)

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
公募実施回数	1 回	1 回	0 回
施設整備計画に基づき整備を推進した施設数	0 施設	1 施設	4 施設

事業	14	介護人材確保対策事業
担当所属	高齢者福祉課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
2,310,000	2,309,890	577,890	0	1,732,000	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

12	委託料	2,309,890			
----	-----	-----------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・千葉県介護人材確保対策事業費補助金を活用して、介護職員初任者研修を事業者への委託により実施します。
事業の目的	・介護サービス分野における慢性的な人手不足の解消に資するよう地域における介護職への就業希望者を発掘し、研修修了による資格取得後の市内介護サービス提供事業所就業につながるよう支援します。
事業の効果	・市内の介護サービス分野における慢性的な人手不足の軽減が実現されます。

【事業の概要】

- ・介護職員初任者研修を開催し、21 人が修了しました。
- ・修了者の市内事業所への就業につながるよう支援しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
介護職員初任者研修修了者数	21 人	19 人	20 人
介護職員初任者研修修了者の市内事業所就業者数	13 人	16 人	18 人

事業	15	おじいちゃん・おばあちゃんありがとうの気持ちを伝えたい事業
担当所属	高齢者福祉課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	（財源内訳）				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
8,219,000	7,144,155	7,144,155	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

18	負担金補助及び交付金	7,144,155			
----	------------	-----------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・ 地区社会福祉協議会が主体となる事業で、かつ、市民の敬老意識の高揚を図るとともに、高齢者の地域社会への参加の推進や生きがいの充実に資する事業に対して支援を行います。
事業の目的	・ 市民の敬老意識の高揚を図るとともに、高齢者の地域社会への参加の推進や生きがいの充実に資することを目的とします。
事業の効果	・ 市民の高齢者を敬う意識の高まり、高齢者の地域社会への参加の推進や生きがいの充実に資することが期待できます。

【事業の概要】

- ・ ボランティアへの表彰や長寿のお祝品の贈呈などについて、地域ごとに実施方法を検討し、おじいちゃん・おばあちゃんありがとうの気持ちを伝えたい事業を行いました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
事業実施地区数	14 地区	14 地区	6 地区
地域貢献活動をおこなっているお年寄りに対して 尊敬していると感じる市民の割合	91.1%	94.0%	92.8%

3 款 2 項 1 目

第 1 章 とともに支え合い誰もがいきいきと暮らせるまち（福祉・健康・子育て）

【会計】一般会計

基本施策 3 高齢者福祉

3 款：民生費 2 項：老人福祉費 1 目：老人福祉総務費 施策 2 生きがいづくりへの支援を推進します

事業	16	レインボープラザ佐倉設備改修事業
担当所属	高齢者福祉課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
19,830,000	19,829,700	19,829,700	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

14	工事請負費	19,829,700			
----	-------	------------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・レインボープラザ佐倉の設備の改修に関するを行います。
事業の目的	・レインボープラザ佐倉の修繕及び改修を実施することで、利用者の利便性の向上及び安全性の向上を提供します。
事業の効果	・各利用団体の活動場所の設備を整備することにより、高齢者の生きがいづくりを支援し、社会参加活動の促進等を図ります。

【事業の概要】

- ・レインボープラザ佐倉事務棟の空調設備の更新工事を実施しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
改修した設備の箇所数	1 箇所	—	—

事業	17	新型コロナウイルス感染症緊急支援事業（介護サービス分）
担当所属	介護保険課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	（財源内訳）				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
60,007,000	36,464,911	1,896,834	34,568,077	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

1	報酬	231,660	11	役務費	19,251
18	負担金補助及び交付金	36,214,000			

【実施計画の概要】

事業の内容	・介護サービス事業所等が、事業所の判断により職員に任意でPCR検査または抗原検査を受けさせた場合、その検査費用について補助を行います。 ・新型コロナウイルス感染症に利用者が感染した対象施設に対し、支援金を支給します。
事業の目的	・介護施設内での感染拡大防止及び介護従事者等の確保を図ります。
事業の効果	・事業の実施により、介護従事者に十分な検査を受けさせることができます。 ・感染下においても安全な職場環境を維持し、介護従事者を確保することで、介護離職の防止等、事業所等の安定的な運営に寄与することができます。

【事業の概要】（※新型コロナ対策）

- ・PCR等検査費用補助については、25 法人 49 事業所（延べ 17,742 回）に対し、29,673 千円を支給しました。
- ・感染症発生施設については、13 法人 17 事業所に 6,541 千円の支援金を支給しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
市内事業所への案内回数	10 回	10 回	1 回
感染者が発生した施設等における制度利用率	53.0%	61.5%	0%

3 款 2 項 1 目

第1章 ともに支え合い誰もがいきいきと暮らせるまち（福祉・健康・子育て）

【会計】一般会計

基本施策3 高齢者福祉

3 款：民生費 2 項：老人福祉費 1 目：老人福祉総務費 施策3 介護予防を推進します

事業	18	高齢者いきいき応援事業
担当所属		高齢者福祉課

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
7,884,000	7,322,309	380,892	6,941,417	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

10	需用費	1,387,936	11	役務費	3,992,782
12	委託料	1,845,889	13	使用料及び賃借料	95,702

【実施計画の概要】

事業の内容	・対象者に対し、介護予防等のチラシを送付する他、商工振興課所管「飲食店リピートキャンペーン」登録店舗で使うことができる食事利用券（1,000 円／人）を同封して送付します。
事業の目的	・高齢者の健康づくりに寄与します。 ・持病等の重度化を防止します。
事業の効果	・外出や体を動かす機会が増えることで、高齢者の健康づくり及び介護予防に寄与することができます。

【事業の概要】（※新型コロナ対策）

- ・本事業の対象となる方（31,646 人）に対して介護予防等に関するチラシ及び食事利用券を送付しました。
- ・食事利用券が積極的に使用されるよう、こうほう紙への掲載やホームページにより周知を図りました。
- ・食事利用券の利用により高齢者の外出機会を増やすとともに、介護予防に関する知識の普及啓発を図ることができました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
事業の対象者数	31,646 人	—	—
食事利用券使用枚数	46,852 枚	—	—

事業	19	介護施設等物価高騰対策支援金支給事業
担当所属	介護保険課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
66,114,000	60,287,714	3,209,483	57,078,231	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

11	役務費	10,714	18	負担金補助及び交付金	60,277,000
----	-----	--------	----	------------	------------

【実施計画の概要】

事業の内容	・市内の入所系施設・通所系施設に対し、利用定員に応じた支援金を支給します。 入所系施設 25 千円×利用定員 通所系施設 50 千円×利用定員×1/3
事業の目的	・物価高騰の影響を受けながらもサービスの提供に努力している介護施設等に対し、国の重点交付金を活用し支援金を支給することにより、施設の安定運営と介護サービスの安定確保を図ります。
事業の効果	・施設の安定運営と介護サービスの安定確保により、住み慣れた場所での生活を維持することができます。

【事業の概要】（※新型コロナ対策）

- ・支援金を支給した市内対象施設

入所系施設については、33 施設に対し、45,928 千円を支給しました。

通所系施設については、51 施設に対し、14,349 千円を支給しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
対象施設への周知案内回数	4 回	—	—
対象施設への支援金支給率	95.5%	—	—

事業	4	ファミリーサポートセンター事業
担当所属	こども保育課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
17,151,000	17,077,340	10,619,340	3,229,000	3,229,000	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

12	委託料	16,159,000	18	負担金補助及び交付金	230,000
19	扶助費	688,340			

【実施計画の概要】

事業の内容	・援助を受けたい人で行いたい人が会員となり、地域において子育てを助け合う組織であるファミリーサポートセンター事業について、民間事業者に委託し、佐倉市ファミリーサポートセンター（1 箇所）を拠点とし、子育ての協力会員（提供会員）と利用会員（依頼会員）の募集、相互援助活動に関する連絡・調整等を行います。 ・具体的には、保育施設までの送迎、保護者の用事等の場合に、子どもを預かる支援などの事業を行います。
事業の目的	・労働者が仕事と育児を両立できる環境を整備するとともに、地域の子育て支援を行うことにより、労働者の福祉の増進及び児童の福祉の向上を図ることを目的とします。
事業の効果	・会員相互の組織により、地域における子育て力の復活が期待できます。また、多様化する保育ニーズへの対応も可能となります。

【事業の概要】

- ・援助を受けたい『依頼会員』と、援助を行いたい『提供会員』とを当該センターのコーディネーターがマッチングし、市民による相互援助活動をサポートしました。会員になるための説明会や研修会においては、WED 開催を取り入れコロナ禍においても会員募集に努めました。また、ワクチン接種が進むなど感染症の不安も和らいだことから、相互援助活動件数が前年度と比較し約 1.7 倍増加しました。
- ・感染予防対策として、消耗品や備品の購入に係る経費の補助を行いました。（※新型コロナ対策）

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
ファミリーサポートセンター依頼会員数	1,058 人	1,044 人	1,023 人
ファミリーサポートセンター提供会員数	175 人	156 人	150 人
ファミリーサポートセンター両方会員数	23 人	20 人	21 人
相互援助活動件数	5,433 件	3,208 件	1,969 件
産前産後の援助活動件数	39 件	2 件	11 件

事業	5	病児・病後児保育事業
担当所属	こども保育課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
28,255,000	23,521,000	10,757,000	6,345,000	6,345,000	0	74,000

【決算額の節別内訳】（円）

12	委託料	23,221,000	18	負担金補助及び交付金	300,000
----	-----	------------	----	------------	---------

【実施計画の概要】

事業の内容	・ 児童が病気の急性期、回復期で集団保育が困難な場合、保育施設や病院に付設された専用の施設で一時的に児童をお預かりします。
事業の目的	・ 病気の急性期、回復期で集団保育が困難な児童に対し、適切な保育を提供できます。 ・ 保護者の子育てと就労の両立、多様な保育サービスの提供を図ります。
事業の効果	・ 病気の急性期、回復期で集団保育が困難な児童に対し、適切な保育が提供でき、児童の健全な育成に資することができます。 ・ 保護者の子育てと就労の両立の一助となり、多様化する保育ニーズへの対応、子育て支援施策の充実が図られます。

【事業の概要】

- ・ 病気の急性期や回復期で集団保育が困難な生後 6 か月～小学校 6 年生（施設により異なる）の児童を専用の施設で一時的に預かり、保育サービスを提供しました。
- ※病児保育 1 施設（1 歳～小学校 6 年生）、病後児保育 2 施設（生後 6 か月～小学校 3 年生）
- ・ 感染予防対策として、消耗品や備品の購入に係る経費の補助を行いました。（※新型コロナ対策）

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
病児・病後児保育事業委託施設数	3 箇所	3 箇所	3 箇所
年間利用児童数（延べ人数）	93 人	118 人	55 人

事業	6	子育て世代包括支援センター事業
担当所属	母子保健課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
21,293,000	18,929,686	3,154,686	12,621,000	3,154,000	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

01	報酬	5,458,270	02	給料	5,616,468
03	職員手当等	2,760,069	04	共済費	2,043,457
08	旅費	137,488	10	需用費	237,804
11	役務費	139,130	12	委託料	1,088,520
13	使用料及び賃借料	1,386,000	17	備品購入費	62,480

【実施計画の概要】

事業の内容	・母子健康手帳の交付の際に、保健師等が全ての妊婦と面接を行い、状況の把握や必要に応じて支援プランを策定し、関係機関と連携を図り継続的に支援します。
事業の目的	・妊娠期から子育て期にわたるまで切れ目なく支援を行うことができます。
事業の効果	・妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目のない支援を実施することで、安心して子育てができる環境を整えることができます。

【事業の概要】

- ・健康管理センター、西部保健センター、南部保健センター、志津北部地域子育て世代包括支援センター、市役所 2 号館で、妊娠届出の受理・母子健康手帳の交付・妊産婦への相談支援等を行いました。
- ・妊娠届出数 757 件のうち面接を実施した妊婦は 753 人で、実施率は 99.5%でした。また、出産準備の時期（妊娠 32～34 週頃）の妊婦 720 人のうち 602 人に電話支援を実施しました。そのほか、妊婦訪問 16 件、乳幼児への訪問（全戸訪問除く）212 件、電話相談を 1,243 件実施しました。
- ・妊娠中や子育て期にある保護者の不安等に対応するため、心理専門職によるママ・パパこころの相談を月 2 回開催し、34 人 56 件の利用がありました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
妊娠届出時の妊婦面接実施率	99.5%	98.1%	98.7%
相談件数（延件数）	2,882 件	2,113 件	1,915 件
妊娠後期の支援を行った妊婦の割合	83.6%	86.6%	88.7%
妊娠・出産について満足している人の割合	87.5%	87.7%	79.5%

事業	10	WE ラブ赤ちゃんプロジェクト事業
担当所属	こども政策課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
1,000,000	875,600	0	0	437,000	0	438,600

【決算額の節別内訳】（円）

12	委託料	875,600			
----	-----	---------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	- ステッカー等の啓発品を活用することで、赤ちゃんや子育て世代を温かく見守る周囲の思いを可視化します。 - 子育て世代が外出しやすい環境を整備します。 「WE ラブ赤ちゃん」プロジェクト（運営：エキサイト株式会社）の趣旨に共感し、千葉県内の自治体で初めて賛同しました。
事業の目的	- 子育て世代の育児不安、負担感の軽減を図ることができます。 - 周囲の人々が赤ちゃんの泣き声に理解を示すことで、子育て世代の心理的不安の軽減のみならず、地域での孤立感の解消を図ることができます。
事業の効果	- 子育て世代の心理的・肉体的不安の軽減や地域での孤立感の解消につながります。 - 子どもたちが健やかに成長できる育児環境の整備につながります。 - 官民協働で啓発に取り組むことで、より広範囲に事業を周知することができます。

【事業の概要】

- 令和 3 年度に募集した応援エピソードやメッセージを活用したチラシを作成しました。
- 各種啓発品（ステッカー、バッジ等）の作成、配布を行いました。
- 市内の飲食店、コンビニエンスストア等民間事業者から新規協賛を受け、ポスターやチラシを配架しました。
- 市内外のイベントで啓発品を配布しました。
- 子育て応援自動販売機（おむつ・ミルク取扱い）を「夢咲くら館」に設置しました。
- 公共施設や公園等に設置された自動販売機 15 台に啓発パネルを設置しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
ステッカー配布数	3,188 枚	8,284 枚	—
ポスター掲示箇所	81 箇所	294 箇所	—
缶バッジ配布数	812 個	2,294 個	—
ポスター掲示団体数	17 団体	12 団体	—

3 款 3 項 1 目

第 1 章 とともに支え合い誰もがいきいきと暮らせるまち（福祉・健康・子育て）

【会計】一般会計

基本施策 2 子育て支援

3 款：民生費 3 項：児童福祉費 1 目：児童福祉総務費 施策 4 保育の受け皿確保、子どもたちが健やかに育つ環境の整備を図ります

事業	12	子ども支援施策推進事業（コロナ対策分）
担当所属	こども政策課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
1,788,000	1,358,090	70,645	1,287,445	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

07	報償費	240,000	10	需用費	178,470
12	委託料	160,380	17	備品購入費	779,240

【実施計画の概要】

事業の内容	・子育て講座を開催します。 ・屋外でも授乳やおむつ替えができる移動式赤ちゃん休憩室を購入します。
事業の目的	・新型コロナウイルス感染症拡大の影響で懸念される、子育て世代の心身への負担軽減を図ります。
事業の効果	・良好な親子関係を保つことで、虐待防止等が期待できます。 ・子育て世代の心身の健康増進及び社会経済活動への参加の促進が期待できます。

【事業の概要】（※新型コロナ対策）

- ・子育て講座を 4 回開催しました。
- ・移動式赤ちゃん休憩室を 2 基購入しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
移動式赤ちゃん休憩室整備数	2 基	—	—
子育て講座参加者の満足度	95%	—	—

事業	13	子ども食堂支援事業
担当所属	こども政策課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	（財源内訳）				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
950,000	747,411	38,879	708,532	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

18	負担金補助及び交付金	747,411			
----	------------	---------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	- 市内の子ども食堂等が加盟するさくらあったか食堂ネットワークへの支援を行います。 - 市内の子ども食堂等への支援を行います。
事業の目的	地域住民が主体的に行う子ども食堂等の子どもたちの居場所についての認知度を上げ、さらなる活動の広がりを促すとともに、より多くの子どもたちの利用につなげていくことを目的としています。
事業の効果	- 子どもたちの居場所の確保につながります。 - 子どもたちだけではなく地域住民にとっても連携のための拠点確保につながります。 - 子ども食堂等の取り組みの一層の広がりが期待できます。

【事業の概要】（※新型コロナ対策）

- 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時特例交付金を活用し、さくらあったか食堂ネットワーク及び加盟する子ども食堂等に対して活動継続支援金を支給しました。
- 子ども食堂等の周知等に協力しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
子ども食堂活動の周知啓発の実施回数	2 事業	—	—
市内の子ども食堂等の数	12 団体	—	—

3 款 3 項 2 目

【会計】一般会計

3 款：民生費 3 項：児童福祉費 2 目：児童措置費

事業	1	家庭児童相談事業
担当所属	こども家庭課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
6,416,000	6,061,915	5,987,915	37,000	37,000	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

01	報酬	4,255,222	03	職員手当等	812,262
04	共済費	756,058	07	報償費	20,000
08	旅費	67,716	10	需用費	144,077
13	使用料及び賃借料	6,580			

【実施計画の概要】

事業の内容	・家庭における児童の養育、児童虐待、その他家庭や児童の福祉に関する相談と支援等を行います。 ・児童虐待の未然防止、早期発見・早期対応に向けて、関係機関・団体との連携強化、相談員の専門性の強化及び体制整備を図ります。 ・児童虐待防止に関する啓発活動を行います。
事業の目的	・関係機関との連携と協力のもと、早期発見・早期対応に努め、虐待を受けた子どもとその家族等への相談支援を行うとともに、体制の整備を図り、児童虐待の防止を目指します。
事業の効果	・児童虐待防止の周知、児童虐待の早期発見、早期対応、育児不安感の軽減を図ることができます。

【事業の概要】

- ・佐倉市こども家庭総合支援拠点を、令和 3 年 4 月 1 日よりこども家庭課内に設置しています。
- ・家庭児童相談延べ件数は、851 件でした。
- ・児童虐待の早期発見と適切な保護、または要支援児童や特定妊婦への適切な支援を図るため、佐倉市児童虐待防止ネットワークによる各会議を開催しました。
(代表者会議 1 回、ケース抽出会議 32 回、実務者会議 4 回、個別ケース会議 41 回)
- ・虐待防止啓発活動の一環として、関係機関職員向け研修を 5 回実施しました。
(支援者向け研修 2 回、スーパーバイザー研修 2 回、教員等対象研修 1 回)

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
佐倉市児童虐待防止ネットワーク会議開催数	78 回	65 回	65 回
児童虐待防止研修開催数	5 回	6 回	5 回
相談対応率	100%	100%	100%

3 款 3 項 2 目

【会計】一般会計

3 款：民生費 3 項：児童福祉費 2 目：児童措置費

事業	2	児童手当支給事業
担当所属	こども家庭課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
2,170,614,000	2,096,176,853	357,707,854	1,439,322,999	299,146,000	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

10	需用費	776,853	19	扶助費	2,095,400,000
----	-----	---------	----	-----	---------------

【実施計画の概要】

事業の内容	・次代の社会を担う子どもの健やかな育ちを支援するために、中学校修了前までの子どもを養育している方に、児童手当を支給します。
事業の目的	・次代の社会を担う児童の健全な育成を図ります。
事業の効果	・子育てにかかる保護者の経済的負担の軽減を図ります。 ・児童の健全な育成の推進が図られます。

【事業の概要】

- ・次代の社会を担う子どもの健やかな育ちを支援するために、中学校修了前までの子どもを養育している方に、児童手当を支給しました。
- ・支給額

3 歳未満	月額 1 万 5 千円
3 歳以上小学校修了前（第 1 子・第 2 子）	月額 1 万円
3 歳以上小学校修了前（第 3 子以降）	月額 1 万 5 千円
中学生	月額 1 万円
所得制限額以上であるもの（特例給付）（R4.5 月分まで）	月額 5 千円
所得制限限度額以上所得上限限度額未満であるもの（R4.6 月分～）	月額 5 千円

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
児童手当の支給延べ人数	196,963 人	209,776 人	215,634 人
対象児童数	15,893 人	17,239 人	17,533 人
支給額	2,095,400 千円	2,198,245 千円	2,264,690 千円

3 款 3 項 2 目

【会計】一般会計

3 款：民生費 3 項：児童福祉費 2 目：児童措置費

事業	3	児童扶養手当支給事業
担当所属	こども家庭課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
483,611,000	440,480,000	293,716,110	146,763,890	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

07	報償費	25,000	10	需用費	26,500
19	扶助費	440,428,500			

【実施計画の概要】

事業の内容	・ 父母の離婚等で、父又は母と生計を同じくしていない児童を養育している方に、手当を支給します。
事業の目的	・ ひとり親家庭等の生活の安定と自立の促進に寄与し、児童の福祉の増進を図ります。
事業の効果	・ ひとり親家庭等の生活の安定が図られます。 ・ 児童の健全な育成が図られます。 ・ 子育ての経済的負担が軽減されます。

【事業の概要】

- ・ 児童扶養手当法に規定されている要件を満たしたひとり親家庭等に児童扶養手当を支給しました。
- ・ 手当額(令和 4 年 4 月から) 全部支給者月額 43,070 円、一部支給者月額 43,060 円から 10,160 円までのいずれかの手当額。
- ・ 2 人以上の児童がいる受給者には、第 2 子については 10,170 円～5,090 円、第 3 子以降については、1 人につき 6,100 円～3,050 円加算

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
受給資格世帯数	1,055 世帯	1,115 世帯	1,124 世帯
受給者世帯数	843 世帯	915 世帯	918 世帯
受給世帯児童数	1,270 人	1,397 人	1,361 人
支給額	440,428,500 円	457,529,530 円	449,545,850 円

3 款 3 項 2 目

【会計】一般会計

3 款：民生費 3 項：児童福祉費 2 目：児童措置費

事業	8	子育て世帯臨時特別給付金支給事業
担当所属	こども家庭課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
16,547,000	12,028,892	0	11,928,892	0	0	100,000

【決算額の節別内訳】（円）

11	役務費	28,892	18	負担金補助及び交付金	12,000,000
----	-----	--------	----	------------	------------

【実施計画の概要】

事業の内容	・新型コロナウイルス感染症の影響を受ける子育て世帯を支援するため、児童 1 人あたり 10 万円の給付金を支給します。
事業の目的	・新型コロナウイルス感染症の影響を受ける子育て世帯を支援します。
事業の効果	・新型コロナウイルス感染症の影響を受ける子育て世帯の経済的負担軽減の一助となります。

【事業の概要】（※新型コロナ対策）

- ・臨時特別給付金として、児童 1 人あたり 10 万円の支給を行いました。

対象者 0 歳から高校 3 年生までの児童

所得制限あり（児童手当の所得制限限度額を準用）

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
対象世帯数	92 世帯	12,725 世帯	—
支給対象児童数	119 人	21,522 人	—

3 款 3 項 2 目

【会計】一般会計

3 款：民生費 3 項：児童福祉費 2 目：児童措置費

事業	9	子育て世帯臨時特別給付金支給事業（市独自給付分）
担当所属	こども家庭課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
14,987,000	11,900,000	11,900,000	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

18	負担金補助及び交付金	11,900,000			
----	------------	------------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・新型コロナウイルス感染症の影響を受ける子育て世帯を支援するため、児童 1 人あたり 10 万円を給付します。 ・国制度の対象とならない世帯等に市独自で支給を行います。
事業の目的	・新型コロナウイルス感染症の影響を受ける子育て世帯を支援します。
事業の効果	・新型コロナウイルス感染症の影響を受ける子育て世帯の経済的負担軽減の一助となります。

【事業の概要】（※新型コロナ対策）

- ・国制度の対象とならない 0 歳から高校 3 年生までの児童に対し、市独自の臨時特別給付金として児童 1 人あたり 10 万円の支給を行いました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
対象世帯数	93 世帯	1,550 世帯	—
支給対象児童数	119 人	2,553 人	—

3 款 3 項 2 目

【会計】一般会計

3 款：民生費 3 項：児童福祉費 2 目：児童措置費

事業	10	子育て世帯生活支援特別給付金支給事業
担当所属	こども家庭課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
182,997,000	145,861,567	567	145,861,000	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

01	報酬	784,080	03	職員手当等	1,438,099
08	旅費	72,240	10	需用費	247,340
11	役務費	406,808	13	使用料及び賃借料	363,000
18	負担金補助及び交付金	142,550,000			

【実施計画の概要】

事業の内容	・新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、食費等の物価高騰等に直面する低所得の子育て世帯に対し、児童 1 人あたり 5 万円の子育て世帯生活支援特別給付金を支給します。
事業の目的	・新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、食費等の物価高騰等に直面する低所得の子育て世帯に対し生活の支援を行います。
事業の効果	・新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、食費等の物価高騰等に直面する低所得の子育て世帯の負担軽減の一助となります。

【事業の概要】（※新型コロナ対策）

- ・低所得の子育て世帯に対して生活の支援を行う観点から、対象児童 1 人につき 5 万円の特別給付金を支給しました。

対象者 基準日（令和 4 年 3 月 31 日）時点で 18 歳未満（障害児については 20 歳未満）の児童の養育者

ひとり親世帯 ①令和 4 年 4 月分の児童扶養手当受給者等

②家計が急変するなど収入が児童扶養手当対象水準まで下がった者

その他世帯 ①令和 4 年度分の住民税が非課税である者

②家計が急変し、住民税非課税相当の収入になった者

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
対象世帯数	1,744 世帯	—	—
支給対象児童数	2,851 人	—	—

3 款 3 項 2 目

【会計】一般会計

3 款：民生費 3 項：児童福祉費 2 目：児童措置費

事業	11	子育て世帯生活支援特別給付金支給事業（市独自給付分）
担当所属	こども家庭課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
32,934,000	16,955,408	6,516,977	10,438,431	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

01	報酬	225,720	08	旅費	14,440
11	役務費	15,248	18	負担金補助及び交付金	16,700,000

【実施計画の概要】

事業の内容	- 新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、食費等の物価高騰等に直面する低所得の子育て世帯に対し、児童 1 人あたり 5 万円の給付金を支給します。 - 国制度の対象とならない住民税均等割のみ課税世帯等に、市独自で支給します。
事業の目的	新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、食費等の物価高騰等に直面する低所得の子育て世帯に対し生活の支援を行います。
事業の効果	新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、食費等の物価高騰等に直面する低所得の子育て世帯の負担軽減の一助となります。

【事業の概要】（※新型コロナ対策）

- 国の給付金の対象とならない低所得の子育て世帯に対し、生活の支援を行う観点から、対象児童 1 人につき 5 万円の特別給付金を支給しました。

対象者 ①令和 4 年度分住民税均等割のみ課税の子育て世帯（ひとり親世帯以外）で、令和 4 年 3 月 31 日時点で 18 歳未満（障害児については 20 歳未満）の児童を養育する者

②住民税均等割非課税または均等割のみ課税世帯で、令和 5 年 3 月 1 日から令和 5 年 4 月 1 日生まれの新生児を養育する者

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
対象世帯数	165 世帯	—	—
支給対象児童数	334 人	—	—

3 款 3 項 3 目

第 1 章 ともに支え合い誰もがいきいきと暮らせるまち（福祉・健康・子育て）

【会計】一般会計

基本施策 2 子育て支援

3 款：民生費 3 項：児童福祉費 3 目：母子福祉費 施策 2 子育てに係る経済的負担を軽減します

事業	1	ひとり親家庭等医療費等助成事業
担当所属	こども家庭課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	（財源内訳）				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
53,966,000	51,063,775	25,073,117	0	25,062,960	0	927,698

【決算額の節別内訳】（円）

11	役務費	1,060,825	19	扶助費	50,002,950
----	-----	-----------	----	-----	------------

【実施計画の概要】

事業の内容	ひとり親家庭に対し、医療費等の自己負担額の一部を控除した額を助成します。 [助成額] 自己負担額から一部負担額（※）を除いた額 （※）通院 1 回または入院 1 日につき 300 円（住民税所得割非課税世帯は 0 円） 調剤は無料
事業の目的	ひとり親家庭等に対し、医療費等の一部を助成することにより、ひとり親家庭等の生活の安定の確保と福祉の向上を図ります。
事業の効果	- ひとり親家庭等の生活の安定の確保が図られます。 - 安心して医療機関にかかることができます。 - 健康の保持と福祉の増進が図られます。

【事業の概要】

- ひとり親家庭等における医療費等の保険医療費、保険調剤費の自己負担額の一部を助成しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
助成資格世帯数	1,044 世帯	1,076 世帯	1,110 世帯
助成世帯数	950 世帯	943 世帯	759 世帯
通院延べ件数（回数）	17,324 件	17,771 件	7,392 件
調剤延べ件数（回数）	6,071 件	6,176 件	2,865 件
入院延べ日数	529 日	596 日	604 日

※令和 2 年 11 月診療分から助成方式を変更したため、通院と調剤分実績の算出方法を変更しています。

3 款 3 項 4 目

【会計】一般会計

3 款：民生費 3 項：児童福祉費 4 目：保育園費

事業	3	保育園管理運営事業
担当所属	こども保育課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
614,223,000	519,568,562	462,364,838	9,061,244	9,801,000	0	38,341,480

【決算額の節別内訳】（円）

01	報酬	210,891,901	02	給料	87,668,010
03	職員手当等	67,982,952	04	共済費	44,328,613
08	旅費	3,427,485	10	需用費	97,843,988
11	役務費	2,568,190	12	委託料	2,037,251
13	使用料及び賃借料	578,190	15	原材料費	156,770
17	備品購入費	1,850,352	18	負担金補助及び交付金	234,860

【実施計画の概要】

事業の内容	・ 公立保育園 7 園の管理運営を行います。
事業の目的	・ 保育の必要性がある乳幼児を保育し、健全育成・児童福祉の増進を図ります。 ・ 施設管理運営(各種保険料・検査手数料・施設修繕・保守点検・委託料等)の水準を確保します。
事業の効果	・ 保育の必要な児童に、適切な保育を提供することができます。 ・ 入園児童の処遇及び保育環境の向上が図られます。 ・ 延長保育や一時預かりなど、多様化する保育のニーズに応じた事業が実施できます。

【事業の概要】

- ・ 保育の必要性がある乳幼児を保育し、健全育成・児童福祉の増進を図りました。
- ・ 施設管理運営(各種保険料・検査手数料・施設修繕・保守点検・委託料等)の水準を確保しました。
- ・ 佐倉保育園園舎賃貸借契約を継続し、安全かつ良好な環境で保育を実施しました。
- ・ 令和5年1月～3月分の公立保育園給食費を無償としました。（※新型コロナ対策）

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
一時預かり事業実施公立保育園数	4 園	4 園	4 園
一時預かり事業公立利用延べ人数	3,884 人	2,810 人	2,336 人

3 款 3 項 4 目

第 1 章 ともに支え合い誰もがいきいきと暮らせるまち（福祉・健康・子育て）

【会計】一般会計

基本施策 2 子育て支援

3 款：民生費 3 項：児童福祉費 4 目：保育園費

施策 4 保育の受け皿確保、子どもたちが健やかに育つ環境の整備を図ります

事業	11	保育所入所委託等事業
担当所属		こども政策課

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
2,804,214,000	2,796,518,734	698,578,000	1,301,068,611	545,830,533	0	251,041,590

【決算額の節別内訳】（円）

12	委託料	2,218,886,870	19	扶助費	577,631,864
----	-----	---------------	----	-----	-------------

【実施計画の概要】

事業の内容	・市内の民間保育園等及び他市区町村の保育園等に対し運営委託費（施設型給付費）を支弁することで施設運営の安定を図ります。
事業の目的	・保育が必要な児童を市内の民間保育園等及び他市区町村の保育園等に委託し、適切な保育を提供します。
事業の効果	・委託先の保育園等に対し、運営委託費（施設型給付費）を支弁することで、施設運営の安定を図り、もって安定した保育環境の提供と児童の処遇向上に資することができます。

【事業の概要】

- ・市内の民間保育園等及び他市区町村の保育園等に対し運営委託費を支弁することで施設運営の安定を図りました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
市内民間保育園等の施設数	37 園	37 園	36 園
市内民間保育園等定員数	2,018 人	2,031 人	2,026 人
市内民間保育園等延べ入園児童数	23,648 人	22,776 人	22,313 人

3 款 3 項 4 目

第 1 章 ともに支え合い誰もがいきいきと暮らせるまち（福祉・健康・子育て）

【会計】一般会計

基本施策 2 子育て支援

3 款：民生費 3 項：児童福祉費 4 目：保育園費

施策 4 保育の受け皿確保、子どもたちが健やかに育つ環境の整備を図ります

事業	12	民間保育園等助成事業
担当所属	こども政策課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
529,546,000	498,241,699	325,766,519	74,601,180	97,874,000	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

18	負担金補助及び交付金	498,241,699			
----	------------	-------------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・ 民間保育園等に対して交付金を交付することで、児童の処遇向上、職員の労働条件等処遇向上及び施設経営の安定を図ります。
事業の目的	・ 民間保育園等における児童の処遇向上、職員の労働条件等処遇向上及び施設経営の安定を図ります。 ・ 公立・民間同水準の保育の提供を図ります。
事業の効果	・ 施設運営の安定により、民間保育園等における児童・職員の処遇、保育環境・労働環境が向上します。

【事業の概要】

- ・ 民間保育園等に対して交付金を交付することで、児童の処遇向上、職員の労働条件等処遇向上及び施設経営の安定を図りました。
- ・ 民間保育園等に対して処遇改善臨時特例交付金を交付することで、当該施設に勤務する保育士・幼稚園教諭等の賃金改善を行うために必要な費用の交付を行いました。
- ・ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、民間保育園等に対し、衛生用品等の購入に係る補助を行いました。（※新型コロナ対策）

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
助成対象保育施設数	37 園	37 園	36 園
市内民間保育園等定員数 (認可定員・幼稚園部分含む)	2,780 人	2,783 人	2,715 人
市内民間保育園等入園児童数 (延べ人数・幼稚園部分含む)	31,764 人	33,408 人	30,743 人

3 款 3 項 4 目

第 1 章 ともに支え合い誰もがいきいきと暮らせるまち（福祉・健康・子育て）

【会計】一般会計

基本施策 2 子育て支援

3 款：民生費 3 項：児童福祉費 4 目：保育園費 施策 4 保育の受け皿確保、子どもたちが健やかに育つ環境の整備を図ります

事業	13	認可外保育施設利用者・運営助成事業
担当所属	こども保育課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
1,953,000	1,250,600	1,100,600	150,000	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

18	負担金補助及び交付金	384,000	19	扶助費	866,600
----	------------	---------	----	-----	---------

【実施計画の概要】

事業の内容	・指導監督基準を満たす旨の証明書の交付を受けている市内施設に対し、保育に使用する遊具、楽器、机等の備品に要する経費等の一部を助成します。 ・認可保育園等に入園できていない児童が、指導監督基準を満たす旨の証明書の交付を受けている県内の認可外保育施設を利用している場合、保育料の一部を助成します。
事業の目的	・認可外保育施設の保育環境の維持向上を図ります。 ・保護者の経済的負担の軽減を図ります。
事業の効果	・認可外保育施設を保護者が利用しやすい環境を整えることにより、待機児童対策の一助となります。

【事業の概要】

- ・ 1 施設に対し、保育環境の維持向上に要する経費等の一部を助成しました。
- ・ 対象施設を利用している児童の保護者に対し、保育料の一部を助成しました。
- ・ 対象施設に対し、感染対策用の消耗品の購入に係る経費の補助を行いました（※新型コロナ対策）

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
認可外保育施設運営費等交付金交付施設数	1 施設	1 施設	1 施設
認可外保育施設利用者助成金交付施設者数	3 人	0 人	10 人

3 款 3 項 4 目

第 1 章 とともに支え合い誰かがいきいきと暮らせるまち（福祉・健康・子育て）

【会計】一般会計

基本施策 2 子育て支援

3 款：民生費 3 項：児童福祉費 4 目：保育園費 施策 4 保育の受け皿確保、子どもたちが健やかに育つ環境の整備を図ります

事業	14	保育園施設整備事業
担当所属	こども保育課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
18,965,000	18,646,320	18,646,320	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

12	委託料	11,533,500	14	工事請負費	6,639,820
17	備品購入費	473,000			

【実施計画の概要】

事業の内容	・ 公立保育園の施設及び設備を、計画的に改修します。
事業の目的	・ 入園児童の安全性及び保育環境の向上を図ります。
事業の効果	・ 入園児童の安全性及び保育環境の向上が図られます。 ・ 施設機能の強化が図られます。

【事業の概要】

- ・ 志津保育園の空調設備の改修を行いました。(0 歳児室、医務室)
- ・ 根郷保育園の高圧交流負荷開閉器の更新工事を行いました。
- ・ 佐倉保育園の GHP 空調室外機の改修工事行いました。
- ・ 北志津保育園の給水設備の交換工事を行いました。
- ・ 根郷保育園の電話設備の改修工事を行いました。
- ・ 北志津保育園の包丁まな板殺菌庫を購入しました。
- ・ 北志津保育園の給食室電動引戸の修理を行いました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
公立保育園整備件数	8 か所	5 か所	1 か所

3 款 3 項 4 目

第 1 章 ともに支え合い誰もがいきいきと暮らせるまち（福祉・健康・子育て）

【会計】一般会計

基本施策 2 子育て支援

3 款：民生費 3 項：児童福祉費 4 目：保育園費

施策 4 保育の受け皿確保、子どもたちが健やかに育つ環境の整備を図ります

事業	15	民間保育園等施設整備助成事業
担当所属	こども政策課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	（財源内訳）				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
364,193,000	361,118,000	91,859,683	101,601,317	164,857,000	2,800,000	0

【決算額の節別内訳】（円）

18	負担金補助及び交付金	361,118,000			
----	------------	-------------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・ 民間事業者が実施する認可保育所、認定こども園及び小規模保育事業所の施設整備に対して補助を行います。
事業の目的	・ 保育施設等の定員数の増加及び保育・教育環境の整備を図ります。
事業の効果	・ 保育施設等の定員数を増やすことにより、待機児童の解消を図ります。 ・ 保育・教育環境の整備により、乳幼児・児童の健やかな成長を促します。

【事業の概要】

- ・ 志津わかば幼稚園の認定こども園移行に向けた施設の整備に係る費用の一部を助成しました。
- ・ 佐倉城南幼稚園の園舎耐震化とトイレの衛生化工事の整備に係る費用の一部を助成しました。（※新型コロナウイルス対策）

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
助成対象民間保育園等の数	2 園	2 園	2 園
助成により整備される保育定員数	96 人	3 人	28 人

3 款 3 項 4 目

第 1 章 とともに支え合い誰もがいきいきと暮らせるまち（福祉・健康・子育て）

【会計】一般会計

基本施策 2 子育て支援

3 款：民生費 3 項：児童福祉費 4 目：保育園費 施策 4 保育の受け皿確保、子どもたちが健やかに育つ環境の整備を図ります

事業	16	保育園廃棄物処理事業
担当所属	こども保育課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
1,559,000	1,384,203	1,384,203	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

12	委託料	1,384,203			
----	-----	-----------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・ 公立保育園の使用済みオムツを各施設で回収します。
事業の目的	・ 入園児童・保護者・職員の衛生状態の向上を図ります。
事業の効果	・ 入園児童・保護者・職員の衛生状態の向上が図られます。

【事業の概要】

- ・ 公立保育園の使用済みオムツを施設で回収しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
市立保育園廃棄物回収施設数	7 園	7 園	7 園

3 款 3 項 4 目

第 1 章 ともに支え合い誰もがいきいきと暮らせるまち（福祉・健康・子育て）

【会計】一般会計

基本施策 2 子育て支援

3 款：民生費 3 項：児童福祉費 4 目：保育園費

施策 2 子育てに係る経済的負担を軽減します

事業	17	施設等利用費給付事業
担当所属	こども政策課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	（財源内訳）				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
29,450,000	29,374,865	7,942,415	14,288,300	7,144,150	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

18	負担金補助及び交付金	45,000	19	扶助費	29,329,865
----	------------	--------	----	-----	------------

【実施計画の概要】

事業の内容	・ 幼児教育・保育の無償化に伴い、保育の必要な子どもが幼稚園の預かり保育や認可外保育施設等を利用した場合の利用料等を助成します。
事業の目的	・ 少子化対策と質の高い幼児教育・保育の提供のため、幼児教育・保育にかかる経済的負担を軽減します。
事業の効果	・ 就学前児童を子育てする世帯の経済的負担が軽減されます。

【事業の概要】

- ・ 幼稚園・認定こども園の預かり保育や、認可外保育施設等の利用料を助成しました。
- ・ 34 園分の施設利用に対して利用費を給付し、負担軽減を図りました。
- ・ 施設等利用費を 546 人に支給しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
施設等利用費対象施設数	34 園	34 園	44 園
施設等利用費延べ支払件数	4,665 件	4,418 件	3,942 件
施設等利用費支払実人数	546 人	517 人	506 人

事業	18	地域子育て支援助成事業
担当所属	こども保育課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
128,333,000	103,839,996	38,023,996	35,288,000	30,528,000	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

18	負担金補助及び交付金	102,959,996	19	扶助費	880,000
----	------------	-------------	----	-----	---------

【実施計画の概要】

事業の内容	・地域子ども・子育て支援事業（一時預かり事業、地域子育て支援拠点事業、利用者支援事業）を実施する民間事業者への補助金を交付し、事業の実施を支えます。
事業の目的	・国の補助金（子ども子育て支援交付金）を活用し、一時預かり事業、地域子育て支援拠点事業、利用者支援事業を実施する民間事業者への補助金を交付し、子育て支援の着実な推進を図ることを目的とします。
事業の効果	・市民の子育て支援施策の充実を実現します。

【事業の概要】

- ・地域子ども・子育て支援事業（一時預かり事業、地域子育て支援拠点事業、利用者支援事業）を実施する民間事業者への補助金を支出しました。
- ・一時預かり事業においては、前年度より助成件数が 3 件増となり、より一層地域の子育て支援の推進を図りました。
- ・感染予防対策として、消耗品や備品の購入に係る経費の補助を行いました。（※新型コロナ対策）

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
地域子育て支援拠点事業助成件数	11 件	11 件	11 件
利用者支援事業助成件数	1 件	1 件	1 件
一時預かり事業助成件数	9 件	6 件	5 件
一時預かり事業民間利用延べ人数	2,652 人	1,363 人	1,056 人

3 款 3 項 4 目

第 1 章 とともに支え合い誰もがいきいきと暮らせるまち（福祉・健康・子育て）

【会計】一般会計

基本施策 2 子育て支援

3 款：民生費 3 項：児童福祉費 4 目：保育園費 施策 4 保育の受け皿確保、子どもたちが健やかに育つ環境の整備を図ります

事業	20	保育園管理運営事業（コロナ対策分）
担当所属	こども保育課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
1,690,000	1,491,308	568,335	922,973	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

10	需用費	1,491,308			
----	-----	-----------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・原油高や円安などの影響でさまざまな食材の価格が高騰していたため、従前の給食等の質・量を確保するためには、給食費（保護者負担）の増額等は避けられない状況となっています。このため、公立保育園の賄材料費に国庫補助金を充当することにより、従前の給食費（保護者負担）を維持し、保護者負担の軽減を図ります。
事業の目的	・公立保育園の賄材料費に国庫補助金を充当することにより、従前の給食費（保護者負担）を維持し、子育て世帯を支援します。
事業の効果	・公立保育園の賄材料費に国庫補助金を充当することにより、従前の給食費（保護者負担）を維持しながら給食等の質・量を確保することができ、保護者の負担が軽減されます。

【事業の概要】（※新型コロナ対策）

- ・公立保育園の賄材料費に国庫補助金を充当することにより、従前の給食費（保護者負担）を維持しながら給食等の質・量を確保し、令和 4 年 7 月～令和 5 年 3 月分の保護者負担の軽減を図りました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
対象施設数	7 園	—	—

3 款 3 項 4 目

第 1 章 とともに支え合い誰もがいきいきと暮らせるまち（福祉・健康・子育て）

【会計】一般会計

基本施策 2 子育て支援

3 款：民生費 3 項：児童福祉費 4 目：保育園費 施策 4 保育の受け皿確保、子どもたちが健やかに育つ環境の整備を図ります

事業	21	認可外保育施設利用者・運営助成事業（コロナ対策分）
担当所属	こども保育課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
44,000	11,760	4,482	7,278	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

18	負担金補助及び交付金	11,760			
----	------------	--------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・ 原油高や円安などの影響でさまざまな食材の価格が高騰していたため、従前の給食等の質・量を確保するためには、給食費（保護者負担）の増額等は避けられない状況となっています。このため、給食用食材費の高騰分を支援することにより、従前の給食費（保護者負担）を維持し、保護者負担の軽減を図ります。
事業の目的	・ 給食用食材費の高騰分に交付金を充てることにより、従前の給食費（保護者負担）を維持し、子育て世帯を支援します。
事業の効果	・ 給食用食材費の高騰分を支援することにより、従前の給食費（保護者負担）を維持しながら給食等の質・量を確保することができ、保護者の負担が軽減されます。

【事業の概要】（※新型コロナ対策）

- ・ 認可外保育施設に対して補助金を交付し、従前の給食費（保護者負担）を維持しながら給食等の質・量を確保し、令和 4 年 7 月～令和 5 年 3 月分の保護者負担の軽減を図りました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
助成対象施設数	1 施設	—	—

3 款 3 項 4 目

第 1 章 とともに支え合い誰もがいきいきと暮らせるまち（福祉・健康・子育て）

【会計】一般会計

基本施策 2 子育て支援

3 款：民生費 3 項：児童福祉費 4 目：保育園費 施策 4 保育の受け皿確保、子どもたちが健やかに育つ環境の整備を図ります

事業	22	民間保育園等助成事業（コロナ対策分）
担当所属	こども政策課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	（財源内訳）				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
7,625,000	7,122,000	2,714,923	4,407,077	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

18	負担金補助及び交付金	7,122,000			
----	------------	-----------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・原油高や円安などの影響で食材等の価格が高騰していることから、従前の給食等の質・量を確保するため、民間保育園等に対し、給食用食材費の高騰分に係る交付金を交付します。
事業の目的	・給食用食材費の高騰分に交付金を充てることにより、従前の給食費（保護者負担）を維持し、保護者負担の軽減を図ります。
事業の効果	・給食等の質・量を確保し、保護者の負担を軽減いたします。

【事業の概要】（※新型コロナ対策）

- ・民間保育園等に対して、給食用食材費の高騰分を補助することで従前の給食費を維持し、令和 4 年 7 月～令和 5 年 3 月分の保護者負担の軽減を図りました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
助成対象保育施設数	37 園	—	—
補助対象児童数 （延べ人数・幼稚園部分含む） ※事業実施期間令和 4 年 7 月～	23,740 人	—	—

3 款 3 項 4 目

第 1 章 ともに支え合い誰もがいきいきと暮らせるまち（福祉・健康・子育て）

【会計】一般会計

基本施策 2 子育て支援

3 款：民生費 3 項：児童福祉費 4 目：保育園費

施策 4 保育の受け皿確保、子どもたちが健やかに育つ環境の整備を図ります

事業	23	民間保育園等給食費補助事業
担当所属	こども政策課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
61,433,000	35,454,480	13,499,972	21,954,508	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

18	負担金補助及び交付金	35,454,480			
----	------------	------------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・ 民間保育園等の令和 5 年 1 月～3 月分の給食費相当分について、園及び保護者に対し補助を行います。
事業の目的	・ コロナ禍・価格高騰の影響を受ける子育て世帯の経済負担を軽減します。
事業の効果	・ コロナ禍・価格高騰の影響を受ける子育て世帯の経済負担を軽減し、安心して保育園等に通園できます。

【事業の概要】（※新型コロナ対策）

- ・ 園児 2,457 人の保護者に対して令和 5 年 1 月～3 月分の給食費を補助しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
給食費補助者所属施設数	68 園	—	—
給食費補助人数	2,457 人	—	—

3 款 3 項 5 目

第1章 ともに支え合い誰もがいきいきと暮らせるまち（福祉・健康・子育て）

【会計】一般会計

基本施策 4 障害者福祉

3 款：民生費 3 項：児童福祉費 5 目：さくらんぼ園費

施策 2 障害福祉サービスを充実します

事業	2	さくらんぼ園コロナ対策施設改修事業
担当所属	障害福祉課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	（財源内訳）				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
197,000	188,100	9,785	178,315	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

14	工事請負費	188,100			
----	-------	---------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・療育事業を実施する上で恒常的な換気を要するため、療育室及び保育室に網戸を設置します。
事業の目的	・新型コロナウイルス感染症の感染や感染拡大を予防し、療育の提供体制を確保します。
事業の効果	・事業の実施により、新型コロナウイルス感染症の感染リスクを下げるとともに、継続した療育の実施により利用児童や保護者の福祉の向上が図られます。

【事業の概要】（※新型コロナ対策）

- ・療育室及び保育室に網戸を設置しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
網戸を設置する保育室等の部屋	4 部屋	—	—
換気を実施できるようになった保育室等の部屋	4 部屋	—	—

事業	1	児童センター管理運営事業
担当所属	こども保育課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
181,247,000	181,004,676	181,004,676	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

10	需用費	380,506	12	委託料	178,380,900
17	備品購入費	116,270	18	負担金補助及び交付金	2,127,000

【実施計画の概要】

事業の内容	・地域の児童健全育成及び子育て支援の拠点である児童センターを指定管理者と連携を図りながら、円滑に運営します。
事業の目的	・地域の児童健全育成及び子育て支援の拠点施設として、地域や関係機関等と連携を図り、子どもたちに健全な遊びを与え、その遊びを通して、子どもたちの自主性や創造性などを育むことを目的としています。
事業の効果	・子どもの遊びの拠点となり、日常の安定した生活を支援します。 ・地域における子育て家庭に対する相談の場、交流の場となります。

【事業の概要】

- ・指定管理者と連携し、施設を安全に維持管理し、日常業務である児童健全育成事業、子育て支援事業、地域交流事業、児童向け図書の閲覧及び貸出を行いました。
- ・南部児童センターの光熱水費高騰分について、指定管理者支援金を交付しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
児童センター・老幼の館利用人数(幼児)	20,639 人	13,295 人	11,344 人
児童センター・老幼の館利用人数(小学生)	14,039 人	11,474 人	7,676 人
児童センター・老幼の館利用人数(一般)	37,618 人	27,282 人	25,563 人

事業	2	学童保育所管理運営事業
担当所属	こども保育課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
381,607,000	353,970,699	201,490,699	79,959,000	72,521,000	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

07	報償費	70,000	10	需用費	2,122,658
12	委託料	325,526,941	17	備品購入費	127,600
18	負担金補助及び交付金	26,123,500			

【実施計画の概要】

事業の内容	- 放課後保育を必要とする児童の遊び場、生活の場としての学童保育所を円滑に運営します。 - 公立の学童保育所については、指定管理者と連携し、適切な保育を提供します。 - 公立の学童保育所がない小学校区では、民間法人へ学童保育事業を委託します。
事業の目的	保護者の就労や病気などの理由により、放課後保育を必要とする小学校児童に対し、適切な遊びの場や生活の場を提供しその健全育成を図ると共に、共働き家庭に対する支援を図ります。
事業の効果	仕事と子育ての両立を支援することにより、少子化対策に寄与することが期待できます。

【事業の概要】

- 公立学童保育所の指定管理者と連携し、管理運営を行いました。
- 民間事業者に放課後児童健全育成事業を委託しました。
- 拡張整備を行った第三西志津学童保育所について、指定管理による管理運営の委託料の増額を行いました。
- 市内の学童保育所運営事業者に対して、処遇改善臨時特例交付金を交付することで、放課後児童支援員等の賃金改善を行うために必要な費用の交付を行いました。
- 感染対策用の消耗品や備品の購入に係る経費の補助を行いました。（※新型コロナ対策）

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
学童保育所数(公立)	33 箇所	33 箇所	33 箇所
学童保育所数(民間)	3 箇所	3 箇所	3 箇所
学童保育所利用状況(公立)	222,153 人	205,991 人	176,505 人
学童保育所利用状況(民間)	26,411 人	26,597 人	24,028 人

事業	3	学童保育所施設整備事業
担当所属	こども保育課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	（財源内訳）				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
33,050,000	29,920,245	10,133,759	10,764,486	9,022,000	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

10	需用費	162,454	13	使用料及び賃借料	4,224,000
14	工事請負費	23,374,516	17	備品購入費	2,159,275

【実施計画の概要】

事業の内容	・ 小学校の余裕教室等を活用した学童保育所の整備を進めます。 ・ 老朽化した学童保育所の修繕を実施します。
事業の目的	・ 待機や過密状態の解消が図れるように施設を整備していきます。
事業の効果	・ 入所児童が多く過密状態となっている学童保育所を解消し、快適な保育環境を提供します。

【事業の概要】

- ・ 待機児童が発生していた西志津小学校区について、第三西志津学童保育所の拡張整備を行いました。
- ・ 寺崎小学校区の児童数増加に伴い、寺崎学童保育所の過密緩和と第二寺崎学童保育所の新規整備を行いました。
- ・ 下志津及び大崎台学童保育所の空調更新工事を行いました。
- ・ 佐倉学童保育所について、空調設備を設置しました。（※新型コロナ対策）

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
学童保育所整備・改修施設数	5 箇所	2 箇所	1 箇所

3 款 3 項 6 目

第 1 章 ともに支え合い誰もがいきいきと暮らせるまち（福祉・健康・子育て）

【会計】一般会計

基本施策 2 子育て支援

3 款：民生費 3 項：児童福祉費 6 目：児童センター費 施策 4 保育の受け皿確保、子どもたちが健やかに育つ環境の整備を図ります

事業	5	学童保育所等施設整備事業（コロナ対策分）
担当所属	こども保育課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	（財源内訳）				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
6,469,000	5,270,422	482,660	4,787,762	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

14	工事請負費	5,270,422			
----	-------	-----------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・国庫補助金（新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金）を活用し、学童保育所、児童センターの和式トイレを洋式化します。
事業の目的	・学童保育所、児童センターの和式トイレを洋式化し、利用者の感染拡大防止を図ります。
事業の効果	・学童保育所、児童センターの新型コロナウイルス感染拡大防止が図れます。

【事業の概要】（※新型コロナ対策）

- ・北志津児童センター、南部児童センター、臼井老幼の館及び上志津学童保育所の和式トイレの洋式化工事を行いました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
トイレ洋式化工事を行った施設数	4 施設	—	—
トイレ洋式化工事を行ったトイレの数	11 基	—	—

事業	4	佐倉市ヤングプラザ管理運営事業
担当所属	こども政策課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
25,727,000	25,727,000	25,727,000	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

12	委託料	25,212,000	18	負担金補助及び交付金	515,000
----	-----	------------	----	------------	---------

【実施計画の概要】

事業の内容	・佐倉市ヤングプラザについて、指定管理者制度を活用し、青少年が気軽に集える場を提供し、効果的・効率的な管理・運営を行います。
事業の目的	・青少年に対して、活動拠点「ヤングプラザ」を提供し、青少年活動を支援します。
事業の効果	・青少年が安心して集うことができます。 ・青少年の交流を図ることができます。 ・青少年による音楽活動など、活動の拠点となります。 ・指定管理制度を活用することで、効率的な施設運営を行うことができます。

【事業の概要】

- ・指定管理者と連携し佐倉市ヤングプラザの管理運営を行いました。
- ・新型コロナウイルス感染防止対策に係る利用制限を段階的に緩和し、令和 4 年 12 月 1 日から通常運営としました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
実施事業数	76 事業	42 事業	15 事業
開所日数	358 日	359 日	284 日
施設利用者の満足度	99.2%	98.3%	99.0%
事業参加者数	3,537 人	1,159 人	185 人
施設利用者数	15,351 人	12,107 人	5,645 人

3 款 4 項 2 目

【会計】一般会計

3 款：民生費 4 項：生活保護費 2 目：扶助費

事業	1	生活保護費等給付事業
担当所属	社会福祉課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	（財源内訳）				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
2,196,904,000	2,076,635,870	354,630,506	1,623,585,432	52,345,145	0	46,074,787

【決算額の節別内訳】（円）

19	扶助費	2,076,635,870			
----	-----	---------------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・生活保護法に基づき、被保護者に対して生活保護費を支給します。
事業の目的	・国が生活に困窮するすべての国民に対し、困窮の程度に応じ、必要な保護を行い、その最低限度の生活を保障するとともに、その自立を助長します。 ・生活保護法の適用を受けている者の健康を守ります。
事業の効果	・最低限度の生活を保障することにより、自立の一助となります。 ・医療費等を給付することにより、安心して治療に専念することにつながります。

【事業の概要】

- ・生活困窮者の相談に応じました。
- ・申請手続きがあった場合に、生活保護法に基づき調査を行い、生活保護を決定しました。
- ・生活保護受給者に対して、生活保護法に基づき、適正な生活保護費を支給しました。
- ・定期的に世帯を訪問し、生活状況を確認し、指導と援助を行いました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
相談件数	432 件	426 件	460 件
申請件数	182 件	158 件	178 件
開始件数	144 件	136 件	145 世帯
生活保護世帯を定期的に訪問した件数	4,045 件	4,803 件	3,452 件
被保護世帯数（年度平均）	954 世帯	959 世帯	932 世帯
被保護人員（年度平均）	1,216 人	1,226 人	1,191 人
生活扶助人員（年度平均）	1,071 人	1,087 人	1,067 人
住宅扶助人員（年度平均）	1,021 人	1,025 人	993 人
教育扶助人員（年度平均）	60 人	64 人	66 人
介護扶助人員（年度平均）	246 人	239 人	226 人
医療扶助人員（年度平均）	932 人	925 人	900 人
出産扶助人員（延人員）	1 人	0 人	0 人
生業扶助人員（延人員）	413 人	345 人	326 人
葬祭扶助人員（延人員）	30 人	37 人	36 人
保護率（年度平均）	7.31%	7.32%	7.02%
給付したことにより、自立を助長できた世帯数	23 世帯	36 世帯	28 世帯

事業	6-7	子ども医療費助成事業
担当所属	こども家庭課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	（財源内訳）				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
549,149,000	516,030,159	377,272,302	0	137,075,000	0	1,682,857

【決算額の節別内訳】（円）

10	需用費	462,023	11	役務費	15,055,002
19	扶助費	500,513,134			

【実施計画の概要】

事業の内容	・子どもの保険医療費等の全部又は一部を千葉県及び市が助成します。 ◆県補助事業 〔助成対象者〕通院：0 歳から小学校 3 年生までの児童 入院：0 歳から中学校 3 年生までの児童 〔助成額〕自己負担額から一部負担額（※）を除いた額 （※）通院 1 回又は入院 1 日につき 300 円（住民税所得割非課税は 0 円。 ただし、年間総所得により補助対象外となる場合あり） 〔所得制限〕あり ◆市補助事業 〔助成対象者〕通院・入院：0 歳から中学校 3 年生までの児童 〔助成額〕通院・入院：県補助対象者は 100 円、県補助非対象者は自己負担額から一部負担額（※）を除いた額 （※）通院 1 回又は入院 1 日につき 200 円（住民税所得割非課税は 0 円） 〔所得制限〕なし
事業の目的	・保護者の負担軽減等子育て支援体制の充実を図ります。
事業の効果	・安心して子どもを産み育てる環境整備につながります。

【事業の概要】

- ・0 歳から中学校 3 年生までの入院・通院にかかる費用を助成しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
認定者数	19,274 人	19,750 人	20,208 人
助成額	500,513,134 円	497,420,961 円	431,853,061 円

事業	9	地域医療対策事業
担当所属	健康推進課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
66,000,000	66,000,000	66,000,000	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

18	負担金補助及び交付金	66,000,000			
----	------------	------------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・救急医療の確保及び地域医療の充実を図るため、佐倉市内の二次救急を担う救急告示病院に対し、救急医療に係る運営経費に対し補助金を交付します。
事業の目的	・救急医療の確保及び地域医療の充実を図ることを目的とします。
事業の効果	・補助金を交付することにより、各病院が救急患者の受入れ体制の強化、また、相互に連携をすることにより、市民が救急搬送を断られることが少なくなるため、万一急病等を発症した場合でも安心して救急医療を受けることができます。

【事業の概要】

- ・佐倉市内の二次救急告示病院である、東邦大学医療センター佐倉病院、聖隷佐倉市民病院、佐倉中央病院の 3 病院に対し、救急医療の確保及び地域医療の充実を図るため、補助金を交付しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
救急搬送要請件数	15,717 件	11,456 件	8,873 件
救急搬送受入れ件数	6,965 件	6,531 件	5,595 件
救急搬送断り件数	8,752 件	4,925 件	3,278 件
救急搬送断り率	55.7%	43.0%	36.9%

4 款 1 項 1 目

第 1 章 ともに支え合い誰もがいきいきと暮らせるまち（福祉・健康・子育て）

【会計】一般会計

基本施策 5 健康づくり

4 款：衛生費 1 項：保健衛生費 1 目：保健衛生総務費 施策 1 市民の健康づくりを推進します

事業	12	保健センター整備事業（コロナ対策分）
担当所属	健康推進課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
10,750,000	8,834,540	2,267,419	6,567,121	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

14	工事請負費	8,834,540			
----	-------	-----------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・保健センターの改修を行います。
事業の目的	・施設の適切な保全を図ります。
事業の効果	・施設の安全性を確保することで、利用者に安心して利用していただける環境の整備につながります。

【事業の概要】（※新型コロナ対策）

- ・健康管理センターの和便器を有蓋洋便器に改修、手動水栓の自動水栓化改修を行いました。
- ・西部保健センターの和便器を有蓋洋便器に改修、開閉式窓改修を行いました。
- ・南部保健センターの手動水栓の自動水栓化改修、開閉式窓改修を行いました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
施設整備工事	6 件	—	—
保健センターにおける事故発生件数	0 件	—	—

4 款 1 項 2 目

第 1 章 ともに支え合い誰もがいきいきと暮らせるまち（福祉・健康・子育て）

【会計】一般会計

基本施策 5 健康づくり

4 款：衛生費 1 項：保健衛生費 2 目：保健衛生費 施策 2 生活習慣病の予防、がんの早期発見を図ります

事業	3	検診事業
担当所属	健康推進課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	（財源内訳）				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
389,861,000	326,975,448	321,491,448	474,000	4,779,000	0	231,000

【決算額の節別内訳】（円）

07	報償費	259,200	10	需用費	8,159,557
11	役務費	1,135,335	12	委託料	317,421,356

【実施計画の概要】

事業の内容	・肺がん検診、胃がん検診、大腸がん検診、乳がん検診、子宮頸がん検診、健康診査、骨粗しょう症検診、肝炎ウイルス検診、成人歯科健診を実施します。
事業の目的	・各種検診を実施することにより、疾病の早期発見につなげるとともに、疾病予防の啓発を行います。
事業の効果	・疾病を早期に発見し、早期治療に結びつけることで市民の健康の保持増進につながります。

【事業の概要】

- ・令和 3 年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、大腸がん検診以外の全ての集団検診を予約制で実施しました。
- ・個別検診：市内 46 箇所の協力医療機関で実施しました。
- ・集団検診：特定健診（健康診査）・肺がん検診・大腸がん検診・肝炎ウイルス検診を同日に受診できる第 1 グループ（8 会場 31 回）、胃がん検診・大腸がん検診を同日に受診できる第 2 グループ（6 会場 32 回）、子宮頸がん検診（4 会場 7 回）、乳がん検診（4 会場 26 回）、骨粗しょう症検診（4 会場 8 回）を実施しました。

【活動指標・成果指標】

指標名			令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
肺がん 検診	実施回数	集団	31 回	31 回	21 回
	受診者数	集団	5,877 人	5,433 人	3,667 人
		個別	10,877 人	10,724 人	10,797 人
		受診率	14.6%	14.1%	12.7%
胃がん 検診	実施回数	集団	32 回	32 回	18 回
	受診者数	集団	3,613 人	3,543 人	1,610 人
		個別	6,714 人	6,350 人	7,002 人
		受診率	9.0%	8.6%	7.5%
大腸がん 検診	実施回数	集団	63 回	63 回	39 回
	受診者数	集団	6,408 人	6,128 人	4,571 人
		個別	9,198 人	9,235 人	9,162 人
		受診率	13.6%	13.4%	12.0%
子宮頸がん 検診	実施回数	集団	7 回	7 回	7 回
	受診者数	集団	1,203 人	1,205 人	1,132 人
		個別	2,168 人	2,483 人	2,122 人
		受診率	4.5%	4.9%	4.3%
乳がん 検診	実施回数	集団	26 回	26 回	26 回
	受診者数	集団	2,336 人	2,447 人	1,870 人
		個別	4,047 人	4,241 人	3,954 人
		受診率	9.4%	9.9%	8.6%

対象者数		令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
対象者数の定義		各検診対象年齢人口		
検診種別	肺がん・胃がん・大腸がん (40 歳～)	114,848 人	114,669 人	114,339 人
	子宮頸がん (20 歳～)	74,825 人	74,951 人	75,342 人
	乳がん (30 歳～)	67,819 人	67,847 人	67,987 人

事業	5	妊婦及び乳児健康診査事業
担当所属	母子保健課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
86,975,000	84,921,858	84,921,858	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

10	需用費	267,300	11	役務費	1,363,032
12	委託料	82,279,300	19	扶助費	1,012,226

【実施計画の概要】

事業の内容	- 母子健康手帳の交付時に健康診査の受診票である母子健康手帳別冊の交付を行います。 - 妊婦及び乳児を対象とする健康診査（医療機関に委託）に係る費用を助成します。
事業の目的	- 医療機関に委託して行う妊婦及び乳児健康診査の実施により、妊婦及び乳児の疾病の早期発見、早期治療につなげます。 - 妊婦・乳児の健診に係る経済的負担の軽減を図ります。
事業の効果	妊婦及び乳児の健康の保持増進を図るとともに、安心して妊娠・出産・育児が行える環境を整えます。

【事業の概要】

- 妊娠の届出があった妊婦 757 人全員に、母子健康手帳別冊による受診票（妊婦健康診査 14 回及び乳児健康診査 2 回）の交付を行いました。
- 妊婦健康診査の受診票利用数は 9,072 件、乳児健康診査の受診票利用数は 1,433 件でした。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
妊娠 11 週までに妊娠届出をした妊婦の割合	91.4%	93.5%	92.2%
妊婦健康診査受診率（受診票利用枚数/発行枚数）	85.6%	90.8%	81.0%
乳児健康診査受診率（受診票利用枚数/発行枚数）	87.4%	84.4%	92.9%

事業	6	幼児健診事業
担当所属	母子保健課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	（財源内訳）				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
13,543,000	12,206,954	12,206,954	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

01	報酬	3,600,000	08	旅費	17,168
10	需用費	753,360	11	役務費	104,598
12	委託料	7,731,828			

【実施計画の概要】

事業の内容	・母子保健法に基づき 1 歳 6 か月児健診、3 歳児健診、幼児歯科健診を実施します。
事業の目的	・子どもの成長発達の状態を明らかにし、良好な成長発達を遂げられるよう健康管理、保健指導を行います。 ・発見された疾病等の異常について、早期治療、適切な管理に結びつくよう支援します。 ・行動発達上の問題を早期発見又は予防することで、幼児の健全育成を図ります。
事業の効果	・健康診査と保護者への適切な保健指導を実施することにより、疾病を早期発見し、適切な医療、支援に結び付け、幼児の健康の保持及び増進と健全な育成を促します。

【事業の概要】

- ・ 1 歳 6 か月児健診を 30 回実施し、対象数 844 人、受診数は 855 人で、受診率は 101.3%でした。
- ・ 3 歳児健診を 30 回実施し、対象数 956 人、受診数 941 人で、受診率は 98.4%でした。
- ・ 幼児歯科健診を 60 回実施し、対象数 2,695 人、受診数 1,889 人で、受診率 70.1%でした。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
1 歳 6 か月児健診受診率	101.3%	96.4%	93.4%
3 歳児健康診査受診率	98.4%	93.6%	93.6%
むし歯のない 3 歳児の割合	91.8%	91.7%	89.9%

事業	9	産婦健康診査事業
担当所属	母子保健課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
7,060,000	5,984,588	3,038,588	2,946,000	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

10	需用費	92,708	12	委託料	5,665,000
19	扶助費	226,880			

【実施計画の概要】

事業の内容	- 産後 2 週間、産後 1 か月など出産後間もない時期の産婦に対し健康診査（母体の身体的機能の回復、授乳状況及び精神状態の把握等）に係る費用を助成します。 - 要支援判定となった場合には、概ね 1 週間以内に電話相談や訪問指導による支援を実施します。
事業の目的	産後うつ（抑うつ状態をはじめとする産後の精神的障害）の予防や新生児への虐待防止等を図ります。
事業の効果	産婦健康診査の費用を助成することにより、産後の初期段階における母子に対する支援を強化し、妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目のない支援体制を整備します。

【事業の概要】

- 対象者 738 人のうち、683 人が受診しました。受診率は 92.5%となっています。
- 健診の結果、要支援判定で医療機関から連絡があった産婦は 90 人で、そのうち概ね 1 週間以内に支援を開始した者 86 人でした。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
産婦健康診査の受診票の交付（率）	100%	100%	100%
産婦健康診査受診率	92.5%	90.8%	87.9%
産後の早期支援実施率	95.6%	85.9%	81.4%

事業	10	産後ケア事業
担当所属		母子保健課

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
5,330,000	4,989,660	2,494,660	2,495,000	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

12	委託料	4,989,660			
----	-----	-----------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・ 宿泊型・日帰り型・訪問型による産後ケアを提供し、産婦の母体管理及び生活面の指導、乳房管理、もく浴、授乳等の育児指導等の支援を行います。
事業の目的	・ 母親の身体的回復と心理的な安定を促進するとともに、産後も安心して子育てができる支援体制を確保することを目的とします。
事業の効果	・ 産後間もない時期に専門性の高い産後ケアを提供することで、心身の負担の軽減につながります。 ・ 委託先の実施施設との連携により、産後ケア事業の利用後に継続的な支援が必要な場合にも切れ目なく支援することができます。

【事業の概要】

- ・ 産後ケアを必要とする人の利用につながるよう、妊娠届出時のチラシ配布や妊娠後期電話支援での広報活動を積極的に行いました。
- ・ 産後ケアの利用者数は 59 人で、ケアを組み合わせながら延べ 273 日の利用がありました。
 宿泊型産後ケア 33 人、延べ 158 日
 日帰り型産後ケア 7 人、延べ 17 日
 訪問型産後ケア 32 人、延べ 98 回

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
産後ケア事業委託施設数（宿泊型・日帰り型の計）	12 箇所	8 箇所	4 箇所
宿泊型産後ケア事業利用者数（実人数）	33 人	17 人	9 人
宿泊型産後ケア事業利用延べ日数	158 日	80 日	46 日
日帰り型産後ケア事業利用者数（実人数）	7 人	1 人	0 人
日帰り型産後ケア事業利用回数	17 回	1 回	0 回
訪問型産後ケア事業利用者数（実人数）	32 人	25 人	18 人
訪問型産後ケア事業利用回数	98 回	83 回	49 回
妊娠・出産について満足している人の割合	87.5%	87.7%	79.5%

4 款 1 項 2 目

第 1 章 ともに支え合い誰もがいきいきと暮らせるまち（福祉・健康・子育て）

【会計】一般会計

基本施策 2 子育て支援

4 款：衛生費 1 項：保健衛生費 2 目：保健衛生費 施策 1 相談・交流の場を充実し、妊娠・出産・育児期に係る切れ目のない支援を行います

事業	11	新生児聴覚検査事業
担当所属	母子保健課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
2,925,000	2,146,424	2,146,424	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

11	役務費	83,424	12	委託料	1,968,000
19	扶助費	95,000			

【実施計画の概要】

事業の内容	・生後 50 日以内に実施する新生児聴覚スクリーニング検査の費用を助成します。
事業の目的	・新生児聴覚スクリーニング検査を受けやすい体制を整え、先天性の聴覚障害の早期発見・早期療育を図ります。
事業の効果	・聴覚異常があった子どもが早期に必要な治療や療育につながり、言語コミュニケーションの発達を支援することができます。

【事業の概要】

- ・対象者 749 人のうち、生後 50 日以内に検査を行った人数は 745 人（実施率 99.5%）でした。
- ・要精密検査の該当になった 10 人全員が検査を受け、3 人に聴覚障害が発見されました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
新生児聴覚検査受診票交付率	100%	100%	—
新生児聴覚検査の受診率	99.5%	98.3%	—
新生児聴覚検査の精密検査の受診率	100%	91.7%	—

事業	12	多胎妊産婦支援事業
担当所属	母子保健課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
375,000	0	0	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

19	扶助費	0			
----	-----	---	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・妊娠・出産・子育てに関する悩み等を、専門職だけでなく、交流を通じて多胎児の子育て経験者やシニア世代等に相談したり、多胎妊婦への健診費用の上乗せ助成を行います。
事業の目的	・多胎妊産婦が、日常の育児のサポートを受けられる環境を整備することで、地域での孤立を防ぎます。 ・単胎妊娠の場合よりも頻回の妊婦健康診査受診が推奨され、受診に伴う経済的負担が大きくなることから、健康診査に係る費用を補助し、多胎妊婦の経済的な負担軽減を図ります。
事業の効果	・多胎妊産婦の相談・交流の場を充実し、心身の健康管理の充実と経済的負担の軽減を図ることで、誰もが子育てしやすい環境を整えます。

【事業の概要】

- ・多胎支援交流事業（ビーンズ・サークル）を 2 回実施し、13 組の参加がありました。
※新型コロナウイルス感染症対策のため定員制で開催
- ・多胎妊婦への健康診査費用助成は 0 件でした（妊娠期間中に 15 回以上健診を受診した上乗せ助成対象の妊婦はいませんでした）。
- ・多胎妊娠の届出のあった全ての妊婦 13 人に対して、支援計画を作成し、妊娠期からの切れ目のない支援を実施しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
多胎妊産婦と子育て経験者との交流事業実施回数	2 回	2 回	0 回
多胎妊婦の健診費用補助制度の周知	100%	—	—
多胎家庭への相談支援率	100%	—	—

4 款 1 項 2 目

第 1 章 ともに支え合い誰もがいきいきと暮らせるまち（福祉・健康・子育て）

【会計】一般会計

基本施策 2 子育て支援

4 款：衛生費 1 項：保健衛生費 2 目：保健衛生費 施策 1 相談・交流の場を充実し、妊娠・出産・育児期に係る切れ目のない支援を行います

事業	13	3 歳児視力スクリーニング事業
担当所属	母子保健課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
1,334,000	1,243,000	621,000	622,000	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

17	備品購入費	1,243,000			
----	-------	-----------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・屈折検査の機器である「自動判定機能付きフォトスクリーナー」を 3 歳児健康診査で導入し、受診者全員の検査を行います。
事業の目的	・弱視などの目の異常を早期に発見することで、適切な医療につなげ視力の発達を促します。
事業の効果	・3 歳児健診を受診したすべてのお子さんに屈折検査を行うことで、弱視などの目の病気の早期発見・早期治療につなげることができ、就学時までに正常な視力を獲得することが期待されます。

【事業の概要】

- ・令和 4 年 10 月からの 3 歳児健康診査に、自動判定機能付きフォトスクリーナーによる屈折検査を導入しました。眼科精密健康診査が必要と判定した対象者は 178 人でうち 12 人に遠視・乱視・斜視などの目の病気が見つかりました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
フォトスクリーナーによる屈折検査の実施率	98.1%	—	—
弱視などの目の病気の発見率	1.3%	0.5%	1.0%

4 款 1 項 2 目

第 1 章 ともに支え合い誰もがいきいきと暮らせるまち（福祉・健康・子育て）

【会計】一般会計

基本施策 5 健康づくり

4 款：衛生費 1 項：保健衛生費 2 目：保健衛生費 施策 2 生活習慣病の予防、がんの早期発見を図ります

事業	14	前立腺がん検診事業
担当所属	健康推進課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	（財源内訳）				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
1,676,000	1,333,649	1,333,649	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

07	報償費	56,700	11	役務費	107,100
12	委託料	1,169,849			

【実施計画の概要】

事業の内容	・ 50 歳以上の 5 歳刻みの男性を対象に、前立腺がん検診を実施します。
事業の目的	・ 検診を実施することで、前立腺がんの早期発見、早期治療につなげます。
事業の効果	・ 疾病を早期に発見し、早期治療に結び付けることで市民の健康の保持増進につながります。

【事業の概要】

- ・ 50 歳以上の 5 歳刻みの男性を対象に、前立腺がん検診を実施しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
前立腺がん検診を実施している医療機関数	38 医療機関	—	—
前立腺がん検診受診者数	429 人	—	—

事業	15	産後ケア事業者物価高騰対策支援金支給事業
担当所属	母子保健課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
131,000	81,000	4,312	76,688	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

18	負担金補助及び交付金	81,000			
----	------------	--------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金における電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金を活用し、産後ケア事業者に支援金の支給を行います。
事業の目的	・佐倉市産後ケア事業の実施において、新型コロナウイルス感染症に伴うエネルギー・食料品等の物価高騰の影響を受けた事業者に対して支援金を給付することで、安定的な産後ケア事業を確保します。
事業の効果	・産後ケアの質を確保し、利用者の満足度と安全を確保した事業の実施ができます。

【事業の概要】（※新型コロナ対策）

- ・佐倉市の産婦が利用する産後ケア事業の利用実績に応じて、支援金を支給しました。
訪問型産後ケアの従事者 7 人に対して、2,000 円を 2 人、1,000 円を 5 人に支給しました。
宿泊型及び日帰り型産後ケアを実施した施設 4 施設に対して、54,000 円を 1 施設、6,000 円を 3 施設に支給しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
令和 4 年度産後ケア事業の受託事業者数	6 事業者	—	—
産後ケア事業の実績のあった事業者に対する支給率	100%	—	—

事業	16	出産・子育て応援事業
担当所属	母子保健課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
148,802,000	75,853,962	1,323,724	62,095,238	12,435,000	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

01	報酬	273,240	03	職員手当等	1,069,404
08	旅費	6,668	10	需用費	135,334
11	役務費	469,316	18	負担金補助及び交付金	73,900,000

【実施計画の概要】

事業の内容	・子育て世代包括支援センター等が妊婦・子育て家庭に対して、切れ目なく寄り添う伴走型相談支援を行います。 ・妊娠届出時に妊婦に出産応援給付金として 5 万円相当、出生後に新生児 1 人に対して養育者に子育て応援給付金 5 万円相当の経済的支援を行います。
事業の目的	・全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産・育児ができる環境整備として、伴走型の相談支援と経済的支援を一体として実施します。
事業の効果	・妊娠届出時から妊婦・子育て家庭に寄り添い、必要な支援の実施や経済的支援を行うことで、安心して出産・子育てできる環境を整えることができます。

【事業の概要】（※新型コロナ対策）

- ・令和 5 年 1 月 30 日から伴走型相談支援と経済的支援の一体的な事業実施を開始しました。
- ・令和 5 年 2 月及び 3 月に妊娠 7 か月となる妊婦 128 人を対象に、産前産後の子育て支援サービス等の案内と出産準備に向けた電子アンケートを実施し 79 人から回答がありました。その後、妊娠 32～34 週頃に電話支援を実施しました。（子育て世代包括支援センター事業の指標を再掲）
- ・出産応援給付金を、遡及支給対象者（令和 4 年 4 月 1 日以降事業開始日前までに妊娠届出があった妊婦及び令和 4 年 4 月 1 日以降事業開始日前までに出生した子の母）886 人、事業開始日以降に妊娠届出し面談をした妊婦 38 人に支給しました。
- ・子育て応援給付金を、遡及支給対象者（令和 4 年 4 月 1 日以降事業開始日前までに出生した子の養育者）550 人、事業開始日以降に出生した子の養育者で乳児家庭全戸訪問で面談をした者 4 人に支給しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
妊娠後期の支援を行った妊婦の割合	83.6%	—	—
出産・子育て応援給付金の支給人数	1,478 人	—	—

事業	1	感染症等予防事業（定期予防接種）
担当所属	母子保健課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	（財源内訳）				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
503,995,000	421,163,633	418,255,633	2,908,000	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

08	旅費	1,994	10	需用費	5,755,644
11	役務費	270,000	12	委託料	414,033,198
18	負担金補助及び交付金	863,266	19	扶助費	239,531

【実施計画の概要】

事業の内容	・ 予防接種法に基づき、定期予防接種の通知、勧奨、予防接種を実施します。
事業の目的	・ 感染のおそれのある疾病の発生及び蔓延を予防することで、公衆衛生の向上及び健康増進を図ります。
事業の効果	・ 予防接種は、個人が病気にならないために接種するものですが、多くの方が予防接種をすることにより健康の保持に寄与するとともに、医療費の削減にもつながります。

【事業の概要】

- ・ 定期予防接種について、市広報紙に 9 回掲載しました。
- ・ 定期予防接種を、延べ 65,000 回実施しました。
- ・ こどもの予防接種について、対象者の未接種者に対して、ハガキによる接種勧奨を実施しました。
- ・ 高齢者の予防接種について、対象者に個別通知を行いました。
- ・ 風しん追加的対策事業について、対象者に個別勧奨を実施しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
周知・啓発回数	25 回	20 回	23 回
個別勧奨回数	131 回	156 回	137 回
未接種者勧奨回数	19 回	42 回	28 回
BCG 予防接種の接種率	97.1%	102.7%	101.3%
四種混合予防接種の接種率	97.0%	102.5%	100.3%
麻しん風しん混合予防接種の接種率	97.3%	92.4%	97.4%
6 5 歳相当の高齢者肺炎球菌予防接種の接種率	55.8%	62.8%	66.9%

事業	2	感染症等予防事業（任意予防接種）
担当所属	母子保健課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	（財源内訳）				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
3,435,000	2,789,613	2,721,613	0	68,000	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

19	扶助費	2,789,613			
----	-----	-----------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・おたふくかぜ、風しん、ヒトパピローマウイルス感染症のワクチン接種費用助成を実施します。 ・個別通知やホームページ、広報紙等により、制度の周知を図ります。
事業の目的	・おたふくかぜワクチンの接種により、おたふくかぜ（流行性耳下腺炎）を予防し、子どもの健康維持を図るとともに、子育て支援の充実を目的とします。 ・風しんワクチンの接種により、先天性風しん症候群発生の予防を目的とします。 ・ヒトパピローマウイルス感染症ワクチンの積極的勧奨の差し控えにより、定期接種での接種機会を逃したかたに対し、任意接種に要した費用を助成することにより、公費負担の公平性を確保することを目的とします。
事業の効果	・予防接種は、個人個人が病気にならないために接種するものですが、多くの対象者が予防接種をすることにより、疾病そのものの蔓延予防と、医療費の削減にもつながります。

【事業の概要】

- ・おたふくかぜワクチン接種費用の一部助成を実施しました。
- ・千葉県が実施する風しんの抗体検査を受検し、接種が必要なかた等を対象に、風しんワクチン接種費用の一部助成を実施しました。
- ・令和 4 年 8 月 1 日から、ヒトパピローマウイルス感染症ワクチン接種費用の助成を 20 人に実施しました。
- ・個別通知、ホームページ、広報紙等で制度の周知に努めました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
おたふくかぜワクチンの接種費用の助成人数	644 人	616 人	754 人
おたふくかぜワクチンの接種費用の助成人数（1 歳児）	628 人	605 人	714 人
風しんワクチンの接種費用の助成人数	28 人	13 人	12 人

4 款 1 項 3 目

第 1 章 ともに支え合い誰もがいいきと暮らせるまち（福祉・健康・子育て）

【会計】一般会計

基本施策 5 健康づくり

4 款：衛生費 1 項：保健衛生費 3 目：予防費 施策 3 地域医療の充実を図ります

事業	3	健康危機対策事業
担当所属	健康推進課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
16,002,000	5,801,549	149,372	2,722,177	0	0	2,930,000

【決算額の節別内訳】（円）

10	需用費	5,786,457	12	委託料	15,092
----	-----	-----------	----	-----	--------

【実施計画の概要】

事業の内容	・ 新型インフルエンザ等の感染症の蔓延や災害時における健康危機事案に備え、必要な医薬品その他の物資及び資材を備蓄するほか、施設及び設備を整備します。 ・ 使用期限のある物は入れ替えを行います。 ・ 新型コロナウイルス感染症対策として、手指消毒液等を購入します。
事業の目的	・ 各保健センターに、必要な物資等を備蓄し、新型インフルエンザ等に備えます。 ・ 公共施設等で使用する手指消毒液等の衛生用品を購入し、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図ります。
事業の効果	・ 新型インフルエンザ等の発生時に、備蓄している物資等を使用し、早期の対応ができます。 ・ 公共施設等に手指消毒液等を配布することにより、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図ることができます。

【事業の概要】（※新型コロナ対策）

- ・ 公共施設等で使用する手指消毒液などの衛生用品を配布し、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図ることができました。
- ・ 高齢者施設等の新規入所者で希望する者を対象とした、PCR 等検査を実施しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
物資等備蓄品の購入(各保健センター)	3 か所	3 か所	3 か所
新型インフルエンザ等対策用備蓄品の充足率	100%	100%	100%
新型コロナウイルス感染症に係る PCR 等検査件数	1 件	4 件	47 件

4 款 1 項 3 目

第 1 章 とともに支え合い誰もがいきいきと暮らせるまち（福祉・健康・子育て）

【会計】一般会計

基本施策 5 健康づくり

4 款：衛生費 1 項：保健衛生費 3 目：予防費

施策 1 市民の健康づくりを推進します

事業	4	新型コロナウイルスワクチン接種対策事業
担当所属	健康推進課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
2,027,152,000	1,243,562,222	2,436,079	1,237,977,690	0	0	3,148,453

【決算額の節別内訳】（円）

01	報酬	8,072,551	03	職員手当等	8,500,382
04	共済費	715,485	07	報償費	46,413,944
08	旅費	139,275	10	需用費	4,312,602
11	役務費	28,438,118	12	委託料	1,137,545,252
13	使用料及び賃借料	2,076,200	14	工事請負費	248,270
17	備品購入費	7,050,123	21	補償補てん及び賠償金	50,020

【実施計画の概要】

事業の内容	・ワクチン接種を希望される方が円滑に接種を受けられるよう接種体制を構築します。
事業の目的	・新型コロナウイルス感染症の発症を予防し、死亡者や重症者の発生をできる限り減らし、結果として新型コロナウイルス感染症のまん延の防止を図ります。
事業の効果	・ワクチン接種を行うことで、新型コロナウイルス感染症の発症や重症化を予防する効果があります。

【事業の概要】（※新型コロナ対策）

- ・接種券等の印刷、WEB予約システムの運用、コールセンターの設置、ワクチンの管理や移送に係る業務等を委託しました。
- ・医療機関における個別接種とイオンタウンユーカリが丘や開館前の佐倉図書館（夢咲くら館）を活用した集団接種を併せて実施し接種体制を整えました。
- ・仕事等の理由で平日や日中の接種が困難な方に対して休日や夜間の接種体制を整えました。
- ・寝たきり等の理由で接種会場に出向くことができない方に対して訪問接種を実施しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
1 回目接種数（接種率）	52,962 回（90.3%）	—	—
2 回目接種数（接種率）	52,857 回（90.1%）	—	—
3 回目接種数（接種率）	51,800 回（88.3%）	—	—
4 回目接種数（接種率）	48,748 回（83.1%）	—	—
5 回目接種数（接種率）	42,080 回（71.7%）	—	—

※令和 5 年 3 月末現在の 65 歳以上の者

4 款 1 項 3 目

第 1 章 とともに支え合い誰もがいきいきと暮らせるまち（福祉・健康・子育て）

【会計】一般会計

基本施策 5 健康づくり

4 款：衛生費 1 項：保健衛生費 3 目：予防費

施策 3 地域医療の充実を図ります

事業	5	抗原検査キット等配布事業
担当所属	健康推進課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
24,303,000	11,501,850	598,304	10,903,546	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

10	需用費	11,501,850			
----	-----	------------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・ 保育園や介護施設等に対し、社会機能維持のため必要に応じて検査キットや感染防護物品を配布します。
事業の目的	・ 保育園や介護施設等の業務を継続することで、社会機能を維持し、施設等におけるクラスター発生を未然に防ぐことを目的とします。
事業の効果	・ 感染者の早期発見やクラスター発生を未然に防ぐことで、感染拡大を防止する効果があります。

【事業の概要】（※新型コロナ対策）

- ・ 関係各課と連携を図り、抗原検査キット、マスク、アイソレーションガウン、フェイスシールド、手袋を必要に応じて配布しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
抗原検査キット配布数	7,801 個	—	—
N95 マスク配布数	3,590 枚	—	—
ガウン配布数	3,710 着	—	—
フェイスシールド配布数	2,064 枚	—	—
手袋配布数	218,800 枚	—	—
不織布マスク配布数	210,000 枚	—	—

事業	1	休日夜間等救急医療事業
担当所属	健康推進課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
25,403,000	24,560,485	23,667,414	0	0	0	893,071

【決算額の節別内訳】（円）

01	報酬	8,514,600	07	報償費	226,800
08	旅費	93,754	10	需用費	170,084
11	役務費	100,355	12	委託料	14,862,872
13	使用料及び賃借料	592,020			

【実施計画の概要】

事業の内容	・休日（日曜、祝日、年末年始）の昼、夜間において、救急医療の提供を行います。
事業の目的	・多くの医療機関が休診となる休日（日曜、祝日、年末年始）における救急医療体制を確保し、医療環境の充実を図ります。 ・休日における救急医療体制の確保が一次救急医療機関として機能し、二次救急医療機関との役割分担及び連携体制の構築を図ります。
事業の効果	・休日や夜間の救急医療の充実により、安心して暮らせるまちづくりにつながります。

【事業の概要】

- ・休日昼間は、医療機関（内科、外科、歯科）の輪番体制により医療体制を確保しました。
- ・休日夜間は、佐倉市休日夜間急病診療所（内科、歯科※）の運営を行うとともに、外科は各医療機関の輪番体制により医療体制を確保しました。 ※歯科については、令和4年11月1日廃止

【活動指標・成果指標】

指標名			令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
休日の救急医療体制を確保した日数			72 日	72 日	72 日
受診者数	内科	昼間	1, 162 人	884 人	891 人
		夜間	69 人	73 人	49 人
	外科	昼間	606 人	588 人	633 人
		夜間	105 人	110 人	128 人
	歯科	昼間	195 人	224 人	196 人
		夜間	7 人 ※1	20 人 ※2	25 人※3
	合 計		2, 144 人	1, 899 人	1, 922 人

※1 診療日数 40 日 ※2 診療日数 43 日 ※3 診療日数 46 日

事業	2	印旛郡市小児救急医療事業
担当所属	健康推進課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
158,494,000	155,323,920	43,956,676	0	510,000	0	110,857,244

【決算額の節別内訳】（円）

10	需用費	1,729,829	11	役務費	704,500
12	委託料	151,019,440	13	使用料及び賃借料	1,732,981
17	備品購入費	137,170			

【実施計画の概要】

事業の内容	・医療機関が休診となる平日の夜間、日曜、祝日、年末年始の昼夜間において、小児の急病に対処するため、印旛市郡医師会へ委託し、印旛市郡小児初期急病診療所の運営を行います。
事業の目的	・一般医療機関が診療を行っていない夜間及び休日における小児の救急医療を確立し、小児医療の充実を図ります。 ・初期救急医療機関として機能することにより、二次救急医療機関（東邦大学医療センター佐倉病院、日本医科大学千葉北総病院、成田赤十字病院、国立病院機構下志津病院）との役割分担および連携体制の強化を図ります。
事業の効果	・救急医療に対する需要が増大する中で、行政がその一翼を担い、各医療機関の負担を分散化させることにより、救急医療体制の維持に貢献します。 ・小児医療の充実により、安心して子育てできるまちづくりにつながります。

【事業の概要】

- ・時間外における小児の救急医療を確保することを目的とし、印旛市郡医師会の全面的な協力（委託）により、健康管理センター内に小児科（内科系疾患）専門の初期救急医療機関として、午後 7 時から翌朝 6 時までのほか、日曜日、祝日、年末年始は午前 9 時から午後 5 時まで診療を行いました。
- ・なお、当該事業は、印旛郡市 8 市町と協定を締結し広域的に実施しています。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
診療所開設日数（昼間）	365 日（72 日）	365 日（72 日）	365 日（72 日）
診療所来所者数	3,917 人	3,585 人	2,727 人
二次搬送・紹介者数	150 人	136 人	140 人

4 款 1 項 5 目

第 2 章 人と自然が調和した安心して暮らせるまち（都市基盤・住環境）

【会計】一般会計

基本施策 9 環境保全

4 款：衛生費 1 項：保健衛生費 5 目：環境衛生費

施策 3 生活環境の保全を図ります

事業	2	畜犬管理事業
担当所属	生活環境課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
1,415,000	1,111,455	0	0	0	0	1,111,455

【決算額の節別内訳】（円）

10	需用費	578,417	12	委託料	533,038
----	-----	---------	----	-----	---------

【実施計画の概要】

事業の内容	・ 狂犬病予防法に基づく 畜犬登録業務を行います。 ・ 犬の飼い方等について啓発活動を行います。
事業の目的	・ 犬による危害、事故を未然に防ぎます。 ・ 犬の飼い方及び犬の登録、狂犬病予防注射に関する意識を高めます。
事業の効果	・ 犬の飼い方に対する意識高揚により、犬による危害や事故を未然に防ぐことが期待できます。 ・ 狂犬病の発生やまん延の予防が図られます。

【事業の概要】

- ・ 畜犬登録業務として、各種申請受付、犬鑑札等の交付、データ管理等を行いました。また、犬の臨時登録窓口を、4 月から 7 月の内の 6 日間、市内 5 会場で開設しました。
- ・ 集合狂犬病予防注射は、10 月の 4 日間、市内 6 会場にて実施しました。
- ・ 市内 10 動物病院において、犬の登録申請、狂犬病注射済票交付の収納委託を開始しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
犬鑑札の交付（新規登録）	549 件	580 件	609 件
狂犬病予防注射済票の交付	5,876 件	5,761 件	5,886 件
畜犬データ管理	8,992 件	9,173 件	9,300 件
集合狂犬病予防注射の実施	196 件	0 件	0 件
狂犬病予防注射実施率	65.3%	62.8%	63.3%

4 款 1 項 5 目

第 2 章 人と自然が調和した安心して暮らせるまち（都市基盤・住環境）

【会計】一般会計

基本施策 9 環境保全

4 款：衛生費 1 項：保健衛生費 5 目：環境衛生費

施策 3 生活環境の保全を図ります

事業	3	佐倉市・四街道市・酒々井町葬祭組合負担金
担当所属	生活環境課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
115,691,000	115,691,000	115,691,000	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

18	負担金補助及び交付金	115,691,000			
----	------------	-------------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・ さくら斎場の整備・管理運営及び葬祭組合の運営にかかる経費のうち佐倉市分を負担します。
事業の目的	・ 効率的に斎場を運営するために、佐倉市、四街道市、酒々井町で一部事務組合である葬祭組合を組織し、関係市町との連携を強化し、円滑な運営を推進します。
事業の効果	・ 安定的かつ効率的に斎場が運営されます。

【事業の概要】

- ・ さくら斎場の整備・管理運営及び葬祭組合の運営にかかる経費のうち佐倉市分(115,691,000 円)を支出しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
負担金	115,691,000 円	117,491,000 円	117,525,000 円
火葬利用件数	2,125 件	1,925 件	1,775 件
式場利用件数	252 件	225 件	236 件

4 款 1 項 5 目

第 2 章 人と自然が調和した安心して暮らせるまち（都市基盤・住環境）

【会計】一般会計

基本施策 9 環境保全

4 款：衛生費 1 項：保健衛生費 5 目：環境衛生費

施策 3 生活環境の保全を図ります

事業	6	公衆トイレ洋式化事業（コロナ対策分）
担当所属	生活環境課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	（財源内訳）				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
1,551,000	931,150	48,437	882,713	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

14	工事請負費	931,150			
----	-------	---------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・新型コロナウイルス感染症対策として、本市が設置、管理している京成佐倉駅前及び J R 佐倉駅前公衆トイレの和式便器を蓋付き洋式便器に改修します。
事業の目的	・和式便器を蓋付き洋式便器に改修することで、洗浄時に生じる飛沫による感染リスクの低減を図ります。
事業の効果	・新型コロナウイルスの感染リスクが低減されることで、公衆衛生の向上と公衆トイレ利用者の安全・安心が図られます。

【事業の概要】（※新型コロナ対策）

- ・京成佐倉駅北口女子トイレの和式便器 2 基を蓋付き洋式便器 1 基に、J R 佐倉駅南口女子トイレの和式便器 1 基を蓋付き洋式便器へそれぞれ改修を実施しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
公衆トイレ和式便器数	4 基	7 基	8 基
公衆トイレ洋式便器数	9 基	7 基	6 基

事業	3	公害防止対策事業
担当所属	生活環境課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
7,348,000	6,876,658	6,876,658	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

08	旅費	6,945	10	需用費	273,666
11	役務費	17,322	12	委託料	6,578,725

【実施計画の概要】

事業の内容	・一般環境（大気環境中ダイオキシン類調査、河川水質底質調査、河川水質底質中ダイオキシン類調査及び道路交通騒音振動調査）のモニタリング調査を実施します。 ・原因者への適切な指導を行うため、公害関係の技術研修に参加します。
事業の目的	・各種調査結果に基づく公害防止対策を推進します。
事業の効果	・河川の水質調査及び道路交通騒音、振動調査等を継続的に実施することで、地域環境の悪化を未然に防止することが可能となります。 ・公害関係の技術研修への参加により、職員の資質向上が図られ、事業者への適切な指導が期待できます。公害苦情に対して適切な処理及び助言等を行います。

【事業の概要】

- ・ダイオキシン類調査(大気環境中、河川水質底質中)、河川水質底質調査及び道路交通騒音振動調査を実施しました。
- ・健康被害防止のため、光化学スモッグ注意報発令時は市民への周知を行いました。
- ・事業者への適切な指導を行うため、公害関係の技術研修に参加しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
大気・水質・騒音・振動調査件数	通年 7 件 臨時 4 件	通年 7 件 臨時 3 件	通年 8 件 臨時 2 件
河川水質及び底質調査地点数	29 地点	29 地点	29 地点
大気環境中ダイオキシン類調査地点数	2 地点	2 地点	4 地点
河川水質及び底質中ダイオキシン類調査地点数	1 地点	4 地点	4 地点
道路交通騒音・振動調査地点数	4 地点	5 地点	5 地点
光化学スモッグ注意報発令・周知回数	周知 6 回 発令 6 回	周知 3 回 発令 3 回	周知 3 回 発令 3 回

4 款 1 項 6 目

第 2 章 人と自然が調和した安心して暮らせるまち（都市基盤・住環境）

【会計】一般会計

基本施策 9 環境保全

4 款：衛生費 1 項：保健衛生費 6 目：公害対策費

施策 3 生活環境の保全を図ります

事業	5	水質汚濁防止対策事業
担当所属		生活環境課

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
9,595,000	9,077,917	7,941,917	0	1,136,000	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

10	需用費	1,088,267	12	委託料	7,866,650
13	使用料及び賃借料	123,000			

【実施計画の概要】

事業の内容	・有機塩素系化合物による地下水汚染の現況をモニタリングするとともに、その浄化対策として、汚染地下水の揚水曝気を行います。 ・上水道未整備地域において、有機塩素系化合物のほか、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素に汚染した地下水を飲料用として使用している市民を対象に、浄水器の設置費用を補助します。
事業の目的	・有機塩素系化合物に汚染された地下水を浄化するため、その汚染経路などの機構を解明するとともに、当該機構に適応した浄化対策を実施します。 ・代替水源を確保できない市民に、正常な飲料水を提供します。
事業の効果	・地下水質の改善が図られることで、良好な地下水と地質環境を次世代へ継承することが期待されます。 ・代替水源を確保できない市民の健康保持に寄与します。

【事業の概要】

- ・汚染機構解明調査、浄化対策を実施しました。（有機塩素系化合物回収量：累計 35.91kg）

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
調査箇所数、浄化対策実施箇所数	3 箇所	3 箇所	3 箇所
汚染源特定の累計数	3 箇所	3 箇所	3 箇所
有機塩素系化合物（テトラクロロエチレン）の回収量	0.04kg	0.25kg	1.02kg

4 款 1 項 6 目

第 2 章 人と自然が調和した安心して暮らせるまち（都市基盤・住環境）

【会計】一般会計

基本施策 9 環境保全

4 款：衛生費 1 項：保健衛生費 6 目：公害対策費

施策 1 豊かな自然環境を保全します

事業	7	畔田谷津保全事業
担当所属	生活環境課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
757,000	725,589	725,589	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

10	需用費	82,089	12	委託料	643,500
----	-----	--------	----	-----	---------

【実施計画の概要】

事業の内容	・昭和 30 年代の谷津風景の復元を目指し、畔田谷津における実験事業を市民と協働により行います。
事業の目的	・谷津環境の保全を図ることにより、谷津の荒廃を抑制し、豊かな生態系の保全と、佐倉で育まれた自然と文化を次世代に継承します。
事業の効果	・谷津の水源地としての機能を保全することにより、豊かな谷津景観を維持・創出することができ、併せて印旛沼の水環境の回復が期待できます。

【事業の概要】

- ・市民協働により 20 回の管理作業を行い、参加人数はのべ 416 人でした。順応的管理を行ったことで、生物多様性の高い自然環境が保全されました。
- ・業務委託により草刈り（6,200 m²）及び枯木等伐採（4 本）を実施しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
整備区域面積	7.9ha	7.9ha	7.9ha
登録者数	58 人	63 人	75 人

4 款 1 項 6 目

第 2 章 人と自然が調和した安心して暮らせるまち（都市基盤・住環境）

【会計】一般会計

基本施策 9 環境保全

4 款：衛生費 1 項：保健衛生費 6 目：公害対策費

施策 3 生活環境の保全を図ります

事業	9	放射性物質対策事業
担当所属		生活環境課

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	（財源内訳）				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
1,287,000	1,029,712	563,312	466,400	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

10	需用費	35,312	12	委託料	994,400
----	-----	--------	----	-----	---------

【実施計画の概要】

事業の内容	・原子力発電所事故に伴う放射能汚染に関し、市民不安の解消を図るため、空間放射線量率及び食品中の放射能について測定します。 ・学校や公園など、子どもたちが集まる施設のうち、空間放射線量が高い場所を対象に、除去等の対策を講じます。
事業の目的	・空間放射線量を低減し、市民の健康と安全・安心な生活環境を確保します。
事業の効果	・放射能汚染に対する市民の不安が解消されます。

【事業の概要】

- ・放射性物質除染計画で経過観察するとしている施設について、放射線量率測定を行いました。
- ・給食によく使用する食材の放射能測定を行いました。
- ・測定に使用する機器の点検校正を行いました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
除染箇所数	該当施設なし	該当施設なし	該当施設なし
子どもたちの生活空間の放射線量率測定箇所数	58 施設	58 施設	97 施設
給食用食材等の測定検体数	30 検体	30 検体	30 検体
経過観察施設における空間放射線量率	0.223μSv/h 以下	0.223μSv/h 以下	0.223μSv/h 以下

4 款 1 項 6 目

第 2 章 人と自然が調和した安心して暮らせるまち（都市基盤・住環境）

【会計】一般会計

基本施策 9 環境保全

4 款：衛生費 1 項：保健衛生費 6 目：公害対策費

施策 4 地球温暖化対策を推進します

事業	10	住宅用省エネルギー設備等導入促進事業
担当所属	生活環境課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
13,200,000	12,753,000	0	0	12,753,000	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

18	負担金補助及び交付金	12,753,000			
----	------------	------------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・住宅用省エネルギー設備等の導入推進を図るため、家庭用燃料電池システム、定置用リチウムイオン蓄電システム、V2H 充放電設備、窓の断熱改修、太陽熱利用システム、電気自動車を対象に補助金を交付します。
事業の目的	・住宅用省エネルギー設備等の導入推進を図ります。
事業の効果	・市民生活における温室効果ガスの排出を削減し、地球温暖化を防止します。

【事業の概要】

- ・住宅用省エネルギー設備等設置費の補助を行いました。

家庭用燃料電池システム	15 件
定置用リチウムイオン蓄電システム	117 件
V2H 充放電設備	2 件
窓の断熱改修	25 件
太陽熱利用システム	0 件
電気自動車	13 件

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
住宅用省エネルギー設備等設置費補助件数（単年度）	172 件	118 件	119 件
住宅用省エネルギー設備等設置費補助件数（累計）	988 件	816 件	698 件

事業	2	一般廃棄物収集運搬事業
担当所属	廃棄物対策課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
708,266,000	706,217,120	654,839,033	0	0	0	51,378,087

【決算額の節別内訳】（円）

08	旅費	3,572	10	需用費	3,658,568
11	役務費	3,595,108	12	委託料	698,908,142
22	償還金利子及び割引料	51,730			

【実施計画の概要】

事業の内容	・ 佐倉市内の一般家庭から排出される約 3,600 箇所のごみ集積所のごみ収集を行い佐倉市、酒々井町清掃組合に搬入します。 ・ 容器包装リサイクル法対象品目の分別及び適正処理や収集運搬業務を行います。
事業の目的	・ 一般廃棄物を効率的に処理するため、一般家庭ごみの収集を行い、佐倉市、酒々井町清掃組合等に搬入します。 ・ ごみの減量化・再資源化を推進し、市民の意識の向上を図ります。
事業の効果	・ 各家庭から排出される一般廃棄物の収集を適正に行うことにより、市民の生活環境の保全を行うとともに、ごみの減量化・再資源化を図ることができます。

【事業の概要】

- ・ 市内約 3,600 か所の集積所において家庭から排出された一般廃棄物の収集を継続して行いました。
- ・ 容器包装リサイクル法対象品目である「プラスチック製容器包装（含 ペットボトル）」、「紙製容器包装」を収集し、適正にリサイクルを行いました。
- ・ 一般家庭から排出される粗大ごみの個別収集を行いました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
集積所回収日数	258 日	258 日	258 日
集積所の数	3,662 箇所	3,628 箇所	3,610 箇所

4 款 2 項 2 目

第 2 章 人と自然が調和した安心して暮らせるまち（都市基盤・住環境）

【会計】一般会計

基本施策 9 環境保全

4 款：衛生費 2 項：清掃費 2 目：じん芥処理費

施策 3 生活環境の保全を図ります

事業	4	不法投棄対策事業
担当所属		廃棄物対策課

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
13,948,000	12,243,945	9,632,362	0	480,000	0	2,131,583

【決算額の節別内訳】（円）

01	報酬	7,487,500	03	職員手当等	1,404,000
04	共済費	1,350,531	07	報償費	960,000
08	旅費	288,506	10	需用費	578,858
11	役務費	94,410	13	使用料及び賃借料	3,140
17	備品購入費	77,000			

【実施計画の概要】

事業の内容	- 職員と不当行為防止指導員による不法投棄防止パトロールを実施します。 - 市が委嘱する不法投棄監視員パトロール(週 1 回)の実施により監視力強化を図ります。
事業の目的	- パトロールの実施により、廃棄物及び残土の不法投棄を防止します。 - 不法投棄を早期に発見し、行為者に是正させます。 - 廃棄物の不適正な処理の防止に関し監視体制その他の必要な体制を整備します。
事業の効果	- 不法投棄の防止を有害物質の埋め立てを早期に発見、是正させることができます。 - 廃棄物の適正な処理を促進し、市内の生活環境の保全に資することができます。

【事業の概要】

- 職員と不当行為防止指導員による不法投棄防止パトロールを実施しました。
- 不法投棄防止看板を設置し、希望者に配布しました。
- 家電等の不法投棄物を回収しました。
- 埋立て工事の事前相談による適正指導を行いました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
不当行為防止指導員によるパトロール実施日数	255 日	254 日	254 日
不法投棄禁止看板の設置数	97 枚	125 枚	139 枚
不法投棄監視員の委嘱人数	16 人	16 人	16 人
不法投棄監視員によるパトロール回数	週 1 回 838 回	週 1 回 858 回	週 1 回 845 回
不法投棄等発見件数	30 件	43 件	52 件

4 款 2 項 2 目

第 2 章 人と自然が調和した安心して暮らせるまち（都市基盤・住環境）

【会計】一般会計

基本施策 9 環境保全

4 款：衛生費 2 項：清掃費 2 目：じん芥処理費

施策 2 ごみの減量化・資源化を推進します

事業	5	減量化推進事業
担当所属	廃棄物対策課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	（財源内訳）				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
18,312,000	15,730,880	15,730,880	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

07	報償費	15,531,945	10	需用費	112,035
18	負担金補助及び交付金	86,900			

【実施計画の概要】

事業の内容	・町内会や自治会、子供会等による資源回収協力団体の支援を行います。 ・生ごみ処理機購入に対する補助を行います。
事業の目的	・市民、事業者、行政が一体となり生活環境を保持します。 ・資源の有効利用の促進、廃棄物の発生抑制及び環境の保全を図ります。
事業の効果	・市民の廃棄物の減量、リサイクル意識の高揚を図ることにより、ごみ減量等に関する施策の推進につながります。

【事業の概要】

- ・町内会や自治会、子供会等による資源回収協力団体等への支援を行いました。
- ・生ごみ減量化促進事業の推進を行うため、コンポスト等の購入者に対して補助を行いました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
資源回収協力団体登録数	187 団体	192 団体	198 団体
資源回収協力団体回収量	3,115 t	3,328 t	3,475 t
生ごみ処理機補助金交付件数	53 件	51 件	47 件

事業	6	佐倉市、酒々井町清掃組合負担金
担当所属	廃棄物対策課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
727,280,000	727,280,000	727,280,000	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

18	負担金補助及び交付金	727,280,000			
----	------------	-------------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・佐倉市、酒々井町清掃組合の構成市町である佐倉市及び酒々井町の人口および前年度廃棄物処理量に応じて負担金を支出します。
事業の目的	・廃棄物の処理を適正に行うことを目的としています。
事業の効果	・佐倉市、酒々井町清掃組合で廃棄物の焼却処理や最終処分など適正な処理を行うことができます。

【事業の概要】

- ・清掃組合の運営に資するため、事務事業費及び建設事業費にかかる経費のうち、佐倉市分 727,280,000 円を負担しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
稼働日数	354 日	355 日	348 日
佐倉市のごみ処理量	45,526t	46,347 t	47,828 t
1 日あたりの処理量	128.6t	130.6 t	137.4 t

事業	1	合併浄化槽普及促進事業
担当所属	生活環境課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
12,936,000	12,751,000	4,925,000	4,562,000	3,264,000	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

18	負担金補助及び交付金	12,751,000			
----	------------	------------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・下水道事業区域及び農業集落排水処理事業区域を除く市内で、合併処理浄化槽を設置する市民に設置費用の一部を助成します。特に以下の二点は重点的に促進を図ります。 ①生活雑排水が未処理で放流される単独処理浄化槽やくみ取り便所から、合併処理浄化槽への転換。 ②閉鎖性水域の富栄養化対策に有効な窒素等が除去できる「窒素除去型高度処理型合併浄化槽（N10型）」の設置 ・公共下水道及び農業集落排水の使用可能区域を除く市内で、合併処理浄化槽の適正な維持管理を行っている市民に、その維持管理費用の一部を助成します。
事業の目的	・公共用水域の水質改善を図るため、生活雑排水を未処理で放流している単独処理浄化槽やくみ取り便所から合併処理浄化槽への転換や、印旛沼などの富栄養化対策に有効な窒素除去型高度処理型合併処理浄化槽の設置を促進します。 ・設置された浄化槽の性能を十分に発揮するため、維持管理費用の助成を行うことで適切な維持管理を促進します。
事業の効果	・生活雑排水の流入抑制や、印旛沼等に流入する窒素を減少させることなど、公共用水域の水質改善が期待されます。

【事業の概要】

- ・下水道認可区域及び農業集落排水事業区域を除く市内全域において、高度処理型合併処理浄化槽の設置者(15 基)に、その設置費用(10,539,000 円)の助成を行いました。
- ・公共下水道及び農業集落排水が使用可能な区域を除く市内全域において、合併処理浄化槽の適正な維持管理を行っている市民(440 件)に、その維持管理費用の一部(2,200,000 円)の助成を行いました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
合併処理浄化槽設置事業補助金交付基数	15 基	17 基	15 基
合併浄化槽維持管理費補助金交付件数	440 件	387 件	376 件

4 款 2 項 3 目

第 2 章 人と自然が調和した安心して暮らせるまち（都市基盤・住環境）

【会計】一般会計

基本施策 9 環境保全

4 款：衛生費 2 項：清掃費 3 目：し尿処理費

施策 2 ごみの減量化・資源化を推進します

事業	2	印旛衛生施設管理組合負担金
担当所属	廃棄物対策課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
52,026,000	52,026,000	52,026,000	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

18	負担金補助及び交付金	52,026,000			
----	------------	------------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・ 公共下水道に接続していない家庭等から排出される、し尿・浄化槽汚泥の中間処理を行うために、印旛衛生施設管理組合（佐倉市、四街道市、八街市、富里市、酒々井町の 4 市 1 町が共同で設置）に負担金を支出します。
事業の目的	・ し尿・浄化槽汚泥の中間処理を適正に行うために、印旛衛生施設管理組合を安定的に運営します。
事業の効果	・ 本事業により、印旛衛生施設管理組合により、し尿・浄化槽汚泥の中間処理を適正に行うことができます。

【事業の概要】

- ・ 印旛衛生管理組合の運営に資するため、運営費及び建設費にかかわる経費のうち佐倉市分を負担しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
組合負担金(佐倉市分)	52,026 千円	52,232 千円	54,731 千円
し尿及び浄化槽汚泥搬入量 (処理量)	9,480 t	9,700 t	9,527 t
1 日あたりのし尿及び浄化槽汚泥搬入量(処理量)	26.0 t	26.6 t	26.1 t

4 款 3 項 1 目

第 2 章 人と自然が調和した安心して暮らせるまち（都市基盤・住環境）

【会計】一般会計

基本施策 5 上下水道

4 款：衛生費 3 項：上水道費 1 目：上水道施設費

施策 1 経営と施設の健全性、持続性を確保します

事業	1	水源確保事業
担当所属	企画政策課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
14,730,000	11,730,000	1,830,000	0	0	9,900,000	0

【決算額の節別内訳】（円）

18	負担金補助及び交付金	490,000	23	投資及び出資金	11,240,000
----	------------	---------	----	---------	------------

【実施計画の概要】

事業の内容	・上水道水源の確保を図るため、印旛郡市広域市町村圏事務組合が実施する印旛広域水道用水供給事業に対して、出資金及び負担金を支出します。 ・水源：奈良俣ダム（完成）、ハッ場ダム（完成）、霞ヶ浦導水（令和 12 年度完成予定）
事業の目的	・佐倉市で利用する上水道水源を確保し、市民に安定した水の供給を図ります。
事業の効果	・印旛広域水道用水供給事業により、上水道の水源確保及び長期にわたり水道用水を安定供給することができます。

【事業の概要】

- ・市民に安全な水を安定的に供給するため、印旛広域市町村圏事務組合が所掌する印旛広域水道用水供給事業に出資等を行いました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
給水日数	365 日	365 日	365 日
一日最大受水量（計画）	24,500 m ³ /日	24,500 m ³ /日	24,500 m ³ /日
一日最大受水量（実績）	24,514 m ³ /日	24,521 m ³ /日	24,508 m ³ /日
年間受水量	8,488,986 m ³	8,165,985 m ³	7,597,969 m ³

4 款 3 項 1 目

【会計】一般会計

4 款：衛生費 3 項：上水道費 1 目：上水道施設費

事業	2	水道事業会計への繰出経費（コロナ対策分）
担当所属	企画政策課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
167,502,000	161,694,359	61,621,416	100,072,943	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

18	負担金補助及び交付金	161,694,359			
----	------------	-------------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・市内水道使用者の 2 ケ月分（令和 5 年 2 月及び 3 月調定分）の基本料金相当額を減免するための経費を、水道事業会計に対して、補助金として交付します。
事業の目的	・コロナ禍・物価高騰の影響を受けている市内水道使用者の生活支援を行います。
事業の効果	・水道料金の一部を減免することで、コロナ禍・物価高騰の影響を受けている多くの市民に対して生活支援を行うことができます。

【事業の概要】（※新型コロナ対策）

- ・佐倉市上下水道部が実施する水道料金軽減支援事業（市内水道使用者の 2 ケ月分の基本料金相当額を減免）のための経費を水道事業会計に補助金として交付しました。
- ・水道事業収益の減額分に相当する額 159,565,583 円（73,082 件）
- ・事務費（システム改修・周知に要する経費）2,128,776 円

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
水道料金減免件数	73,082 件	—	—

5 款 1 項 1 目

【会計】一般会計

5 款：農林水産業費 1 項：農業費 1 目：農業委員会費

事業	2	農業委員会運営事業
担当所属	農業委員会事務局	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
16,907,000	16,803,402	13,537,702	0	2,656,000	0	609,700

【決算額の節別内訳】（円）

01	報酬	15,564,000	08	旅費	110,373
10	需用費	874,029	18	負担金補助及び交付金	255,000

【実施計画の概要】

事業の内容	・ 農業委員に関する業務を行います。 ・ 農地法及び農業経営基盤強化促進法等による権利関係を総会において審査します。 ・ 農業委員会総会の開催事務・議事進行等の運営を行います。 ・ 農業一般に関する調査及び情報提供を行います。
事業の目的	・ 農業生産力の発展及び農業経営の合理化を図ります。
事業の効果	・ 農業者の地位の安定に寄与します。

【事業の概要】

- ・ 令和 4 年 4 月から令和 5 年 3 月まで毎月 1 回の合計 12 回農業委員会総会を開催しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
農業委員会総会数	12 回	12 回	13 回

5 款 1 項 3 目

第3章 地域の資源を活かした活力と賑わいのあるまち（産業・観光・文化）

【会計】一般会計

基本施策2 農業振興

5 款：農林水産業費 1 項：農業費 3 目：農業振興費

施策2 美しく活力のある農村社会にします

事業	2	佐倉草ぶえの丘管理運営事業
担当所属	佐倉草ぶえの丘	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
113,623,000	104,930,274	34,079,164	0	0	0	70,851,110

【決算額の節別内訳】（円）

01	報酬	22,191,286	02	給料	8,704,800
03	職員手当等	7,322,893	04	共済費	5,559,834
07	報償費	655,500	08	旅費	842,572
10	需用費	24,815,189	11	役務費	1,467,463
12	委託料	28,932,094	13	使用料及び賃借料	2,903,016
15	原材料費	651,337	17	備品購入費	884,290

【実施計画の概要】

事業の内容	・佐倉草ぶえの丘の管理運営を行います。
事業の目的	・農林水産資源の多目的利用を促進し、地域産業の振興を図るとともに、体験及び学習を通じて市民の健全な心身の保持に資することを目的とします。
事業の効果	・佐倉草ぶえの丘の円滑な管理運営を行い、農業体験や自然観察など市民の憩いの場を提供し、都市と農村の交流を図ります。

【事業の概要】

- ・自然観察などの憩いの場を提供するため、直営により佐倉草ぶえの丘管理運営を行いました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
開園日	337 日	341 日	240 日
日帰り入園者数	128,110 人	119,009 人	61,253 人
宿泊者数	6,844 人	2,732 人	1,560 人
総利用者数	134,954 人	121,741 人	62,813 人

5 款 1 項 3 目

第 3 章 地域の資源を活かした活力と賑わいのあるまち（産業・観光・文化）

【会計】一般会計

基本施策 2 農業振興

5 款：農林水産業費 1 項：農業費 3 目：農業振興費 施策 2 美しく活力のある農村社会にします

事業	6	佐倉草ぶえの丘整備事業
担当所属	農政課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
39,165,000	35,224,367	4,090,900	0	0	0	31,133,467

【決算額の節別内訳】（円）

14	工事請負費	28,786,067	17	備品購入費	6,438,300
----	-------	------------	----	-------	-----------

【実施計画の概要】

事業の内容	・佐倉草ぶえの丘の円滑な管理運営、施設の改修、機能の拡充を行い、農業体験や自然観察など市民の憩いの場を提供します。
事業の目的	・農林水産資源の多目的利用を推進し、地域産業の振興を図るとともに、体験及び学習を通じて市民の健全な心身の育成に資することを目的とします。
事業の効果	・佐倉草ぶえの丘の円滑な管理運営、施設の改修等を行い、農業体験や自然観察など市民の憩いの場として提供し、都市と農村の交流を図ることができます。

【事業の概要】

- ・利用者の安全確保や満足度向上のため、ミニ鉄道のレール改修や遊具改修工事等を実施しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
園内施設整備数	主要 3 工事	主要 1 工事	主要 3 工事
利用者（子ども達）の満足度測定回数	1 回	1 回	1 回

5 款 1 項 3 目

第 3 章 地域の資源を活かした活力と賑わいのあるまち（産業・観光・文化）

【会計】一般会計

基本施策 2 農業振興

5 款：農林水産業費 1 項：農業費 3 目：農業振興費 施策 1 競争力のある農林水産業を推進します

事業	7	担い手強化事業
担当所属	農政課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
33,192,000	32,275,981	6,439,682	0	25,836,299	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

18	負担金補助及び交付金	32,275,981			
----	------------	------------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・各農業者の状況を把握し、農業者の経営計画作成を支援します。また、安定経営に向けた各種取組を支援します。
事業の目的	・農業における担い手を育成し、持続的な農業を目指します。
事業の効果	・農業経営が安定化することで、持続可能な生産体制が図られます。

【事業の概要】

- ・農業地図情報システム運営費：1 システム
- ・新規就農者支援事業：4 農家
- ・生産体制強化事業：8 農家
- ・農業次世代人材投資資金：11 農家
- ・経営開始資金：2 農家

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
担い手強化事業対象件数	12 件	11 件	18 件
認定農業者数・認定新規就農者数	143 件	143 件	144 件

事業	8	地域資源推進事業
担当所属	農政課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
54,739,000	53,424,000	40,524,000	0	12,900,000	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

18	負担金補助及び交付金	53,424,000			
----	------------	------------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	- 農産物等の価格安定を図るため、農産物の需要に応じた生産の取組を継続・定着させる取組への支援等を実施します。 - また、農産物の付加価値を高める取組への支援等を実施します。
事業の目的	- 農産物の需要に応じた生産を行い、農産物等の安定供給を目指す。 - また、農産物の付加価値を高め、農業収入の増加を目指します。
事業の効果	- 農産物等の需要に応じた生産が行われることにより、農産物等の価格の安定が図られ、農業者の安定した経営が実施されます。 - また、農業収入の増加に伴い、農業者の生産意欲が高まり、農業の活性化が期待されます。

【事業の概要】

- ・コメの需給バランスを保つことを目的に、主食用米から飼料用米や WCS 用稲、米粉用米、加工用米等への転換を推進するため、取組農家へ助成を行いました。（WCS 用稲 103ha、飼料用米 171ha、米粉用米 21ha、加工用米 25ha）
- ・販売促進用動画や EC サイト等の制作経費、小麦用製粉機等の導入経費の一部を支援しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
新規需要米による作付面積	320ha	287ha	239ha
農産物の価値向上の取組	4 件	3 件	3 件

5 款 1 項 3 目

第 3 章 地域の資源を活かした活力と賑わいのあるまち（産業・観光・文化）

【会計】一般会計

基本施策 2 農業振興

5 款：農林水産業費 1 項：農業費 3 目：農業振興費 施策 1 競争力のある農林水産業を推進します

事業	9	生産性向上事業
担当所属	農政課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
24,662,000	23,082,338	4,546,000	0	18,536,338	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

01	報酬	1,731,510	03	職員手当等	370,656
08	旅費	77,372	18	負担金補助及び交付金	20,902,800

【実施計画の概要】

事業の内容	・農地の生産性を高めるため、地域での話し合い等を実施し担い手へ農地を集約すると共に農地の基盤整備へ支援します。
事業の目的	・農地の生産性を高めると共に生産活動の継続性が高めるため、担い手へ農地の集約やスマート農業が実施できるような農地の改良を目指します。
事業の効果	・生産性の高い農地に整備されます。

【事業の概要】

- ・担い手集約整備事業（25 件、集積等面積 3,858a）
- ・水田生産力強化事業（2 件、暗渠排水整備面積 182a）
- ・機構集積協力交付金（2 件、地域集積協力金 6,671a）

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
地域での話し合い回数	21 回	23 回	12 回
担い手への農地集積率	25.6%	25.1%	22.2%

5 款 1 項 3 目

第 3 章 地域の資源を活かした活力と賑わいのあるまち（産業・観光・文化）

【会計】一般会計

基本施策 2 農業振興

5 款：農林水産業費 1 項：農業費 3 目：農業振興費 施策 1 競争力のある農林水産業を推進します

事業	12	肥料価格高騰緊急対策事業
担当所属	農政課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	（財源内訳）				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
21,318,000	21,318,000	1,108,921	20,209,079	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

18	負担金補助及び交付金	21,318,000			
----	------------	------------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・令和 3 年分の確定申告等に計上した肥料費の 15%を支援します。
事業の目的	・より多くの農業者に補助事業を活用してもらうことで、営農の継続に寄与します。
事業の効果	・離農に関する相談等を受けていないことから、営農の継続に関する一定の効果があつたものと考えられます。

【事業の概要】（※新型コロナ対策）

- ・市内の販売農家への支援を実施（支援件数：370 件）

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
支援件数	370 件	—	—

5 款 1 項 5 目

第 3 章 地域の資源を活かした活力と賑わいのあるまち（産業・観光・文化）

【会計】一般会計

基本施策 2 農業振興

5 款：農林水産業費 1 項：農業費 5 目：農地費

施策 2 美しく活力のある農村社会にします

事業	4	多面的機能保全対策事業
担当所属	農政課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
43,216,000	43,213,277	10,622,970	0	32,590,307	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

12	委託料	721,413	18	負担金補助及び交付金	42,491,864
----	-----	---------	----	------------	------------

【実施計画の概要】

事業の内容	・地域の共同活動の促進のため多面的機能支払交付金による支援を行い、農村環境の維持・保全を図ります。
事業の目的	・農業者を含む地域住民が共同による農地・農業用水等の資源の保全管理と農村環境の保全向上に取り組むことを目的としています。
事業の効果	・農業者を含む地域住民が一体となった取り組みにより農村環境・景観の維持保全が図られます。

【事業の概要】

- ・農地維持支払は、24 組織が実施しました。
- ・資源向上支払（共同）は、17 組織が実施しました。
- ・資源向上支払（長寿命化）は、10 組織が実施しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
農地維持支払活動組織数	24 組織	23 組織	24 組織
資源向上支払（共同）活動組織数	17 組織	17 組織	15 組織
資源向上支払（長寿命化）活動組織数	10 組織	9 組織	10 組織
認定農用地面積	716.87ha	637.55ha	651.58ha

5 款 1 項 5 目

第 3 章 地域の資源を活かした活力と賑わいのあるまち（産業・観光・文化）

【会計】一般会計

基本施策 2 農業振興

5 款：農林水産業費 1 項：農業費 5 目：農地費

施策 1 競争力のある農林水産業を推進します

事業	6	農業生産基盤整備事業
担当所属	農政課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
33,972,000	29,879,250	29,879,250	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

12	委託料	2,552,000	18	負担金補助及び交付金	27,327,250
----	-----	-----------	----	------------	------------

【実施計画の概要】

事業の内容	・農業生産基盤である耕地の区画形質の改善、用排水路・農道整備や換地による耕地の集団化、用排水機場の総合的な整備など、生産性の高いほ場の整備を実施する土地改良事業に対して助成します。
事業の目的	・耕地の区画形質の改善、用排水路及び農道の整備、換地による耕地の集団化、揚排水機場の整備等を総合的に実施します。
事業の効果	・高生産性農業の実現及び農業資源の保全が図られました。

【事業の概要】

- ・印旛沼土地改良区が実施する鹿島 2 期地区の経営体育成基盤整備事業に対し、負担金を支出しました。
- ・鹿島川土地改良区が実施する飯重地区の経営体育成基盤整備事業に対し、負担金を支出するとともに、当該地区における基盤整備関連経営体育成等促進計画を作成しました。
- ・県営用排水改良事業弥富川地区に対し、負担金を支出しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
優良農地の保全事業に係る負担金支出件数	3 件	4 件	5 件

事業	5	商業・工業団体育成事業
担当所属	商工振興課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
30,477,000	30,375,500	30,375,500	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

18	負担金補助及び交付金	30,375,500			
----	------------	------------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・市内商工業団体(佐倉商工会議所、佐倉工業団地連絡協議会、佐倉第三工業団地連絡協議会)の活動、運営に対して補助金を交付します。
事業の目的	・市内で活動する産業経済団体活動の活性化及び企業間連携を強化し、もって会員企業の発展及び区域内で働く勤労者の福祉の向上、ひいては地域経済の発展及び市内商工業の振興を図ります。
事業の効果	・産業経済団体の組織力強化を図ります。 ・産業経済団体活動の活性化を図ります。

【事業の概要】

- ・佐倉商工会議所事業補助金を 1 団体に対し、30,000,000 円を交付しました。
- ・工業団地連絡協議会事業補助金を 2 団体（佐倉工業団地連絡協議会、佐倉第三工業団地連絡協議会）に対し、375,500 円を交付しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
支援団体数	3 団体／年	3 団体／年	3 団体／年
佐倉商工会議所の会員数	1,896 社	1,885 社	1,861 社
佐倉工業団地連絡協議会会員企業数	64 社	64 社	65 社
佐倉第三工業団地連絡協議会会員企業数	41 社	41 社	41 社
市内法人数	3,693 社	3,595 社	3,450 社

6 款 1 項 2 目

第 3 章 地域の資源を活かした活力と賑わいのあるまち（産業・観光・文化）

【会計】一般会計

基本施策 1 商工業振興

6 款：商工費 1 項：商工費 2 目：商工振興費 施策 2 企業誘致を進めるとともに、創業及び事業承継を推進します

事業	6	企業誘致事業
担当所属		商工振興課

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
276,053,000	275,152,400	275,152,400	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

18	負担金補助及び交付金	275,152,400			
----	------------	-------------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・市内の企業誘致指定区域において、進出または増設しようとする企業に対して、各種助成措置（固定資産税・都市計画税、緑化推進、市内雇用促進等）を講じます。また、企業誘致に関するその他の支援についても併せて検討し、制度の充実を図ります。
事業の目的	・優良企業の立地を促進し、市内産業の振興を図ります。
事業の効果	・市内に進出する事業所を増加させます。

【事業の概要】

- ・市内への進出企業や増設等の再投資を行った企業に対し、企業立地促進助成金（企業誘致促進助成金・再投資促進助成金）を交付しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
地元雇用促進奨励金交付件数	0 件	1 件	2 件
市内進出企業数	19 社	17 社	17 社
企業誘致助成制度の活用による市内雇用人数	55 人	55 人	55 人

事業	7	市内商工業啓発事業
担当所属	商工振興課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
3,650,000	3,610,186	3,610,186	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

12	委託料	3,610,186			
----	-----	-----------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・市民に佐倉の産業を紹介する機会を設ける必要があることから、産業振興を推進するための象徴的イベントとして、『佐倉・産業大博覧会』（工業団地内企業等による工業製品の展示・体験、商業・サービス業事業者による販売・事業紹介、その他各種イベント）を行います。
事業の目的	・市内産業に関する啓発事業等を通じて、生産者・商工業者と消費者との交流や、市民への市内産業に対する意識の啓発を図ります。
事業の効果	・多くの市民に『佐倉・産業大博覧会』に来場していただき、市内産業に対する関心を高めます。 ・より多くの生産者・事業者に参加していただき、消費者や事業者同士の交流を推進します。

【事業の概要】

- ・令和 4 年 11 月 12 日・13 日に佐倉・産業大博覧会を佐倉草ぶえの丘で開催しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
産業大博覧会の開催日数	2 日	2 日	—
産業大博覧会出展者数	112 件	83 件	—
産業大博覧会の参加者数	8,700 人	10,000 人	—
産業大博覧会出展者の満足度	94%	96%	—

事業	9	街中にぎわい推進事業
担当所属	商工振興課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
12,910,000	11,566,447	11,566,447	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

18	負担金補助及び交付金	11,566,447			
----	------------	------------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・ 商店街活性化イベント、ホームページ等による情報発信、商店街街路灯の維持・整備等を商店会等が行うための経費の一部を補助します。
事業の目的	・ 商店会活動を支援し、商店街来街者数を増加させます。
事業の効果	・ 商店会活動を支援することで、魅力ある商業地を形成します。

【事業の概要】

- ・ 商店街等が行った 14 件の事業に対して補助金を交付しました。
- ・ 街路灯等の整備 5 件、電気料 11 件、保険料 1 件の補助金を交付しました。
- ・ 商店街の空き店舗で事業を開始する者に対して、創業特例型 1 件、創業特例型以外 3 件、合計 4 件の補助金を交付しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
市内商店会数	18 商店会	18 商店会	18 商店会
支援事業数	14 事業	22 事業	20 事業
街路灯電気料金を補助している商店会数	11 商店会	12 商店会	12 商店会
商店街空き店舗数	312 件	337 件	320 件
商店街空き店舗等出店促進補助金支援件数	4 件	7 件	7 件
商店街空き店舗等出店促進補助金を活用して 起業した件数	1 件	4 件	5 件
地元商店会を利用する市民の割合	37.4%	34.0%	35.1%

事業	10	佐倉市スマートオフィスプレイス管理運営事業
担当所属	商工振興課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
12,426,000	12,325,556	12,325,556	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

12	委託料	3,770,000	13	使用料及び賃借料	8,555,556
----	-----	-----------	----	----------	-----------

【実施計画の概要】

事業の内容	・テレワーク、シェアオフィス施設を活用した働き方改革を推進します。
事業の目的	・佐倉市版総合戦略「産業経済の活性化を図り、佐倉に安定したしごとをつくります」という基本目標に資する重点施策「③起業の促進」を推進します。 ・平成 31 年 4 月の働き方改革関連法施行に併せ、「多様な働き方」が可能な場を本市が先導的に整備します。
事業の効果	・政府の推奨する「働き方改革」の推進に資するテレワークが可能な施設を市内に整備すれば、利用者のワークライフバランスの向上が図れるだけでなく、昼間人口の増加（まちの賑わい創出）にも寄与します。 ・公共でシェアオフィスを整備し、割安な利用料金で提供することによって、先端産業等の研究や若い世代の起業チャレンジを促し、スタートアップ企業の誘致等を促進することが、将来的な市内産業活性化につながると考えます。

【事業の概要】

- ・「佐倉市スマートオフィスプレイス」の運営を指定管理者に委託することにより、効率的な運用を図ることができました。
- ・新型コロナウイルス感染症への対応の緩和を受けて、利用者交流会や Teams の利用講習等のイベントを開催しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
開館日数	359 日	359 日	359 日
コワーキングスペース月額利用者数	156.0 者／月	169.4 者／月	109.5 者／月
シェアオフィス利用者数	5.92 者／月	5.75 者／月	5.08 者／月

事業	11	中小企業事業再構築支援事業
担当所属	商工振興課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
3,313,000	1,941,500	100,993	1,840,507	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

18	負担金補助及び交付金	1,941,500			
----	------------	-----------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・新型コロナウイルス感染症の影響を受け、売上げが低迷する中小事業者が、業態の転換や販路の拡大等新たな取り組みを企図する際の専門家活用の費用の補助を行います。
事業の目的	・新型コロナウイルス感染症の拡大や収束後の状況に対応できる事業形態を再構築します。
事業の効果	・中小事業者のウィズコロナ・アフターコロナに対する経営力強化を支援します。

【事業の概要】（※新型コロナ対策）

- ・ 15 件の中小事業者に対して事業再構築支援補助金を交付し、専門家を活用した事業者の経営強化等に資することができました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
国等への補助金申請件数	8 件	—	—
事業再構築支援補助金交付件数	15 件	—	—

事業	12	市内中小店舗キャッシュレス推進応援事業
担当所属	商工振興課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
153,649,000	153,648,120	8,057,821	145,590,299	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

12	委託料	153,648,120			
----	-----	-------------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・市内の店舗において、キャッシュレス決済を行った消費者に対し、決済金額の一部をポイント還元するキャンペーンを実施します。
事業の目的	・新型コロナウイルス感染症で影響を受けている市内事業者の経営を支援するとともに、キャッシュレス決済を普及させ、非接触型の「新しい生活様式」への対応促進を図ります。
事業の効果	・非接触型決済方法を普及するとともに、消費を喚起することで売り上げを向上し、事業の継続を支援します。

【事業の概要】（※新型コロナ対策）

- ・市内中小店舗 750 店を対象に、キャッシュレス決済のポイント還元キャンペーンを実施し、132,995,370 円分のポイントを還元しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
キャッシュレスキャンペーン参加店舗数	750 店	—	—
キャッシュレス決済ポイント還元額	132,995,370 円	—	—

6 款 1 項 2 目

第 3 章 地域の資源を活かした活力と賑わいのあるまち（産業・観光・文化）

【会計】一般会計

基本施策 1 商工業振興

6 款：商工費 1 項：商工費 2 目：商工振興費

施策 1 企業の競争力向上に向けた取組を支援します

事業	13	市内消費喚起事業
担当所属	商工振興課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
51,219,000	42,673,165	2,219,775	40,453,390	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

12	委託料	42,673,165			
----	-----	------------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・新型コロナウイルス感染症拡大により、飲食店の利用が減少しました。飲食店等の来店者数を増加させ、売り上げの向上を図ります。
事業の目的	・新型コロナウイルス感染症拡大により影響を受けた市内事業者を支援します。
事業の効果	・市内店舗等における消費を促し、事業者の事業継続を図るとともに、雇用の維持、税収の確保に繋がります。

【事業の概要】（※新型コロナ対策）

- ・佐倉市飲食店リピート利用促進事業に 168 店が参加しました。
- ・75 歳以上の高齢者に食事利用券を配布しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
飲食店リピート利用促進事業参加店舗募集の案内送付数	238 件	241 件	—
飲食店リピート利用促進事業の参加店舗満足度	94%	84%	—

6 款 1 項 3 目

第3章 地域の資源を活かした活力と賑わいのあるまち（産業・観光・文化）

【会計】一般会計

基本施策3 観光振興

6 款：商工費 1 項：商工費 3 目：観光費

施策1 観光客の来訪や消費を喚起する取組を推進します

事業	2	観光施設維持管理事業
担当所属		佐倉の魅力推進課

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	（財源内訳）				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
11,675,000	10,807,495	10,807,495	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

01	報酬	1,929,510	08	旅費	72,926
10	需用費	3,399,335	11	役務費	315,150
12	委託料	5,090,574			

【実施計画の概要】

事業の内容	・観光施設の維持管理を行います。 ①佐倉新町おはやし館管理運営業務 （佐倉囃子（佐倉市指定無形民俗文化財）の伝統啓発、山車人形の展示、観光情報の提供や郷土の文化、伝統行事、物産等の紹介） ②佐倉ふるさと広場管理棟管理業務：佐倉市観光協会に委託（単年度） （ふるさと広場、サイクリングロード等利用者の休憩等施設）
事業の目的	・観光振興施設を適切に維持管理することにより、観光客の満足度を高めるとともに、市内観光の振興を図ります。
事業の効果	・施設利用者が、安心、安全に施設を利用することができ、満足度の向上が図られます。

【事業の概要】

- ・施設管理員を雇用し、おはやし館の管理運営を行いました。
- ・観光協会に業務委託し、ふるさと広場管理棟の管理運営を行いました。
- ・市が管理する観光施設の修繕等を行いました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
佐倉新町おはやし館開館日数	308 日	307 日	207 日
佐倉新町おはやし館利用者数	8,043 人	4,526 人	4,456 人

事業	3	観光イベント事業
担当所属	佐倉の魅力推進課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
54,933,000	53,879,249	44,999,883	0	0	0	8,879,366

【決算額の節別内訳】（円）

12	委託料	20,495,325	18	負担金補助及び交付金	26,434,097
24	積立金	6,949,827			

【実施計画の概要】

事業の内容	・市民花火大会やチューリップフェスタなど、地域の観光資源を活用したさまざまな主体による観光イベントを実施します。
事業の目的	・イベントの実施により、交流人口の増加を図ります。
事業の効果	・交流人口の増加により、観光消費額の増大など、地域の産業振興を図ります。

【事業の概要】

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、市内 11 か所、分散型花火大会として「佐倉市民花火大会」を 10 月 29 日に開催しました。
- ・チューリップフェスタを 3 月 26 日から 4 月 24 日まで開催しました。
- ・佐倉・時代まつりを、3 月 18 日・19 日に開催しました。
- ・「佐倉城址のさくら」を 3 月 28 日から 4 月 2 日まで、「風車のひまわりガーデン」を 7 月 9 日から 7 月 31 日まで開催しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
既存イベントの見直し数	2 事業 (花火大会、時代まつり)	2 事業 (花火大会、時代まつり)	1 事業 (時代まつり)
主催イベント来場者満足度	89.0%	85.7%	87.3%

6 款 1 項 3 目

第 3 章 地域の資源を活かした活力と賑わいのあるまち（産業・観光・文化）

【会計】一般会計

基本施策 3 観光振興

6 款：商工費 1 項：商工費 3 目：観光費

施策 1 観光客の来訪や消費を喚起する取組を推進します

事業	7	観光資源創出事業
担当所属	佐倉の魅力推進課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
5,672,000	5,612,420	3,869,120	0	0	0	1,743,300

【決算額の節別内訳】（円）

12	委託料	5,156,195	13	使用料及び賃借料	60,225
14	工事請負費	396,000			

【実施計画の概要】

事業の内容	・佐倉市の観光資源を発掘し、整備・活用を図ります。
事業の目的	・新たな観光資源の整備・活用により、新しい交流人口を創出します。
事業の効果	・新しい交流人口の創出により、交流人口の増加と観光消費額の増加を図ります。

【事業の概要】

- ・印旛沼における観光・学習船の運航を実施しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
舟運運行数	318 回	296 回	189 回
舟運乗船者数	1,786 人	1,472 人	492 人

6 款 1 項 3 目

第 3 章 地域の資源を活かした活力と賑わいのあるまち（産業・観光・文化）

【会計】一般会計

基本施策 3 観光振興

6 款：商工費 1 項：商工費 3 目：観光費

施策 1 観光客の来訪や消費を喚起する取組を推進します

事業	8	飯野台観光振興施設管理運営事業
担当所属	佐倉の魅力推進課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
22,318,000	19,980,633	6,723,992	0	0	0	13,256,641

【決算額の節別内訳】（円）

01	報酬	9,417,692	03	職員手当等	1,632,558
04	共済費	921,191	08	旅費	386,852
10	需用費	3,587,505	11	役務費	100,205
12	委託料	3,609,672	13	使用料及び賃借料	21,307
15	原材料費	88,220	17	備品購入費	215,431

【実施計画の概要】

事業の内容	・飯野台観光振興施設（印旛沼サンセットヒルズ）の管理運営を行います。 （オートキャンプ場、芝生広場、テニスコート、野鳥の森）
事業の目的	・印旛沼周辺地域の活性化推進プランに基づき、農業体験や余暇活動を楽しむ機会の提供等による施設の魅力向上により、来場者の満足度の向上や、印旛沼周辺地域の活性化を図ります。
事業の効果	・来場者の満足度の向上等により、交流人口の増加が期待されます。

【事業の概要】

- ・施設管理員を雇用し、サンセットヒルズの管理運営を行いました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
飯野台観光施設（印旛沼サンセットヒルズ）管理日数	359 日	359 日	247 日
飯野台観光施設（印旛沼サンセットヒルズ）利用者数	26,579 人	24,727 人	25,576 人

6 款 1 項 3 目

第 3 章 地域の資源を活かした活力と賑わいのあるまち（産業・観光・文化）

【会計】一般会計

基本施策 3 観光振興

6 款：商工費 1 項：商工費 3 目：観光費

施策 1 観光客の来訪や消費を喚起する取組を推進します

事業	9	マイクロツーリズム推進事業
担当所属	佐倉の魅力推進課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
10,931,000	9,830,269	1,445,057	8,385,212	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

10	需用費	542,000	11	役務費	792,000
12	委託料	7,473,510	14	工事請負費	832,700
17	備品購入費	190,059			

【実施計画の概要】

事業の内容	- 新型コロナウイルス感染症拡大により観光客数が減少した中でもマイクロツーリズムなど新たに出てきた観光需要に対応するため、観光情報拠点の感染症対策を行うとともに、フォトスポットとして需要のある観光地の景観整備を行うことで集客の向上を目指します。 - 新型コロナウイルス感染症収束後を見据え、観光地佐倉の積極的な宣伝広告や新たな旅行プログラム造成を行うことで、観光客のV字回復を目指します。
事業の目的	新型コロナウイルス感染症の拡大により減少した観光客数の増加を図ります。
事業の効果	- 観光客に対する新型コロナウイルス感染症対策を、より万全なものにすることができま - ます。 - 佐倉市の観光地としての知名度が向上します。 - 人気が高まっているマイクロツーリズムを推進することで、更なる観光客の誘致が期待できます。

【事業の概要】（※新型コロナ対策）

- ・花めぐりマップ等を作成しました。
- ・ひよどり坂の景観整備を行いました。
- ・JR 佐倉駅前観光案内所の空調改修工事を行いました。
- ・スタンド型温度計・消毒器を購入しました。
- ・臼井観光案内所を開設しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
マイクロツーリズムの推進に繋がる活動	3 事業	—	—
観光案内所の利用者数	23,063 人	—	—

7 款 1 項 1 目

第 2 章 人と自然が調和した安心して暮らせるまち（都市基盤・住環境）

【会計】一般会計

基本施策 9 環境保全

7 款：土木費 1 項：土木管理費 1 目：土木総務費

施策 2 ごみの減量化・資源化を推進します

事業	2	産業廃棄物最終処分場管理事業
担当所属	土木管理課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
120,000	99,000	99,000	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

12	委託料	99,000			
----	-----	--------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・産業廃棄物最終処分場については、現在、新規の搬入はしていません。災害時等の緊急的な利活用に備え、処分場の補修、除草等により適正な維持管理を行います。
事業の目的	・佐倉市産業廃棄物最終処分場の適正な管理を行います。
事業の効果	・草刈を行うことにより、処分場を適正な状態に維持することができます。

【事業の概要】

- ・場内の草刈を業務委託により実施しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
処分場パトロール回数	12 回	12 回	12 回
草刈業務委託回数	1 回	1 回	1 回

7 款 1 項 1 目

第 2 章 人と自然が調和した安心して暮らせるまち（都市基盤・住環境）

【会計】一般会計

基本施策 3 道路環境

7 款：土木費 1 項：土木管理費 1 目：土木総務費

施策 2 安全・安心な道路環境を保全します

事業	4	交通安全施設維持管理事業
担当所属	道路維持課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
98,693,000	90,854,458	90,854,458	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

10	需用費	80,281,071	12	委託料	4,941,200
14	工事請負費	4,942,190	15	原材料費	689,997

【実施計画の概要】

事業の内容	・ 駅の昇降機設備の保守点検、ガードレール・道路反射鏡・街灯等の設置及び維持補修とセンターライン等の区画線の補修を行います。
事業の目的	・ 交通安全、歩行者安全等の確保のため、街灯、道路反射鏡、警戒標識や路面標示の設置、あるいは維持管理により、交通事故の防止と交通安全の促進を図ります。また、駅に設置されているエレベーターやエスカレーター等の保守点検を行うことにより、駅利用者の安全と利便性の向上を図ります。
事業の効果	・ 交通事故の防止を図るとともに市民の安全性をより向上させます。また駅利用者の利便性が向上し、安全で住みやすい快適なまちづくりに寄与します。

【事業の概要】

- ・ 昇降機設備保守点検（ユウカリが丘駅） 1 箇所
- ・ 安全施設補修設置（街灯・区画線など） 115 箇所

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
街灯補修設置数	106 件	122 件	126 件
道路反射鏡補修設置数	7 面	18 面	28 面
区画線補修設置延長	—	306m	536m

7 款 1 項 1 目

第 2 章 人と自然が調和した安心して暮らせるまち（都市基盤・住環境）

【会計】一般会計

基本施策 3 道路環境

7 款：土木費 1 項：土木管理費 1 目：土木総務費

施策 2 安全・安心な道路環境を保全します

事業	5	交通安全施設整備事業
担当所属	道路維持課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
70,203,000	70,188,866	59,637,866	10,551,000	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

14	工事請負費	70,188,866			
----	-------	------------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・車両および歩行者の安全等に資するため、必要に応じ、街灯、道路反射鏡、警戒標識、ガードレール及び区画線等を整備します。
事業の目的	・車両、歩行者等の通行の安全を確保するため、安全施設等を整備し交通安全の促進を図ります。
事業の効果	・道路の安全を確保することにより、交通事故の防止を図るとともに、市民生活の安全性をより向上させます。

【事業の概要】

- ・区画線補修設置延長 30,862m
大作 4-597 号線、中志津 I-11 号線ほか
- ・街灯設置数 66 基
寺崎、臼井、城内町地先他
- ・道路反射鏡設置数 16 基
- ・通学路安全対策 佐倉小学校他 10 校

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
区画線補修設置箇所数	68 箇所	34 箇所	9 箇所
区画線補修設置延長	30,862m	7,218m	1,304m

事業	4	既存建築物耐震改修等支援事業
担当所属	建築指導課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
7,189,000	6,106,000	2,984,000	2,347,000	775,000	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

07	報償費	40,000	18	負担金補助及び交付金	6,066,000
----	-----	--------	----	------------	-----------

【実施計画の概要】

事業の内容	- 平成 12 年以前に建築された戸建木造住宅の耐震診断、耐震補強工事並びにその工事に伴うリフォーム及び分譲マンションの耐震診断に係る経費の一部について補助金を交付します。 - 大雨などにより宅地が冠水するなどの被害が想定される地域において、その家屋所有者が行う宅地のかさ上げ工事等に係る経費の一部について補助金を交付します。 - 通学路や避難路に面するコンクリートブロック塀等の所有者が、地震等の災害時に倒壊する危険性のある塀等の除却工事に要する費用の一部について補助金を交付します。また除却後のフェンス等の設置及び緑化工事に要する費用の一部を補助します。
事業の目的	- 戸建木造住宅の耐震診断を行い、必要に応じて耐震補強工事を行うための経費の負担を軽減し、地震による被害の低減を目指します。 - かさ上げ工事等に係る経費の負担を軽減し、大雨などによる冠水被害の低減を目指します。 - 通学路や避難路に面している危険コンクリートブロック塀等を除却のうえ緑化等を図ることにより、災害時の倒壊被害を未然に防止します。
事業の効果	- 戸建木造住宅の耐震化や、浸水被害が想定される地域の住宅のかさ上げ工事等を行うことにより、市民が安心して日常生活を営むことが出来ます。 - 危険コンクリートブロック塀等を除却することにより、地震時における倒壊による事故等の二次災害を防ぎ、避難路の確保及び消防車、救急車等の緊急車両の通行を確保し、市民の生命、財産の安全を確保できます。

【事業の概要】

- 木造住宅耐震相談対応を 66 件（第 1～5 回相談会 34 件、電話・窓口 32 件）実施しました。
- 木造住宅耐震診断補助申請 10 件（うち旧耐震 6 件）に対し、合計 571,000 円を交付しました。
- 木造住宅耐震補強工事補助申請 6 件（うち旧耐震 2 件）に対し、合計 4,000,000 円を交付しました。
- 危険コンクリートブロック塀等転換補助申請 7 件に対し、合計 1,495,000 円を交付しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
耐震診断補助件数	10 件	5 件	1 件
耐震補強工事補助件数	6 件	6 件	3 件
耐震相談件数	66 件	45 件	25 件
危険コンクリートブロック塀等除却助成件数	7 件	6 件	3 件
危険ブロック塀の除去工事実施率	46%	40%	25%
コンクリートブロック塀等相談対応件数	42 件	39 件	36 件
耐震化率の向上	93%	92%	92%

7 款 2 項 1 目

第2章 人と自然が調和した安心して暮らせるまち（都市基盤・住環境）

【会計】一般会計

基本施策3 道路環境

7 款：土木費 2 項：道路橋梁費 1 目：道路橋梁総務費

施策2 安全・安心な道路環境を保全します

事業	3	道路用地管理事業
担当所属	土木管理課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
5,079,000	4,228,928	4,228,928	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

12	委託料	4,180,000	13	使用料及び賃借料	48,928
----	-----	-----------	----	----------	--------

【実施計画の概要】

事業の内容	・ 民間の開発行為等による帰属道路や市発注事業により新設、拡幅等を行った道路について、市道認定や路線変更等の手続と併せて、道路の延長、拡幅、境界杭の有無などを記載した道路台帳平面図を整備します。
事業の目的	・ 道路台帳を整備することにより、道路の基礎的事項を総括して把握する事ができ、道路の整備、維持管理に活用することができます。
事業の効果	・ 道路台帳平面図を整備することで、施設を効率的かつ適切に維持管理することができます。

【事業の概要】

- ・ 令和4年度佐倉市道路台帳更新業務委託を行い、道路台帳を整備しました。

46 路線 3.61 km

【活動指標・成果指標】

指標名	令和04年度	令和03年度	令和02年度
道路台帳整備延長	3.61 km	3.75 km	4.60km
道路台帳整備路線数	46 路線	61 路線	60 路線

事業	4	道路境界確定事業
担当所属	土木管理課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
26,067,000	25,833,606	25,833,606	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

10	需用費	830,606	12	委託料	25,003,000
----	-----	---------	----	-----	------------

【実施計画の概要】

事業の内容	・市道及び法定外公共物(道路・水路)の境界未確定箇所の境界確定を進め、確定箇所について境界標の埋設や区域線図の作成をします。
事業の目的	・道路等を適正に管理するため、境界未確定部分の解消を図ります。 ・道路境界の確定により、道路等に損傷が発生した場合などに速やかな対応が可能となり、道路等の適正な維持管理をすることで、快適な市民生活に寄与します。
事業の効果	・道路等の適正な管理が図れます。また、隣接する土地所有者が建築確認申請や土地の売買、分筆登記など必要な場合に境界の確認ができます。

【事業の概要】

- ・道路整備、排水整備等の地区要望及び民間の土地売買、開発行為等に伴い、111 件の境界確定申請を受け、88 件(79.2%)が境界確定できました。

○委託料

1.道路境界確定委託料

直弥地先法定外水路境界確定業務委託 他 5 件

2.境界杭埋設及び道路区域線図作成等委託料

城 4-18 号線他区域線図作成業務委託 他 48 件

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
境界確定申請件数	111 件	139 件	92 件
境界確定年度内成立件数	88 件	108 件(131 件)	66 件(88 件)
境界確定年度内確定率	79.2%	77.6%(94.2%)	71.7%(95.6%)
区域線図作成等委託件数	55 件	74 件	76 件

※()内は令和 4 年度末までの状況

事業	1	道路維持管理事業
担当所属		道路維持課

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
197,974,000	195,438,006	194,735,999	0	0	0	702,007

【決算額の節別内訳】（円）

01	報酬	6,667,440	03	職員手当等	1,257,360
04	共済費	889,624	08	旅費	144,889
10	需用費	804,022	11	役務費	1,811,865
12	委託料	52,676,912	13	使用料及び賃借料	984,500
14	工事請負費	103,999,911	15	原材料費	25,499,476
21	補償補てん及び賠償金	702,007			

【実施計画の概要】

事業の内容	・佐倉市が管理する道路（市道および認定外道路）は、車両の大型化、交通量の増加などにより、道路の陥没・ひびわれ・破損・わだち掘れ・振動被害が年々増加しています。このため、交通の安全と円滑な通行を確保するため、道路施設(交通安全施設は除く)の適切な維持・補修等を行います。
事業の目的	・道路の陥没・ひびわれ・破損・わだち掘れ等を解消することにより、振動等を抑制します。
事業の効果	・道路の維持管理を行うことにより、快適な市民生活の確保、交通の事故防止のほか、大雨時などの災害防止に寄与します。

【事業の概要】

- ・道路の維持管理として、日常的な維持補修通年実施しました。（交通安全施設を除く）

要望・苦情件数 376 件（要望書）1,398 件（要望外）

対応件数 204 件（要望書）1,361 件（要望外）

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
要望・苦情件数 (交通安全施設を除く)	1,774 件	1,745 件	1,813 件
対応件数	1,565 件	1,533 件	1,678 件
苦情・要望等に対する実施率	88.2%	87.9%	92.6%

7 款 2 項 2 目

第 2 章 人と自然が調和した安心して暮らせるまち（都市基盤・住環境）

【会計】一般会計

基本施策 3 道路環境

7 款：土木費 2 項：道路橋梁費 2 目：道路維持費

施策 2 安全・安心な道路環境を保全します

事業	2	道路改修事業
担当所属		道路維持課

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
40,426,000	1,161,600	1,161,600	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

12	委託料	1,161,600			
----	-----	-----------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・市道の維持・補修について、軽微な維持管理では対応できない広範囲にわたる道路の破損等については、大規模な補修工事を計画的に実施し、安全な道路の利用に供します。
事業の目的	・市道は交通量の増加に伴い、道路の破損が進行することにより、通行の安全が損なわれるなどの問題が生じるため、計画的に改修整備を進めます。
事業の効果	・交通の安全確保のほか、災害防止や生活環境の確保等の効果に寄与します。

【事業の概要】

- ・ FWD 調査委託 L=975m
- ・ 小竹 I-4 号線舗装補修工事 L=520m（R5 に繰越明許）

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
整備延長	—	784m	639m
補修調査箇所	3 箇所	—	8 箇所
補修調査延長	975m	—	3,960m

事業	2	幹線道路整備事業
担当所属	道路建設課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	（財源内訳）				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
188,975,000	43,578,444	31,136,444	6,642,000	0	5,800,000	0

【決算額の節別内訳】（円）

08	旅費	7,504	10	需用費	145,914
12	委託料	15,387,020	14	工事請負費	11,016,500
16	公有財産購入費	12,155,727	18	負担金補助及び交付金	2,191,913
21	補償補てん及び賠償金	2,673,866			

【実施計画の概要】

事業の内容	・国道県道や都市計画道路を軸とした道路体系を早期に確立し、Ⅰ、Ⅱ級幹線道路の新設や拡幅改良整備などを行います。 ・用地買収が困難な場所においては、現道用地内での対策なども検討する必要があります。
事業の目的	・現状の道路網を踏まえ、主要道路へのアクセス性の向上や渋滞解消などに対応した幹線道路の車道拡幅整備や歩道整備を行い、市民生活の安心、安全、快適性の向上を図るとともに、観光客の増加を見据え、国道県道や都市計画道路を軸とした道路網の構築に努めます。
事業の効果	・歩道整備や道路拡幅により、道路利用者の安全性や快適性の向上が図られるとともに、幹線道路網の整備により交通渋滞の緩和や交通事故削減が図られます。 ・アクセス性が向上することで、地域間交流の拡大や市内観光施設への来客数の増加が見込まれ、地域経済の活性化が図られます。

【事業の概要】

- ・用地買収を行い、交差点の暫定整備や整地作業などを行いました。
- ・都市計画道路の見直し作業を行い、未着手区間における方針を作成しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
道路用地取得	2,442 m ²	48 m ²	5,350 m ²
整備実施路線数	2 路線	3 路線	2 路線
幹線道路などの整備について良くなったと感じる市民の割合	27%	29%	39%

7 款 2 項 3 目

第 2 章 人と自然が調和した安心して暮らせるまち（都市基盤・住環境）

【会計】一般会計

基本施策 3 道路環境

7 款：土木費 2 項：道路橋梁費 3 目：道路新設改良費

施策 1 快適な道路の整備を推進します

事業	3	生活道路整備事業
担当所属	道路維持課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
242,977,000	202,766,899	181,669,999	0	0	0	21,096,900

【決算額の節別内訳】（円）

12	委託料	21,412,380	14	工事請負費	181,116,430
16	公有財産購入費	196,377	21	補償補てん及び賠償金	41,712

【実施計画の概要】

事業の内容	・生活道路の拡幅改良や歩道整備等を行い、通学児童を含む社会的交通弱者等をはじめ、道路通行の安全性を確保します。
事業の目的	・老朽化や破損の著しい道路等の改修整備を計画的に実施し、安心、安全、快適性の向上を図ります。
事業の効果	・道路改修等により通行機能の確保と、市民生活の安全性や快適性の向上が図られます。

【事業の概要】

- ・委託費：印南車庫汚泥有害物質試験、側溝汚泥積込運搬処分業務委託、
飯田 I -21 号線支障木伐採業務委託他
- ・工事費：山王 I -33 号線外 2 路線舗装補修工事、上志津 2-360 号線舗装補修工事他

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
整備延長	2,580m	210m	959m
整備路線数	9 路線	1 路線	7 路線

事業	2	河川関連施設改修事業
担当所属	治水課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	（財源内訳）				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
29,172,000	20,862,600	4,456,928	0	0	7,500,000	8,905,672

【決算額の節別内訳】（円）

12	委託料	479,600	14	工事請負費	20,152,000
18	負担金補助及び交付金	231,000			

【実施計画の概要】

事業の内容	・ 準用河川（佐倉川、上手繰川、井野川、上小竹川、南部川）や調整池、排水路（法定外水路）など河川関連施設の整備や改修、浚渫等を行います。 ・ 治水対策の一環として、雨水貯留浸透施設の設置費用の一部を助成します。
事業の目的	・ 治水機能を確保または強化することで、浸水被害を軽減、防止します。 ・ 破損、老朽化したフェンス等を補修、改修して、安全を維持します。
事業の効果	・ 道路冠水、宅地への浸水、田畑への溢水が軽減し、住宅や作物への被害も少なくなります。 ・ 関係者以外の不用意な調整池等への進入や転落事故がなくなります。

【事業の概要】

- ・ 準用河川の盛土工事のほか、調整池の除草や斜面復旧工事、排水路の改修工事等を行いました。

準用河川南部川堤防盛土工事 L=90m

第三工業団地調整池除草業務 A=1,540 m²

（繰越）明神台調整池法面復旧工事（かご崩落地点） A=456 m²

明神台調整池導水路改修工事 1 箇所

竊木町地先排水路整備工事 L=8.4m

- ・ 雨水貯留浸透施設の設置補助を行いました。

雨水貯留浸透施設浸透補助金 タンク 11 件 浸透ます 1 件

【活動指標・成果指標】指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
雨水貯留浸透施設補助実績	12 件	11 件	11 件
河川関連施設の改修実績	1 件	3 件	5 件
管理不備による事故発生件数	0 件	0 件	0 件

事業	3	河川関連施設維持管理事業
担当所属	治水課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
40,373,000	39,035,560	39,035,560	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

08	旅費	9,176	10	需用費	2,115,010
11	役務費	398,244	12	委託料	24,850,100
13	使用料及び賃借料	972,840	14	工事請負費	10,333,400
15	原材料費	74,290	18	負担金補助及び交付金	282,500

【実施計画の概要】

事業の内容	・ 準用河川（佐倉川、上手繰川、井野川、上小竹川、南部川）や調整池、排水路（法定外水路）など河川関連施設の維持管理を行います。
事業の目的	・ 河川関連施設の機能を維持するとともに、良好な環境の保持に努めます。
事業の効果	・ 河川関連施設の機能を維持することにより、浸水被害を軽減、防止します。

【事業の概要】

- ・ 準用河川（佐倉川、上手繰川、井野川、上小竹川、南部川）や調整池、排水路（法定外水路）など、河川関連施設の除草や清掃、維持管理工事等を行いました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
除草面積	262,400 m ²	267,000 m ²	248,400 m ²
清掃件数	17 件	13 件	18 件
管理する準用河川数	5 件	5 件	5 件
対応した要望件数	29 件	42 件	48 件
除草等の維持管理を実施した河川数	5 件	5 件	5 件

7 款 2 項 4 目

第 2 章 人と自然が調和した安心して暮らせるまち（都市基盤・住環境）

【会計】一般会計

基本施策 6 消防・防災

7 款：土木費 2 項：道路橋梁費 4 目：河川費

施策 4 災害に備えた体制を整備します

事業	4	急傾斜地崩壊対策事業
担当所属	治水課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
5,876,000	3,907,200	2,707,200	0	0	1,200,000	0

【決算額の節別内訳】（円）

18	負担金補助及び交付金	3,907,200			
----	------------	-----------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	- 急傾斜地の対策工事には高度な技術と多額の費用を要するとともに、複数の地権者が関係するため、個人で行うのは現実的に困難です。このため、一定規模以上の急傾斜地において関係者全員からの要望が調った場合には、千葉県が区域を指定したうえで、対策工事を行います。 - 佐倉市では、千葉県に事業費の一部を支出、または一部工事を実施しています。
事業の目的	対策工事により急傾斜地のがけ崩れを防ぎ、住宅をがけ崩れから守ります。
事業の効果	対策により安全度が上がり、居住する住民の命が守られ、安心安全に寄与します。

【事業の概要】

- 急傾斜地崩壊防止対策事業負担金（千葉県への負担金）令和 3 年度分 2,675,200 円、令和 4 年度分 1,232,000 円（飯田 2）を支出しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
がけ地点検箇所数	30 箇所	26 箇所	28 箇所
対策工事完了箇所数	20 箇所	20 箇所	20 箇所

7 款 2 項 5 目

第 2 章 人と自然が調和した安心して暮らせるまち（都市基盤・住環境）

【会計】一般会計

基本施策 3 道路環境

7 款：土木費 2 項：道路橋梁費 5 目：橋梁維持費

施策 2 安全・安心な道路環境を保全します

事業	1	橋梁維持事業
担当所属		道路建設課

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
331,331,000	284,296,652	57,280,452	132,907,000	0	88,200,000	5,909,200

【決算額の節別内訳】（円）

12	委託料	182,366,552	14	工事請負費	96,465,600
18	負担金補助及び交付金	5,464,500			

【実施計画の概要】

事業の内容	・橋梁長寿命化修繕計画に基づき、適切な維持管理による点検調査、補修工事等を実施し、安全で安心して利用できる橋梁とします。 ・鉄道、高速道路等に架かる橋については、災害時の緊急輸送路を確保するため、補強工事等を実施します。
事業の目的	・橋梁の適切な維持管理と合わせ、点検等の調査、維持、改修工事等を実施し、安全で安心して利用できることを目的とします。 ・橋梁長寿命化修繕計画に基づき、計画的な補修工事を実施することにより、事業費を平準化しながら健全な管理を行います。 ・鉄道、高速道路、国道などに架かる橋については、落橋防止や剥落防止等の補強工事を実施し、交通機関等への被害防止や、災害時などの緊急輸送路を確保します。
事業の効果	・橋梁長寿命化修繕計画に基づき、計画的な維持管理をすることにより、事業費の削減とともに橋を長寿命化できます。また、計画的な補修工事を実施することにより、安全性が図られ、安心して通行ができます。 ・鉄道、高速道路等に架かる橋の剥落防止工事を実施することにより、緊急輸送道路としての機能確保に寄与します。

【事業の概要】

- ・ 57 橋の点検のほか、8 橋の補修設計、6 橋の補修工事を実施しました。
- ・ 高速道路に架かっている橋梁の補修工事 1 橋について、工事自体を NEXCO 東日本に委託しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
整備箇所数	6 橋	1 橋	6 橋
橋梁点検数	57 橋	51 橋	26 橋

事業	2	3・4・5 井野・酒々井線外 1 路線道路改良事業
担当所属	道路建設課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
71,144,000	64,964,665	41,020,665	12,644,000	0	11,300,000	0

【決算額の節別内訳】（円）

12	委託料	1,022,000	14	工事請負費	47,923,700
15	原材料費	404,079	16	公有財産購入費	10,409,860
21	補償補てん及び賠償金	5,205,026			

【実施計画の概要】

事業の内容	- 令和 4 年度に、西ユーカリが丘から市道 I-3 号線まで供用開始となりました。引き続き八千代市までの整備を進める必要があります。 - 八千代市の都市計画道路と繋がることから、八千代市と連携して事業進捗を図る必要がありますが、用地交渉が難航している箇所があります。 - 周辺住民の環境を維持するため取得済道路用地の草刈等適切な維持管理に努めます。
事業の目的	市内を東西方向に通る本路線の整備により、円滑な交通処理、良好な道路網の形成、災害時の防災性の向上を図り、併せて国道 296 号の井野周辺における慢性的交通渋滞の解消を図ります。
事業の効果	- 佐倉市と八千代市を結ぶ幹線道路として、社会経済活動の促進及び交通アクセスの充実、国道 296 号の交通渋滞の解消につながります。 - 災害発生時には、緊急輸送道路（国道 16 号）と市内を結ぶ重要な幹線道路の一つとなります。

【事業の概要】

- 令和 3 年度に取得した用地を含め、延長 413m の道路改良工事を実施し、新たに西ユーカリが丘から市道 I-3 号線まで供用開始しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
事業実施内容	道路改良工事	用地買収	—
道路用地買収面積	0 m ²	95 m ²	—
整備延長	413m	—	—
道路の供用開始延長	413m	—	—

7 款 3 項 4 目

【会計】一般会計

7 款：土木費 3 項：都市計画費 4 目：下水道費

事業	2	下水道事業会計への繰出経費（臨時）
担当所属	土木管理課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
102,075,000	69,674,118	69,674,118	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

18	負担金補助及び交付金	69,674,118			
----	------------	------------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・「地方公営企業繰出金について（通知）」（総務省通知）に基づき、下水道事業会計における雨水整備事業に係る経費の全額を一般会計から繰出します。 ・「地方公営企業繰出金について（通知）」に基づき、下水道事業会計における汚水の整備又は維持管理に要する費用の一部を一般会計から繰出します。
事業の目的	・下水道事業のうち、公費で負担すべき経費を適正に繰出すことで、下水道事業の経営の健全化を促進し、経営基盤を強化します。
事業の効果	・下水道事業の財源を確保し、経営基盤を強化することで、市民の生活環境の保全または改善を図ります。

【事業の概要】

- ・「地方公営企業繰出金について（通知）」に基づき、下水道事業会計における雨水整備事業に係る経費の全額を一般会計から繰出しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
繰出金額	69,675 千円	81,094 千円	192,977 千円

7 款 3 項 4 目

【会計】一般会計

7 款：土木費 3 項：都市計画費 4 目：下水道費

事業	3	下水道事業会計への繰出経費（コロナ対策分）
担当所属	企画政策課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
162,871,000	156,853,805	41,067,235	115,786,570	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

18	負担金補助及び交付金	156,853,805			
----	------------	-------------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・市内下水道使用者の 2 ケ月分（令和 5 年 2 月及び 3 月調定分）の基本料金相当額を減免するための経費を、下水道事業会計に対して、補助金として交付します。
事業の目的	・コロナ禍・物価高騰の影響を受けている市内下水道使用者の生活支援を行います。
事業の効果	・下水道使用料の一部を減免することで、コロナ禍・物価高騰の影響を受けている多くの市民に対して生活支援を行うことができます。

【事業の概要】（※新型コロナ対策）

- ・佐倉市上下水道部が実施する下水道使用料軽減支援事業（市内下水道使用者の 2 ケ月分の基本料金相当額を減免）のための経費を下水道事業会計に補助金として交付しました。
- ・下水道事業収益の減額分に相当する額 154,713,312 円（69,849 件）
- ・事務費（システム改修・周知に要する経費）2,140,493 円

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
下水道使用料減免件数	69,849 件	—	—

事業	1	都市排水施設改修事業
担当所属	治水課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	（財源内訳）				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
38,093,000	33,653,650	33,653,650	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

13	使用料及び賃借料	5,750	14	工事請負費	33,647,900
----	----------	-------	----	-------	------------

【実施計画の概要】

事業の内容	・高崎川右・左岸等に設置されている内水排水ポンプ施設等の整備や改修など、下水道雨水排水の補完や下水道計画降雨量を超える雨水対策を行います。 ・寺崎都市下水路、山崎都市下水路の改修等を行います。 ・内水対策の一環として、止水板等の設置費用の一部を助成します。
事業の目的	・河川や下水道雨水幹線への市街地内水の排除を確保し、浸水被害を防止、軽減します。 ・ポンプ施設の更新、改修により、常にポンプ施設が適正に稼働するようにします。新しい監視装置により、施設異常などを早期発見します。 ・都市下水路の老朽化したフェンス等を適切に維持します。
事業の効果	・常にポンプ施設を良好な状態に維持することで、近隣住民の安心安全に寄与します。 ・都市下水路の近隣住民や歩行者の転落事故等がなくなります。

【事業の概要】

- ・高崎川右左岸の排水ポンプ場の施設改修や、上志津地区の排水ポンプへ遠隔監視装置の設置工事を行いました。

高崎川右・左岸ポンプポンプ交換工事(小沼仮設ポンプ 1 号機) 1 基

高崎川右・左岸ポンプ場ポンプ交換工事(高崎川南公園前) 1 基

東急上志津団地排水ポンプ遠隔監視装置整備工事 1 台

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
操作盤・水位計等更新数	0 件	0 件	3 件
排水ポンプ更新数	2 基	3 基	0 基

7 款 3 項 5 目

第 2 章 人と自然が調和した安心して暮らせるまち（都市基盤・住環境）

【会計】一般会計

基本施策 5 上下水道

7 款：土木費 3 項：都市計画費 5 目：都市排水費

施策 2 雨水排水施設を適正に管理し浸水被害の軽減に努めます

事業	2	都市排水施設維持管理事業
担当所属	治水課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	（財源内訳）				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
18,954,000	16,616,706	16,616,706	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

10	需用費	5,295,020	11	役務費	4,310
12	委託料	8,462,432	13	使用料及び賃借料	2,755,944
14	工事請負費	99,000			

【実施計画の概要】

事業の内容	・高崎川右・左岸等に設置している内水排水ポンプ施設の維持管理と、寺崎都市下水路、山崎都市下水路の除草や修繕を行います。
事業の目的	・排水ポンプ施設や都市下水路を適正に維持管理することで、雨水排水能力を維持します。
事業の効果	・排水ポンプ施設や都市下水路の機能を維持することにより、浸水被害を防止、軽減します。

【事業の概要】

- ・高崎川右左岸に設置している内水排水ポンプ 16 施設の維持管理、非常用発電機賃貸借（竜灯橋排水ポンプ場、小沼街区公園内排水ポンプ場、小沼仮設ポンプ）を実施しました。
- ・都市下水路の除草を実施しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
管理する排水ポンプ施設数	16 施設	16 施設	15 施設
都市下水路除草面積	8,534 m ²	8,361 m ²	8,100 m ²
管理不備による浸水被害発生件数	0 件	0 件	0 件
都市下水路要望対応件数	1 件	4 件	4 件

7 款 3 項 6 目

第 2 章 人と自然が調和した安心して暮らせるまち（都市基盤・住環境）

【会計】一般会計

基本施策 4 公園・緑地整備

7 款：土木費 3 項：都市計画費 6 目：公園費

施策 1 市民の憩いの場の充実・活用を推進します

事業	1	公園施設維持管理事業
担当所属	公園緑地課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
360,669,000	358,506,889	355,370,385	0	0	0	3,136,504

【決算額の節別内訳】（円）

07	報償費	3,330,910	08	旅費	16,930
10	需用費	35,602,034	11	役務費	156,254
12	委託料	293,882,221	13	使用料及び賃借料	36,600
14	工事請負費	25,465,000	15	原材料費	7,040
18	負担金補助及び交付金	9,900			

【実施計画の概要】

事業の内容	- 公園利用者が快適に公園を利用できるように、除草、清掃、トイレ清掃など適切な維持管理を行います。 - 安全で、かつ安心して利用できるよう遊具や施設の点検を行い、必要に応じて修繕や補修工事を行います。
事業の目的	市民が安全でかつ安心して、さらに快適に公園を利用できるよう適切な維持管理を行います。
事業の効果	身近な市民の憩いの場、スポーツやレクリエーション、コミュニティ活動の場を提供することで、市民の健康維持や子育て支援、市民活動の活性化につながります。また、公園という身近な場所で花や緑など自然に親しむ機会を提供することにより、市民生活の満足度向上や景観美化につながります。

【事業の概要】

- 公園利用者が公園を快適に利用できるよう、管理業者による草刈りや園内清掃など年間を通じた管理を行いました。
- 公園内の環境整備のため、樹木の剪定・伐採や、遊具・ベンチの修繕等の対応を行いました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
発注件数（剪定、修繕等）	647 件	678 件	488 件
清掃協力団体数	43 団体	42 団体	41 団体

7 款 3 項 6 目

第 2 章 人と自然が調和した安心して暮らせるまち（都市基盤・住環境）

【会計】一般会計

基本施策 4 公園・緑地整備

7 款：土木費 3 項：都市計画費 6 目：公園費

施策 1 市民の憩いの場の充実・活用を推進します

事業	2	グリーンリサイクル事業
担当所属	公園緑地課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
40,172,000	40,171,406	40,171,406	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

12	委託料	40,171,406			
----	-----	------------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・公園、緑地、街路樹の維持管理から発生する剪定枝や刈り草をチップ化し、クッション材やたい肥の原料等としてリサイクルを図ります。
事業の目的	・公園、緑地等から発生する剪定枝や刈草等をリサイクルすることで、環境負荷の低減と処分費用の負担低減を図ります。 ・チップ材を公園、緑地等に敷くことにより雑草の抑制、クッション材等としての活用を図ります。
事業の効果	・公園等から出た処分材の有効活用を図ることができます。 ・剪定枝や刈草等の処分による環境負荷及び費用の低減を図ることができます。

【事業の概要】

- ・5,530 m²の樹木チップを生産しました。
- ・公園や緑地等の管理で発生した剪定枝や刈草を樹木チップにリサイクルし、公園のクロスカントリーコース等に敷くなどの活用を図りました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
チップ化する量	5,530 m ²	3,584 m ²	4,107 m ²
チップ引取り件数	15 件	12 件	16 件

事業	3	(仮称) 佐倉西部自然公園整備事業
担当所属	公園緑地課	

【予算額・決算額】(円)

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
14,054,000	13,541,264	12,898,596	0	0	0	642,668

【決算額の節別内訳】(円)

11	役務費	1,752,300	12	委託料	11,606,514
18	負担金補助及び交付金	182,450			

【実施計画の概要】

事業の内容	・(仮称)佐倉西部自然公園整備基本計画では、公園予定区域を 4 つのゾーンに分け、各々のエリアの特色を活かした整備を行うとしています。整備基本計画に基づく各ゾーンごとの個別計画においても、その特色を充分考慮したうえで詳細計画を策定し、整備を図ります。地権者を含む地域の方々をはじめ、近接公的機関や市民の協力により、個別詳細計画や将来的な維持管理の協力体制を検討します。
事業の目的	・(仮称)佐倉西部自然公園整備基本計画に基づき、市民意見を反映しつつ、里山・谷津の景観を保全・再生することで、身近な自然環境にふれ合う機会や、自然から学ぶ機会の創出を図ります。また、里山自然環境を適切に維持保全することで、都市と農村との交流を図り、身近なふるさととの文化の継承を図ります。
事業の効果	・谷津田と斜面林が一体として残された里山自然環境を保全することで、手繰川・上手繰川の自然環境を借景として、身近な市民の憩いの場を創出することができます。また、保全のための方策として、市民の理解と協力を得ながら公園化を図り、望ましい維持管理を行いながら次世代に貴重な資産として里山自然環境を継承することが可能となります。

【事業の概要】

- ・委託：景観保全・除草業務委託
除草 A=74,060 m²*1 回、A=300 m²*2 回
用地測量費：A=20,974.72 m²
- ・役務費：土地鑑定手数料
- ・負担金：土地改良区賦課金

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
境界確定の進捗割合	—	12.1km	11.57km
公園内活動団体数	9 団体	9 団体	10 団体

7 款 3 項 6 目

第 2 章 人と自然が調和した安心して暮らせるまち（都市基盤・住環境）

【会計】一般会計

基本施策 4 公園・緑地整備

7 款：土木費 3 項：都市計画費 6 目：公園費

施策 1 市民の憩いの場の充実・活用を推進します

事業	4	公園整備事業
担当所属	公園緑地課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
142,985,000	140,121,682	66,834,632	32,200,000	0	30,400,000	10,687,050

【決算額の節別内訳】（円）

07	報償費	199,152	12	委託料	26,262,720
14	工事請負費	112,373,800	17	備品購入費	1,286,010

【実施計画の概要】

事業の内容	・上座総合公園や佐倉ふるさと広場など、大規模公園の老朽化している公園施設のうち、危険性の高い施設の補修や改修あるいはそのための大規模な点検作業を効率的に進めます。 ・市民の多様な活動への一助となるよう、新規公園を整備します。
事業の目的	・公園利用者のニーズに対応したサービス（スポーツ・余暇活動拠点、都市防災拠点、地域振興拠点等）を提供します。 ・安心して安全に利用できる快適な公園施設を提供します。
事業の効果	・公園は、良好な都市環境を形成するのみならず、子供から高齢者までの幅広い年齢層の自然とのふれあい、レクリエーション活動、健康運動、文化活動等多様な活動の拠点となっています。整備によって、身近な憩いの場として人びとが集い、安心して多様な活動を行うことのできる場の創出と保持が可能となります。

【事業の概要】

- ・委託：佐倉市緑の基本計画策定支援業務委託
公園樹木伐採・剪定 46 件
- ・工事：複合遊具改修工事 14 公園
小型遊具補修工事 9 公園

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
整備・改修・更新工事等を行った公園数	23 箇所	2 箇所	2 箇所

事業	5	佐倉城址公園整備事業
担当所属	公園緑地課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
190,762,000	179,544,200	62,246,200	51,898,000	0	65,400,000	0

【決算額の節別内訳】（円）

12	委託料	13,770,900	14	工事請負費	165,773,300
----	-----	------------	----	-------	-------------

【実施計画の概要】

事業の内容	・ 佐倉城址公園の老朽化した施設の改修及び新規設置を実施するとともに利便性の向上を図ります。また、宮小路市営住宅跡地等整備構想に基づき、拡張区域の整備を実施します。更に、拡張区域周辺の公共施設が佐倉市地域防災計画に避難所等として位置付けられていることから、併せて防災活動拠点としての機能も持たせます。
事業の目的	・ 来園者の安全性を確保します。 ・ 当時の佐倉城の様子を彷彿できるよう修景します。
事業の効果	・ 来園者の満足度、来園者数の増加が図れます。 ・ 防災活動拠点として、周辺の公共施設と連携が取れます。

【事業の概要】

- ・ 委託：自由広場駐車場整備設計委託
樹林整備設計業務委託
- ・ 工事：ハリス像下法面復旧工事
菖蒲田渡板改修工事
拡張広場整備工事
清宮木材跡地整備工事
樹林整備工事

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
事業実施内容	法面对策工事 拡張広場整備工事 菖蒲田改修工事 清宮木材跡地整備工事 樹林整備工事	法面对策工事 トイレ改修工事	公園整備工 階段改修工事 法面对策工事
拡張面積	28.4ha	28.4ha	28.4ha

7 款 3 項 6 目

第 2 章 人と自然が調和した安心して暮らせるまち（都市基盤・住環境）

【会計】一般会計

基本施策 4 公園・緑地整備

7 款：土木費 3 項：都市計画費 6 目：公園費

施策 1 市民の憩いの場の充実・活用を推進します

事業	7	岩名運動公園拡張整備事業
担当所属	公園緑地課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	（財源内訳）				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
53,647,000	46,374,900	7,854,900	20,320,000	0	18,200,000	0

【決算額の節別内訳】（円）

12	委託料	4,324,100	14	工事請負費	42,050,800
----	-----	-----------	----	-------	------------

【実施計画の概要】

事業の内容	・岩名運動公園のスポーツ施設等の大規模改修や整備を行います。
事業の目的	・市民が気軽に運動に親しむことのできる場、スポーツを通じた交流の場を整備することにより、誰もが生涯にわたって体を動かす楽しみを感じることのできる環境の形成を目指します。 ・施設が不足している現状を改善し、スポーツを通じた地域コミュニティの形成や世代間交流が促進される場の創出を目指します。
事業の効果	・誰もがいつでも安心して利用できる施設の整備を通じ、多様化する市民の需要を満たしつつ、健康づくりや青少年の心身育成に資する場、市民生活に潤いや安らぎをもたらす身近な憩いの場の創出が図られます。 ・近隣市町村団体等との交流大会を開催できる規模の施設を整備することで、スポーツを通じた市民交流が促進される場の創出が図られます。

【事業の概要】

- ・委託：岩名運動公園第 2 球場防球ネット設計業務委託
- ・工事：岩名運動公園第 2 球場防球ネット設置工事

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
事業実施施設名	第 2 球場	陸上競技場・球技場	公園区域内電気設備
整備・改修・更新等を行う施設数	1 箇所	2 箇所	1 箇所

7 款 3 項 6 目

第 2 章 人と自然が調和した安心して暮らせるまち（都市基盤・住環境）

【会計】一般会計

基本施策 4 公園・緑地整備

7 款：土木費 3 項：都市計画費 6 目：公園費

施策 1 市民の憩いの場の充実・活用を推進します

事業	8	公園感染防止対策事業
担当所属	公園緑地課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
11,500,000	11,354,200	590,623	10,763,577	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

14	工事請負費	11,354,200			
----	-------	------------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・公園トイレ設備の和式便器について、洋式化への改修工事を行います。
事業の目的	・公園トイレ利用による感染拡大防止に効果的な、蓋つきの便器への改修により、ウイルス飛散防止を図る必要があります。
事業の効果	・公園内トイレ利用者間での感染拡大の防止が図られます。

【事業の概要】（※新型コロナ対策）

・公園トイレ洋式化工事 11 公園 25 基

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
洋式化工事実施公園数	11 公園	—	—
洋式化改修基数	25 基	—	—

7 款 3 項 7 目

第 2 章 人と自然が調和した安心して暮らせるまち（都市基盤・住環境）

【会計】一般会計

基本施策 4 公園・緑地整備

7 款：土木費 3 項：都市計画費 7 目：緑化事業費

施策 2 身近な緑が適正に管理されたまちを創ります

事業	1	緑と花づくり事業
担当所属	公園緑地課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	（財源内訳）				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
9,078,000	8,802,968	5,443,115	0	0	0	3,359,853

【決算額の節別内訳】（円）

07	報償費	513,410	10	需用費	1,975,391
11	役務費	1,650	12	委託料	2,576,164
18	負担金補助及び交付金	128,000	24	積立金	3,608,353

【実施計画の概要】

事業の内容	・種苗配布団体に花苗を配布し、市民自ら行う身近な公共空間の緑化を支援します。 ・市内小学生によるチューリップ植え付け事業、チューリップ図画作文コンクール、花づくりに関する講習会、市民・地域参加のコンクール等を実施します。
事業の目的	・美しい緑豊かな景観づくりとすみよいまちづくりに向けて、積極的な緑化活動を支援します。 ・身近な自然に親しめる憩いの場として、市内に残る緑地等の保全や保存樹等の良好な維持管理に努めることで、生物多様性の保全や環境負荷の低減を図り、自然と人の共生する快適な生活環境につながります。
事業の効果	・花や緑を身近に感じられる、快適なまちづくりが進められます。 ・市民の身近な住環境への関心を高め、ひいてはコミュニティ意識、ふるさと意識の高まりにもつながることが期待されます。

【事業の概要】

- ・市内の公共空間に花苗を植付ける協力団体に対し、市内種苗生産者が生産した花苗を配付しました。
- ・チューリップフェスタに向けて、オランダ産球根を購入し植付を行いました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
チューリップ植付参加校数	コロナ禍のため中止	コロナ禍のため中止	コロナ禍のため中止
緑化用種苗配布団体数	72 団体	150 団体	150 団体

事業	2	街路樹維持管理事業
担当所属		道路維持課

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
63,596,000	63,595,662	63,595,662	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

10	需用費	139,962	12	委託料	63,323,700
14	工事請負費	132,000			

【実施計画の概要】

事業の内容	・良好な市街地環境の形成を図るため、道路の植樹帯の除草、清掃、街路樹の剪定等、年間を通じた適切な街路樹等の維持管理を行います。
事業の目的	・年間を通じた、除草、清掃、剪定等を適切な維持管理を行うことにより、日照・通風の確保や、落ち葉による清掃の軽減、交通標識の覆蓋(ふくがい)を予防するとともに、うるおいのある都市景観の形成を図ります。
事業の効果	・街路樹を適切に管理することにより、市街地の景観形成が図られるとともに、車の排気ガスの浄化や交通騒音の軽減、歩行者の安全確保が図られます。

【事業の概要】

- ・街路樹を適切に管理するために、植樹帯の除草・清掃、低・高木剪定を行いました。

街路樹管理 L=70km

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
街路樹管理路線数	218 路線	218 路線	218 路線
街路樹の要望・苦情件数	187 件	148 件	110 件
対応件数	183 件	144 件	105 件
街路樹の要望・苦情に対する実施率	97.9%	97.3%	95.5%

7 款 3 項 7 目

第 2 章 人と自然が調和した安心して暮らせるまち（都市基盤・住環境）

【会計】一般会計

基本施策 4 公園・緑地整備

7 款：土木費 3 項：都市計画費 7 目：緑化事業費

施策 2 身近な緑が適正に管理されたまちを創ります

事業	3	緑地維持管理事業
担当所属	公園緑地課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
35,147,000	34,070,160	34,070,160	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

10	需用費	1,951,452	12	委託料	31,565,797
13	使用料及び賃借料	90,911	14	工事請負費	462,000

【実施計画の概要】

事業の内容	・草刈り、清掃、樹木の剪定、枯木の伐採等を行い、良好な緑地の保全を図ります。
事業の目的	・緑地の保全により大気浄化、温度調節及び住環境保全機能等が図られ、また、自然景観の形成により市民にうるおいやすらぎを提供します。
事業の効果	・緑を守り緑豊かな都市環境を保全することにより、大気浄化、温暖化の抑制が図られるとともに、自然景観の形成により市民にうるおいやすらぎを提供します。

【事業の概要】

- ・緑地内及び周辺環境を保全するため、除草、清掃、樹木の剪定等適切な管理に努めました。
- ・緑地から伸びた枝が近隣住民の迷惑になっている場合など、剪定・伐採などの対応を行いました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
緑地管理の箇所数	123 箇所	123 箇所	123 箇所
市内の自然景観を良好と思う人の割合	69.5%	73.5%	77.1%

7 款 3 項 7 目

第 2 章 人と自然が調和した安心して暮らせるまち（都市基盤・住環境）

【会計】一般会計

基本施策 4 公園・緑地整備

7 款：土木費 3 項：都市計画費 7 目：緑化事業費

施策 2 身近な緑が適正に管理されたまちを創ります

事業	4	緑地整備事業
担当所属	公園緑地課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
22,396,000	13,775,300	790,300	6,885,000	0	6,100,000	0

【決算額の節別内訳】（円）

12	委託料	13,775,300			
----	-----	------------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・市の保有する緑地について、維持管理のために必要な整備事業を行います。
事業の目的	・都市に残された貴重な緑の空間を保全することで、市民が身近に緑に親しむ貴重な空間として活用するとともに、オープンスペースとしての機能保全を図ります。
事業の効果	・緑の空間は、潤いある景観を形成するとともに、気候の調整機能、延焼防止等による防災機能、多様な生物を育む場としての機能など、多様な役割を担っています。さらには四季の変化を通じて市民の心に安らぎを与え、市民のふるさと意識の醸成にもつながるなど、市民生活に豊かな彩りを与える存在でもあります。 ・緑地の保全を図ることにより、これらの多様な効果を市民が享受することができます。

【事業の概要】

- ・委託：千成・春路地先法面設計委託業務

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
整備箇所数	—	1 箇所	3 箇所
市内の自然景観を良好と思う人の割合	69.5%	73.5%	77.1%

7 款 3 項 7 目

第 2 章 人と自然が調和した安心して暮らせるまち（都市基盤・住環境）

【会計】一般会計

基本施策 4 公園・緑地整備

7 款：土木費 3 項：都市計画費 7 目：緑化事業費

施策 2 身近な緑が適正に管理されたまちを創ります

事業	5	緑地樹木緊急点検事業
担当所属	公園緑地課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
15,840,000	15,783,900	0	0	0	0	15,783,900

【決算額の節別内訳】（円）

12	委託料	15,783,900			
----	-----	------------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・緑地年間管理業務委託の 2 区域ごとに、都市公園の樹木の点検・診断に関する指針により、緑地樹木の点検を実施します。 ・緑地樹木の点検結果を受けて、危険性ありと判定された緑地外周部の枯木や腐朽木について伐採や剪定を行います。
事業の目的	・緑地内の樹木の点検により、倒木事故発生を未然に防止するとともに、樹木の剪定・伐採を計画的に実施するための判断材料を整えます。
事業の効果	・適切な維持管理を通じて、緑地利用者及び隣接地に居住する市民が安全かつ安心して生活できる環境を整えることができます。

【事業の概要】

- ・令和 3 年度に実施した市の管理する緑地外周部の樹木点検の結果に基づき、枯木や腐朽木などの危険木について、49 件の伐採又は剪定を実施しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
点検緑地数	—	101 箇所	—
緑地樹木伐採・剪定等件数	49 件	50 件	54 件

事業	3	住生活基本計画推進事業
担当所属		住宅課

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
92,681,000	87,908,185	53,955,185	32,552,000	1,401,000	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

07	報償費	130,625	11	役務費	1,008,460
13	使用料及び賃借料	66,000	18	負担金補助及び交付金	86,703,100

【実施計画の概要】

事業の内容	・転入促進や転出抑制につながる住宅施策や空き家の利活用等を推進するために、次の事業を行います。 1.空家対策及び定住化対策に関する各種補助事業の実施 2.佐倉市空き家バンク事業の実施 3.佐倉市団地活性化モデル事業の実施
事業の目的	・定住人口の維持・増加や地域の活性化を推進し、また、市内の空き家の利活用を促進させ、さらには、住宅確保要配慮者への対策などにより、住まいの安定確保や住環境の向上を目指します。
事業の効果	・佐倉市住生活基本計画の各施策が推進されることで、市民が互いに地域で支えあい、安全・安心に暮らすことができる良好な住生活の実現が図れます。

【事業の概要】

- ・空き家バンク事業：物件調査・見学案内
- ・中古住宅リフォーム支援事業補助：97 件
- ・近居・同居住替支援事業補助：144 件
- ・戸建賃貸住宅家賃補助事業補助：46 件
- ・空き家バンク賃貸登録物件改修補助：2 件
- ・空き家バンク成約奨励補助：5 件
- ・中古住宅解体新築支援事業補助：8 件
- ・結婚新生活支援事業補助：11 件

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
近居・同居住替支援事業補助件数	144 件	170 件	150 件
空き家バンク成約奨励補助件数	5 件	6 件	10 件

事業	2	佐倉市八街市酒々井町消防組合負担金
担当所属	危機管理課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
2,624,238,000	2,623,455,169	2,623,455,169	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

18	負担金補助及び交付金	2,623,455,169			
----	------------	---------------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・常備消防業務を担う為に佐倉市八街市酒々井町消防組合に対して、人件費・消防車両等機材の維持管理費・庁舎の維持管理費・研修費等として負担金を支出します。 ・災害時に備えた実践的な訓練を、消防組合職員より指導を受け実施し、消防団と消防組合との連携強化に努めます。
事業の目的	・安心して暮らせる災害に強いまちづくりを支える常備消防体制の整備を図ります。
事業の効果	・常備消防力の強化を図り、市民の生命、財産を守ります。

【事業の概要】

- ・佐倉市八街市酒々井町消防組合に負担金として 2,623,455,169 円（常備消防費分担金 2,357,051,000 円 長期償還分担金として 263,169,169 円、庁舎建設費負担金 3,235,000 円）を支出し、常備消防力の向上を図りました。
- ・災害時に備えた実践的な訓練を、消防組合職員より指導を受け実施し、消防団と消防組合との連携強化に努めました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
負担金の支出	2,623,456 千円	2,642,643 千円	2,706,423 千円
火災出動回数 消防組合管内（うち佐倉市）	119 件 (70 件)	107 件 (62 件)	109 件 (55 件)
救急出動回数 消防組合管内 （うち佐倉市）	15,180 件 (9,853 件)	12,530 件 (7,866 件)	11,976 件 (7,454 件)
消防組合職員数（充足率）	392 人	388 人	386 人
消防車両（台数）（救急車を除く） 消防組合管内（うち佐倉市）	56 台 (46 台)	56 台 (46 台)	56 台 (46 台)
救急車両（台数） 消防組合管内（うち佐倉市）	13 台 (9 台)	13 台 (9 台)	13 台 (9 台)

8 款 1 項 2 目

【会計】一般会計

8 款：消防費 1 項：消防費 2 目：非常備消防費

事業	1	消防団運営一般事務費
担当所属	危機管理課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
66,092,000	63,495,442	63,495,442	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

01	報酬	43,555,682	10	需用費	11,689
18	負担金補助及び交付金	19,928,071			

【実施計画の概要】

事業の内容	・災害時の出動他、訓練、消防出初式、消防操法大会等消防団員の消防活動に対する報酬を支出します。 ・消防団員の公務災害時の補償、退職報償金支給に要する負担金を支出します。
事業の目的	・火災や大規模災害時に大きな役割を担っている消防団の活動に必要な経費を支出します。
事業の効果	・地域の消防防災体制の充実が図れます。

【事業の概要】

- ・団員報酬として年額報酬と出動報酬の支出を行いました。
- ・消防団員の公務災害時の補償や退職報償金支給に要する負担金の支出を行いました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
出動件数	381 件	189 件	196 件
出動人員	10,137 人	7,864 人	8,294 人
消防団員数	717 人	727 人	727 人

8 款 1 項 2 目

第 2 章 人と自然が調和した安心して暮らせるまち（都市基盤・住環境）

【会計】一般会計

基本施策 6 消防・防災

8 款：消防費 1 項：消防費 2 目：非常備消防費 施策 1 地域における消防力の充実を図ります

事業	2	消防団活動支援事業
担当所属	危機管理課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
9,718,000	8,935,218	7,704,218	0	854,000	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

07	報償費	318,112	09	交際費	30,000
10	需用費	368,956	12	委託料	1,048,300
14	工事請負費	495,000	17	備品購入費	1,649,890
18	負担金補助及び交付金	5,024,960			

【実施計画の概要】

事業の内容	・ 出初式、操法大会、訓練、警戒等の消防団事業を実施します。 ・ 消防団員への被服の貸与を行います。 ・ 消防学校等の研修会へ消防団員を派遣します。
事業の目的	・ 消防団活動への支援を実施することで地域の消防力向上を図ります。
事業の効果	・ 消防体制の充実を図ります。

【事業の概要】

- ・ 各種消防団事業（火災予防運動、実戦訓練等）を実施しました。
- ・ 新入団員へ被服を貸与しました。
- ・ 各種団体（千葉県消防協会等）へ負担金を支出し、団体主催の研修会へ消防団を派遣しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
火災発生件数	60 回	61 回	42 回
出動件数（総件数）	381 回	188 回	196 回
出動件数（火災のみ）	60 回	61 回	42 回

8 款 1 項 2 目

第 2 章 人と自然が調和した安心して暮らせるまち（都市基盤・住環境）

【会計】一般会計

基本施策 6 消防・防災

8 款：消防費 1 項：消防費 2 目：非常備消防費

施策 1 地域における消防力の充実を図ります

事業	3	消防団施設等維持整備事業
担当所属	危機管理課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
83,250,000	79,412,648	23,561,648	0	7,051,000	47,800,000	1,000,000

【決算額の節別内訳】（円）

10	需用費	6,229,348	11	役務費	1,284,680
12	委託料	2,254,170	13	使用料及び賃借料	709,800
14	工事請負費	42,667,300	17	備品購入費	25,439,150
18	負担金補助及び交付金	34,000	26	公課費	794,200

【実施計画の概要】

事業の内容	・老朽化した消防機庫の建替え、修繕及び維持管理を行います。 ・消防車両の更新及び維持管理を行います。
事業の目的	・老朽化した消防機庫、消防車両、資機材等の買替えや維持管理をすることで円滑な消防団活動ができる体制を整備します。
事業の効果	・消防団の持つ消防力が発揮できるとともに更新による資機材の性能向上により、消防力の強化が図れます。

【事業の概要】

- ・消防機庫の建替え 2 棟（第 3 分団 26 部）（第 6 分団 55 部）及び修繕を行いました。
- ・消防車両の更新（第 1 分団 2 部）及び整備を行いました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
消防車両（小型動力ポンプ付積載車）	43 台	43 台	43 台
消防車両（消防ポンプ自動車）	9 台	9 台	9 台
消防車両の買替台数	1 台	1 台	0 台
消防機庫数	52 棟	52 棟	52 棟
機庫の建替棟数	2 棟	1 棟	3 棟

8 款 1 項 3 目

第 2 章 人と自然が調和した安心して暮らせるまち（都市基盤・住環境）

【会計】一般会計

基本施策 6 消防・防災

8 款：消防費 1 項：消防費 3 目：消防施設費

施策 2 消防体制の整備を図ります

事業	1	消防施設整備事業
担当所属	危機管理課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
27,170,000	26,028,757	26,028,757	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

07	報償費	11,000	10	需用費	1,341,994
14	工事請負費	1,536,700	15	原材料費	136,620
18	負担金補助及び交付金	23,002,443			

【実施計画の概要】

事業の内容	- 必要な消火栓の新設、更新を行います。 - 必要な防火水槽の新設、維持管理を行います。
事業の目的	消防施設の整備を行い消防力の向上に努めます。
事業の効果	地域の消防力の向上が図れます。

【事業の概要】

- 上下水道の管種変更工事に伴う消火栓の更新 23 基（19,258,043 円）、消火栓修繕工事 10 基（3,744,400 円）を行いました。
- 防火水槽の蓋修繕及び消防水利標識修繕を行いました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
消防水利設置数	2,562 箇所	2,562 箇所	2,561 箇所
消防水利の充足率	71%	71%	70%

9 款 1 項 3 目

第 4 章 豊かな心を育み 笑顔あふれるまち（教育）

【会計】一般会計

基本施策 2 教育環境

9 款：教育費 1 項：教育総務費 3 目：教育研究指導費

施策 1 良好な学習環境を整備します

事業	4	学校図書館活性化事業
担当所属	教育センター	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
12,493,000	12,330,027	12,330,027	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

01	報酬	9,876,000	03	職員手当等	2,059,200
08	旅費	219,179	10	需用費	175,648

【実施計画の概要】

事業の内容	・学校図書館において蔵書の整理・電算管理、貸出業務を行い、図書館利用の促進を図ります。 ・学校図書館司書の専門的な知識を生かし、児童生徒への的確な支援を行い、読書量を増やします。 ・児童生徒の「読書の時間」でのサポートを図ります。 ・県の施策に基づき、学校図書館司書の配置を現状の 3 校に一人から、令和 8 年を目標に 1 校に一人にすることで、学校図書館利活用の促進及び、児童生徒へ、専門的知識を生かした的確な支援の実施を図ります。
事業の目的	・学校図書館を活性化し、子どもたちが読書の楽しさを知り、学校図書館の活用率と読書量を増やすために当事業を実施します。
事業の効果	・学校図書館司書を配置することで、専門的な知識に基づいた児童・生徒への支援が行われ、図書の貸出冊数が増加します。 ・図書館の蔵書の整理、整備をはじめとする図書館環境を整えることで読書環境も充実し、授業等の利用頻度が高まります。 ・学校図書館司書の 1 校に一人の配置を実現することで、学校図書館の利活用が高まり、児童生徒の図書の利用及び読書量が増加します。

【事業の概要】

- ・各学校に学校図書館司書を適正に配置し、学校図書館の運営等を通して読書活動の推進を図りました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
学校図書館司書 1 校あたりの平均年間勤務日数	50 日	50 日	50 日
学校図書館司書 1 校につき月の平均勤務時間数	25 時間	25 時間	25 時間
学校図書館司書研修会開催日数	3 回	2 回	2 回
学校図書館授業活用時数	小 37 時間 中 9.8 時間	小 34.2 時間 中 8.1 時間	小 29.2 時間 中 7.4 時間
読書活動推進の取り組みとして 全校一斉読書を行っている学校数	34 校	34 校	34 校

9 款 1 項 3 目

第 4 章 豊かな心を育み 笑顔あふれるまち（教育）

【会計】一般会計

基本施策 2 教育環境

9 款：教育費 1 項：教育総務費 3 目：教育研究指導費

施策 2 地域に開かれた学校運営を行います

事業	5	開かれた学校づくり推進事業
担当所属		学務課

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	（財源内訳）				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
1,701,000	1,682,237	1,682,237	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

07	報償費	1,556,250	10	需用費	125,987
----	-----	-----------	----	-----	---------

【実施計画の概要】

事業の内容	- 各学校に、教育に関する理解及び識見を有する学校評議員を委嘱設置します。 - 教育に関して、学校・家庭地域が抱える様々な問題について話し合う教育ミニ集会を開催します。教育ミニ集会の話し合いの中から、学校・地域・家庭が一体となった様々な交流活動や奉仕活動を行います。
事業の目的	- 校長が学校の教育目標・計画や地域との連携の進め方などについて、広く意見を求めます。 - 教育ミニ集会では、学校を核とした地域コミュニティの構築を目指します。
事業の効果	- 学校教育に見識が深い学校評議員の有益な意見が、校長の判断及び決定に寄与します。 - 教育ミニ集会では、自由なテーマで様々な教育問題や地域の課題について、本音で語り合うため、学校・地域・家庭間の信頼関係が深まります。

【事業の概要】

- 市内幼稚園及び小中学校において、全 171 名の学校評議員を委嘱、設置しました。新型コロナウイルス感染症予防のため、全部の学校園が、1～3 回程度しか意見聴取の機会がもてませんでした。その際は、学校に対する外部からのご意見、アドバイス、情報を聞くことができました。
- 教育ミニ集会は市内小中学校で 13 校実施しました。自由なテーマで様々な教育問題や地域の課題について、本音で語り合い、学校・地域・家庭間の信頼関係を深めました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
学校と地域の連携事業数	95 回	83 回	87 回
教育ミニ集会への参加者数	606 人	0 人	0 人

9 款 1 項 3 目

第 4 章 豊かな心を育み 笑顔あふれるまち（教育）

【会計】一般会計

基本施策 1 学校教育

9 款：教育費 1 項：教育総務費 3 目：教育研究指導費

施策 1 学力向上・学習内容の充実に取り組みます

事業	6	教科書指導書購入事業
担当所属	学務課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
240,000	239,955	239,955	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

10	需用費	239,955			
----	-----	---------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	- 教科書の改訂年度に、小学校または中学校の教師用教科書及び指導書を購入します。 - 学級増等に伴う小中学校のニーズに応じて教師用教科書を購入します。 - 児童生徒の学びの充実や障害等による学習上の困難の低減に資するよう、教師用デジタル教科書（教材）を購入します。
事業の目的	小中学校で、授業を実施できるように教師用の教科書及び指導書を用意します。
事業の効果	- 教師用教科書を使用して、各小中学校で授業を実施します。 - 指導書を活用して教材研究を行い、授業内容を充実させ、学習を効果的に展開することができます。

【事業の概要】

- 小中学校の学級増分及び少人数指導分の教師用教科書を学校の規模や必要希望数に応じた数で購入しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
教科書・指導書のニーズを把握した学校数	34 校	34 校	34 校
教科書・指導書を配当した学校数	34 校	34 校	34 校
教師用教科書を使用して授業を行った学校数	34 校	34 校	34 校
指導書を使用して授業を行った学校数	34 校	34 校	34 校

事業	7	児童生徒教育相談事業
担当所属	教育センター	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
22,964,000	22,315,308	22,315,308	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

01	報酬	18,510,000	03	職員手当等	2,848,248
08	旅費	846,834	10	需用費	110,226

【実施計画の概要】

事業の内容	・小中学校児童生徒の不登校や発達に関する不安等に対して、電話相談・面接相談を行いながら、保護者や学校との連携を図り、指導援助を行います。
事業の目的	・不登校、いじめ、虐待への対応など、学校が抱える課題について、学校状況に応じて心の教育相談員を配置し、早期発見・早期解決を目指します。 ・学校教育相談員による相談活動やルームさくらの運営を通して児童生徒の「社会的自立」、また登校できない状況の中で「居場所の提供」「自主性・自発性の育成」を目指します。 ・学校教育相談員による発達相談を通して、発達に課題のある児童生徒のより良い成長を支援します。
事業の効果	・電話相談、面接相談を継続することにより、児童生徒の抱える諸問題に対して早期発見・早期解決を行うことができます。 ・不登校状態の児童生徒がルームさくらに通級することにより、生活習慣の改善が図られ、社会的自立への支援になります。 ・発達の相談を行うことにより、保護者の不安解消や、発達に課題のある児童生徒のより良い成長につながります。 ・心の教育相談員を配置することで、児童の諸問題の未然防止につなげることができます。

【事業の概要】

- ・学校教育相談員によるルームさくらの運営を、学校と連携しながら行うとともに、児童生徒・保護者への相談活動を通して支援・助言を行いました。
- ・心の教育相談員を小学校 8 校に 8 名配置し、相談活動を行いました。児童・保護者への適切な助言と、学校生活の適応に向けた個別支援を行いました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
学校教育相談員配置数	10 人	10 人	10 人
心の教育相談員配置校数	8 校	8 校	8 校
適応指導教室の通級者数	35 人	47	36 人
教育センターで配置している相談員による相談件数	3,553 件	3,940 件	3,142 件
適応指導教室ののべ通級者数	1,743 人	1,756 人	2,004 人
通級者の学校復帰率	51.4%	57.4%	38.9%

9 款 1 項 3 目

第 4 章 豊かな心を育み 笑顔あふれるまち（教育）

【会計】一般会計

基本施策 1 学校教育

9 款：教育費 1 項：教育総務費 3 目：教育研究指導費

施策 1 学力向上・学習内容の充実に取り組みます

事業	10	英語・外国語活動推進事業
担当所属		指導課

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	（財源内訳）				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
103,453,000	96,510,877	96,510,877	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

01	報酬	67,036,230	03	職員手当等	14,185,978
04	共済費	13,754,675	08	旅費	1,533,994

【実施計画の概要】

事業の内容	・小中学校、幼稚園に英語指導助手を派遣し、英会話指導、国際理解推進を行います。 ・ネイティブな英語に慣れ親しめるとともに、国際理解教育を行います。 ・小中学校の教員の、英語の指導力の向上を目指した研修を行います。
事業の目的	・国際化の進展により、国際理解教育・英語教育の重要性が増している中、英語指導助手を授業などで活用することにより、より実践的なコミュニケーション能力を育成するとともに、国際理解を深めます。 ・日本人教諭の指導力と語学力を磨くための講師としての役割も果たします。
事業の効果	・中学校での外国語科の習熟度別・課題別学習の推進が図られます。 ・小学校での外国語活動、国際理解教育の推進、コミュニケーション能力の育成が図られます。 ・小中学校の教員の英語の指導力が向上します。

【事業の概要】

- ・新規採用 1 名を含む A L T 19 人を小中学校 34 校に派遣し、外国語活動や外国語科指導等を行いました。
- ・王子台小学校を市の研究モデル校に指定し、先進的に外国語教育の推進を図りました。
- ・中学校の教員の英語の指導力の向上を目指した研修をオンラインで実施しました。また、ALT の授業参観をととして、小学校の教員の英語の指導力の向上に向けて指導・助言を行いました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
A L T の配置人数	19 名	19 名	19 名
A L T 研修会の実施回数	4 回	3 回	3 回
夏季小中学校教員の英語の指導力向上研修の開催日数	1 回	2 回	0 回
学校による A L T 評価	3 回	3 回	3 回
A L T による授業時間数	小 475 時間 中 403 時間	小 445 時間 中 422 時間	小 352 時間 中 203 時間
児童生徒 1 人あたりが A L T から受ける授業時間数	245 時間	245 時間	196 時間
夏休み英語教室の参加児童数	84 人	0 人	0 人

事業	11	特別支援教育推進事業
担当所属	教育センター	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	（財源内訳）				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
122,859,000	112,905,067	112,905,067	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

01	報酬	31,670,390	02	給料	46,337,126
03	職員手当等	20,429,949	04	共済費	13,247,946
08	旅費	1,036,836	10	需用費	152,020
11	役務費	30,800			

【実施計画の概要】

事業の内容	・教育支援委員会において、障害の有無に関わらず、発達に課題のある幼児児童生徒について適切な教育支援を行うために、医師等の専門的な意見を聴取し、その意見を指導支援に生かします。 ・障害の有無に関わらず、発達に課題のある幼児児童生徒の安全確保及び学習・生活の支援を行うため、特別支援教育支援員を幼稚園、小学校及び中学校に派遣します。 ・医療的ケア児支援法の成立に伴い、小・中学校に在籍する医療的ケア児受け入れに必要な体制整備を行い、看護師を派遣します。
事業の目的	・教育支援委員会において、発達に課題のある幼児児童生徒について適切な就学先や支援内容を検討します。 ・発達に課題のある幼児児童生徒への適切な支援を行うことで、主体的な学習の実現を図ります。 ・医療的ケア児に対して、必要な医療的ケアを実施する看護師を配置することで、安全な学校生活の実現を図ります。
事業の効果	・教育支援委員会において、発達に課題のある幼児児童生徒について、医師等から専門的な意見を聴取することにより、一人一人の教育的ニーズに応じた支援を適切に行うことができます。 ・特別な教育的支援が必要な幼児児童生徒が在籍する学校（園）に特別支援教育支援員を配置することで、充実した学習・生活の支援ができ、よりよい学校運営につながります。 ・医療的ケア児支援法に基づき、医療的ケア児が在籍する学校に看護師を配置することで、医療的ケア児に対して安全で確実な医療的ケアを実施するとともに、学びを保証することができます。

【事業の概要】

- ・佐倉市教育支援委員会を年間 3 回開催し、発達に課題のある幼児児童生徒について、適切な就学先や学びの場、支援内容を検討しました。
- ・特別支援教育支援員 67 名を、1 園 27 校へ適切に配置しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
教育支援委員会の開催回数	3 回	3 回	3 回
教育支援委員会の審議件数	181 件	173 件	158 件
特別支援教育支援員配置率	100%	100%	100%
特別支援教育支援員の研修実施回数	2 回	2 回	1 回

9 款 1 項 3 目

第 4 章 豊かな心を育み 笑顔あふれるまち（教育）

【会計】一般会計

基本施策 2 教育環境

9 款：教育費 1 項：教育総務費 3 目：教育研究指導費

施策 1 良好な学習環境を整備します

事業	14	少人数指導支援推進事業
担当所属	学務課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	（財源内訳）				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
11,549,000	10,524,859	10,524,859	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

02	給料	6,963,474	03	職員手当等	2,309,831
04	共済費	1,250,888	08	旅費	666

【実施計画の概要】

事業の内容	・ 多人数（32 名以上）の学級を数多く抱える学校等に、少人数学習支援教員を配置します。
事業の目的	・ 児童・生徒数が多い学級を数多く抱える学校に、少人数学習支援教員を配置することにより、少人数指導またはチームティーチングを展開し、児童・生徒個々への学習支援を通じて学習の課題を克服させ、一人一人の学力の向上を図ります。
事業の効果	・ 学習の習熟度に応じて、個別の指導や支援を受けられるので、効果的、効率的に学習内容を理解し、定着させることができます。 ・ 児童・生徒個々の学習の課題を見極め、課題を克服するよう重点的な支援を受けられるので、学習への苦手意識が薄れ、学習意欲を高められます。

【事業の概要】

- ・ 3 名の教員を臨時的に任用し、3 校の小・中学校に配置しました。
- ・ 小学校では算数を中心に、中学校では理科の授業において、少人数指導及びチームティーチングを行い、児童生徒の基礎学力の定着を図りました。学習面、生活面に不安を抱える児童に対するきめ細かな指導や心のケアにも貢献しました。また、テストの平均点が上がる児童生徒が増え、学力向上につながりました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
少人数学習支援教員の採用人数	3 人	3 人	3 人
受益者の人数	2,310 人	2,339 人	2,330 人

9 款 1 項 3 目

第 4 章 豊かな心を育み 笑顔あふれるまち（教育）

【会計】一般会計

基本施策 2 教育環境

9 款：教育費 1 項：教育総務費 3 目：教育研究指導費

施策 1 良好な学習環境を整備します

事業	18	インクルーシブ教育システム推進事業
担当所属	教育センター	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	（財源内訳）				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
2,164,000	1,894,315	1,894,315	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

01	報酬	1,778,000	08	旅費	109,535
10	需用費	6,780			

【実施計画の概要】

事業の内容	- 地域の教育資源の組合せ(スクールクラスター)の活用により、支援が必要な幼児児童生徒があらゆる場で合理的配慮に基づく支援が受けられる体制を構築するためのインクルーシブ教育システム構築を推進します。 - ことば等の発達に課題のある児童の教育的ニーズを正しく理解し、あらゆる場で合理的配慮に基づく適切な支援を促進するため、学校支援コーディネーターを増員します。
事業の目的	- ことば等の発達に課題のある児童の教育的ニーズを正しく理解し、あらゆる場で合理的配慮に基づく適切な支援が受けられるようにします。 - 障害の有無にかかわらず、発達に課題のある幼児児童生徒について、地域の関係機関が連携して支援にあたることのできる体制を構築します。
事業の効果	- ことば等の発達に課題のある児童への教育的効果を高めることができます。 - 発達に課題のある幼児児童生徒の育ちを支える関係機関が連携し、一貫した教育が早期から展開されることにより、一人一人の確かな成長を支えることができます。 - 学校支援コーディネーターを増員することにより、ことば等の発達に課題のある児童の教育的ニーズを正しく理解し、あらゆる場で合理的配慮に基づく適切な支援を迅速かつ、さらに促進することができます。

【事業の概要】

- 特別支援教育に関する教員の専門性を高めるために、研修会の実施や学校支援コーディネーターによる指導助言を行いました。
- 学校支援コーディネーターが必要に応じて学校を訪問し、必要な合理的配慮を行いました。
- 発達に課題のある幼児児童生徒への支援について、関係機関が連携して、必要な体制づくりに取り組みました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
ことばの発達に支援が必要な児童のための研修を実施した小学校の数	23 校	21 校	22 校
ことばの発達に課題のある児童が通級することばの教室数	10 教室	8 教室	8 教室
ライフサポートファイルを活用した学校数	34 校 2 園	34 校 2 園	34 校 2 園
関係者の連携のためのチーム支援会議開催回数	6 回	6 回	12 回
ことばの発達に課題のある児童の通級指導教室への通級者数	192 人	189 人	188 人

9 款 1 項 3 目

第 4 章 豊かな心を育み 笑顔あふれるまち（教育）

【会計】一般会計

基本施策 2 教育環境

9 款：教育費 1 項：教育総務費 3 目：教育研究指導費

施策 3 安心して学校に通える環境を提供します

事業	22	学校行事中止等に係る経費補助事業
担当所属	学務課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
990,000	0	0	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

--	--	--	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・佐倉市立小学校及び中学校管理規則第 13 条第 1 項各号に規定する修学旅行、自然教室、学習及び見学の中止に伴い、事業者等に支払うキャンセル料を補助するものです。
事業の目的	・小中学校に学校行事等のキャンセル料を補助することにより、保護者に経済的負担をかけず、ひいては児童・生徒が安心して教育を受ける環境を提供することを目的とします。
事業の効果	・小中学校に学校行事等のキャンセル料を補助することにより、経済的負担の軽減が図られます。

【事業の概要】（※新型コロナ対策）

- ・各佐倉市立小中学校の学校行事が計画どおりに実施され、補助金の交付は行いませんでした。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
補助金の支給審査実施率	0%	100%	100%
補助金支給件数	0 件	11 件	16 件

9 款 1 項 4 目

第 4 章 豊かな心を育み 笑顔あふれるまち（教育）

【会計】一般会計

基本施策 1 学校教育

9 款：教育費 1 項：教育総務費 4 目：教育センター費

施策 2 豊かな人間性を育む教育に取り組みます

事業	4	道徳教育推進事業
担当所属	教育センター	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	（財源内訳）				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
274,000	244,856	91,120	0	0	0	153,736

【決算額の節別内訳】（円）

07	報償費	48,000	10	需用費	141,856
12	委託料	55,000			

【実施計画の概要】

事業の内容	・市内小中学校に配付した副読本や指導資料を道徳の時間に活用するよう働きかけます。 ・道徳教材検討委員会を開き、副読本を活用するための授業実践報告や指導資料作成に取り組み、指導資料を随時更新し、より効果的な活用の仕方について各学校に情報提供します。
事業の目的	・市内小中学生の道徳意識の現状と課題を踏まえ、佐倉市ゆかりの先人や佐倉を素材とした教材を作成し、活用を推進することで、子どもたちが豊かな心を育み、人間としての生き方を自覚し、心の教育の充実が図られるようにします。
事業の効果	・充実した道徳教育を継続して行うことで、市内小中学校に通う児童生徒に豊かな心が育まれます。

【事業の概要】

- ・佐倉学道徳副読本「佐倉の道徳」及び佐倉学道徳教材の活用状況を調査・分析しました。
- ・これまでに開発した佐倉学道徳教材及び指導案を学習指導要領に合致した内容となるよう改善を図りました。各小中学校に配信しました。
- ・「佐倉学道徳副読本」試作版を発行し、冊子とデジタル版を各小・中学校に配付しました。資料の配付には至りませんでした。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
副読本及び教材を活用した道徳授業実施校数	29 校	29 校	34 校
学習意識等に関する調査による肯定的回答率	90.9%	88.6%	90.4%

9 款 2 項 1 目

【会計】一般会計

9 款：教育費 2 項：小学校費 1 目：学校管理費

事業	1	小学校学校運営事業
担当所属	教育総務課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
294,668,000	283,042,805	283,042,805	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

07	報償費	752,531	10	需用費	262,744,220
11	役務費	12,686,869	13	使用料及び賃借料	2,030,907
15	原材料費	639,898	17	備品購入費	4,188,380

【実施計画の概要】

事業の内容	・各小学校の運営に要する予算を配分するとともに、光熱水費等の維持・管理経費を支出します。併せて、各学校において年間をととした適切な予算執行が図れるよう指導します。
事業の目的	・小学校の適切な運営を図ります。学校施設の維持管理・管理運営を効率的に実施するとともに、学校運営を推進します。
事業の効果	・小学校運営を効率的・効果的に行い、学校教育を充実させます。

【事業の概要】

・報償費、消耗品費、修繕料、原材料費、備品購入費等 57,858 千円（詳細は下表） 【単位:千円】

No.	学校名	決算額	No.	学校名	決算額	No.	学校名	決算額
1	佐倉小学校	3,325	9	南志津小学校	2,130	17	間野台小学校	2,789
2	内郷小学校	2,080	10	根郷小学校	3,061	18	王子台小学校	2,314
3	臼井小学校	2,348	11	和田小学校	1,595	19	青菅小学校	3,215
4	印南小学校	1,909	12	弥富小学校	1,534	20	寺崎小学校	2,813
5	千代田小学校	2,352	13	井野小学校	4,012	21	山王小学校	1,825
6	上志津小学校	2,788	14	佐倉東小学校	2,382	22	染井野小学校	2,093
7	志津小学校	2,499	15	西志津小学校	4,221	23	白銀小学校	1,751
8	下志津小学校	2,355	16	小竹小学校	2,467		合 計	57,858

・上下水道料金 69,057 千円 ・電気料金 120,006 千円 ・ガス料金 22,220 千円
 ・電話料金等通信費 9,239 千円 ・その他小学校の運営等に要した経費 4,663 千円

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
児童 1 人当たり決算額	36 千円	29 千円	28 千円
1 学級当たり決算額	804 千円	666 千円	648 千円
児童数（5 月 1 日現在）	7,869 人	8,070 人	8,182 人
学級数（5 月 1 日現在）	352 学級	351 学級	348 学級

9 款 2 項 1 目

第 4 章 豊かな心を育み 笑顔あふれるまち（教育）

【会計】一般会計

基本施策 2 教育環境

9 款：教育費 2 項：小学校費 1 目：学校管理費

施策 1 良好な学習環境を整備します

事業	2	小学校保健管理事業
担当所属	指導課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	（財源内訳）				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
41,701,000	40,482,413	37,731,521	0	0	0	2,750,892

【決算額の節別内訳】（円）

01	報酬	19,048,930	07	報償費	2,624,800
10	需用費	2,113,747	11	役務費	1,012,324
12	委託料	7,328,288	17	備品購入費	1,024,804
18	負担金補助及び交付金	7,329,520			

【実施計画の概要】

事業の内容	・児童の定期・臨時健康診断を実施するとともに、健康診断用の検診機器の購入を行います。 ・学校管理下における災害共済加入を行います。
事業の目的	・児童の健康の保持増進を図り、学校教育の円滑な実施とその成果の確保に資するため、健康診断、感染症の予防その他学校における必要な保健管理を行います。
事業の効果	・児童の健康な学校生活と、学校保健活動の円滑な推進が図られ、学校教育の円滑な実施とその成果の確保に資することができます。

【事業の概要】

- ・学校医、学校歯科医による健康診断を行いました。
- ・心電図、尿検査、脊柱側湾症検診、生活習慣病予防検診などを業務委託により実施しました。
- ・学校管理下における災害共済加入を児童全員分行いました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
災害共済加入率	100%	100%	100%
定期健康診断対象者数及び受診者数	対象者数 7,869 人 受診者数 7,853 人	対象者数 8,070 人 受診者数 8,056 人	対象者数 8,181 人 受診者数 8,118 人
就学時健康診断対象者数及び受診者数	対象者数 1,135 人 受診者数 1,101 人	対象者数 1,270 人 受診者数 1,246 人	対象者数 1,293 人 受診者数 1,270 人
給付支給率 （支給件数／請求件数）	100% （410 件／410 件）	100% （452 件／452 件）	110.2% （411 件／373 件）

9 款 2 項 1 目

【会計】一般会計

9 款：教育費 2 項：小学校費 1 目：学校管理費

事業	3	小学校施設管理事業
担当所属	教育総務課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
74,409,000	74,216,257	74,216,257	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

10	需用費	5,438,183	12	委託料	21,608,730
13	使用料及び賃借料	1,184,040	14	工事請負費	37,752,143
15	原材料費	191,300	17	備品購入費	8,041,861

【実施計画の概要】

事業の内容	・ 小学校 23 校の施設、設備等の維持管理を行います。
事業の目的	・ 小学校施設の適切な維持管理を図ることにより、円滑な学校運営と快適な教育環境の確保に努めます。また、備品の破損や不足品等の更新等に努めます。
事業の効果	・ 小学校施設の適切な維持管理により円滑な学校運営と快適で、安心、安全な教育環境の確保が図られます。

【事業の概要】

- ・ 小学校 23 校の施設、設備等の維持管理に伴う修繕、管理委託、工事、備品購入等を行いました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
児童数（5 月 1 日現在）	全児童数 7,869 人	全児童数 8,070 人	全児童数 8,182 人
建物・運動場面積（5 月 1 日現在）	388,946 m ²	389,705 m ²	389,705 m ²
学校数	23 校	23 校	23 校
児童 1 人あたりの決算額	9 千円	10 千円	10 千円
建物・運動場 1,000 m ² あたりの決算額	191 千円	198 千円	205 千円
1 校あたりの決算額	3,227 千円	3,357 千円	3,478 千円

9 款 2 項 2 目

第 4 章 豊かな心を育み 笑顔あふれるまち（教育）

【会計】一般会計

基本施策 2 教育環境

9 款：教育費 2 項：小学校費 2 目：教育振興費

施策 1 良好な学習環境を整備します

事業	2	小学校教育振興事業
担当所属	学務課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
15,064,000	14,825,996	14,825,996	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

10	需用費	1,448,759	12	委託料	204,314
17	備品購入費	13,172,923			

【実施計画の概要】

事業の内容	・教育、指導に有益な図書を購入、整備します。 ・理科実験の使用後に生じる不要薬品の処理を行います。 ・学校に整備されている顕微鏡の分解清掃、調整を行います。 ・学校の教材備品、体育用消耗品の整備を行います。
事業の目的	・教職員が効果的な指導を行える環境を整備します。 ・学校教育に必要な環境を整え、児童の主体的かつ意欲的な学習を促進します。
事業の効果	・教職員の指導環境を整えることにより、指導方法の改善や工夫が可能になります。 ・学習環境の整備により、児童の学習効果が高まります。

【事業の概要】

- ・教育、指導に有益な図書を購入、整備しました。
- ・理科実験の使用後に生じる不要薬品の処理を行いました。
- ・学校に整備されている顕微鏡の分解清掃、調整を行いました。
- ・学校の教材備品、体育用消耗品の整備を行いました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
教材備品の購入点数	620 点	689 点	675 点
教材備品購入学校数	23 校	23 校	23 校

9 款 2 項 2 目

第 4 章 豊かな心を育み 笑顔あふれるまち（教育）

【会計】一般会計

基本施策 2 教育環境

9 款：教育費 2 項：小学校費 2 目：教育振興費

施策 3 安心して学校に通える環境を提供します

事業	3	小学校就学援助事業
担当所属	学務課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
78,338,000	61,445,149	56,384,344	5,060,805	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

11	役務費	7,700	18	負担金補助及び交付金	10,336,515
19	扶助費	51,100,934			

【実施計画の概要】

事業の内容	・経済的事由等により就学困難な児童の保護者に対して、就学援助費、遠距離通学費、特別支援教育就学奨励費を学校を通じて支給して保護者の教育費負担軽減と児童の適正な就学の振興を図ります。
事業の目的	・経済的な理由等で就学困難な児童の保護者に対して、教育に係る費用を援助することで、児童の適正な就学を推進します。
事業の効果	・要保護・準要保護世帯の児童保護者に学用品費等・学校給食費・医療費の補助を行うことにより、経済的負担の軽減を図ります。 ・遠距離通学をする児童保護者に、通学に要する費用の一部を補助することにより、経済的負担の軽減を図ります。 ・特別支援学級に就学する児童保護者に学用品費・通学費等を補助することにより、経済的負担の軽減を図ります。

【事業の概要】

- ・要保護、準要保護世帯の児童保護者に学用品費等、学校給食費、医療費の補助を行いました。
- ・準要保護世帯の児童保護者に新入学学用品費の前年度支給を実施しました。
- ・遠距離通学をする児童保護者に、通学に要する費用の一部を補助しました。
- ・特別支援学級に就学する児童保護者に学用品費、通学費等を補助しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
新入学児童保護者等への就学援助制度の周知率	100%	100%	100%
就学援助費支給人数	578 人	589 人	601 人
特別支援教育就学奨励費補助金支給人数	254 人	222 人	205 人
遠距離通学費補助金支給人数	15 人	21 人	23 人

9 款 2 項 2 目

第 4 章 豊かな心を育み 笑顔あふれるまち（教育）

【会計】一般会計

基本施策 2 教育環境

9 款：教育費 2 項：小学校費 2 目：教育振興費

施策 1 良好な学習環境を整備します

事業	4	小学校情報機器整備事業
担当所属	学務課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
202,003,000	199,299,856	199,299,856	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

10	需用費	5,263,561	11	役務費	1,960,200
13	使用料及び賃借料	192,076,095			

【実施計画の概要】

事業の内容	・小学校で使用する情報機器（パソコン、プリンター、NAS、ネットワーク機器、電子黒板等）を整備し、運用管理を行います。 ・パソコン関係のソフトウェア、消耗品等（プリンタートナー・インク・用紙）を購入します。
事業の目的	・コンピュータ等の情報機器を活用した校務環境、学習環境の整備・充実を図り、小学校における情報教育の推進を図ります。
事業の効果	・コンピュータ等の情報機器を利用した教育を行うことで、児童が情報社会における基本的な考え方を身につけることができます。 ・教職員が情報機器を利用することにより、情報共有や情報管理がしやすくなり、効率的に校務を行うことができます。

【事業の概要】

- ・小学校で使用する情報機器（パソコン、プリンター、NAS、ネットワーク機器、電子黒板等）の運用管理を行い、コンピュータ利用教育が実施できる環境を維持しました。
- ・パソコン関係の消耗品等を購入しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
パソコン更新・整備台数	9,463 台	9,540 台	9,639 台
コンピュータ利用教育時数	159.95 時数	137.55 時数	65.99 時数
1 校当たりの大型掲示装置の数	3 台	3 台	3 台
パソコン 1 台当たりの児童・生徒人数	1 人	1 人	1 人

事業	5	小規模特認校学習支援事業
担当所属	学務課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
7,896,000	7,199,074	7,033,478	0	0	0	165,596

【決算額の節別内訳】（円）

02	給料	4,642,316	03	職員手当等	1,310,799
04	共済費	985,763	07	報償費	165,596
10	需用費	94,600			

【実施計画の概要】

事業の内容	・ 弥富小学校及び和田小学校では、学区内児童数の減少により学級編制基準を下回っていることから、小規模特認校制度を活用し、市内全域から児童を受け入れるとともに、複式学級化を解消するため、学校支援補助教員を配置します。
事業の目的	・ 市内全域から児童を受け入れることにより、1 学年 1 学級を維持します。 ・ 少人数によるきめ細かな指導を行います。
事業の効果	・ 自然に恵まれた豊かな環境の中で、少人数によるきめ細かい指導及び地域と連携した教育活動を推進し、一人一人の児童に確かな学力と豊かな心を育てます。

【事業の概要】

- ・ 学校支援補助教員を 1 名配置し、少人数によるきめ細かな指導を行いました。
- ・ 広報用ポスターを 200 枚作成し、市内小中学校等へ掲示することで周知を図りました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
学校支援補助教員配置数	2 人	2 人	2 人
区域外転入学児童数	24 人	23 人	16 人

9 款 2 項 3 目

第 4 章 豊かな心を育み 笑顔あふれるまち（教育）

【会計】一般会計

基本施策 2 教育環境

9 款：教育費 2 項：小学校費 3 目：学校建設費

施策 1 良好な学習環境を整備します

事業	1	小学校施設改築・改造成業
担当所属	教育総務課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	（財源内訳）				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
1,175,389,000	713,008,662	183,890,662	161,518,000	0	367,600,000	

【決算額の節別内訳】（円）

10	需用費	44,740,706	12	委託料	45,672,016
13	使用料及び賃借料	24,547,952	14	工事請負費	586,950,024
16	公有財産購入費	11,097,964			

【実施計画の概要】

事業の内容	・老朽化した施設の改修を行います。 ・老朽化した設備の更新を行います。 ・建物の賃貸借を行います。 ・施設の質的向上を図ります。
事業の目的	・教育施設の安全性が向上します。また、避難場所としてより安全に使用できます。 ・必要な教室数を確保します。
事業の効果	・安全・安心な教育環境を確保することができます。 ・必要な教室数を確保することにより、円滑な学校運営を図ることができます。

【事業の概要】

- ・校舎の賃貸借を行いました。（井野小、志津小、青菅小）
- ・老朽化した設備の更新を行いました。
- ・老朽化した屋根、外壁、床の改修を行いました。
- ・普通教室へ整備した空調設備の維持管理を行いました。
- ・体育館の予防保全改修を行いました。（根郷小）
- ・老朽化したトイレの全面改修を行いました。（下志津小外 5 校）
- ・体育館照明の LED 化を行いました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
小学校校舎・体育館のトイレ洋式化実施校数	5 校	6 校	6 校
小学校校舎・体育館のトイレ洋式化率	85%	72%	55%

9 款 2 項 3 目

第 4 章 豊かな心を育み 笑顔あふれるまち（教育）

【会計】一般会計

基本施策 2 教育環境

9 款：教育費 2 項：小学校費 3 目：学校建設費

施策 1 良好な学習環境を整備します

事業	2	小学校体育施設整備事業
担当所属	教育総務課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
26,272,000	23,393,700	2,849,700	6,944,000	0	13,600,000	0

【決算額の節別内訳】（円）

14	工事請負費	23,393,700			
----	-------	------------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・運動場の表層又は排水設備等の改良を行います。
事業の目的	・教育環境に適した、かつ、周辺環境へ配慮した運動場とするため、表層の改良等を行うことで、教育環境の向上と周辺環境への影響の低減を図ります。 ・構造…平滑で適度な弾力性、適度の保水性と良好な排水性を確保します。 ・表層の材質…けがの防止、ほこり発生防止に配慮します。
事業の効果	・教育環境に適した構造及び仕様の運動場とすることで、運動使用時の子どもたちの安全性が向上します。また、周辺環境への影響が低減されます。

【事業の概要】

- ・千代田小学校運動場の表層を改良し良好な状態にしました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
小学校グラウンドの改良数	1 校	0 校	0 校
小学校グラウンド改良率	36%	27%	27%

9 款 3 項 1 目

【会計】一般会計

9 款：教育費 3 項：中学校費 1 目：学校管理費

事業	1	中学校学校運営事業
担当所属	教育総務課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
183,606,000	175,426,514	175,426,514	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

07	報償費	951,970	10	需用費	163,008,048
11	役務費	6,762,583	13	使用料及び賃借料	1,182,076
15	原材料費	728,788	17	備品購入費	2,793,049

【実施計画の概要】

事業の内容	・各中学校の運営に要する予算を配分するとともに、光熱水費等の維持・管理経費を支出します。併せて、各学校において年間をととした適切な予算執行が図れるよう指導します。
事業の目的	・中学校の適切な運営を図ります。学校施設の維持管理・管理運営を効率的に実施するとともに、学校運営を推進します。
事業の効果	・中学校運営を効率的・効果的に行い、学校教育を充実させます。

【事業の概要】

・報償費、消耗品費、修繕料、原材料費、備品購入費等 42,741 千円（詳細は下表） 【単位：千円】

No.	学校名	決算額	No.	学校名	決算額
1	佐倉中学校	4,419	7	佐倉東中学校	3,517
2	志津中学校	5,706	8	臼井西中学校	3,587
3	上志津中学校	3,151	9	西志津中学校	4,120
4	南部中学校	3,322	10	臼井南中学校	3,568
5	臼井中学校	3,725	11	根郷中学校	3,401
6	井野中学校	4,225		合 計	42,741

・上下水道料金 45,580 千円 ・電気料金 71,771 千円 ・ガス料金 8,799 千円
 ・電話料金等通信費 4,608 千円 ・その他中学校の運営等に要した経費 1,928 千円

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
生徒 1 人当たり決算額	42 千円	35 千円	34 千円
1 学級当たり決算額	1,145 千円	982 千円	935 千円
生徒数（5 月 1 日現在）	4,167 人	4,180 人	4,144 人
学級数（5 月 1 日現在）	153 学級	151 学級	149 学級

9 款 3 項 1 目

第 4 章 豊かな心を育み 笑顔あふれるまち（教育）

【会計】一般会計

基本施策 2 教育環境

9 款：教育費 3 項：中学校費 1 目：学校管理費

施策 1 良好な学習環境を整備します

事業	2	中学校保健管理事業
担当所属	指導課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	（財源内訳）				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
23,260,000	22,071,031	20,639,943	0	0	0	1,431,088

【決算額の節別内訳】（円）

01	報酬	9,327,860	07	報償費	390,800
10	需用費	1,197,481	11	役務費	528,396
12	委託料	6,246,052	17	備品購入費	504,702
18	負担金補助及び交付金	3,875,740			

【実施計画の概要】

事業の内容	- 生徒の定期・臨時健康診断を実施するとともに、健康診断用の検診機器の購入を行います。 - 学校管理下における災害共済加入を行います。
事業の目的	生徒の健康の保持増進を図り、学校教育の円滑な実施とその成果の確保に資するため、健康診断、感染症の予防その他学校における必要な保健管理を行います。
事業の効果	生徒の健康な学校生活と、学校保健活動の円滑な推進が図られ、学校教育の円滑な実施とその成果の確保に資することができます。

【事業の概要】

- ・学校医、学校歯科医による健康診断を行いました。
- ・心電図、尿検査、脊柱側弯症検診、生活習慣病予防検診などを業務委託により実施しました。
- ・学校管理下における災害共済加入を生徒全員分行いました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
災害共済加入率	100%	100%	100%
定期健康診断対象者数及び受診者数	対象者数 4,167 人 受診者数 4,160 人	対象者数 4,180 人 受診者数 4,168 人	対象者数 4,144 人 受診者数 4,127 人
給付支給率 （支給件数／請求件数）	100% （596 件／596 件）	100% （540 件／540 件）	98.9% （358 件／362 件）

9 款 3 項 1 目

【会計】一般会計

9 款：教育費 3 項：中学校費 1 目：学校管理費

事業	3	中学校施設管理事業
担当所属	教育総務課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
48,893,000	48,390,889	48,390,889	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

10	需用費	2,471,741	12	委託料	10,921,790
13	使用料及び賃借料	2,449,496	14	工事請負費	26,913,008
15	原材料費	162,250	17	備品購入費	5,472,604

【実施計画の概要】

事業の内容	・ 中学校 11 校の施設、設備等の維持管理を行います。
事業の目的	・ 中学校施設の適切な維持管理を図ることにより、円滑な学校運営と快適な教育環境の確保に努めます。また、備品の破損や不足品等の更新に努めます。
事業の効果	・ 中学校施設の適切な維持管理により円滑な学校運営と快適で、安心、安全な教育環境の確保が図られます。

【事業の概要】

- ・ 中学校 11 校の施設、設備等の維持管理に伴う修繕、管理委託、工事、備品購入等を行いました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
生徒数（5 月 1 日現在）	全生徒数 4,167 人	全生徒数 4,180 人	全生徒数 4,144 人
建物・運動場面積（5 月 1 日現在）	284,110 m ²	284,109 m ²	284,120 m ²
学校数	11 校	11 校	11 校
生徒 1 人あたりの決算額	12 千円	12 千円	13 千円
建物・運動場 1,000 m ² あたりの決算額	170 千円	178 千円	184 千円
学校 1 校あたりの決算額	4,399 千円	4,594 千円	4,765 千円

9 款 3 項 2 目

第 4 章 豊かな心を育み 笑顔あふれるまち（教育）

【会計】一般会計

基本施策 2 教育環境

9 款：教育費 3 項：中学校費 2 目：教育振興費

施策 1 良好な学習環境を整備します

事業	2	中学校教育振興事業
担当所属	学務課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	（財源内訳）				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
11,985,000	11,738,677	11,738,677	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

10	需用費	856,689	12	委託料	211,574
17	備品購入費	10,670,414			

【実施計画の概要】

事業の内容	・教育、指導に有益な図書を購入、整備します。 ・理科実験の使用後に生じる不要薬品の処理を行います。 ・学校に整備されている顕微鏡の分解清掃、調整を行います。 ・学校の教材備品、体育用消耗品の整備を行います。
事業の目的	・教職員が効果的な指導を行える環境を整備します。 ・学校教育に必要な環境を整え、生徒の主体的かつ意欲的な学習を促進します。
事業の効果	・教職員の指導環境を整えることにより、指導方法の改善や工夫が可能になります。 ・学習環境の整備により、生徒の学習効果が高まります。

【事業の概要】

- ・教育、指導に有益な図書を購入、整備しました。
- ・理科実験の使用後に生じる不要薬品の処理を行いました。
- ・学校に整備されている顕微鏡の分解清掃、調整を行いました。
- ・学校の教材備品、体育用消耗品の整備を行いました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
教材備品の購入点数	348 点	488 点	479 点
教材備品購入学校数	11 校	11 校	11 校

9 款 3 項 2 目

第 4 章 豊かな心を育み 笑顔あふれるまち（教育）

【会計】一般会計

基本施策 2 教育環境

9 款：教育費 3 項：中学校費 2 目：教育振興費

施策 3 安心して学校に通える環境を提供します

事業	3	中学校就学援助事業
担当所属	学務課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	（財源内訳）				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
75,015,000	56,345,730	53,781,990	2,563,740	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

18	負担金補助及び交付金	4,856,766	19	扶助費	51,488,964
----	------------	-----------	----	-----	------------

【実施計画の概要】

事業の内容	・経済的事由等により就学困難な生徒の保護者に対して、就学援助費、遠距離通学費、特別支援教育就学奨励費を学校を通じて支給して、保護者の教育費負担軽減と児童の適正な就学の振興を図ります。
事業の目的	・経済的な理由等で就学困難な生徒の保護者に対して、教育に係る費用を援助することで、生徒の適正な就学を推進します。
事業の効果	・要保護・準要保護世帯の生徒保護者に学用品費等・学校給食費・医療費の補助を行うことにより、経済的負担の軽減を図ります。 ・遠距離通学をする生徒保護者に、通学に要する費用の一部を補助することにより、経済的負担の軽減を図ります。 ・特別支援学級に就学する生徒保護者に学用品費・通学費等を補助することにより、経済的負担の軽減を図ります。

【事業の概要】

- ・要保護・準要保護世帯の生徒保護者に学用品費等・学校給食費・医療費の補助を行いました。
- ・準要保護世帯の生徒保護者に新入学学用品費の前年度支給を実施しました。
- ・遠距離通学をする生徒保護者に、通学に要する費用の一部を補助しました。
- ・特別支援学級に就学する生徒保護者に学用品費・通学費等を補助しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
新入学生徒保護者等への就学援助制度の周知率	100%	100%	100%
就学援助費支給人数	385 人	384 人	383 人
特別支援教育就学奨励費補助金支給人数	83 人	77 人	53 人
遠距離通学費補助金支給人数	3 人	4 人	6 人

9 款 3 項 2 目

第 4 章 豊かな心を育み 笑顔あふれるまち（教育）

【会計】一般会計

基本施策 2 教育環境

9 款：教育費 3 項：中学校費 2 目：教育振興費

施策 1 良好な学習環境を整備します

事業	4	中学校情報機器整備事業
担当所属	学務課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	（財源内訳）				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
104,090,000	102,085,543	102,085,543	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

10	需用費	2,956,019	11	役務費	943,800
13	使用料及び賃借料	98,185,724			

【実施計画の概要】

事業の内容	・ 中学校で使用する情報機器（パソコン、プリンター、NAS、ネットワーク機器、電子黒板等）を整備し、運用管理を行います。 ・ パソコン関係のソフトウェア、消耗品等（プリンタートナー・インク・用紙）を購入します。
事業の目的	・ コンピュータ等の情報機器を活用した校務環境、学習環境の整備・充実を図り、中学校における情報教育の推進を図ります。
事業の効果	・ コンピュータ等の情報機器を利用した教育を行うことで、生徒が情報社会における基本的な考え方を身につけることができます。 ・ 教職員が情報機器を利用することにより、情報共有や情報管理がしやすくなり、効率的に校務を行うことができます。

【事業の概要】

- ・ 中学校で使用する情報機器（パソコン、プリンター、NAS、ネットワーク機器、電子黒板等）の運用管理を行い、コンピュータ利用教育が実施できる環境を維持しました。
- ・ パソコン関係の消耗品等を購入しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
パソコン更新・整備台数	4,999 台	4,912 台	4,815 台
コンピュータ利用教育時数	193.53 時数	231.63 時数	70.47 時数
1 校当たりの大型提示装置の数	3 台	3 台	3 台
パソコン 1 台当たりの児童・生徒人数	1 人	1 人	1 人

9 款 3 項 3 目

第 4 章 豊かな心を育み 笑顔あふれるまち（教育）

【会計】一般会計

基本施策 2 教育環境

9 款：教育費 3 項：中学校費 3 目：学校建設費

施策 1 良好な学習環境を整備します

事業	1	中学校施設改築・改造事業
担当所属	教育総務課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
654,287,000	52,220,000	50,820,000	0	0	1,400,000	0

【決算額の節別内訳】（円）

12	委託料	38,744,058	14	工事請負費	8,011,410
16	公有財産購入費	5,464,532			

【実施計画の概要】

事業の内容	・老朽化した設備の更新を行います。 ・施設の質的向上を図ります。
事業の目的	・教育施設の安全性が向上します。また、避難場所としてより安全に使用できます。
事業の効果	・安全・安心な教育環境を確保することができます。

【事業の概要】

- ・老朽化した設備の更新を行いました。
- ・普通教室へ整備した空調設備の維持管理を行いました。
- ・老朽化したトイレの設計を行いました。（井野中外 3 校）
- ・体育館照明の LED 化を行いました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
中学校校舎・体育館のトイレ洋式化実施校数	0 校	0 校	0 校
中学校校舎・体育館のトイレ洋式化率	39%	39%	39%

9 款 4 項 1 目

第 1 章 とともに支え合い誰かがいきいきと暮らせるまち（福祉・健康・子育て）

【会計】一般会計

基本施策 2 子育て支援

9 款：教育費 4 項：幼稚園費 1 目：幼稚園費

施策 2 子育てに係る経済的負担を軽減します

事業	8	私立幼稚園助成事業
担当所属	こども保育課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
20,501,000	17,200,140	17,200,140	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

18	負担金補助及び交付金	17,200,140			
----	------------	------------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・私立幼稚園に振興事業補助金を交付します。 ・私立幼稚園が実施する一時預かり事業に補助金を交付します。
事業の目的	・幼児教育環境の充実を図ります。
事業の効果	・補助金の交付により、幼児教育環境の充実が図られます。

【事業の概要】

- ・私立幼稚園振興事業補助金を 5 園に交付しました。
- ・幼稚園型一時預かり事業補助金の対象となる幼稚園の事業が休止となりました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
振興事業補助金交付施設数	5 園	5 園	5 園
幼稚園型一時預かり事業実施施設数	0 園	1 園	1 園

9 款 4 項 1 目

第 1 章 とともに支え合い誰もがいきいきと暮らせるまち（福祉・健康・子育て）

【会計】一般会計

基本施策 2 子育て支援

9 款：教育費 4 項：幼稚園費 1 目：幼稚園費

施策 2 子育てに係る経済的負担を軽減します

事業	9	幼稚園利用費等給付事業
担当所属	こども政策課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	（財源内訳）				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
779,234,000	753,798,117	222,777,203	319,557,189	211,463,725	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

19	扶助費	753,798,117			
----	-----	-------------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・認定こども園に施設型給付費（教育標準時間認定分）を給付します。 ・私立幼稚園在園者の施設等利用費（保育料）を給付します。 ・一部の私立幼稚園在園者に、給食費を補助します。
事業の目的	・施設型給付費の給付により、子どもの健やかな成長を支援します。 ・施設等利用費や給食費補助金の給付により、幼稚園利用者の経済的負担を軽減します。
事業の効果	・施設型給付費の給付により、認定こども園の施設運営の安定や職員の処遇向上が図られます。 ・施設等利用費や給食費補助金の給付により、幼稚園利用者の経済的負担が軽減されます。

【事業の概要】

- ・市内認定こども園 7 園等に施設型給付費（教育標準時間認定分）を給付し処遇改善を図りました。
- ・私立幼稚園在園者の施設等利用費（保育料等）を 21 園に給付し負担軽減を図りました。
- ・給食費給付金を 234 人に支給しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
市内施設型給付費給付対象施設数（認定こども園）	7 園	7 園	7 園
施設等利用費対象施設数（幼稚園）	21 園	29 園	30 園
私立幼稚園給食費給付金支給人数	234 人	244 人	253 人

9 款 4 項 1 目

第 1 章 ともに支え合い誰もがいきいきと暮らせるまち（福祉・健康・子育て）

【会計】一般会計

基本施策 2 子育て支援

9 款：教育費 4 項：幼稚園費 1 目：幼稚園費 施策 4 保育の受け皿確保、子どもたちが健やかに育つ環境の整備を図ります

事業	10	私立幼稚園助成事業（コロナ対策分）
担当所属	こども保育課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	（財源内訳）				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
2,808,000	2,264,220	862,890	1,401,330	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

18	負担金補助及び交付金	2,264,220			
----	------------	-----------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・ 原油高や円安などの影響でさまざまな食材の価格が高騰していたため、従前の給食等の質・量を確保するためには、給食費（保護者負担）の増額等は避けられない状況となっています。このため、給食用食材費の高騰分を支援することにより、従前の給食費（保護者負担）を維持し、保護者負担の軽減を図ります。
事業の目的	・ 給食用食材費の高騰分に交付金を充てることにより、従前の給食費（保護者負担）を維持し、子育て世帯を支援します。
事業の効果	・ 給食用食材費の高騰分を支援することにより、従前の給食費（保護者負担）を維持しながら給食等の質・量を確保することができ、保護者の負担が軽減されます。

【事業の概要】（※新型コロナ対策）

- ・ 私立幼稚園に対して補助金を交付し、従前に給食費（保護者負担）を維持しながら給食等の質・量を確保し、令和 4 年 7 月～令和 5 年 3 月分の保護者負担の軽減を図りました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
助成対象施設数	5 園	—	—

事業	7	文化普及事業
担当所属		文化課

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
612,000	533,776	179,576	0	0	0	354,200

【決算額の節別内訳】（円）

07	報償費	85,000	10	需用費	443,520
11	役務費	5,256			

【実施計画の概要】

事業の内容	・佐倉市の 1 年間の芸術文化関係記事や特集記事を掲載した文化情報誌『風媒花』を毎年発行します。
事業の目的	・佐倉市内で行われた 1 年間の芸術文化関係のできごとやその時々トピックを広く市民にお知らせするとともに、記録として蓄積していくことを目的とします。
事業の効果	・市民の芸術文化に対する興味関心を高め、生活の中にとりいれるきっかけをつくりまします。

【事業の概要】

- ・『風媒花』第 35 号を発行しました。
- ・女子美術大学との連携を各課に呼びかけました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
文化情報誌『風媒花』の発行回数	1 回	1 回	1 回
文化情報誌『風媒花』の発行部数	700 部	700 部	700 部
文化情報誌『風媒花』の配布、頒布部数 (過年度発行分含む)	668 部	503 部	436 部

9 款 5 項 1 目

第 4 章 豊かな心を育み 笑顔あふれるまち（教育）

【会計】一般会計

基本施策 3 生涯学習

9 款：教育費 5 項：社会教育費 1 目：社会教育総務費

施策 2 生涯学習の環境を整備します

事業	10	（仮称）佐倉図書館等新町活性化複合施設整備事業
担当所属	社会教育課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	（財源内訳）				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
1,500,879,000	1,300,842,614	215,265,709	20,205,000	0	1,032,900,000	32,471,905

【決算額の節別内訳】（円）

10	需用費	1,758,390	12	委託料	40,752,600
14	工事請負費	1,013,861,219	17	備品購入費	242,571,905
18	負担金補助及び交付金	122,000	21	補償補てん及び賠償金	1,776,500

【実施計画の概要】

事業の内容	・佐倉図書館の建替え等を核として、「歴史のまち」を象徴する旧城下町の保全や、交流人口の確保に資するなど、新町等旧佐倉地区の活性化に資する拠点施設を整備します。
事業の目的	・「まち」・「ひと」・「しごと」の地域活性化の手法が脚光を浴びはじめている中で、佐倉図書館の建替え等を核として、地域再生に取り組みます。
事業の効果	・「日本」を感じることができる城下町の再生は、まちの活性化に寄与します。

【事業の概要】

- ・ 建築工事、機械設備工事、電気設備工事を実施しました。
- ・ 工事監理委託、設計意図伝達委託を実施しました。
- ・ 備品、消耗品等の購入を実施しました。
- ・ 物品等の運搬委託を実施しました。
- ・ 開館式典開催に向けた準備を実施しました。
- ・ 令和 5 年 3 月 4 日に開館しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
工事進捗率	100%	62.1%	18.3%

9 款 5 項 1 目

第 4 章 豊かな心を育み 笑顔あふれるまち（教育）

【会計】一般会計

基本施策 3 生涯学習

9 款：教育費 5 項：社会教育費 1 目：社会教育総務費

施策 2 生涯学習の環境を整備します

事業	11	旧佐倉図書館跡地駐車場整備事業
担当所属	社会教育課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
15,363,000	12,897,500	5,659,500	238,000	0	7,000,000	0

【決算額の節別内訳】（円）

12	委託料	12,897,500			
----	-----	------------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・旧城下町の保全や交流人口の確保などに資する夢咲くら館の整備とともに、旧佐倉図書館の跡地を整備することにより、一層の活性化に資する施設とします。
事業の目的	・旧佐倉図書館の跡地を駐車場として整備することにより、駐車台数の確保と一層の地域活性化を目指します。
事業の効果	・旧佐倉図書館の跡地を駐車場として整備することは、さらなる地域の活性化につながります。

【事業の概要】

- ・アスベストの調査、事前家屋調査、敷地測量、佐倉図書館解体等設計業務委託を実施しました。
- ・建物解体工事について、制限付き一般競争入札により事業者を選定しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
事業実施内容	解体等設計	—	—

事業	4	市内遺跡所在確認調査事業
担当所属		文化課

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
21,891,000	20,176,664	12,958,664	5,848,000	1,370,000	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

01	報酬	3,623,880	03	職員手当等	283,608
08	旅費	134,482	10	需用費	1,479,245
11	役務費	4,039	12	委託料	14,613,350
13	使用料及び賃借料	38,060			

【実施計画の概要】

事業の内容	・埋蔵文化財包蔵地（遺跡）内で計画される土木工事に先立って、埋蔵文化財発掘調査を実施します。 ・個人・中小企業等の事業に伴う調査に対しては、費用対効果・緊急性と照らし、一部公費負担します。 ・佐倉城跡など重要遺跡の調査を実施します。
事業の目的	・公費導入によって個人事業者や中小企業の埋蔵文化財調査費用の負担を軽減させます。 ・埋蔵文化財の取扱い事務の一部である試掘を公費負担によって実施し、事業者の負担を軽減させます。
事業の効果	・埋蔵文化財に公費を導入することによって、民間事業と埋蔵文化財の保護の調整の適正化と迅速化を促進します。 ・市事業に係る小規模な発掘調査にも対応します。

【事業の概要】

- ・国庫補助事業として前年度に調査した 23 遺跡の整理作業、報告書刊行を実施しました。
- ・国庫補助事業として 15 遺跡の発掘調査、2 遺跡の測量調査を実施しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
文化財保護法届出通知件数	108 件	125 件	170 件
市内発掘調査指導件数	2 件	2 件	6 件
直営発掘調査件数	16 件	22 件	33 件
埋蔵文化財発掘調査報告書刊行冊数	3 冊	2 冊	1 冊
埋蔵文化財照会件数	38 件	25 件	38 件

事業	6	文化財施設管理運営事業
担当所属		文化課

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
31,721,000	30,563,439	20,106,013	0	0	0	10,457,426

【決算額の節別内訳】（円）

01	報酬	18,606,060	03	職員手当等	3,436,971
04	共済費	547,641	08	旅費	754,724
10	需用費	4,090,296	11	役務費	166,330
12	委託料	2,158,420	13	使用料及び賃借料	766,631
15	原材料費	7,128	17	備品購入費	29,238

【実施計画の概要】

事業の内容	・旧堀田邸・武家屋敷・佐倉順天堂記念館を市内文化財として維持管理します。 ・広く一般公開するほか、佐倉フィルムコミッションのロケ地として活用します。
事業の目的	・文化財施設を市民はじめ全国からの見学者に公開し、佐倉の歴史や文化を普及します。 ・施設を適切に維持管理します。
事業の効果	・佐倉市を代表する文化財建造物等を適切に維持保存し、活用することができます。 ・佐倉の歴史、文化の良さが伝わります。

【事業の概要】

- ・文化財施設 3 館（佐倉順天堂記念館・武家屋敷・旧堀田邸）の管理運営を行い、通年開館しました。
- ・佐倉の魅力推進課の佐倉フィルムコミッション事業の一環としてテレビドラマ、ミュージックビデオ、フォトウェディング等の撮影を受け入れました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
開館日数	306 日	307 日	260 日
撮影使用（有料）件数	34 件	31 件	5 件
旧堀田邸、武家屋敷、佐倉順天堂記念館の入館者数	40,764 人	31,095 人	21,502 人

9 款 5 項 2 目

第 3 章 地域の資源を活かした活力と賑わいのあるまち（産業・観光・文化）

【会計】一般会計

基本施策 4 文化・芸術振興

9 款：教育費 5 項：社会教育費 2 目：文化財保護費 施策 1 歴史・文化資産を保全・活用します

事業	10	日本遺産活用推進事業
担当所属		文化課

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
1,439,000	1,406,440	100,000	0	0	0	1,306,440

【決算額の節別内訳】（円）

10	需用費	589,450	12	委託料	462,990
18	負担金補助及び交付金	354,000			

【実施計画の概要】

事業の内容	・日本遺産構成文化財の普及・活用・保存を図ります。 ・城下町佐倉の歴史文化資産を活かした地域の活性化を図ります。 ・城下町佐倉の祭礼文化を活かした地域の活性化を図ります。 ・日本遺産北総四都市江戸紀行活用協議会に参加します。
事業の目的	・日本遺産のブランド力を高め、北総四都市の歴史・文化資産を活用することで、地域を活性化すると同時に、城下町佐倉をよく知り愛着を持つ人の増加を図ります。
事業の効果	・「城下町佐倉」のイメージの向上につながります。 ・外国人観光客をはじめとする交流人口の増加に寄与します。 ・佐倉を訪れたい、住みたい、住んでいてよかったと感じる人々の増加につながります。

【事業の概要】

- ・日本遺産認定継続審査 現地調査、審査結果「認定継続」
- ・日本遺産北総四都市江戸紀行活用協議会への参加
- ・城下町佐倉の祭礼用具の修復への国庫補助申請事務
- ・麻賀多神社神輿渡御用具整備への補助
- ・「桜に染まるまち」城下町“桜”スタンプラリーの実施

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
日本遺産普及事業件数	10 件	5 件	5 件
日本遺産構成文化財を対象とした補助事業件数	2 件	2 件	2 件
引き回し可能な旧佐倉町山車の台数	5 台	5 台	5 台
日本遺産「北総四都市江戸紀行」の認知度	81%	49%	71%

事業	11	文化財保存整備事業
担当所属		文化課

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
15,118,000	15,061,745	126,645	3,739,100	0	0	11,196,000

【決算額の節別内訳】（円）

07	報償費	164,400	08	旅費	31,900
10	需用費	99,956	12	委託料	3,564,000
17	備品購入費	5,489	18	負担金補助及び交付金	11,196,000

【実施計画の概要】

事業の内容	・民間所有の指定・登録文化財等において、修理・整備に対し市が補助を行い、所有者・管理者の負担を軽減し、文化財を適切に保存・整備し、将来にわたって良好に継承していきます。 ・歴史文化遺産の環境整備により見学者の利便性・安全性を向上します。 ・文化財保存活用地域計画を策定します。
事業の目的	・指定・登録文化財の所有者・管理者の負担を軽減し、文化財を適切に保存・整備します。 ・歴史文化遺産を活用した交流人口の増加を図ります。 ・見学者の利便性の向上を目指します。
事業の効果	・佐倉の歴史文化遺産を良好な状態で、後世に継承していきます。

【事業の概要】

- ・指定・登録文化財等の保存・整備等に対する補助 2 件
- ・文化財保存活用地域計画の策定作業（策定中）

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
補助事業件数	2 件	1 件	6 件
文化財案内板・標柱の設置件数	1 基	0 基	2 基
史跡等の環境整備の件数	2 か所	2 か所	1 か所
佐倉を歴史文化豊かなまちと思う人の割合	65.5%	62.9%	69.9%

9 款 5 項 3 目

【会計】一般会計

9 款：教育費 5 項：社会教育費 3 目：公民館費

事業	2-7	公民館管理運営事業
担当所属	中央公民館、和田公民館、弥富公民館、根郷公民館、志津公民館、臼井公民館	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
72,347,000	61,902,165	51,316,733				10,585,432

【決算額の節別内訳】（円）

08	旅費	26,783	10	需用費	31,493,098
11	役務費	801,947	12	委託料	27,887,006
13	使用料及び賃借料	1,581,423	17	備品購入費	111,908

【実施計画の概要】

事業の内容	・地域住民各層の利用に應えるため、施設の維持・管理及び公民館運営に関わる庶務を行い、サービス業務の向上を図ります。
事業の目的	・誰もが学習しやすい公民館、集会活動のよりどころとなる公民館、親睦を深める場となる公民館として生涯学習のねらいを達成すべく、社会教育活動の中心施設としてその役割を果たすことに努めます。
事業の効果	・市民にとって、安全で快適な学習活動の場と機会の提供を受けることができます。

【事業の概要】

- ・利用者が安心安全に利用できるよう、公民館施設の維持管理に努めるとともに、サービス業務の向上を図りました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
中央公民館開館日数	335 日	334 日	272 日
和田公民館開館日数	333 日	333 日	230 日
弥富公民館開館日数	333 日	333 日	230 日
根郷公民館開館日数	333 日	333 日	239 日
志津公民館開館日数	333 日	333 日	235 日
臼井公民館開館日数	330 日	331 日	229 日

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
中央公民館利用者数	53,692 人	44,767 人	25,061 人
和田公民館利用者数	2,275 人	1,465 人	591 人
弥富公民館利用者数	5,138 人	3,849 人	3,586 人
根郷公民館利用者数	17,345 人	11,949 人	4,673 人
志津公民館利用者数	63,632 人	45,978 人	20,134 人
臼井公民館利用者数	21,708 人	15,596 人	7,095 人
合計	163,790 人	123,604 人	61,140 人

9 款 5 項 3 目

第 4 章 豊かな心を育み 笑顔あふれるまち（教育）

【会計】一般会計

基本施策 3 生涯学習

9 款：教育費 5 項：社会教育費 3 目：公民館費

施策 1 市民の生涯学習を推進します

事業	8-13	公民館活動事業
担当所属	中央公民館、和田公民館、弥富公民館、根郷公民館、志津公民館、臼井公民館	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	（財源内訳）				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
3,625,000	2,855,259	2,807,759				47,500

【決算額の節別内訳】（円）

01	報酬	175,800	07	報償費	1,704,000
08	旅費	13,394	10	需用費	421,676
11	役務費	540,389			

【実施計画の概要】

事業の内容	・ 公民館の主催事業における、家庭教育、青少年教育、成人教育、高齢者教育、団体育成、広報・展示、相談の各種事業、図書の貸出業務及び公民館運営審議会の庶務を行います。
事業の目的	・ 多様化・高度化する市民の学習ニーズに対し、幅広い年齢各層に学習機会の提供を行い、歴史のまち佐倉の生活・文化の向上と市民の連帯意識を高めるため、社会教育活動の中心施設として、生涯学習の推進を図ります。
事業の効果	・ 市民にとっては、公民館事業へ参加することにより地域に対する関心が高まります。その結果、地域住民が「集い」「学び」「むすぶ」ことの目的を実現していくための住民相互のネットワークを図ることができます。

【事業の概要】

- ・ 新型コロナウイルス対策をしながら、以下の各事業を実施しました。
- ・ 家庭教育に関する事業を 24 回開催しました。
- ・ 青少年教育に関する事業を 107 回開催しました。
- ・ 成人教育に関する事業を 89 回開催しました。
- ・ 高齢者教育に関する事業を 16 回開催しました。
- ・ 団体育成に関する事業を開催しました。
- ・ 広報・展示活動を行いました。
- ・ 図書貸出事業を行いました。
- ・ 公民館運営審議会に関する庶務を行いました。

【活動指標・成果指標 中央公民館】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
公民館講座数	9 講座	10 講座	5 講座
佐倉学事業実施回数	2 回	2 回	3 回
家庭教育事業実施回数	4 回	4 回	—
青少年教育事業実施回数	8 回	9 回	3 回
成人教育事業実施回数	1 回	3 回	1 回
佐倉学事業参加者数	34 人	7 人	—
家庭教育事業参加者数	99 人	76 人	—
青少年教育事業参加者数	113 人	118 人	21 人
成人教育事業参加者数	27 人	40 人	22 人

【活動指標・成果指標 和田公民館】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
公民館講座数	10 講座	15 講座	9 講座
佐倉学事業実施回数	5 回	5 回	4 回
家庭教育事業実施回数	1 回	1 回	1 回
青少年教育事業実施回数	42 回	31 回	30 回
成人教育事業実施回数	12 回	14 回	12 回
佐倉学事業参加者数	41 人	54 人	25 人
家庭教育事業参加者数	4 人	12 人	16 人
青少年教育事業参加者数	703 人	628 人	524 人
成人教育事業参加者数	227 人	575 人	534 人

【活動指標・成果指標 弥富公民館】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
公民館講座数	13 講座	8 講座	8 講座
佐倉学事業実施回数	44 回	36 回	31 回
家庭教育事業実施回数	3 回	1 回	—
青少年教育事業実施回数	43 回	36 回	28 回
成人教育事業実施回数	16 回	6 回	10 回
佐倉学事業参加者数	475 人	343 人	259 人
家庭教育事業参加者数	32 人	20 人	—
青少年教育事業参加者数	486 人	297 人	204 人
成人教育事業参加者数	139 人	132 人	124 人

【活動指標・成果指標 根郷公民館】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
公民館講座数	22 講座	14 講座	4 講座
佐倉学事業実施回数	6 回	3 回	—
家庭教育事業実施回数	13 回	13 回	1 回
青少年教育事業実施回数	4 回	2 回	—
成人教育事業実施回数	15 回	6 回	3 回
高齢者教育事業実施回数	16 回	9 回	1 回
佐倉学事業参加者数	102 人	51 人	—
家庭教育事業参加者数	111 人	100 人	14 人
青少年教育事業参加者数	57 人	27 人	—
成人教育事業参加者数	294 人	83 人	62 人
高齢者教育事業参加者数	502 人	232 人	15 人

【活動指標・成果指標 志津公民館】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
公民館講座数	14 講座	14 講座	10 講座
佐倉学事業実施回数	12 回	14 回	11 回
家庭教育事業実施回数	1 回	1 回	—
青少年教育事業実施回数	6 回	6 回	4 回
成人教育事業実施回数	43 回	29 回	13 回
佐倉学事業参加者数	101 人	171 人	137 人
家庭教育事業参加者数	10 人	2 人	—
青少年教育事業参加者数	220 人	173 人	179 人
成人教育事業参加者数	917 人	570 人	141 人

【活動指標・成果指標 臼井公民館】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
公民館講座数	8 講座	5 講座	3 講座
佐倉学事業実施回数	3 回	3 回	2 回
家庭教育事業実施回数	2 回	3 回	—
青少年教育事業実施回数	4 回	2 回	1 回
成人教育事業実施回数	2 回	1 回	—
佐倉学事業参加者数	102 人	75 人	50 人
家庭教育事業参加者数	74 人	149 人	—
青少年教育事業参加者数	61 人	15 人	6 人
成人教育事業参加者数	27 人	20 人	—

9 款 5 項 3 目

第 4 章 豊かな心を育み 笑顔あふれるまち（教育）

【会計】一般会計

基本施策 3 生涯学習

9 款：教育費 5 項：社会教育費 3 目：公民館費

施策 1 市民の生涯学習を推進します

事業	14	市民カレッジ活動事業
担当所属	中央公民館	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
8,300,000	6,912,283	5,032,283	0	0	0	1,880,000

【決算額の節別内訳】（円）

01	報酬	4,896,000	07	報償費	1,579,210
08	旅費	150,408	10	需用費	215,457
11	役務費	71,208			

【実施計画の概要】

事業の内容	・ 高齢社会のなかで、市民が健康で生きがいをもち、地域と連携をもちながら、住みよいまちづくりを考え実践を通した生涯学習の場として、各種講座を開催します。
事業の目的	・ 市民が健康で生きがいを持ちながら郷土愛を育み、地域の中で連帯を持ちながら住みよいまちづくりを考え行動していく主役として、共に学び行動する仲間づくりと、生涯を通した学習活動、学習の成果を活用した地域活動を支援します。
事業の効果	・ 地域住民が「集い」「学び」「むすぶ」ことにより、仲間づくりと地域人材の育成を図ることができます。

【事業の概要】

- ・ 新型コロナウイルス対策をしながら規模を縮小し開講し、文化祭などコロナ対策をした上で開催できる催しについては実施しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
市民カレッジにおける学習実施回数	244 回	215 回	—
市民カレッジ参加者数	5,845 人	5,948 人	—

9 款 5 項 3 目

第 4 章 豊かな心を育み 笑顔あふれるまち（教育）

【会計】一般会計

基本施策 3 生涯学習

9 款：教育費 5 項：社会教育費 3 目：公民館費

施策 1 市民の生涯学習を推進します

事業	19	シニア世代デジタル講座事業
担当所属	中央公民館	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
133,000	126,720	6,592	120,128	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

07	報償費	126,720			
----	-----	---------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・ 60 歳以上の市民を対象に、市の情報受信に有効な L I N E と、今後も活用の拡充が見込まれるキャッシュレス決済などについて学ぶ講座を市内 6 地区の各公民館で実施し、高齢者の I C T 活用支援を図ります。
事業の目的	・ 高齢者の I C T 活用能力を高める機会をつくりだします。
事業の効果	・ 高齢者の I C T 活用能力を高める機会をつくりだし、I C T 活用促進を図ります。

【事業の概要】（※新型コロナ対策）

- ・ 全 12 回実施し 計 87 人の参加がありました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
参加人数	87 人	—	—
実施館数	6 館	—	—

9 款 5 項 3 目

第 4 章 豊かな心を育み 笑顔あふれるまち（教育）

【会計】一般会計

基本施策 3 生涯学習

9 款：教育費 5 項：社会教育費 3 目：公民館費

施策 2 生涯学習の環境を整備します

事業	20	根郷公民館コロナ対策施設改修事業
担当所属	根郷公民館	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
1,278,000	1,277,650	66,461	1,211,189	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

14	工事請負費	1,277,650			
----	-------	-----------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・ 現在設置されている集会室等の窓鍵の調整と調理室等の網戸の設置を行います。
事業の目的	・ 新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る窓換気を行うために実施します。
事業の効果	・ 貸部屋の窓鍵の開閉がスムーズになることや網戸の設置により、適切な窓換気が可能となり、安全で快適な学習活動の場を提供することができます。

【事業の概要】（※新型コロナ対策）

- ・ 集会室等の窓鍵の調整と、網戸の設置を行いました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
窓の鍵・網戸改修件数	窓の鍵 19 ケ所 網戸 29 ケ所	—	—

9 款 5 項 4 目

【会計】一般会計

9 款：教育費 5 項：社会教育費 4 目：図書館費

事業	2	図書館一般事務費
担当所属	佐倉図書館	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
86,217,000	80,768,613	80,768,613	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

01	報酬	50,127,519	03	職員手当等	9,846,282
04	共済費	5,795,024	08	旅費	955,483
10	需用費	302,005	12	委託料	13,681,800
18	負担金補助及び交付金	60,500			

【実施計画の概要】

事業の内容	・全館の図書館サービスに共通な事務・契約を行い適切な図書館業務を維持します。 ・利用者から求められた資料の貸出・返却業務を行います。 ・資料を正確・迅速に提供するため配架および棚整理業務を行います。 ・図書館間の資料の搬送業務、未返却資料の督促業務を行います。 ・夜間及び祝日の開館業務を行います。 ・図書館協議会を開催します。 ・各地域及び学校等へ移動図書館車の巡回を行います。
事業の目的	・市民が利用しやすい図書館サービスの提供を行います。また、全館の図書館サービスに共通する事務の契約を行うことにより、円滑な図書館業務を遂行します。
事業の効果	・利用者からの資料等の要求に対して、迅速かつ適切に対応します。 ・全館に共通する事業を一本化することで事務の効率化が図られます。

【事業の概要】

- ・全館の図書館サービスに共通する事務・契約を行い、図書館業務を適正に行いました。年間における個人貸出点数、1,119,321 点、貸出者数は 305,461 人、そのうち、17 時以降の貸出者数は 33,265 人でした。（なお、佐倉図書館及び移動図書館は移転および新システム導入準備のため 2 月 1 日から 3 月 3 日まで休館、その他、図書館及び関連施設は新システム導入準備のため 2 月 13 日から 2 月 28 日まで休館しました。）
- ・資料の貸出・返却業務並びに資料を正確・迅速に提供するため、配架及び棚整理業務を行いました。
- ・利用者へ円滑な資料提供をするため、市内図書館等 7 施設間の図書等搬送業務を行いました。
- ・月曜日等の祝日開館業務は、15 日開館し、貸出冊数、49,786 冊、貸出者数 13,225 人でした。
- ・図書館協議会は 2 回、開催しました。
- ・移動図書館車は週 2 回、市内 10 ステーションについて延べ 197 回、巡回しました。

【活動指標・成果指標】

〔貸出点数〕

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
佐倉図書館	118,487 点	127,195 点	108,320 点
志津図書館	394,154 点	419,857 点	363,253 点
佐倉南図書館	320,361 点	342,522 点	283,294 点
臼井公民館図書館室	142,523 点	146,589 点	118,655 点
志津図書館分館	80,647 点	80,473 点	66,641 点
根郷公民館	1,668 点	1,795 点	1,073 点
和田公民館	44 点	140 点	74 点
北志津児童センター	49,721 点	52,283 点	37,545 点
男女平等参画推進センター	5,692 点	5,844 点	5,499 点
移動図書館	6,024 点	7,180 点	5,063 点
合計	1,119,321 点	1,183,878 点	989,417 点
内、予約による貸出	241,898 点	251,688 点	220,690 点
内、インターネット予約貸出	182,303 点	191,153 点	165,129 点

〔貸出者数〕

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
佐倉図書館	35,328 人	37,312 人	31,118 人
志津図書館	100,076 人	105,599 人	91,174 人
佐倉南図書館	77,290 人	80,766 人	64,051 人
臼井公民館図書館室	45,729 人	46,477 人	36,857 人
志津図書館分館	27,185 人	27,020 人	21,681 人
根郷公民館	679 人	655 人	380 人
和田公民館	29 人	52 人	19 人
北志津児童センター	14,938 人	15,719 人	11,512 人
男女平等参画推進センター	2,837 人	2,778 人	2,498 人
移動図書館	1,370 人	1,638 人	1,128 人
合計	305,461 人	318,016 人	260,418 人

9 款 5 項 4 目

【会計】一般会計

9 款：教育費 5 項：社会教育費 4 目：図書館費

事業	3-5	図書館管理運営事業
担当所属	佐倉図書館、志津図書館、佐倉南図書館	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
21,446,000	19,098,577	18,994,907	0	0	0	103,670

【決算額の節別内訳】（円）

08	旅費	31,016	10	需用費	10,526,299
11	役務費	984,378	12	委託料	7,121,912
13	使用料及び賃借料	434,972			

【実施計画の概要】

事業の内容	・利用者が快適な環境で図書館を利用できるよう施設の維持管理を行います。
事業の目的	・施設の維持管理を行い、利用者が快適な環境で図書館を利用することができるようにします。
事業の効果	・利用者に快適な環境での図書館サービスを行うことで、住民の教養と文化の向上に寄与します。

【事業の概要】

- ・図書及び視聴覚資料の貸出・返却及び図書館資料の適切な収集・保存に努め、市民の多様なニーズに対応しました。
- ・機械警備、設備の定期的な保守点検を行うとともに必要な修繕(トイレ洗面台等修繕、庭園灯修繕、換気扇修繕等)を行い、安全な施設維持管理に努めました。
- ・敷地内の清掃、樹木等管理を行い、快適な環境維持に努めました。

※なお、旧佐倉図書館は建替え移転のため、1 月末で閉館しました。また、志津図書館及び佐倉南図書館は新システム導入準備のため 2 月 13 日から 2 月 28 日まで休館しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
佐倉図書館の開館日数	269 日	296 日	254 日
志津図書館の開館日数	282 日	293 日	254 日
佐倉南図書館の開館日数	283 日	294 日	253 日
志津図書館入館者数	223,810 人	208,090 人	171,904 人
佐倉南図書館入館者数	154,040 人	155,064 人	115,369 人

9 款 5 項 4 目

第 4 章 豊かな心を育み 笑顔あふれるまち（教育）

【会計】一般会計

基本施策 3 生涯学習

9 款：教育費 5 項：社会教育費 4 目：図書館費

施策 2 生涯学習の環境を整備します

事業	7	図書資料購入事業
担当所属	佐倉図書館	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
35,261,000	35,241,514	35,241,514	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

17	備品購入費	35,241,514			
----	-------	------------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・ 図書館資料の充実を図るとともに円滑な資料提供のため、図書資料の選書、収集、整理、保存、蔵書点検、資料移管、除籍等の蔵書管理を行います。
事業の目的	・ 市民の趣味、教養、健康など自己の生きがいがづくりや生涯学習を支援する環境を充実させるため図書の選書、収集、蔵書管理を行います。
事業の効果	・ 市民から要望のある資料、また社会情勢に適した資料の選書、収集を行うことで、市民の生きがいがづくりや生涯学習の振興に寄与します。

【事業の概要】

- ・ 市民の生涯学習環境の充実を図るため、図書館資料の収集及び蔵書管理を行いました。
 - ・ 未所蔵資料のリクエスト受付件数 14,090 件については、購入のほか、千葉県立図書館や県内の他市町村の図書館からの提供（相互協力 4,995 点）を受けました。
 - ・ 毎週刊行の資料やリクエスト等の状況を把握し、資料を適切に選定し購入しました。
- ※北志津児童センターの図書購入費は「北志津児童センター指定管理者業務委託料」（民生費児童福祉費）より、また、男女平等参画推進センターの図書購入費は「男女平等参画推進センター指定管理者業務委託料」（総務費総務管理費）より、支出しています。

【活動指標・成果指標】

〔図書購入冊数〕

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
佐倉図書館	6,339 冊	2,970 冊	3,271 冊
志津図書館	7,633 冊	7,848 冊	8,506 冊
佐倉南図書館	5,841 冊	5,666 冊	6,116 冊
臼井公民館図書室	1,803 冊	1,824 冊	2,035 冊
志津図書館分館	926 冊	954 冊	1,348 冊
北志津児童センター	212 冊	232 冊	632 冊
移動図書館	887 冊	1,022 冊	1,065 冊
男女平等参画推進センター	57 冊	55 冊	64 冊
合計	23,698 冊	20,571 冊	23,037 冊

〔視聴覚資料購入点数〕

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
佐倉図書館	103 点	—	—
志津図書館	41 点	40 点	71 点
佐倉南図書館	22 点	34 点	43 点
合計	166 点	74 点	114 点

〔図書蔵書冊数〕

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
佐倉図書館	105,985 冊	105,996 冊	104,921 冊
志津図書館	282,515 冊	281,449 冊	279,018 冊
佐倉南図書館	207,088 冊	206,368 冊	204,450 冊
臼井公民館図書室	46,412 冊	46,219 冊	45,244 冊
志津図書館分館	29,307 冊	29,413 冊	28,637 冊
北志津児童センター	15,526 冊	15,369 冊	15,198 冊
移動図書館	51,170 冊	51,379 冊	53,013 冊
男女平等参画推進センター	2,202 冊	2,145 冊	2,090 冊
合計	740,205 冊	738,338 冊	732,571 冊

〔視聴覚資料蔵書点数〕

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
佐倉図書館	103 点	—	—
志津図書館	9,756 点	10,374 点	10,459 点
佐倉南図書館	8,315 点	8,242 点	8,159 点
北志津児童センター	118 点	118 点	118 点
男女平等参画推進センター	—	57 点	60 点
合計	18,292 点	18,791 点	18,796 点

9 款 5 項 4 目

第 4 章 豊かな心を育み 笑顔あふれるまち（教育）

【会計】一般会計

基本施策 3 生涯学習

9 款：教育費 5 項：社会教育費 4 目：図書館費

施策 2 生涯学習の環境を整備します

事業	11	佐倉南図書館改修事業
担当所属	佐倉南図書館	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
12,292,000	12,291,400	12,291,400	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

12	委託料	12,291,400			
----	-----	------------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・社会教育施設の維持管理・環境整備を計画的に推進します。
事業の目的	・空調機器等については ESCO 事業による管理を行います。
事業の効果	・利用者が、安心・安全かつ快適な環境で利用できます。

【事業の概要】

- ・空調機器等について ESCO 事業による保守管理事業の委託を行いました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
電気使用量	201,824kwh	194,499kwh	204,799kwh
ガス使用量	34 m ³	52 m ³	13,497 m ³
水道使用量	1,139 m ³	965 m ³	2,287 m ³

9 款 5 項 4 目

第 4 章 豊かな心を育み 笑顔あふれるまち（教育）

【会計】一般会計

基本施策 3 生涯学習

9 款：教育費 5 項：社会教育費 4 目：図書館費

施策 2 生涯学習の環境を整備します

事業	12	夢咲くら館管理運営事業
担当所属	佐倉図書館	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	（財源内訳）				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
26,753,000	20,979,229	12,100,736	0	0	0	8,878,493

【決算額の節別内訳】（円）

10	需用費	7,354,566	11	役務費	144,968
12	委託料	3,724,303	13	使用料及び賃借料	15,678
17	備品購入費	9,739,714			

【実施計画の概要】

事業の内容	・夢咲くら館の施設維持管理及び図書館運営を行います。
事業の目的	・施設の維持管理を行い、利用者が快適な環境で図書館を利用することができるようにします。
事業の効果	・利用者に快適な環境でのサービスを行うことで、住民の教養と文化の向上に寄与します。

【事業の概要】

- ・開館準備に必要な消耗品及び図書資料、視聴覚資料を購入しました。
- ・施設管理に必要な特定建築物、自動ドア、エレベーター等の各種機器保守点検や清掃、機械警備等を委託しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
入館者数	22,681 人	—	—
開館日数	23 日	—	—

※令和 5 年 3 月 4 日開館後の数値になります。

9 款 5 項 5 目

【会計】一般会計

9 款：教育費 5 項：社会教育費 5 目：音楽ホール費

事業	2	市民音楽ホール一般事務費
担当所属		市民音楽ホール

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
44,540,000	38,283,102	31,341,041	0	0	0	6,942,061

【決算額の節別内訳】（円）

08	旅費	4,400	10	需用費	21,165,727
11	役務費	348,265	12	委託料	14,189,549
13	使用料及び賃借料	946,788	15	原材料費	59,290
17	備品購入費	1,535,083	18	負担金補助及び交付金	34,000

【実施計画の概要】

事業の内容	・ 市民音楽ホールの施設・設備の点検及び修繕を実施し、適正な機能維持に努めます。
事業の目的	・ 安全で快適な芸術文化活動環境を市民に提供していきます。
事業の効果	・ 良好な環境を提供することにより、市民の芸術文化活動を支援します。

【事業の概要】

- ・ 音楽活動を中心とした発表の場としてご利用頂くため、ホール及び備品の貸出しを行いました。
- ・ 施設及び設備を安全かつ良好な状態で維持するため、外部委託による保守点検及び施設維持管理業務を実施しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
利用件数（ホール）	144 件	93 件	44 件

9 款 5 項 5 目

第 3 章 地域の資源を活かした活力と賑わいのあるまち（産業・観光・文化）

【会計】一般会計

基本施策 4 文化・芸術振興

9 款：教育費 5 項：社会教育費 5 目：音楽ホール費 施策 2 芸術文化の普及を推進します

事業	3	市民音楽ホール自主文化事業
担当所属		市民音楽ホール

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
2,165,000	1,159,930	1,159,930	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

07	報償費	13,200	10	需用費	392,331
11	役務費	651,142	12	委託料	35,640
13	使用料及び賃借料	67,617			

【実施計画の概要】

事業の内容	・クラシック音楽を中心に世界一流の演奏家や日本を代表する演奏家などを招聘し、年間を通してオーケストラ、室内楽、ピアノ、声楽など様々な公演を提供します。 ・市民音楽団体の支援、音楽関係公演の共催、市民参加による各種フェスティバルなどを実施します。
事業の目的	・ホールの特性を生かしながら様々な音楽事業を提供することで、潤いのある心豊かな市民生活及び活力ある地域社会の実現を図ります。
事業の効果	・音楽芸術に接する機会や、音楽活動に参加する機会を提供することにより、市民生活にゆとりや潤いを提供できるとともに、市民音楽活動の活性化を図ることができます。

【事業の概要】

- ・鑑賞部門 4 本及び共催部門 14 本、講座部門 1 本、参加部門 4 本の計 23 本の事業を実施しました。
- ・参加部門の事業「コンサートグランドピアノ 3 台を弾いてみよう！」について、音楽に親しむ機会を若い世代に提供することを目的に、25 歳以下の市民を対象として夏休みに実施しました。

●鑑賞部門 4 本

（単位：人、円）

事業	入場者数	基金受入	基金払出	収支
6/26 金子三勇士ピアノ・リサイタル	294	1,019,900	550,000	469,900
11/27 辻彩奈ヴァイオリン・リサイタル	148	513,600	660,000	△146,400
12/18 大萩康司ギター・リサイタル	123	366,000	443,000	△77,000
1/22 三浦文彰ヴァイオリン・リサイタル	453	1,794,470	935,000	859,470
計	1,018	3,693,970	2,588,000	1,105,970

●参加部門 4 本

(単位：人)

事 業	入場者数
5/14 コンサートグランドピアノ 3 台を弾いてみよう！ ～スタインウェイ、ベーゼンドルファー、ヤマハ～	10
8/26,27 コンサートグランドピアノ 3 台を弾いてみよう！～U-25～ ～スタインウェイ、ベーゼンドルファー、ヤマハ～	37
2/3,4 コンサートグランドピアノ 3 台を弾いてみよう！ ～スタインウェイ、ベーゼンドルファー、ヤマハ～	27
3/10,11 コンサートグランドピアノ 3 台を弾いてみよう！ ～スタインウェイ、ベーゼンドルファー、ヤマハ～	38
計	112

●講座部門 1 本

(単位：人)

事 業	入場者数
8/4 バックステージツアー（臼井公民館と共催）	7
計	7

●共催部門 14 本

(単位：人)

事 業	入場者数
5/15 佐倉ジュニア合唱団 第 10 回定期演奏会	264
6/5 第 34 回佐倉シティーブラスファミリーコンサート	100
7/10 第 46 回さくら合唱のつどい	240
7/18 公益財団法人 千葉県文化振興財団 うみのひファミリーコンサート 邦楽四重奏団 i n 佐倉	240
9/25 第 25 回佐倉シティーブラス小さな秋のコンサート	250
11/13 佐倉男声合唱団 創立 45 周年記念演奏会	518
11/26 臼井たんぽぽ幼稚園 おゆうぎ会	860
12/9 たんぽぽ幼稚園 おゆうぎ会	800
12/10 おひさま保育園 発表会	561
12/11 佐倉フィルハーモニー管弦楽団 第 72 回定期演奏会	394
12/25 千葉県立佐倉高等学校吹奏楽部 第 14 回ウィンターコンサート	300
2/12 千葉県立佐倉高等学校・千葉市立千葉高等学校吹奏楽部 ジョイントコンサート	300
2/19 佐倉シャルマン・ウインド・オーケストラ第 29 回定期演奏会	450
3/25 千葉県立佐倉高等学校音楽部 第 13 回定期演奏会	136
計	5,413

【実績等の推移】過去3年間の基金受入・払出

●事業基金受入

(単位：千円)

令和04年度	令和03年度	令和02年度
3,694	2,264	7,119

●事業基金払出

(単位：千円)

令和04年度	令和03年度	令和02年度
2,588	2,766	9,171

【活動指標・成果指標】

指標名	令和04年度	令和03年度	令和02年度
主催公演（鑑賞部門）の実施本数	4本	4本	6本
自主文化事業の入場者数	6,550人	3,265人	2,498人

事業	4	学校巡回音楽会・教室事業
担当所属		市民音楽ホール

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
1,440,000	1,387,704	1,387,704	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

07	報償費	369,600	10	需用費	21,704
13	使用料及び賃借料	4,400	18	負担金補助及び交付金	992,000

【実施計画の概要】

事業の内容	・毎年、小中学校を対象にオーケストラなどの質の高い演奏会を提供します。 ・少年少女合唱教室及び少年少女ハンドベル教室を開催します。
事業の目的	・音楽に接することを通して、児童及び生徒の豊かな情操を養います。
事業の効果	・児童・生徒に質の高い音楽鑑賞の機会や実際に音楽活動に参加する機会を提供することで、子どもたちの豊かな感情や情緒を育むことができます。

【事業の概要】

- ・千葉交響楽団による学校巡回音楽会 2 公演を臼井中学校への出前公演により実施しました。
- ・音楽活動に参加する機会を提供するため、少年少女ハンドベル教室を開催し、定期的に練習を実施するとともに保護者向けのコンサートを開催しました。
- ・少年少女合唱教室は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、活動を休止しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
学校巡回音楽会の実施本数	2 本	0 本	0 本
学校巡回音楽会、ハンドベル教室及び少年少女合唱教室の参加者数	660 人	370 人	143 人

9 款 5 項 6 目

【会計】一般会計

9 款：教育費 5 項：社会教育費 6 目：美術館費

事業	2	美術館一般管理費
担当所属	美術館	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
32,896,000	31,581,087	29,098,014	0	0	0	2,483,073

【決算額の節別内訳】（円）

01	報酬	5,545,930	08	旅費	279,917
10	需用費	21,681,276	11	役務費	490,320
12	委託料	3,174,600	13	使用料及び賃借料	172,465
17	備品購入費	161,579	18	負担金補助及び交付金	75,000

【実施計画の概要】

事業の内容	・市民の創作活動等の発表の場を提供するとともに、来館者が安全かつ快適に館内で過ごせるように施設を維持管理します。
事業の目的	・美術館の適正な管理運営により、利用者が美術に親しむことができ、憩いの場となる空間を提供します。
事業の効果	・施設の機能を維持管理することにより、一般来館者や市民ギャラリー及びホール利用者が安全かつ快適に館内で過ごし、また展覧会などの催しを行うことができます。

【事業の概要】

- ・経常的な運営（機器保守点検及び施設管理等の委託、その他の美術館運営業務等）により施設を良好な状態に保ち、市民が芸術文化に親しめる場を提供しました。
- ・開館以来交換されていなかった排水槽ポンプを交換し、ポンプ停止を原因とする排水不良と浸水を未然に防ぎました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
開館日数	306 日	304 日	254 日
ホール利用件数	72 件	26 件	46 件
市民ギャラリー入場者数	31,434 人	16,079 人	2,929 人
市民ギャラリー利用率	67%	53%	16%

事業	5	美術館収蔵作品展事業
担当所属		美術館

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
1,002,000	978,100	978,100	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

10	需用費	274,298	11	役務費	63,822
12	委託料	639,980			

【実施計画の概要】

事業の内容	・市民の財産としてのコレクションを公開するとともに、佐倉の美術史を紹介します。 ・収蔵作品を中心とした郷土ゆかりの作家展を開催します。
事業の目的	・収蔵作品を中心とした郷土ゆかりの作家展を開催し、郷土ゆかりの作家がどのように創作活動を展開し、美術史の中でどのような役割を果たしてきたのかを周知します。
事業の効果	・郷土ゆかりの作家の紹介により、佐倉・房総の郷土への関心を高め心豊かな市民生活の営みに寄与するとともに、来館者数の増加を図ります。

【事業の概要】

- ・新収蔵作品を中心として 会期 R4 4/5～5/22 入場者数 2,454 人
- ・香取正彦の仏具と佐倉の工芸 会期 R4 5/28～7/18 入場者数 2,993 人
- ・サクラ×佐倉 会期 R5 1/28～3/21 入場者数 2,939 人

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
収蔵作品展実施回数	3 回	3 回	2 回
収蔵作品展入場者数	8,386 人	5,556 人	3,589 人
来場者アンケートによる収蔵作品展満足度	87%	89%	93%

事業	6	美術館企画展事業
担当所属	美術館	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
16,811,000	16,395,041	10,045,721	0	0	0	6,349,320

【決算額の節別内訳】（円）

01	報酬	3,604,590	07	報償費	150,000
08	旅費	201,824	10	需用費	3,513,246
11	役務費	2,541,019	12	委託料	6,384,362

【実施計画の概要】

事業の内容	・国内外の優れた作品を紹介するとともに、佐倉の美術史を明らかにする展覧会を実施します。 ・財政状況が厳しい中、海外の美術を紹介するような規模の大きな展覧会を開催することが困難になっています。
事業の目的	・市民の美術に関する知識及び教養の向上を図り、芸術文化の振興に寄与します。
事業の効果	・幅広い分野の展覧会を開催し、来館者の増加を図ります。 ・様々な芸術文化に触れることで、個性ある創造的な人づくり・まちづくりに貢献します。

【事業の概要】

- ・安西水丸展 会期 R4 8/6-9/25 入場者 7,151 人
- ・清原啓子展 会期 R4 11/1-12/18 入場者 1,971 人
- ・歳入 美術館観覧料 4,919,580 円
書籍等売払い収入 1,430,740 円

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
企画展実施回数	2 回	2 回	3 回
企画展入場者数	9,122 人	10,624 人	6,184 人
1 日平均企画展入場者数	106 人	116 人	44 人
来場者アンケートによる企画展満足度	97%	97%	94%

事業	8	美術館施設改修事業
担当所属	美術館	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
20,966,000	20,746,000	20,746,000	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

12	委託料	19,690,000	14	工事請負費	1,056,000
----	-----	------------	----	-------	-----------

【実施計画の概要】

事業の内容	・市立美術館として芸術文化の振興に寄与する施設のあり方を検討しながら、ESCO 事業の運用により、省エネルギー化及び安定した温湿度管理を図ります。また、老朽化した設備の改修を優先順位をつけて実施します。
事業の目的	・ESCO 事業による空調設備の管理を行うとともに、開館から四半世紀を経て老朽化した施設の管理修理を適切に行います。
事業の効果	・美術館施設の恒常的な施設機能を維持し、美術館利用者が年間を通して快適に施設を利用できるようになります。

【事業の概要】

- ・ESCO 事業による空調設備の管理を行っていることで、燃料価格の高騰による光熱水費の影響を少なく抑えることができました。
- ・「無線設備のスプリアス発射の強度の許容値に係る技術基準」の新基準に対応したホール用ワイヤレスマイクを購入し、法令順守の施設管理を行いました。
- ・トラックヤード排気ファンの修繕を行い、施設の安全性を高めました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
修繕・工事	1 式	1 式	1 式
光熱水費実額	19,307 千円	13,476 千円	12,023 千円
施設及び設備の不具合に起因する展示会中止件数	0 件	0 件	0 件

9 款 5 項 6 目

第 3 章 地域の資源を活かした活力と賑わいのあるまち（産業・観光・文化）

【会計】一般会計

基本施策 4 文化・芸術振興

9 款：教育費 5 項：社会教育費 6 目：美術館費 施策 2 芸術文化の普及を推進します

事業	9	美術館施設改修事業（コロナ対策分）
担当所属		美術館

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
1,953,000	1,944,676	101,158	1,843,518	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

14	工事請負費	1,844,686	17	備品購入費	99,990
----	-------	-----------	----	-------	--------

【実施計画の概要】

事業の内容	・オンライン環境を整備します。 ・1 階ステンレス建具を改修します。 ・消毒が容易なオムツ交換台を設置します。
事業の目的	・新型コロナウイルス感染症の拡大により、対面からオンライン化など、形態の変更を余儀なくされた事業に対応します。 ・新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図るため、既存施設をより有効に活用します。
事業の効果	・学校と美術館を安定的にオンラインでつないだり、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図った教育普及活動を行うことができるようになります。 ・新型コロナウイルス感染症の拡大防止に配慮した施設運営、人流の導線の確保や子育て支援をすることができます。

【事業の概要】（※新型コロナ対策）

- ・無線 LAN のアクセスポイントを増設する工事を行い、3 階で LAN が使用できるようになりました。
- ・高さが 3 メートルあった 1 階ステンレス建具を 2 メートル程度に改修し、出入りを容易にすることで、エントランスから中庭に抜ける導線を確保しました。
- ・消毒が容易な素材のオムツ交換台を設置することで、感染症拡大の防止を図りました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
改修事業件数	3 件	—	—
クラスターの発生件数	0 件	—	—

事業	3	学校通学路安全確保事業
担当所属	学務課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	（財源内訳）				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
10,896,000	10,687,789	10,687,789	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

10	需用費	899,989	12	委託料	9,787,800
----	-----	---------	----	-----	-----------

【実施計画の概要】

事業の内容	・登下校時の通学路及び学校敷地内の巡回警備（通学路巡回警備）を行います。 ・スクールガードボランティア活動（アイアイプロジェクト）を行います。活動に当たっては、ベスト、腕章、横断旗等を配付します。また、スクールガードフォーラム及びスクールガード情報交換会を開催します。
事業の目的	・登下校時の通学路及び学校敷地内の巡回警備を行い、児童・生徒の安全・安心を確保します。 ・アイアイプロジェクトでは、児童・生徒の安全を確保するとともに学校と地域の交流を図ります。
事業の効果	・登下校時の通学路及び学校敷地内の巡回警備を行い、交通事故や不審者等から児童・生徒を守ります。 ・アイアイプロジェクト活動を推進し、スクールガードボランティアとともに児童・生徒の安全・安心を確保するとともに、学校を核とした地域コミュニティが形成されます。

【事業の概要】

- ・市内 5 地区の巡回警備（安全指導・見守り・声掛け等）は、年間で 199 日（授業日）実施しました。
- ・学校敷地内の巡視による異常の報告はありませんでした。
- ・不審者情報等による重点警備の依頼は 15 件行いました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
スクールガードフォーラム参加者数	0 人	0 人	0 人
通学路巡回警備実施回数	199 回	199 回	201 回
スクールガードボランティア参加者数	9,750 人	10,017 人	10,355 人
不審者情報数	15 件	18 件	44 件

9 款 6 項 1 目

第 4 章 豊かな心を育み 笑顔あふれるまち（教育）

【会計】一般会計

基本施策 5 スポーツ振興

9 款：教育費 6 項：保健体育費 1 目：保健体育総務費

施策 2 スポーツ施設を提供します

事業	4	学校スポーツ開放推進事業
担当所属		社会教育課

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	（財源内訳）				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
16,563,000	16,025,380	16,025,380	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

01	報酬	13,403,610	08	旅費	106,660
10	需用費	2,413,580	17	備品購入費	101,530

【実施計画の概要】

事業の内容	・小中学校の体育館ならびに小学校の校庭を開放します。（スポーツ開放） ・小学校の校庭を開放します。（遊び場開放）
事業の目的	・小中学校の校庭と体育館を、学校教育に支障のない範囲で、市民のスポーツ及びレクリエーション、学習その他公共活動の場として開放することにより、市民の健康増進、情操の涵養及び教養の向上を図ります。
事業の効果	・学校開放を推進することにより、市民の学校に対する愛着や、親しみ、理解がさらに深められます。また、市民の健康増進や教育の向上につながります。

【事業の概要】

- ・学校教育に支障のない範囲で、新型コロナウイルス感染拡大予防に配慮したうえで、学校のスポーツ施設等を開放しました。
- ・小学校の校庭に、管理指導員を設置するとともに、施設の維持管理を行いました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
学校開放を行う学校数	34 校	34 校	34 校
学校開放利用者数	772,002 人	617,186 人	397,123 人
学校開放利用団体数	387 団体	372 団体	366 団体

9 款 6 項 1 目

第 4 章 豊かな心を育み 笑顔あふれるまち（教育）

【会計】一般会計

基本施策 2 教育環境

9 款：教育費 6 項：保健体育費 1 目：保健体育総務費

施策 1 良好な学習環境を整備します

事業	13	感染症対策支援事業
担当所属	指導課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
14,473,000	14,466,057	7,270,057	7,196,000	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

10	需用費	14,466,057			
----	-----	------------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・新型コロナウイルス感染症がまん延し、今後も引き続き感染症対策を実施する必要性が生じ、関係する消耗品類の購入を行います。
事業の目的	・新型コロナウイルス感染症対策に必要な消耗品を購入することにより、児童生徒の感染を抑え、安全で衛生的な教育施設を維持し、教育活動を継続して実施することを目的とします。
事業の効果	・安全で衛生的な教育施設を維持することで、教育施設で児童生徒への新型コロナウイルス感染症感染を防ぐことができ、継続した教育を実施することができます。

【事業の概要】（※新型コロナ対策）

- ・小中学校に新型コロナウイルス感染症対策に必要な消耗品を購入し、配布しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
感染症対策物品の整備校数	34 校	34 校	34 校
円滑な教育活動を実施できた学校数	34 校	34 校	34 校

9 款 6 項 1 目

第 4 章 豊かな心を育み 笑顔あふれるまち（教育）

【会計】一般会計

基本施策 2 教育環境

9 款：教育費 6 項：保健体育費 1 目：保健体育総務費

施策 1 良好な学習環境を整備します

事業	14	抗原検査キット等配布事業（幼稚園分）
担当所属	指導課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	（財源内訳）				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
98,000	76,691	2,013	36,678	38,000	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

10	需用費	76,691			
----	-----	--------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・新型コロナウイルス感染症の感染拡大を未然に防ぐため、抗原検査キットを購入します。
事業の目的	・新型コロナウイルス感染症による休園などがなく、子どもたちの学習機会が安定して継続できる状況を目指します。
事業の効果	・新型コロナウイルス感染症による休園などが発生しないことを目指します。

【事業の概要】（※新型コロナ対策）

・新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐため、抗原検査キット及び保健用消耗品を購入しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
抗原検査キットの購入数	25 個	—	—
新型コロナウイルス感染症による休園が生じた幼稚園数	0 園	—	—

9 款 6 項 1 目

第 4 章 豊かな心を育み 笑顔あふれるまち（教育）

【会計】一般会計

基本施策 2 教育環境

9 款：教育費 6 項：保健体育費 1 目：保健体育総務費

施策 1 良好な学習環境を整備します

事業	15	抗原検査キット等配布事業（小中学校分）
担当所属		指導課

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	（財源内訳）				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
1,547,000	223,850	5,870	217,980	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

10	需用費	223,850			
----	-----	---------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・新型コロナウイルス感染症の感染拡大を未然に防ぐため、抗原検査キットを購入します。
事業の目的	・新型コロナウイルス感染症による休校などがなく、子どもたちの学習機会が安定して継続できる状況を目指します。
事業の効果	・新型コロナウイルス感染症による休校などが発生しないことを目指します。

【事業の概要】（※新型コロナ対策）

- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐため、必要数の抗原検査キットを購入しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
抗原検査キットの購入数	275 個	—	—
新型コロナウイルス感染症により休校が発生した学校数	0 校	—	—

事業	1	スポーツ施設管理運営事業
担当所属	生涯スポーツ課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	（財源内訳）				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
114,975,000	114,842,602	114,283,003	0	0	0	559,599

【決算額の節別内訳】（円）

10	需用費	473,484	12	委託料	106,378,607
14	工事請負費	829,400	15	原材料費	40,700
17	備品購入費	261,536	18	負担金補助及び交付金	6,241,276
24	積立金	617,599			

【実施計画の概要】

事業の内容	- 指定管理者による市民体育館、青少年体育館及び岩名運動公園、上座総合公園、直弥公園、大作公園の有料スポーツ施設の適切な管理運営を行います。 - グラウンドゴルフやウォーキングなどで市民に親しまれている西志津スポーツ等多目的広場における草刈等の定期的な維持管理を行います。 - 少年野球などスポーツ・レクリエーションの場として利用される運動広場を、民間団体が借地により確保する場合に補助金を交付します。
事業の目的	- 指定管理者による民間のノウハウを生かした質の高いサービスの提供を行います。 - 施設利用時の安全を第一に考えた快適で満足度の高いスポーツ施設の実現を目指します。 - 運動広場管理運営事業の補助により、市有グラウンド不足を補完します。
事業の効果	- スポーツ施設を利用する市民が増加し、スポーツ活動が盛んになります。 - 市民の健康・体力づくりに対する関心を高め、健康の保持、増進が図られます。 - 運動広場におけるスポーツ・レクリエーション活動を通して、青少年の健全育成や地域コミュニティの醸成などにつながります。

【事業の概要】

- 市民体育館、青少年体育館、岩名運動公園外 3 公園内有料スポーツ施設について、指定管理者による管理運営を行いました。
- 西志津スポーツ等多目的広場の維持管理を行いました。
- 市内 6 箇所の運動広場管理運営団体に補助金を適正に交付しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
市民体育館の開館日数	347 日	357 日	218 日
岩名陸上競技場の開場日数	349 日	349 日	238 日
市民体育館利用団体数及び利用者数	20,939 団体 92,039 人	9,074 団体 89,861 人	9,276 団体 55,684 人
岩名運動公園有料スポーツ施設 (プールを除く)利用団体数及び利用者数	25,387 団体 214,858 人	18,952 団体 156,949 人	10,012 団体 110,237 人
岩名運動公園プール利用者数	4,581 人	0 人	0 人
上座総合公園プール利用者数	5,718 人	0 人	0 人
大作野球場利用団体数及び利用者数	236 団体 5,520 人	188 団体 4,175 人	164 団体 3,346 人
直弥テニスコート利用団体数及び利用者数	3,307 団体 20,545 人	3,422 団体 20,764 人	2,435 団体 13,864 人
青少年体育館利用団体数及び利用者数	1,040 団体 12,361 人	1,211 団体 14,977 人	529 団体 6,159 人

事業	2	スポーツ施設整備事業
担当所属	生涯スポーツ課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	（財源内訳）				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
23,083,000	14,946,155	9,926,155	0	0	0	5,020,000

【決算額の節別内訳】（円）

11	役務費	25,700	14	工事請負費	2,261,545
17	備品購入費	12,658,910			

【実施計画の概要】

事業の内容	・ 市民体育館、青少年体育館等のスポーツ施設について、指定管理者と連携し、必要となる大規模な修繕や改修等を行います。 ・ 運動用具や機器等の整備を指定管理者と連携して行います。
事業の目的	・ 市民が安全に利用できる施設を目指します。 ・ 市民が快適にスポーツを行える施設にします。
事業の効果	・ スポーツを行う市民が増加します。 ・ 健康な市民の増加につながります。

【事業の概要】

- ・ 市民体育館非常用発電整流器部品交換工事を行いました。
- ・ 空手マットを購入しました。
- ・ 市民体育館消防設備の修繕を行いました。
- ・ 岩名球技場フットサル用ゴールを購入しました。
- ・ 陸上競技場写真判定機設置事業を行いました。
- ・ 陸上競技場必要備品を購入しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
スポーツ施設や設備の大規模な修繕及び改修件数	2 件	0 件	3 件
市民体育館利用団体数及び利用者数	20,939 団体 92,039 人	9,074 団体 89,861 人	9,276 団体 55,684 人
岩名運動公園有料スポーツ施設(プールを除く) 利用団体数及び利用者数	25,387 団体 214,858 人	18,952 団体 156,949 人	10,012 団体 110,237 人
岩名運動公園プール利用者数	4,581 人	0 人	0 人
上座総合公園プール利用者数	5,718 人	0 人	0 人
大作野球場利用団体数及び利用者数	236 団体 5,520 人	188 団体 4,175 人	164 団体 3,346 人
直弥テニスコート利用団体数及び利用者数	3,307 団体 20,545 人	3,422 団体 20,764 人	2,435 団体 13,864 人
青少年体育館利用団体数及び利用者数	1,040 団体 12,361 人	1,211 団体 14,977 人	529 団体 6,159 人

9 款 6 項 2 目

第 4 章 豊かな心を育み 笑顔あふれるまち（教育）

【会計】一般会計

基本施策 5 スポーツ振興

9 款：教育費 6 項：保健体育費 2 目：体育施設費

施策 2 スポーツ施設を提供します

事業	3	スポーツ施設整備事業（コロナ対策分）
担当所属	生涯スポーツ課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	（財源内訳）				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
1,283,000	1,069,970	55,658	1,014,312	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

14	工事請負費	1,069,970			
----	-------	-----------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・ 佐倉市立青少年体育館の和式トイレを洋式化します。
事業の目的	・ 新型コロナウイルス感染症対策をした施設を目指します。
事業の効果	・ 市民が安心して施設利用をすることができます。

【事業の概要】（※新型コロナ対策）

- ・ 青少年体育館トイレ洋式化改修工事を行いました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
青少年体育館トイレ改修工事件数	1 件	—	—
青少年体育館利用者数	12,361 人	—	—

9 款 6 項 3 目

第 4 章 豊かな心を育み 笑顔あふれるまち（教育）

【会計】一般会計

基本施策 2 教育環境

9 款：教育費 6 項：保健体育費 3 目：学校給食費

施策 1 良好な学習環境を整備します

事業	2	学校給食管理運営事業
担当所属	指導課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	（財源内訳）				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
844,673,000	841,732,356	841,732,356	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

08	旅費	115,797	10	需用費	76,496,852
11	役務費	291,258	12	委託料	754,716,138
14	工事請負費	3,241,700	17	備品購入費	6,870,611

【実施計画の概要】

事業の内容	・小中学校の給食業務委託の業務管理を行うとともに、給食施設設備の保守点検、老朽化した物品などの購入を実施することにより、安心して安全な学校給食を実施します。
事業の目的	・栄養豊かなバランスのとれた給食を提供し、児童生徒の健康の保持増進を図るとともに、学校給食における食育の推進を図るため、学校給食の実施に必要な施設及び設備等の維持管理を行い、円滑な学校給食の運営に努めます。
事業の効果	・安全で安心な給食運営を実施することにより、児童生徒に対し、栄養バランスのとれた給食を提供することができます。また、施設設備の機能維持により、安全な給食調理作業をすることができます。これらにより、学校給食を活かした食育の推進を図ることができます。

【事業の概要】

- ・小中学校の児童生徒に安定して美味しい給食を提供するために、学校給食業務委託を行いました。
- ・給食施設設備の保守点検業務を委託した他、施設設備修繕、修繕不能備品の更新を行いました。
- ・栄養教諭、学校栄養職員の研修を行いました。

【活動指標・成果指標】

指標名		令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
給食提供数	小学校	1,552,782 食	1,584,626 食	1,420,582 食
	中学校	761,871 食	766,099 食	679,087 食
米飯給食実施回数（週当たり平均）		4.2 回	4.2 回	3.6 回
地元産食材の使用割合		34.8%	25.0%	24.7%
地元産食材の給食使用品目数		36 品目	42 品目	33 品目
栄養教諭、学校栄養職員研修会開催回数		7 回	7 回	7 回
栄養教諭、学校栄養職員研修会出席者数		225 人	228 人	232 人

9 款 6 項 3 目

第 4 章 豊かな心を育み 笑顔あふれるまち（教育）

【会計】一般会計

基本施策 2 教育環境

9 款：教育費 6 項：保健体育費 3 目：学校給食費

施策 1 良好な学習環境を整備します

事業	3	小学校給食施設整備事業
担当所属	指導課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
20,709,000	20,689,867	4,024,867	0	0	0	16,665,000

【決算額の節別内訳】（円）

14	工事請負費	3,870,900	17	備品購入費	16,818,967
----	-------	-----------	----	-------	------------

【実施計画の概要】

事業の内容	・ 經常の維持管理補修等では対応することができない、給食施設の維持補修及び学校給食衛生管理基準に適合する施設への改修、改築等、並びに老朽化した大型給食設備備品の買替えや機能向上のための更新等を行います。
事業の目的	・ 給食施設設備の維持補修、改修、更新等を行うことにより、衛生的、機能的な給食施設設備を実現することにより、円滑な学校給食運営を図り、もって食育の推進に寄与し、児童の健康の保持増進を図ることを目的とします。
事業の効果	・ 衛生的、機能的な給食施設設備を実現することにより、調理作業の安全性向上や効率化等が図られ、安全・安心な学校給食を提供することができ、円滑な学校給食運営及びアレルギーをもつ児童への対応や食育の充実を図ることができます。

【事業の概要】

- ・ 下志津小学校の消毒保管庫や千代田小学校の食器洗浄機の買い替え、南志津小学校の給湯設備改修工事などを行いました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
給食を配布した児童数	7,627 人	7,857 人	7,985 人
給食事故発生件数	0 件	0 件	0 件

9 款 6 項 3 目

第 4 章 豊かな心を育み 笑顔あふれるまち（教育）

【会計】一般会計

基本施策 2 教育環境

9 款：教育費 6 項：保健体育費 3 目：学校給食費

施策 1 良好な学習環境を整備します

事業	4	中学校給食施設整備事業
担当所属	指導課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
6,530,000	6,525,200	0	0	0	0	6,525,200

【決算額の節別内訳】（円）

17	備品購入費	6,525,200			
----	-------	-----------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・ 經常の維持管理補修では対応することができない、給食施設の維持補修及び学校給食衛生管理基準に適合する施設への改修、改築等、並びに老朽化した大型給食設備備品の買替えや機能向上のための更新等を行います。
事業の目的	・ 給食施設設備の維持補修、改修、更新等を行うことにより、衛生的、機能的な給食施設設備を実現することにより、円滑な学校給食運営を図り、もって食育の推進に寄与し、生徒の健康の保持増進を図ることを目的とします。
事業の効果	・ 衛生的、機能的な給食施設設備を実現することにより、調理作業の安全性向上や効率化等が図られ、安全・安心な学校給食を提供することができ、円滑な学校給食運営及びアレルギーをもつ生徒への対応や食育の充実を図ることができます。

【事業の概要】

- ・ 佐倉東中学校の食器消毒保管庫や上志津中学校の立体炊飯器などの購入を行いました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
給食を配布した生徒数	3,909 人	3,937 人	4,080 人
給食事故発生件数	0 件	0 件	0 件

9 款 6 項 3 目

第 4 章 豊かな心を育み 笑顔あふれるまち（教育）

【会計】一般会計

基本施策 2 教育環境

9 款：教育費 6 項：保健体育費 3 目：学校給食費

施策 1 良好な学習環境を整備します

事業	5	学校給食物価高騰対策支援事業
担当所属	指導課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
24,430,000	24,430,000	9,310,227	15,119,773	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

18	負担金補助及び交付金	24,430,000			
----	------------	------------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・給食を実施している小学校 23 校、中学校 11 校、幼稚園 1 園に対し、給食食材の物価高騰分の補助金を支給します。
事業の目的	・給食食材費の物価高騰分の補助金を支給することで、補助期間内の給食費の引き上げを抑制します。
事業の効果	・給食食材費の物価高騰による、家計負担への影響を抑制します。

【事業の概要】（※新型コロナ対策）

- ・物価高騰の影響による給食食材費の値上げ相当分の補助金を支給することで、補助期間内の給食費の引き上げを抑制しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
補助金交付団体数	35 団体	—	—
補助金支給期間内の給食費値上げ件数	0 件	—	—

9 款 6 項 3 目

第 4 章 豊かな心を育み 笑顔あふれるまち（教育）

【会計】一般会計

基本施策 2 教育環境

9 款：教育費 6 項：保健体育費 3 目：学校給食費

施策 1 良好な学習環境を整備します

事業	6	第 3 子以降学校給食費補助事業
担当所属	指導課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
21,468,000	16,359,558	471,808	8,390,750	7,497,000	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

18	負担金補助及び交付金	16,359,558			
----	------------	------------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・第 3 子以降の児童生徒の学校給食費について、令和 5 年 1 月から 3 月までの 3 か月分を補助します。
事業の目的	・佐倉市立小中学校に在籍している多子世帯の保護者の経済的負担を図ります。
事業の効果	・多子世帯の経済的負担の軽減を図ることができます。

【事業の概要】（※新型コロナ対策）

- ・第 3 子以降の児童生徒の学校給食費について、1 月から 3 月分の 3 か月分を補助しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
第 3 子以降の児童生徒がいる世帯への補助周知割合	100%	—	—
補助金支給者数	1,099 人	—	—

9 款 6 項 3 目

第 4 章 豊かな心を育み 笑顔あふれるまち（教育）

【会計】一般会計

基本施策 2 教育環境

9 款：教育費 6 項：保健体育費 3 目：学校給食費

施策 1 良好な学習環境を整備します

事業	7	市立幼・小・中学校給食費補助事業
担当所属	指導課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	（財源内訳）				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
173,501,000	153,957,321	8,196,087	145,761,234	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

18	負担金補助及び交付金	153,957,321			
----	------------	-------------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・佐倉市立幼稚園、小学校及び中学校に在籍している園児、児童及び生徒の保護者の経済的な負担軽減を図るため、令和 5 年 1 月から 3 月分の給食費について、学校給食費補助金を交付します。
事業の目的	・地方創生臨時交付金を活用して学校給食費を全額補助することで、物価高騰等の影響による子育て世帯の経済的負担の軽減を図ります。
事業の効果	・子育て世帯の経済的負担の軽減を図ることができます。

【事業の概要】（※新型コロナ対策）

- ・補助対象者の令和 5 年 1 月～3 月分の給食費を、全額無償化しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
給食費無償化の実施校数	34 校、1 園	—	—
子育て世帯の負担軽減額	153,958 千円	—	—

事業	2	明神橋（6－108号線）災害復旧費
担当所属	道路建設課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	（財源内訳）				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
322,839,000	250,860,040	109,238,376	52,421,664	0	89,200,000	0

【決算額の節別内訳】（円）

14	工事請負費	164,299,400	18	負担金補助及び交付金	86,560,640
----	-------	-------------	----	------------	------------

【実施計画の概要】

事業の内容	- 令和元年 10 月 25 日の大雨による道路災害についての復旧事業です。国土交通省の災害補助を活用し、被災原因の除去や対策を検討し、復旧工事を行います。 - 災害復旧工事の際に支障となり、移設した施設の復旧を行います。
事業の目的	当該事業の実施により、地域住民をはじめ千葉リサーチパーク内の企業の被災からの復興や、千葉市、八街市との通行経路を復旧します。
事業の効果	千葉市、八街市との通行経路が復旧することにより、迂回している他路線での交通量の減少・渋滞緩和・移動時間の減少が見込まれます。

【事業の概要】

- 継続して実施していた明神橋（6－108号線）災害復旧工事が完了しました。
（令和元年～4年度 継続費）
- 災害復旧工事に伴う支障施設の移設を行いました。
（令和3年度～令和5年度 債務負担行為）

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
事業進捗率	100%	40%	40%
交通開放状況	全面開通	全面通行止め	全面通行止め

事業	3	収納事務費（健康保険税分）
担当所属		債権管理課

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
5,678,000	5,154,839	0	0	0	0	5,154,839

【決算額の節別内訳】（円）

01	報酬	1,399,860	03	職員手当等	282,744
04	共済費	264,925	08	旅費	71,820
10	需用費	609,642	11	役務費	2,525,848

【実施計画の概要】

事業の内容	・各金融機関等で納付された国民健康保険税の収納データを確認し、適正な収納管理を行います。 ・円滑な収納のため、口座振替納付を勧奨します。
事業の目的	・国民健康保険財政の財源の確保を図るため、収入率の向上を図ります。
事業の効果	・国民健康保険税の収入率を向上させ、歳入の安定確保につなげます。

【事業の概要】

- ・国民健康保険税の口座納付について、窓口での加入手続き時に個別案内による勧奨、納税通知書に口座振替依頼書の同封による勧奨を行いました。
- ・特定の納税者に対し、口座振替依頼書を直接郵送することによる勧奨を実施しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
口座振替依頼書送付枚数 (納税通知書同封枚数)	23,929 枚	24,104 枚	24,273 枚
口座振替利用件数	6,922 件	7,107 件	7,179 件
口座振替額	984,733,400 円	1,039,618,900 円	1,060,884,300 円
口座振替率	28.2%	29.1%	29.2%
国民健康保険税の収入率 (現年度課税分)	92.88%	92.77%	91.62%

事業	4	収納方法拡大事業（健康保険税分）
担当所属	債権管理課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
6,199,000	6,095,826	0	0	0	0	6,095,826

【決算額の節別内訳】（円）

12	委託料	6,095,826			
----	-----	-----------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・ コンビニ収納及びスマートフォン決済による市税収納システムの運用を行います。 ・ 金融機関等における窓口収納データを適正に管理するため、OCR（納付書データ機械読取）業務を委託します。
事業の目的	・ 納税手段の拡大により納税者の利便性の向上を図ります。 ・ 国民健康保険税収納データの適正な管理を行います。
事業の効果	・ 納税し易い環境を整えることで納期ごとの安定した収入を確保し、安定した国民健康保険の財政運営を確保することができます。 ・ 金融機関等の窓口収納データの正確かつ迅速な処理が実現され、過誤納金処理など収納後の処理を合理的に進めることができます。

【事業の概要】

- ・ 健康保険税に関する金融機関等による収納データを適正に管理しました。
- ・ 健康保険税に関するコンビニ収納・スマートフォン決済に関する事務処理、データ処理を適正に行いました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
国民健康保険税コンビニ収納取扱件数	59,630 件	61,064 件	59,774 件
OCR データ読取処理件数	54,097 件	58,094 件	60,145 件
コンビニ利用率	35.0%	34.7%	34.4%

2 款 1 項 1 目

【会計】国民健康保険特別会計

2 款：保険給付費 1 項：療養諸費 1 目：一般被保険者療養給付費

事業	1	一般被保険者療養給付費
担当所属	健康保険課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
11,514,656,000	10,810,995,059	0	0	10,810,995,059	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

18	負担金補助及び交付金	10,810,995,059			
----	------------	----------------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・国民健康保険法に基づき、被保険者に対し、疾病や負傷の治療を目的とした一連の医療サービスを現物給付します。（自己負担分を除いた保険者負担分についての給付）
事業の目的	・被保険者が現物給付としての医療給付を受けられるようにするため、医療機関等へ診療報酬を支払います。
事業の効果	・保険医療機関において被保険者証の提示により、現物給付による医療給付を受けることができます。

【事業の概要】

- ・給付件数：652,996 件
- ・給付額： 10,810,995,059 円

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
一般被保険者に対する給付件数	652,996 件	662,960 件	614,202 件
一般被保険者に対する給付額	10,810,995,059 円	11,272,787,059 円	10,373,734,116 円

2 款 6 項 1 目

【会計】国民健康保険特別会計

2 款：保険給付費 6 項：傷病手当諸費 1 目：傷病手当金

事業	1	傷病手当金
担当所属	健康保険課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
2,700,000	2,650,002	445,002	0	2,205,000	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

18	負担金補助及び交付金	2,650,002			
----	------------	-----------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・ 国民健康保険被保険者が新型コロナウイルス感染症に感染又は感染の疑いがあることにより会社等の休業を余儀なくされた場合に、休業中に支払われるべき給与等の 3 分の 2 に相当する金額を傷病手当金として支給します。
事業の目的	・ 新型コロナウイルスに感染した被保険者の経済的安定を図ることで、療養しやすい環境を整えます。
事業の効果	・ 新型コロナウイルスに感染した被保険者が休業しやすくなることにより、感染拡大の抑制を図ることができます。

【事業の概要】（※新型コロナ対策）

- ・ 申請を受けた被保険者 67 名に対して傷病手当金を支給しました。

※財源内訳の一般財源 445,002 円については、令和 5 年度の県支出金で交付される予定です。

（支給額については全額財源措置）

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
傷病手当金支給件数	67 件	19 件	5 件
傷病手当金支給額	2,650,002 円	1,643,886 円	480,535 円

5 款 1 項 1 目

第1章 ともに支え合い誰もがいきいきと暮らせるまち（福祉・健康・子育て）

【会計】国民健康保険特別会計

基本施策 5 健康づくり

5 款：保健事業費 1 項：特定健康診査等事業費 1 目：特定健康診査等事業費

施策 2 生活習慣病の予防、がんの早期発見を図ります

事業	1	特定健診事業
担当所属	健康保険課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	（財源内訳）				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
83,136,000	79,192,776	45,711,846	0	33,480,930	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

01	報酬	2,428,230	03	職員手当等	265,636
04	共済費	79,092	08	旅費	165,780
10	需用費	3,066,840	11	役務費	2,481,193
12	委託料	70,706,005			

【実施計画の概要】

事業の内容	・ 40 歳から 75 歳未満の国民健康保険被保険者を対象として、年に 1 回メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)に着目した特定健康診査を実施します。
事業の目的	・ メタボリックシンドロームに着目した生活習慣を改善するための特定保健指導が必要な方を的確に抽出し、糖尿病等の生活習慣病の発症や重症化を予防することを目的としています。
事業の効果	・ 特定健康診査により得られたデータ等に基づいて健康課題を分析し、課題に応じた生活習慣病対策を行うことで、糖尿病等の生活習慣病の有病者、予備群を減少させ、中長期的には医療費の適正化を図ります。

【事業の概要】

- ・ 40 歳から 75 歳未満の国民健康保険被保険者を対象として、特定健康診査を実施しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
特定健康診査対象者数	31,137 人（暫定）	27,871 人	28,691 人
特定健康診査受診者数	30.4%（暫定）	30.5%	25.3%

5 款 1 項 1 目

第1章 ともに支え合い誰もがいきいきと暮らせるまち（福祉・健康・子育て）

【会計】国民健康保険特別会計

基本施策 5 健康づくり

5 款：保健事業費 1 項：特定健康診査等事業費 1 目：特定健康診査等事業費

施策 2 生活習慣病の予防、がんの早期発見を図ります

事業	2	特定保健指導事業
担当所属	健康保険課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
8,422,000	6,756,264	5,827,194	0	929,070	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

01	報酬	4,500,120	03	職員手当等	762,786
04	共済費	675,959	07	報償費	75,000
08	旅費	63,928	10	需用費	472,490
11	役務費	115,286	12	委託料	22,165
17	備品購入費	68,530			

【実施計画の概要】

事業の内容	・ 特定健康診査の結果、メタボリックシンドローム該当者のうち未治療の方に対し、リスクの個数別に対象者を「動機付け支援」「積極的支援」に区分し、リスクに応じ特定保健指導を行い、健康推進課の保健師、管理栄養士の面接・指導のもとに行動計画を策定し、その実績評価を行います。
事業の目的	・ 対象者のリスクの数に応じた個別の保健指導を行うことで、その要因となっている生活習慣を改善し、生活習慣病予防を行います。
事業の効果	・ 糖尿病等の生活習慣病の有病者・予備群が減少することで、中長期的な医療費適正化につながります。

【事業の概要】

- ・ 初回面接を 198 人に実施し、終了者は 139 名でした。終了していない方は翌年度も継続支援を行います。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
特定保健指導対象者数	957 人（暫定値）	1,153 人	920 人
特定保健指導利用率	20.7%（暫定値）	16.5%	19.9%

事業	2	人間ドック助成事業
担当所属	健康保険課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
17,025,000	16,060,697	16,060,697	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

10	需用費	24,697	18	負担金補助及び交付金	16,036,000
----	-----	--------	----	------------	------------

【実施計画の概要】

事業の内容	・佐倉市国民健康保険の被保険者が、助成対象検査項目を満たす人間ドック（短期人間ドック・脳ドック）を受検した場合に、費用の一部を助成します。
事業の目的	・被保険者の健康管理及び健康増進の一助とするとともに、生活習慣病を始めとする疾病の予防、早期発見及び早期治療等に資することを目的とします。
事業の効果	・受診者が増加することにより、健康管理及び疾病の予防や早期発見・早期治療等につながり、医療費削減効果が期待できます。

【事業の概要】

- ・助成利用者数 1,607 件 16,036,000 円
- ※うち脳ドック分 241 件 2,387,000 円

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
人間ドック助成利用件数（総数）	1,607 件	1,592 件	1,240 件
人間ドック助成利用件数（短期人間ドック分）	1,366 件	1,346 件	1,075 件
人間ドック助成利用件数（脳ドック分）	241 件	246 件	165 件
人間ドック助成利用率 （助成利用者数/助成対象被保険者数）	4.4%	4.3%	3.4%

1 款 3 項 1 目

第 1 章 ともに支え合い誰もがいきいきと暮らせるまち（福祉・健康・子育て）

【会計】介護保険特別会計

基本施策 3 高齢者福祉

1 款：総務費 3 項：介護認定費 1 目：介護認定費 施策 5 介護保険運営の安定化を図ります

事業	1	介護認定審査会事業
担当所属		介護保険課

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	（財源内訳）				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
28,758,000	27,464,291	0	0	0	0	27,464,291

【決算額の節別内訳】（円）

01	報酬	26,456,000	07	報償費	360,000
08	旅費	108,291	11	役務費	540,000

【実施計画の概要】

事業の内容	・要介護要支援認定申請のあった被保険者の一次判定の確定及び二次判定を行うため、介護認定審査会を開催します。 ・審査の平準化を図る目的から研修会や平準化委員会を開催します。
事業の目的	・審査対象者の審査及び判定を行う介護認定審査会の円滑な実施を図ります。
事業の効果	・申請者が審査判定を適正に受けることができるとともに、滞ることなく認定結果が出るよう審査会を開催し、適正な介護保険制度の運用に寄与することができます。

【事業の概要】

- ・要介護・要支援申請のあった被保険者の二次判定を行うため、介護認定審査会を 236 回開催しました。
- ・県の審査会委員現任研修（オンライン）に参加しました。
- ・審査の平準化を図る目的から、研修会や平準化委員会を開催しました。
- ・県及び市の審査会委員新規研修・現任研修に出席しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
介護認定審査会開催回数	236 回	220 回	190 回
介護認定審査会委員に対する研修の実施回数	3 回	1 回	2 回
年間審査件数	5,296 件	4,795 件	3,978 件

1 款 3 項 1 目

第 1 章 とともに支え合い誰もがいきいきと暮らせるまち（福祉・健康・子育て）

【会計】介護保険特別会計

基本施策 3 高齢者福祉

1 款：総務費 3 項：介護認定費 1 目：介護認定費

施策 5 介護保険運営の安定化を図ります

事業	2	認定調査事業
担当所属		介護保険課

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
83,970,000	78,018,589	0	0	0	0	78,018,589

【決算額の節別内訳】（円）

01	報酬	28,592,080	03	職員手当等	5,143,680
04	共済費	4,180,952	08	旅費	1,581,519
10	需用費	1,190,348	11	役務費	30,688,160
12	委託料	6,612,900	13	使用料及び賃借料	28,950

【実施計画の概要】

事業の内容	・要介護要支援認定申請のあった被保険者に対し、認定調査業務を遂行します。 ・要介護要支援認定に必要な主治医(指定医)意見書の入手、さらに要介護要支援認定申請者及び認定者に対する各種案内を行います(更新勧奨・認定結果通知・遅延通知・障害者控除認定書等)。
事業の目的	・要介護要支援認定申請をされた被保険者に対し、円滑な調査業務を遂行します。
事業の効果	・介護保険サービスの利用を希望する被保険者に対し、認定調査、主治医意見書入手等の業務を円滑に実施することで、速やかに認定審査会に繋げ、認定結果が出せるようにし、適正な介護保険制度の運用に寄与することができます。

【事業の概要】

- ・令和 4 年度調査件数 5,482 件
- ・認定の更新手続きが円滑に行われるよう、対象となる被保険者に対し更新勧奨通知を毎月郵送しました。(12 回／年 6,371 件)
- ・認定調査員の資質向上の為、ウェブサイトを利用した研修を実施しました。また、県及び市主催の新規研修・現任研修会を受講しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
更新勧奨回数	12 回	12 回	12 回
要介護要支援認定者数	8,908 人	8,519 人	8,094 人
認定調査票作成件数	5,482 件	4,978 件	3,913 件
主治医意見書作成数	5,482 件	4,978 件	3,913 件

2 款 1 項 1 目

【会計】介護保険特別会計

2 款：保険給付費 1 項：介護及び支援サービス等諸費 1 目：介護サービス等給付費

事業	1	居宅介護サービス等給付費
担当所属	介護保険課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
5,116,546,000	5,053,522,046	1,414,989,046	965,403,000	676,990,000	0	1,996,140,000

【決算額の節別内訳】（円）

18	負担金補助及び交付金	5,053,522,046			
----	------------	---------------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・要介護認定を受けた佐倉市の被保険者が、介護サービス事業を行う指定事業者から居宅介護サービス等の提供を受けた際に、当該サービスに係る費用について介護給付費を支払います。
事業の目的	・介護保険制度による保険給付により、居宅介護を必要とする要介護者への適切なサービスの提供に寄与します。
事業の効果	・要介護者が安心して介護保険制度を利用することにより、住み慣れた場所での生活を継続することが可能となります。

【事業の概要】

- ・令和 4 年 4 月～令和 5 年 3 月審査分（令和 4 年 3 月～令和 5 年 2 月利用分）
支給額合計 5,053,522,046 円

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
要介護（要支援）認定者数	8,908 人	8,519 人	8,094 人
介護サービス利用者数	7,067 人	6,822 人	6,426 人
給付件数	104,046 件	93,723 件	86,826 件

2 款 1 項 1 目

【会計】介護保険特別会計

2 款：保険給付費 1 項：介護及び支援サービス等諸費 1 目：介護サービス等給付費

事業	5	施設介護サービス給付費
担当所属	介護保険課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
4,357,648,000	4,323,210,320	1,210,501,320	648,481,000	756,561,000	0	1,707,667,000

【決算額の節別内訳】（円）

18	負担金補助及び交付金	4,323,210,320			
----	------------	---------------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・ 要介護認定を受けた佐倉市の被保険者が、介護サービス事業を行う指定事業者から施設介護サービス等（介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設）の提供を受けた際に、当該サービスに係る費用について介護給付費を支払います。
事業の目的	・ 介護保険制度による保険給付により、施設での介護を必要とする要介護者への適切なサービスの提供に寄与します。
事業の効果	・ 要介護者が安心して介護保険制度を利用することができ、指定施設での食事、入浴、その他日常生活上の世話及び機能訓練や医療等のサービスを受けることが可能となります。

【事業の概要】

- ・ 令和 4 年 4 月～令和 5 年 3 月審査分（令和 4 年 3 月～令和 5 年 2 月利用分）
- 支払額合計 4,323,210,320 円

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
要介護（要支援）認定者数	8,908 人	8,519 人	8,094 人
介護サービス利用者数	7,067 人	6,822 人	6,426 人
給付人数	15,349 人	15,090 人	14,207 人

2 款 1 項 2 目

【会計】介護保険特別会計

2 款：保険給付費 1 項：介護及び支援サービス等諸費 2 目：介護予防サービス等諸費

事業	1	介護予防サービス給付費
担当所属	介護保険課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
308,581,000	305,175,438	85,451,438	56,296,000	42,885,000	0	120,543,000

【決算額の節別内訳】（円）

18	負担金補助及び交付金	305,175,438			
----	------------	-------------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・ 要支援認定を受けた佐倉市の被保険者が、介護サービス事業を行う指定事業者から介護予防サービスの提供を受けた際に、当該サービスに係る費用について介護給付費を支払います。
事業の目的	・ 介護保険制度による保険給付により、居宅介護を必要とする要支援者への適切なサービスの提供に寄与します。
事業の効果	・ 要支援者が安心して介護保険制度を利用することにより、住み慣れた場所での生活を継続することが可能となります。

【事業の概要】

- ・ 令和 4 年 4 月～令和 5 年 3 月審査分（令和 4 年 3 月～令和 5 年 2 月利用分）
- 支払額合計 305,175,438 円

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
要介護（要支援）認定者数	8,908 人	8,519 人	8,094 人
介護サービス利用者数	7,067 人	6,822 人	6,426 人
給付件数	19,332 件	18,814 件	17,930 件

2 款 5 項 1 目

第 1 章 ともに支え合い誰もがいきいきと暮らせるまち（福祉・健康・子育て）

【会計】介護保険特別会計

基本施策 3 高齢者福祉

2 款：保険給付費 5 項：市町村特別給付費

施策 1 住み慣れた地域での包括的な支援体制を整備します

1 目：市町村特別給付費

事業	1	紙おむつ等購入助成事業
担当所属	高齢者福祉課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
32,020,000	31,485,000	31,485,000	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

19	扶助費	31,485,000			
----	-----	------------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	- 対象者は要介護認定において要介護 3～5 と判定された高齢者のうち、在宅で生活をされている方です。 - 申請に基づき、ひと月あたり 3,000 円（1,500 円×2 枚）を助成する「佐倉市紙おむつ等購入助成券」を、申請を受理した日の属する月分から当該年度末までの月分を交付します。 - 当該助成券をあらかじめ市に登録した事業者で利用した場合は、事業者から助成券相当の金額が市に請求され、市が請求額を事業者に対して支払います。
事業の目的	在宅の要介護高齢者等が使用する紙おむつ等の購入に要する費用を助成することにより、本人及びその家族の経済的かつ精神的な負担の軽減を図ることを目的とします。
事業の効果	要介護高齢者等の在宅生活の継続に寄与することが期待できます。

【事業の概要】

- 要介護者の在宅生活を支援するため、紙おむつ等購入助成事業を実施し助成券を 28,500 枚交付しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
申請件数	1,426 人	1,340 人	1,247 人
助成券利用実績	20,990 枚	19,651 枚	18,707 枚

3 款 2 項 1 目

第1章 ともに支え合い誰もがいきいきと暮らせるまち（福祉・健康・子育て）

【会計】介護保険特別会計

基本施策3 高齢者福祉

3 款：地域支援事業費 2 項：介護予防・日常生活支援総合事業 施策3 介護予防を推進します

業費 1 目：介護予防・生活支援サービス事業費

事業	1	第一号訪問事業
担当所属	高齢者福祉課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
123,944,000	114,358,835	32,020,473	22,871,767	14,294,854	0	45,171,741

【決算額の節別内訳】（円）

10	需用費	6,864	18	負担金補助及び交付金	114,351,971
----	-----	-------	----	------------	-------------

【実施計画の概要】

事業の内容	・「介護予防・生活支援サービス事業」として、要支援 1、2 の認定を受けた者、事業対象者（基本チェックリストに該当する生活機能の低下した者（以下「要支援相当者」という。））等を対象に、訪問型サービスを提供します。
事業の目的	・要支援相当者の介護予防と、日常生活の自立を支援します。
事業の効果	・高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる地域づくりに寄与します。

【事業の概要】

- ・訪問介護相当サービスの利用延件数は 5,797 件でした。
- ・生活援助サービスの利用延件数は 63 件でした。
- ・訪問型短期集中予防サービスの利用延件数は 10 件でした。
- ・佐倉市介護予防・生活支援サービス事業（第一号訪問事業）補助金交付数は 6 団体・2 法人でした。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
要支援相当者数（年度末現在）	3,102 人	3,016 人	2,865 人
訪問型サービス利用延件数	5,870 件	6,173 件	6,344 件

3 款 2 項 1 目

第1章 ともに支え合い誰もがいきいきと暮らせるまち（福祉・健康・子育て）

【会計】介護保険特別会計

基本施策3 高齢者福祉

3 款：地域支援事業費 2 項：介護予防・日常生活支援総合事業 施策3 介護予防を推進します

業費 1 目：介護予防・生活支援サービス事業費

事業	2	第一号通所事業
担当所属	高齢者福祉課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
339,736,000	311,706,371	87,277,783	62,341,274	38,963,296	0	123,124,018

【決算額の節別内訳】（円）

10	需用費	30,442	13	使用料及び賃借料	1,522,983
18	負担金補助及び交付金	310,152,946			

【実施計画の概要】

事業の内容	・「介護予防・生活支援サービス事業」として、要支援 1、2 の認定を受けた者及び事業対象者（基本チェックリストに該当する生活機能の低下した者（以下「要支援相当者」という。)) 等を対象に、通所型サービスを提供します。
事業の目的	・要支援相当者の介護予防と、日常生活の自立を支援します。
事業の効果	・高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる地域づくりに寄与します。

【事業の概要】

- ・通所介護相当サービスの利用延件数は 11,913 件でした。
- ・短期集中予防サービスの利用延件数は 104 件でした。
- ・通所型サービスを提供する団体への「佐倉市介護予防・生活支援サービス事業（第一号通所事業）補助金」の交付件数は、2 件でした。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
要支援相当者数（年度末現在）	3,102 人	3,016 人	2,865 人
通所型サービス利用延件数	12,017 件	11,583 件	11,182 件

事業	1	第一号介護予防支援事業
担当所属	高齢者福祉課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	（財源内訳）				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
44,530,000	41,961,050	11,749,094	8,392,210	5,245,131	0	16,574,615

【決算額の節別内訳】（円）

12	委託料	41,961,050			
----	-----	------------	--	--	--

【実施計画の概要】

事業の内容	・要支援認定者（要支援 1・2 の認定を受けた者）及び事業対象者（基本チェックリストに該当する生活機能の低下した者）（以下「要支援相当者」という。）が、介護予防・生活支援サービス事業を利用するにあたり必要となる介護予防ケアマネジメント（ケアプランの作成やサービスの利用調整等）を受けたときに、第一号介護予防支援事業支給費を支払います。
事業の目的	・要支援相当者の介護予防と、日常生活の自立を支援します。
事業の効果	・高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる地域づくりに寄与します。

【事業の概要】

- ・年間延 8,538 件の支給費を支払いました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
要支援相当者数	3,102 人	3,016 人	2,865 人
介護予防ケアマネジメント延利用者数	8,538 人	8,710 人	8,889 人

3 款 2 項 5 目

第 1 章 ともに支え合い誰もがいきいきと暮らせるまち（福祉・健康・子育て）

【会計】介護保険特別会計

基本施策 3 高齢者福祉

3 款：地域支援事業費 2 項：介護予防・日常生活支援総合事業費 施策 3 介護予防を推進します

5 目：一般介護予防事業費

事業	1	介護予防普及啓発事業
担当所属	高齢者福祉課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	（財源内訳）				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
19,764,000	18,115,275	5,072,277	3,623,055	2,264,409	0	7,155,534

【決算額の節別内訳】（円）

01	報酬	2,819,600	07	報償費	190,500
08	旅費	129,400	10	需用費	551,419
11	役務費	172,801	12	委託料	14,157,505
13	使用料及び賃借料	94,050			

【実施計画の概要】

事業の内容	・ 全ての高齢者を対象に、介護予防や認知機能低下予防に関する教室や相談・出前講座などを実施し、知識の普及や自主的な介護予防活動の必要性について啓発します。
事業の目的	・ 地域において自主的な介護予防に資する活動が広く実施され、高齢者が自らこれらの活動に参加し、介護予防に向けた取り組みを実施する地域社会を構築します。
事業の効果	・ 介護予防に関する基本的な知識の普及啓発を図ることにより、地域での自主的な介護予防の取り組みの推進に寄与することができます。

【事業の概要】

- ・ 感染対策を講じたうえで、介護予防教室、出前講座、物忘れ相談を実施しました。開催回数は 561 回、参加者は 10,091 人でした。
- ・ 熱中症予防、感染症対策及び予防、転倒予防等の健康管理についてリーフレットを作成し、地域の介護予防活動団体や希望者に配布しました。また、ホームページで情報提供を行いました。
- ・ 佐倉わくわく体操会の立ち上げを支援しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
介護予防普及啓発事業実施回数	561 回	376 回	282 回
介護予防普及啓発事業参加者数	10,091 人	8,127 人	5,235 人
介護予防事業の認知度	31.8% (60 歳以上)	55.1% (60 歳以上)	57.4% (60 歳以上)
佐倉わくわく体操会に新たに 取り組む団体数	1 団体	2 団体	1 団体

3 款 2 項 5 目

第 1 章 ともに支え合い誰もがいきいきと暮らせるまち（福祉・健康・子育て）

【会計】介護保険特別会計

基本施策 3 高齢者福祉

3 款：地域支援事業費 2 項：介護予防・日常生活支援総合事業費 施策 3 介護予防を推進します

5 目：一般介護予防事業費

事業	2	地域介護予防活動支援事業
担当所属	高齢者福祉課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	（財源内訳）				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
2,806,000	2,092,301	585,844	418,460	261,537	0	826,460

【決算額の節別内訳】（円）

07	報償費	30,000	08	旅費	1,864
10	需用費	7,279	18	負担金補助及び交付金	2,053,158

【実施計画の概要】

事業の内容	・地域において介護予防活動が広く実施されるように、その中心となる介護予防ボランティア等を養成するための研修や活動支援のための講座を実施します。また、地域において住民が主体的に介護予防に取り組む通いの場の活動を補助金等で支援します。
事業の目的	・地域において介護予防活動が広く実施され、また、高齢者自らが主体的に参加し介護予防に向けた取り組みを実施するような地域の構築を目指します。
事業の効果	・地域における介護予防活動が活発に行われることで、高齢者の社会参加が促進され、地域での自立した生活の継続につなげることが期待できます。

【事業の概要】

- ・介護予防リーダー養成研修他 7 回の研修会と講座を開催し延べ 84 人が受講しました。
- ・地域で介護予防活動を行うボランティア登録者は 185 人でした。
- ・地域介護予防活動支援事業補助金を 30 団体に交付しました。
- ・活動を再開した団体を訪問し、感染対策を含めた活動支援や助言を行いました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
研修等実施回数	7 回	8 回	4 回
ボランティア登録数	185 人	178 人	178 人
介護認定率（65 歳以上）	15.3%	14.6%	14.0%
週 1 回以上活動する通いの場	77 か所	73 か所	93 か所

3 款 3 項 1 目

第 1 章 ともに支え合い誰もがいきいきと暮らせるまち（福祉・健康・子育て）

【会計】介護保険特別会計

基本施策 3 高齢者福祉

3 款：地域支援事業費 3 項：包括支援事業・任意事業費 施策 1 住み慣れた地域での包括的な支援体制を整備します

1 目：包括支援事業費

事業	1	包括支援事業
担当所属	高齢者福祉課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	（財源内訳）				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
192,149,000	190,763,992	43,875,718	73,444,136	36,722,068	0	36,722,070

【決算額の節別内訳】（円）

07	報償費	183,400	10	需用費	89,538
12	委託料	190,491,054			

【実施計画の概要】

事業の内容	- 介護保険法第 115 条の 45 第 2 項に規定する①総合相談支援業務、②権利擁護業務、③包括的・継続的ケアマネジメント支援業務を事業者にも業務委託し、受託事業者において地域包括支援センターを運営します。 - 市内 5 か所の地域包括支援センター事業を包括的に支援します。
事業の目的	地域の高齢者が要支援・要介護状態となることを予防するとともに、要介護状態等となった場合においても、可能な限り地域において自立した日常生活を営むことができるよう、地域にある様々な社会資源（保健・医療・福祉）などを活用し、多面的な支援を行います。
事業の効果	地域に暮らす高齢者の生活、保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することで、高齢者が安心して在宅生活を継続することができます。

【事業の概要】

- ・地域包括支援センターの統括支援として、連携会議を 19 回実施しました。
- ・虐待等支援困難ケースの支援を行いました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
連携会議実施回数	19 回	18 回	19 回
総合相談件数（延べ数）	5,990 件	5,120 件	4,688 件
介護支援専門員相談件数	1,098 件	919 件	633 件
高齢者虐待通報件数（包括支援センター受理分）	54 件	52 件	54 件

事業	2	生活支援体制整備事業
担当所属	高齢者福祉課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
29,830,000	29,821,814	6,859,017	11,481,398	5,740,699	0	5,740,700

【決算額の節別内訳】（円）

10	需用費	6,814	12	委託料	29,815,000
----	-----	-------	----	-----	------------

【実施計画の概要】

事業の内容	・高齢者の生活支援等サービスの体制整備を推進していくため、日常生活圏域を中心に生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）を配置します。 ・生活支援等サービスの提供主体同士が情報を共有し、連携強化を図るための場となる協議体を設置します。
事業の目的	・単身高齢者や夫婦のみの高齢者世帯、認知症の高齢者が増加する中、医療、介護のサービス提供のみならず、NPO、民間企業、協同組合、ボランティア、社会福祉法人、社会福祉協議会、地縁組織、介護サービス事業所、シルバー人材センター、高齢者クラブ、商工会、民生委員等の生活支援サービスを担う事業主体と連携しながら、生活支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加の推進を一体的に図っていくことを目的とします。
事業の効果	・高齢者が住み慣れた地域で、人生の最期まで尊厳をもって自分らしい生活を送ることができます。

【事業の概要】

- ・市内 1 ヲ所の地域包括支援センター内に「生活支援コーディネーター」を配置及び協議体を設置し、高齢者の生活を支える仕組みづくりを進めました。
- ・「地域の支え合い助け合いリスト」を編集・発行しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
生活支援コーディネーター（第 2 層）の配置数	5 人	5 人	5 人
生活支援等サービス実施団体（箇所）把握数	271 箇所	277 箇所	296 箇所
第 2 層（日常生活圏域）の協議体（会議）開催回数	14 回	5 回	7 回
第 2 層（日常生活圏域）の協議体（会議）参加人数	184 人	62 人	53 人

【会計】介護保険特別会計

基本施策3 高齢者福祉

3 款：地域支援事業費 3 項：包括支援事業・任意事業費

施策4 認知症施策を推進します

1 目：包括支援事業費

事業	3	認知症施策推進事業
担当所属	高齢者福祉課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	（財源内訳）				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
16,968,000	16,292,290	3,747,226	6,272,531	3,136,265	0	3,136,268

【決算額の節別内訳】（円）

07	報償費	311,200	10	需用費	47,090
12	委託料	15,834,000	18	負担金補助及び交付金	100,000

【実施計画の概要】

事業の内容	- 認知症初期集中支援推進事業として、認知症の早期診断・早期対応に向けた検討を行う会議を設置するとともに、認知症の医療・介護・福祉の専門職で構成される「認知症初期集中支援チーム」が、訪問活動等により安定的な支援に移行するまでの支援を行います。 - 認知症地域支援・ケア向上事業として、①認知症地域支援推進員を地域包括支援センターに配置し、認知症を支援する関係者の連携、地域における認知症の人と家族を支援する体制の構築するための取り組みを行います。②介護施設等での認知症相談窓口の設置、認知症カフェの開設、多職種協働研修等を行います。
事業の目的	認知症になっても希望をもって日常生活を過ごせる地域を目指し、認知症の早期発見、早期対応に向けた支援体制を構築するとともに、認知症の正しい理解促進のための啓発を行い「認知症にやさしい佐倉」を推進します。
事業の効果	地域包括ケアシステムを構築することで、地域の高齢者が医療・介護が必要な状態になっても、安心して在宅生活を継続することができます。

【事業の概要】

- 認知症初期集中支援チーム5か所、基幹型1か所設置し、新規対象者数25名、チーム員の訪問回数は延べ151回でした。
- 認知症カフェを市内5か所開催しました。開催回数は58回、延べ参加者数は764人でした。
- 佐倉市認知症地域支援・ケア向上事業推進補助金を活用した、認知症の方の社会参加の機会となるイベントが1回開催されました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和04年度	令和03年度	令和02年度
認知症の人と家族に対する支援の場の設置	5か所	5か所	6か所
認知症専門職研修会参加者数	68人	未実施	13人
認知症初期集中支援チームの支援による介護保険サービス等の導入割合	50%	64%	56%
認知症初期集中支援チームの支援による医療の継続・導入割合	63%	80%	82%

【会計】介護保険特別会計

基本施策 3 高齢者福祉

3 款：地域支援事業費 3 項：包括支援事業・任意事業費 2 目：任意事業費 施策 1 住み慣れた地域での包括的な支援体制を整備します

事業	4	その他支援事業
担当所属	高齢者福祉課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	（財源内訳）				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
32,555,000	29,383,342	4,728,197	7,914,591	3,957,295	0	12,783,259

【決算額の節別内訳】（円）

07	報償費	30,000	11	役務費	212,796
12	委託料	23,873,879	19	扶助費	5,266,667

【実施計画の概要】

事業の内容	・配食サービス事業は、月曜日から金曜日までの週 1～5 回、夕食を手渡しで宅配します。 ・成年後見制度利用支援事業は、精神上的の障害により日常生活を営む上で支障があり、親族等の援助を受けられない方の成年後見等開始審判の請求を市長が行うとともに、成年後見制度利用に伴う費用負担が困難な方に対し、申立費用や後見人等報酬を助成します。 ・認知症の理解を深めるための普及・啓発として認知症サポーター養成講座や認知症高齢者声かけ訓練を行います。 ・緊急通報サービス事業は、ひとり暮らし高齢者やそれに準ずる方を対象に、緊急通報装置を貸与します。
事業の目的	・高齢者等が住み慣れた地域で在宅生活を継続することを支援します。
事業の効果	・【配食サービス事業】配食サービスを実施することにより高齢者の食生活の改善及び健康の増進、安否の確認を行うことができます。 ・【成年後見制度利用支援事業】利用者の生命、財産が不当な侵害から保護され地域における自立した生活を営むことができます。 ・【認知症サポーター養成講座等】認知症の人の意思が尊重され、住み慣れた地域のよい環境で暮らしつづけることができます。 ・【緊急通報サービス事業】緊急通報装置を貸与することで、ひとり暮らし高齢者等の緊急時対応や不安感の軽減を図り、住み慣れた地域で安心して生活を営むことができます。

【事業の概要】

- ・認知症サポーター養成講座開催数 30 回
- ・認知症サポーター養成講座受講者数 618 人（経年延 23,122 人）
- ・成年後見等報酬助成件数 24 件

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
配食サービス提供食数	17,549 食	15,463 食	14,346 食
配食サービス利用者数（年度末登録者数）	177 人	138 人	124 人
緊急通報サービス事業利用者数（年度末利用者数）	224 人	—	—
成年後見等開始審判請求件数（市長申立）	15 件	16 件	13 件
成年後見等開始件数（市長申立）	14 件	15 件	13 件
認知症サポーター養成講座受講者数	618 人	712 人	119 人

1 款 1 項 1 目

第 2 章 人と自然が調和した安心して暮らせるまち（都市基盤・住環境）

【会計】災害共済事業特別会計

基本施策 6 消防・防災

1 款：事業費 1 項：事業費 1 目：事業費

施策 4 災害に備えた体制を整備します

事業	1	災害共済事業運営事業
担当所属	危機管理課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	（財源内訳）				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
4,102,000	1,088,382	1,088,382	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

10	需用費	143,606	11	役務費	241,776
18	負担金補助及び交付金	700,000	22	償還金利子及び割引料	3,000

【実施計画の概要】

事業の内容	・佐倉市災害共済事業を運営し、災害等により居住する建物の損壊・焼失または、加入者やその者と同一の世帯に属し同居している家族等の死亡または負傷などに対し、給付金を支払います。
事業の目的	・市民生活の安定と福祉の増進に寄与します。
事業の効果	・災害等により被害を受けた加入者に対し、市民相互救済制度による生活の安定を図ります。

【事業の概要】

- ・災害共済の運営を行いました。令和 4 年度の加入世帯は、3,317 世帯、掛金収入額 3,168 千円でした。
- ・申請に基づく災害給付金 7 件 700,000 円

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
申請に基づく給付件数	7 件	4 件	152 件
加入世帯数	3,317 世帯	3,415 世帯	3,473 世帯

1 款 1 項 1 目

【会計】後期高齢者医療特別会計

1 款：総務費 1 項：総務管理費 1 目：一般管理費

事業	1	後期高齢者医療一般事務費
担当所属	健康保険課	

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
4,866,000	4,594,416	0	0	0	0	4,594,416

【決算額の節別内訳】（円）

01	報酬	1,413,720	03	職員手当等	282,744
04	共済費	242,248	08	旅費	73,340
10	需用費	309,728	11	役務費	2,272,636

【実施計画の概要】

事業の内容	・後期高齢者医療制度の運営は、千葉県後期高齢者医療広域連合と市町村で役割分担をしています。 ・市町村においては、加入や資格喪失等の窓口受付事務及び保険証の交付、各種給付申請等の受付を行います。
事業の目的	・千葉県後期高齢者医療広域連合と共に後期高齢者医療制度の運営を行います。
事業の効果	・後期高齢者医療制度の継続的な運営により被保険者に安定したサービスを提供します。

【事業の概要】

- ・後期高齢者医療被保険者証の交付や高額療養費の案内・申請受付など、被保険者への窓口サービス等にかかる経費を支出しました。

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
被保険者数（月平均者数）	29,394 人	27,649 人	26,830 人
療養費支給申請者数	597 人	593 人	634 人
葬祭費支給申請者数	1,484 人	1,376 人	1,248 人
高額療養費支給申請者数（新規申請者数）	2,866 人	2,266 人	2,067 人

1 款 2 項 1 目

【会計】後期高齢者医療特別会計

1 款：総務費 2 項：徴収費 1 目：徴収費

事業	1	保険料徴収事務費
担当所属		健康保険課

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
9,957,000	9,922,948	0	0	0	0	9,922,948

【決算額の節別内訳】（円）

10	需用費	2,966,103	11	役務費	5,672,764
12	委託料	1,284,081			

【実施計画の概要】

事業の内容	・後期高齢者医療保険料徴収に要する経費です。
事業の目的	・千葉県後期高齢者医療広域連合が賦課決定した保険料の徴収事務を実施します。
事業の効果	・保険料徴収の向上により、安定した後期高齢者医療の療養給付を実現します。

【事業の概要】

- ・後期高齢者医療保険料の徴収に要する経費を支出しました。

令和 4 年度 特別徴収分収入率 100.00%

普通徴収分収入率 98.66%

滞納繰越分収入率 32.74%

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 03 年度	令和 02 年度
後期高齢者医療保険料収入率	98.92%	98.88%	98.69%

令和4年度佐倉市歳入歳出決算に係る
主要施策の成果の説明書

令和5年8月

編集 佐倉市

I 令和4年度決算の概要 財政部財政課

II 主要施策の成果 企画政策部企画政策課

TEL: 043-484-6109 (財政部財政課)

043-484-3374 (企画政策部企画政策課)

E-mail: zaisei@city.sakura.lg.jp

kikakuseisaku@city.sakura.lg.jp
